

世界思想社 図書目録

2023年用



出版の道を志して

私は、戦時中、人生についての煩悶の解決を、青年の誰もがそうであるように、哲学や宗教や思想などに求めた。また、兵役の名において、いつ戦争に駆り出され死ぬかわからないという精神的苦痛や、無理な納得を強いられたため、人生についての書籍に接し、読み且つ考えたことであった。敗戦直前期であったので、書籍や雑誌が現在のように氾濫していたわけではなく、書店における新刊の棚はガラガラで、そこには戦争便乗の本と古本しかなかったのである。古本屋を漁りまわり、大阪だけでなく、京都、大津などの近郊まで探したものである。友人や図書館から借りたりもした。そしてなんとか死生についての了解点に達しかけたとき、太平洋戦争の敗戦を迎えたのであった。

私は、このように書籍や雑誌の有難さを身をもって知る体験をし、この過程を通じて、ベートヴェンの音楽の美とか、俳句や和歌など詩句による自然美や人生美、そして西田哲学からくる東洋的・宗教的な世界観や人生観を学んだ。さらに一步すすんで人間として創造すること、すなわち創作することを知り、また親鸞の行信一体の思想、そして老荘思想や禅思想などにも触れて、美の追究、創造の追究、そして真理の追究をする大切さを知った。

一方で、私は、争いや戦争を抑止するためには、学問の進歩と広い教養の必要なことも学んだ。これらを人間が学んで身につけておれば、少なくとも戦争や争うことの否定につながると考えた。これが、私が出版の道を志した理由である。

しかしながら、一本の道を真つすぐ歩むことは難しく、少なからぬ紆余曲折があり、現在に至っている。自らの出版成果を反省してみると、まさに冷汗三斗の思いである。

1949年に当社がはじめて出版した恒藤恭著『法的人格者の理論』を恒藤恭教授や瀧川幸辰教授に、「永遠の一步」と自書した栞をはさんで献本したときの「志」を忘れず、このときの志を永続して達成する努力をこれからも永続して実行していきたいと思う。

創業者高島國男（1924-2009）のこゝば（1998年、抜粋）

思索と出版理念

学生の頃は、誰もが経験するように、人生観の確立や現実社会を知ろうとして、多くの書を読み、かつ、考えるものである。私は、西欧の文学とくにドイツのロマン文学とか、ロシア文学の暗さなどに興味をもったりし、また哲学や自然科学の面からも、人間や地球や物質を知ろうとした。音楽ではベートーヴェンの交響曲とくに第九の雄大の極ともいえる創造者と人間との織りなす至高の調べに、そして終結章にでてくるシラーの歓喜の詩に、魂も融け込むような感を抱き、地球上における最高にして理想の世界を現出した交響曲と思ったものである。一方、西田哲学に人間の根本問題についての解決を求めようとし、西田哲学が最終的に辿りついた「絶対矛盾的自己同一」とか、「場所の論理」などを禪の境地に通ずる心境の世界として捉え、人間存在の本質に近づこうとした。

そのうちに親鸞教を知るようになり、『教行信証（化身土巻）』における第四十八願のなかの「三願転入」の弁証法的止揚に興味を持つようになった。それは、法蔵が仏にむかって衆生救済のために四十八の誓願を立てて、そのうちの第十九願において、衆生が浄土へ往生しようと諸功德を修し、それによって仏の来迎を期待するといういわゆる臨終現前の願というのがある。この願は、合目的で功利性があるから邪定聚（じゃじょうじゅ）として、まず否定される。つぎの二十願へ移り、念仏行をすることで浄土往生を願う。しかし、まだ自力念仏の域を出ないので不定聚として捨てられる。さらに十八願にかえり純粋な信樂（しんぎょう）、即ち信ということは、仏から与えられた他力である念仏行ということになる。ここではじめて真実の信ということになり、現生（げんしょう）不退として動かぬものとなる。この念仏は親鸞教の宗旨即ち「むね」である。ここに真の本願が得られるわけである。さらにまた、この本願を成り立たせるためには、第十七願の諸仏称揚の願または諸仏咨嗟（ししゃ）の願ともいわれるこの願は、諸仏それは即ち衆生でもあるが、念仏の「名（名称）」を唱えて仏を讃えることである。ここで、第十八願の信と、第十七願の行とで念仏の「体」となるわけである。これは仏仏相念ともいわれ本願成就ということになる。

この現実世界に生きるには、人間はそれぞれの名（名称）を持つ。また論文や書籍などにも名称があるわけで、本旨や主義などが「名称」と一致するのは理想であり、当然でもある。私は、戦争や争いのない世界が理想であるとして、真理の扉を開くための深い学問と、広い世界観をつくるための教養を身につけることが大切であると考え、人文・社会科学の出版を志した。このために、たとえ無神論に深い関心をもつものであっても、その根本思想の思考としては、真理への道程ともいえる「三願転入」に強く引かれることもある。その結果として私の「思想」とその「名称」を一致するように、「世界思想社」と名づけた。1948（昭和23）年秋のことであった。

ジャンル別索引

「学ぶ人のために」、「世界思想ゼミナール」、「基礎ゼミ」、および単行本は、右の13ジャンルに分類しています。ただし、品切・絶版書目は巻末に別掲しています。検索は「書名索引」および「著訳編者名索引」をご利用ください。

学ぶ人のために



学ぶ人

人間を取り囲む森羅万象に「なぜ」を発するとき「学び」が始まるだろう。ただ単に細かな知識を満遍なく羅列するのではなく、探究することへの興味を呼び起こし、魅力を伝える、初学者や一般の読書人に向けた定番の入門書シリーズ。

世界思想ゼミナール



ゼミナール

入門を越え、学問の深奥へ向け、歩みをすすめよう。第一線の執筆者が最先端の研究をわかりやすく読者に示し、古典的素材から現代的トピックまで、人文・社会科学を中心に自然科学を含め、真の教養を養う。

基礎ゼミ



基礎ゼミ

資料を読み、仲間と議論し、意見をワークシートに書いて、学問を体験的に学ぼう。レポートやグループワークに初めて触れる学生の、アクティブな学びを引き出す教科書シリーズ。

単行本

電子書籍



電子版あり

電子書店にて電子書籍を配信しています。品切書目にも電子書籍でお読みいただけるものがあります。

法律・政治

経済

社会

メディア・マスコミ

ジェンダー

人類学・民俗学

教育

心理

哲学・思想・宗教

歴史

日本語・日本文学

外国語・外国文学・芸術

環境・科学

教養みらい選書

こどものみらい叢書

日常を拓く知

世界思想社 現代哲学叢書

社会学ベーシックス

本目録の価格・在庫は2022年11月現在のものです。その後に、価格変更・品切になる場合がございます。表示価格は消費税（10%）込の定価です。（画：在庫僅少）

政治
法律経
済社
会メディア
コミュニケーション
センター人
類学教
育心
理宗
教
哲
学歴
史日
本
文
学外
国
文
学科
環
学
境教
養
書こ
れ
ぞ
の
み
つ
き
の
書日
常
を
拓
く
知世
界
思
想
社社
会
学

法律・政治



黒田 賢治 著

電子版あり

戦争の記憶と国家——帰還兵が見た殉教と忘却の現代イラン

四六判上製／254頁
3,520円／2021年
978-4-7907-1760-7

1980年代、8年に及んで続いたイラン・イラク戦争。戦死した兵士たちの記憶はいかに保たれ、忘れられるのか。支配体制や「軍」を支えている原動力とは何か。ある帰還兵への緻密な聞き取りから、現代イランの国家と人々を描く。

福井 英次郎 編

基礎ゼミ

基礎ゼミ 政治学

A5 判並製／192頁
1,980円／2019年
978-4-7907-1724-9

選挙・メディアなど身近な話題から貿易・環境など地球規模の課題まで、政治の営みをゲームやディベート、ディスカッションを通じて体験的に学べる入門書。主要な論点とそれに対する自分の意見をワークシートにまとめ、政治学の考え方を身につける。

木村 静子 著

随想——昭和を生きたひとりの女性法学研究者

A5 判上製／112頁
3,080円／2016年
978-4-7907-1684-6

女は空気や水にとどまらず草や木になることもできる——昭和2年、京都の商家に生まれ、京都大学初の女性助教授となった著者が、好奇心に導かれるままに、臆さず迷わず歩んだ半生を振り返る。強い意志と信念にしたがって生きる女性の姿とは。

木村 静子 著

犯罪論集——犯罪構成と故意・過失

A5 判上製／264頁
6,380円／2016年
978-4-7907-1683-9

刑法の犯罪構成論において、故意と過失の限界を何処に求めるべきか。多彩なドイツ語文献をひもとき、その本質を追い求めた労作。京都大学で瀧川幸辰教授の薫陶を受けて始まった、著者の約半世紀にわたる研究生活の集大成。

大野 真義・森本 益之・加藤 久雄・本田 稔・神馬 幸一 著

刑法総論〔新装版〕

A5 判上製／434頁
4,620円／2015年 Ⅲ
978-4-7907-1644-0

犯罪とは何か、刑罰はなぜ科されるのか——近代刑法の変遷と成立、意義および機能から、刑法総則規定の基礎理論をわかりやすく解説。法学部生・法科大学院生にお薦めの基本書。2011年発行の第1版の内容をそのままに、〔上製・新装版〕で再刊。

大野 真義 著

罪刑法定主義〔新訂第二版〕

A5 判上製／368頁
7,480円／2014年
978-4-7907-1644-0

刑法の大原則であり、刑法学を学ぶ者にとっての基本的課題である罪刑法定主義の歴史的・思想的系譜を明らかにし、この原則の概念と本質を解明する著者多年の労作——初版後の実定法の変化を踏まえ新たな文献の追加と叙述の補訂を施した新訂版。

家 正治・岩本 誠吾・桐山 孝信・戸田 五郎・西村 智朗・福島 崇宏 著

セミナー

国際関係〔全訂版〕

四六判並製／288頁
4,230円／2014年
978-4-7907-1640-2

国際社会が当面する地球的規模の課題——平和、開発／発展、人権、環境——に人間の視点から取り組む初版以来のスタイルを維持しつつ、グローバル化の進展という不変の背景、9.11同時多発テロ後の変化を視野にアップグレードした全訂版。

大野 真義・加藤 久雄・飯島 暢・島田 良一・神馬 幸一 著

刑法各論

A5 判並製／472頁
4,620円／2014年
978-4-7907-1631-0

各論の「基本」がよくわかる概説書。時代の要請にともなって法解釈も変化していくなかで、その基本となる概念を成り立ちからとらえ、刑罰法規における考え方を丁寧に解説。判例も数多く収録し、学部生・法科大学院生におすすめの基本書。

松村 信夫・三山 峻司 著

著作権法要説 [第2版] ——実務と理論

A5 判上製 / 468頁
4,620円 / 2013年
978-4-7907-1584-9

平成24年改正に対応。好評だった初版に最新判例を追加し、著作権法の理論と実務の基点を簡便に解説した法律書。立法趣旨や通説的見解の解説、裁判例分析を通して法理を平易に解明し、入門からビジネスまでカバーする。読みやすい二色刷。

本間 慎・畑 明郎 編

福島原発事故の放射能汚染——問題分析と政策提言

四六判並製 / 256頁
2,420円 / 2012年 国
978-4-7907-1577-1

除染という移染、移住か避難か、汚染ガレキ処置の現状、市街地・農用地汚染、脱原発へ舵をきったドイツとの比較……。未曾有の深刻な事態下の被災地に市民・研究者・ジャーナリストが立ち実態を直視し対策を考え、政策提言する調査研究報告。

畑 明郎 編

深刻化する土壌汚染

四六判並製 / 264頁
2,200円 / 2011年
978-4-7907-1503-0

土壌汚染をめぐる問題が全国で多発している。編著者たちが直接関わった土壌汚染問題の事例を踏まえて、市街地土壌汚染、農用地土壌汚染、アメリカや中国における土壌汚染の実態を検討し、根本的な問題解決策を提言する。

家 正治・小畑 郁・桐山 孝信 編

セミナー

国際機構 [第四版]

四六判並製 / 340頁
2,530円 / 2009年
978-4-7907-1442-2

冷戦の終焉、社会主義圏の崩壊、グローバル化の急展開、市民・NGOの台頭、テロリズムの蔓延など国際社会の変動の中、あるべき世界秩序構想のため国際機構はどのような役割を果たすことができるか。国連を中心にその構造と機能を概観する。

畑 明郎・杉本 裕明 編

廃棄物列島・日本——深刻化する廃棄物問題と政策提言

四六判並製 / 266頁
2,200円 / 2009年
978-4-7907-1437-8

産廃不法投棄事件、廃棄物焼却問題、産廃リサイクル問題、廃棄物問題、廃棄物処分場問題などの事例を紹介。廃棄物問題の原因、排出者・生産者責任、リサイクルが起こす環境問題などを検討し廃棄物問題の法政策課題を明示し解決策を提言する。

中川 淳 著

法学講義 [第2版] ——基礎へのアプローチ

四六判並製 / 164頁
1,430円 / 2009年
978-4-7907-1424-8

法学の基礎を中心に論じつつ、現代的な課題を適宜取り入れ、初学者がより一層興味と関心をもって学べるよう配慮した好テキスト。社会と法の関係から、憲法・民法・刑法など、法学に必須の基礎知識をまんべんなく簡潔に学べる。

畑 明郎・田倉 直彦 編

アジアの土壌汚染

四六判並製 / 272頁
2,200円 / 2008年
978-4-7907-1356-2

経済成長が著しい中国、その広東省と湖南省の金属鉱山の製錬所や化学工場の排水による深刻な水質・土壌汚染の現実や「がんの村」の発生を捉え、韓国や台湾などでの現地調査の事例分析を通して、アジアの土壌汚染問題の現状と解決策を提言。

中川 淳 編

学ぶ人

現代法学を学ぶ人のために [第二版]

四六判並製 / 328頁
2,530円 / 2008年
978-4-7907-1327-2

現代社会と法との関係を初学者向けにわかりやすく解説。法学の基礎理論と現代社会の法現象を縦糸・横糸の関係として有機的・体系的にとらえ、平易に親しみやすくレクチャーする。法学的素養を高めるのに最適の入門書。

中川 淳・大野 真義 編

学ぶ人

[新版] 法律用語を学ぶ人のために

四六判並製 / 476頁
2,860円 / 2007年
978-4-7907-1262-6

憲法・行政法・民法・会社法・商法一般・民事訴訟法・刑法・刑事訴訟法・労働法・国際法の一〇分野から、学習上必要とされる約二〇〇〇項目を精選し、縦断的に編成。初学者はもちろん実務家にも役立つよう簡潔明快に解説した新版法律用語事典。

政治
法律

経
済

社
会

メディア
マスコミ
ジェンダー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗
教
哲学
思想学

歴
史

日本語
日本文学

外国語
外国文学
芸術

科
学
環境学

教養
選書
みらい

こび
みらい
の
書

日常を
拓く
知

世界
思想
社

社
会
学
ベジ
ン
ス

政治 法律	木村 汎、グエン・ズイ・ズン、古田 元夫 編	学ぶ人
経 済	日本・ベトナム関係を学ぶ人のために 四六判並製／280頁 1,980円／2000年 978-4-7907-0845-2	近世中華世界から現代アジア太平洋まで。ドイモイ政策、ベトナム戦争よりずっと前から、日本とベトナムはつながっていた。両国関係を揺さぶる大枠の中で繰り広げられる、双方の対話と駆け引きの軌跡。日越関係研究のための貴重な一冊。
社 会	棚瀬 孝雄 編	ゼミナール
メディア コミュニケーション シエンター	たばこ訴訟の法社会学——現代の法と裁判の解説に向けて 四六判並製／320頁 2,530円／2000年 団 978-4-7907-0786-8	喫煙者がたばこ会社を告発する現在のたばこ訴訟。彼らが被害者の立場をとるようになったのはなぜなのか。喫煙を取り巻く世界はどのように変わりつつあるのか。たばこ訴訟を文化の次元で考察し、その複雑な流れの底に潜む意味を探る。
人類学 民俗学	久武 綾子 著	ゼミナール
教 育	氏と戸籍の女性史——わが国における変遷と諸外国との比較 四六判並製／232頁 2,090円／1988年 978-4-7907-0333-4	働く女性の増加と両性の平等という観点から、夫婦同氏の原則に異議を唱える女性が増えているが、本書はその点を踏まえながら、女性史と比較法の視点から氏と戸籍の問題を歴史的に切り込んだ興味深い労作。第4回「女性史青山なを賞」受賞。
心 理	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 0;">経 済</p>  </div>	
宗 教 哲 学	ローレンス・サマーズ、ベン・バーナンキ、ポール・クルーグマン、アルヴィン・ハンセン 著／山形 浩生 編訳・解説	
歴 史	景気の回復が感じられないのはなぜか——長期停滞論争 四六判並製／168頁 1,540円／2019年 978-4-7907-1731-7	元財務長官サマーズが唱えた新長期停滞論に、元FRB議長バーナンキが反論し、ノーベル経済学者クルーグマンが割って入った！ 論争の様子をたどり、日本経済への処方箋を提案する、日本オリジナル編集版。提唱者ハンセンの元祖長期停滞論付き。
外国 文学	堀林 巧 著	
環 境 学	自由市場資本主義の再形成と動揺——現代比較社会経済分析 A5 判上製／280頁 5,060円／2014年 団 978-4-7907-1615-0	新自由主義（自由市場資本主義）的社会経済システムの欠陥は、2008年の国際金融危機で明白となった。“大転換”はあるのか、世界はどこに向かうのか。ポランニーを継承する比較社会経済分析により明らかにし、将来世界を展望する。
教 養 書	浅羽 良昌 著	ゼミナール
こ み あ い の 書	アメリカの国際観光経済 四六判並製／172頁 2,090円／2013年 978-4-7907-1598-6	国際観光と観光産業をキーワードに、二〇世紀末に誕生した観光大国アメリカを分析・解明。観光産業が今や外貨を稼ぐ大黒柱にまで成長したプロセス・要因を詳述。貴重な図表・観光地の写真多数掲載。観光ビジネス関係者、観光を学ぶ人の必携書。
日 本 を 知 る	前田 啓一・町田 光弘・井田 憲計 編	ゼミナール
世 界 思 想 社	大都市型産業集積と生産ネットワーク 四六判並製／234頁 2,530円／2012年 978-4-7907-1564-1	高度なものづくりを支える核となるのは、多様な生産機能を備え、経済環境変化への適応力を持つ大都市型産業集積である。経済グローバル化時代の産業集積の実情を具体的かつ多面的に捉え、日本のものづくり産業のあり方を考える。
社 会 学	武田 公子 著	
	地域戦略と自治体行財政 A5 判並製／292頁 4,180円／2011年 978-4-7907-1548-1	地方分権一括法後の制度改革の動向と自治体財政の問題を叙述、今後の分権的財政システムのあり方と制度設計に向けた論点を提示する。大規模災害時に自治体の果たす役割を財政構造から論ずる章等、斬新な構成による地方財政論テキスト。

堀口 正 著

ゼミナール

中国経済論

四六判並製 / 332頁
2,420円 / 2010年
978-4-7907-1478-1

経済学部に入學したばかりの学生や一般の人にも簡単に読める中国経済テキスト：農村経済 / 地域格差と貧困問題 / 人口問題 / 財政問題 / 戸籍制度と労働移動 / 人民元切り上げの効果 / 環境問題 / 観光 / 貿易構造 / 企業の国際化 / WTO から FTA へ

佐々木 信彰 監修 / 辻 美代・金澤 孝彰・許 海珠 編

中国の改革開放30年の明暗——とける国境、ゆるく国内

A5 判並製 / 256頁
2,530円 / 2009年
978-4-7907-1397-5

改革開放30年——東部沿海の経済発展が目覚ましく、いまや世界最大規模の輸出・製造力を誇る中国。一方で、格差の広がり、外資依存、環境問題、三農問題などの課題も山積している。躍動する大国の光と影を検証し、未来への展望を試みる。

山本 孝・井上 秀次郎 編

生産マネジメント——その機能と発展

四六判上製 / 356頁
3,850円 / 2007年
978-4-7907-1263-3

研究者による精緻な理論的探究と、企業実務者による生産現場でのフィールド・リサーチにバランスよく目配りした、モノづくりを管理する技術 = 生産マネジメントの理論と手法の体系的な入門書。中小企業診断士・技術士の試験対策としても最適。

小川 雄平 編

学ぶ人

〔新版〕貿易論を学ぶ人のために

四六判並製 / 234頁
2,090円 / 2002年
978-4-7907-0970-1

経済のグローバル化を加速させる多国籍企業の企業内貿易。中国・台湾の加盟で世界組織となった WTO。東アジアにおける自由貿易協定の模索。貿易の歴史と貿易理論を学ぶとともに「持続可能な発展」と国際分業をめぐる新たな動向を考察する。

内田 勝敏 編

ゼミナール

グローバル経済と中小企業

四六判並製 / 272頁
2,530円 / 2002年
978-4-7907-0949-7

経済のグローバル化と構造転換する日本経済の現状を分析するとともに、国内の中小企業がどのようにこの新しい環境に対応しようとしているかを明らかにする。あわせて、中国・台湾・韓国・ドイツの中小企業についても考察する。

社会



三井 さよ・三谷 はるよ・西川 知亨・工藤 保則 編

はじめての社会調査 (仮)

A5 判並製
2023年 (近刊)
978-4-7907-1777-5

人々の思いや暮らしのリアリティを知ることを通して、他者と社会の多様な姿を発見していく社会調査。質的調査と量的調査をバランスよく学べる究極の入門書。社会調査士カリキュラムの A・B 科目、社会福祉士国家試験の「社会調査の基礎」にも対応。

竹中 均 著

自閉症が文化をつくる

四六判 / 270頁
2,200円 (近刊)
978-4-7907-1775-1

伊藤若冲やチューリングが生み出した文化には、不思議な共通点がある。人間が創造する文化には、時代と場所を超えて自閉症的な側面があるのではないか。文化史の地層から「自閉文化」の脈を掘り起こし、「健常」な近代を問い直す斬新な試み。

堂目 卓生・山崎 吾郎 編

近刊 (電子版あり)

やっかいな問題はみんなで解く

四六判並製 / 256頁
2,200円 / 2022年
978-4-7907-1773-7

「地域にもっとにぎわいがほしい」「困っているはずの人から声が上がってこない」「せっかくの専門知が専門外の人に伝わらない」。災害復興、再生医療、にぎわい創出、創造教育……境界を越えて困難に立ち向かう作法と実践。共助で新しい価値を創る。

政法
治律

経済

社会

メディア
コミュニケーション

ジェンダー

人類学
民俗学

教育

心理

宗思想
哲学

歴史

日本語
日本文学

外国語
外国文学

環境
学

環境
学

教養
選書

こびこび
みらい
叢書

日常を
拓く
知

世界思想
社

社会
学

社会
学

政治 法律	間瀬 領吾・酒井 千絵・古川 誠 編	
経済	基礎社会学 〔新訂第5版〕	自分が生きている世界や、人と人との関係について考えてみたくなったら、「社会学」というツールを試してみよう。基本概念から最新の分析手法まで、オーソドックスな構成とわかりやすい文章で紹介する、長年読まれてきたテキストの改訂版。
社会	齋藤 雪彦 著	電子版あり
メディア コミュニケーション シエンター	むらづくり入門	
	四六判並製/176頁 1,980円/2022年 978-4-7907-1765-2	災害、人口減少等等で疲弊していく地域をなんとかしたい！ 人々が共同で自主的に、身の回りの環境に働きかけていく「むらづくり」に、謙虚に、欲張らず、ゆるく、楽しく、でもマジメに向き合う筆者の「流儀」をお伝えします。
人類学 民俗学	ウスビ・サコ 著	電子版あり
教育	ウスビ・サコの「まだ、空気読めません」	
	四六判並製/190頁 1,650円/2021年 978-4-7907-1762-1	ヤマザキマリさん・茂木健一郎さん推薦！ マリ共和国出身、京都精華大学学長、ウスビ・サコ。30年にわたる日本生活での失敗と発見と希望をユーモラスに語る日本論。数々のカルチャーショック体験をふりかえりながら、日本の可能性を見つめる。
心理	丸山 里美 著	電子版あり
宗 教 哲 学	女性ホームレスとして生きる 〔増補新装版〕——貧困と排除の社会学	
	四六判並製/336頁 2,970円/2021年 978-4-7907-1759-1	女性ホームレスの生活史から、女性が貧困に陥る過程を浮き彫りにし、福祉制度や研究が前提にしてきた人間像を問い直す。著者による付録「貧困女性はどこにいるのか」と岸政彦氏による解説「出会わされてしまう、ということ」を新たに収録。
歴 史	村上 靖彦 著	電子版あり
	子どもたちがつくる町 ——大阪・西成の子育て支援	
日本 文学	A5 判並製/270頁 2,750円/2021年 978-4-7907-1753-9	「日雇い労働者の町」と呼ばれる大阪・西成。生活保護受給率は、2割を超える。でも、しんどくたって、今日も元気に子どもは遊ぶ。この町の個性的な支援者5人へのインタビューが描く、誰も取り残さない支援の地図！
外国 文学	柏原 全孝 著	
環 境 学	スポーツが愛するテクノロジー	
	四六判上製/334頁 3,520円/2021年 978-4-7907-1752-2	手を使うな！ 前に投げな！ 3歩以上歩くな！ 選手を縛るルールこそが、スポーツを作り上げる。テニス、サッカー、新体操、大相撲からデスマッチまで、最新テクノロジーが勝負を決める時代のスポーツの行方！
教 養 書	松田 素二 編	
こ ども の 書	集合的創造性 ——コンヴィヴィアルな人間学のために	
	四六判上製/286頁 3,080円/2021年 978-4-7907-1750-8	人が危機と困難に立ち向かう時、問題解決力の核心には創造性がある。これまで創造性は、心理学や教育学を中心に、個人的な性質や能力として研究されてきた。本書は社会学＝人類学的なアプローチにより、集合的、共同的な創造の在り方を提起する。
日 常 知	渡辺 潤 監修	電子版あり
現 世 社 会	〔新版〕コミュニケーション・スタディーズ	
	A5 判並製/260頁 2,310円/2021年 978-4-7907-1748-5	人と人が結びつくこと、関わること、関わらないこと。社会学の基礎にあるコミュニケーションについて、ゼロから考えなおしてみよう。28の講義で何気ない日常の仕組みを解きあかす、究極の入門書。社会学の基礎も学べるロングセラーの改訂版。
社 会 学	玉野 和志 編	学ぶ人
	都市社会学を学ぶ人のために	
	四六判並製/236頁 2,420円/2020年 978-4-7907-1738-6	グローバルな資本主義の展開のなか、世界の都市はどう変化し、どんな課題を抱えているのか。具体的な歴史に沿って明らかにする。都市社会学の源流から現代的課題までを統一的な観点から理解するテキスト。建築学、地理学を学ぶ人にもおすすめ。

川田 耕 著

生きることの社会学——人生をたどる12章

四六判並製／240頁
2,530円／2019年
978-4-7907-1734-8

出生、学校、恋愛、子育て、仕事、老い、そして死……。生活の隅々にまで浸透する社会システムの中で、私たちは何を享受し、何を強制されているのか。社会と生のダイナミクスを人生の時間軸に沿って語る入門書。キーワード解説・図書紹介付き。

井上 俊 著

文化社会学界限

四六判上製／270頁
2,970円／2019年
978-4-7907-1728-7

小説、ルポルタージュ、映画、漫画、武道、スポーツ等——多くの世界と往来を重ねて豊かになる文化社会学。貧困街のルポから探偵小説まで、『闇の奥』から『宮本武蔵』『YAWARA!』まで、賑わいの界限を遊歩し、文化の風景と人々の姿を活写する。

木下 衆 著

電子版あり

家族はなぜ介護してしまうのか——認知症の社会学

四六判並製／256頁
2,530円／2019年
978-4-7907-1726-3

患者の人生や性格に合わせた介護が求められる現在の認知症。患者をよく知るからこそ、家族は悩み、憤り、反省する。認知症を理解し、介護へと導かれ、患者との関係を再構築するまでの家族の営みを丹念に描く。介護を頑張りすぎることへの問題提起。

エマニュエル・A. シェグロフ 著／西阪 仰 訳／ケード・ブッシュネル 翻訳協力

会話分析の方法——行為と連鎖の組織

A5 判並製／224頁
3,300円／2018年
978-4-7907-1723-2

相互行為の基本組織の1つ、「連鎖」の組織を扱った「予備のための予備」。「発言の繰り返し」という何気ない行為の秩序を解き明かす「仄めかしだつたと認めること」。会話分析の泰斗シェグロフによる2本の論考に、解説的訳注を付けた、新たな必読書。

牧田 満知子 著

紛争終結後のカンボジア——国軍除隊兵士と社会再統合

A5 判上製／296頁
5,280円／2018年
978-4-7907-1714-0

二〇世紀を震撼させた悲劇以後も長期にわたる内戦を経験したカンボジア——平和構築と除隊兵士の地域社会への再統合をめざした支援の実際と、当事者たちのその後は。紛争終結国の貧困削減と自立支援に向け提言を行うとともに研究上の課題を示す。

尾嶋 史章・荒牧 草平 編

高校生たちのゆくえ——学校パネル調査からみた進路と生活の30年

A5 判並製／240頁
2,750円／2018年
978-4-7907-1710-2

学校や塾での勉強、友だちつきあい、クラブ活動、アルバイト、奨学金、進学先や職業の選び方——30年にわたる学校パネル調査のデータから高校生の姿を描きつつ、日本社会のこれまでもを振り返り、これからを見通す。

古賀 正義・石川 良子 編

ひきこもりと家族の社会学

四六判並製／228頁
2,750円／2018年
978-4-7907-1705-8

「過失者／支援者」の役割で板挟みになる親たち。さらに長期化・高齢化が経済的困窮へと拍車をかける。「ひきこもり」を従来の家族主義や自立観を問い直す問題として捉え、家族と社会とのコミュニケーション回復、ネットワーク構築を模索する。

山田 真茂留 著

集団と組織の社会学——集合的アイデンティティのダイナミクス

四六判並製／222頁
2,750円／2017年
978-4-7907-1701-0

人は、関係や集団、組織に頼らなければ生きていけない。自らの所属先と、どうつき合うべきなのか。恋愛関係からグローバルゼーションまで、古典理論から最新モデルまでを平明に解説し、集団現象と組織現象が作り出すきらめきと魔力に迫る。

ジゼル・サピロ 著／鈴木智之・松下優一 訳

文学社会学とはなににか

四六判上製／224頁
4,180円／2017年
978-4-7907-1700-3

【小野正嗣氏推薦！】「文学の読み方が〈わかる〉。文学の大切さが〈わかる〉。文学と社会の忘れられがちな豊かな関係を〈わかりやすく〉解きほぐす社会学からのアプローチ」。文学を生産・作品・受容の場から分析し、社会的事実として探究する。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ

シ
エン
ター

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗
教
哲
学

歴
史

日
本
文
学

外国語
外国文学
芸術

科
環
学
境

教
養
選
書

こ
ひ
こ
も
り
の
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
社
会
学
社

社
会
学
ベ
ジ
ン
ス

政治 法律	有菌 真代 著	
経済	四六判上製／224頁 3,080円／2017年 978-4-7907-1699-0	「俺たちは被害者だけど、敗北者ではない」——ハンセン病を得た人々が、集団になることではじめてできた活動とは何か。動けない「不自由」な者の「自由」とはどのようなものか。障害を越え、隔離壁を越え、人間の魂を耕し続けた人々の記録。
社会	小谷 敏 編	電子版あり
メディア コミュニケーション ジャーナリズム	四六判並製／218頁 2,750円／2017年 978-4-7907-1693-8	二十世紀の若者論——あいまいな不安を生きる イデオロギー対立と経済発展が終焉した二十一世紀。若者たちはどう語られてきたのか。大人たちの偏見にさらされ、生きづらさを抱えて浮遊する若者たちの姿を、言説の分析を通して浮かび上がらせる。メタ社会学的冒険の書。
人類学 民俗学	工藤 保則・大山 小夜・笠井 賢紀 編	基礎ゼミ
教育	基礎ゼミ 社会学 A5 判並製／232頁 2,310円／2017年 978-4-7907-1692-1	「問いを発見する」「調べる」「考察する」「深める」の4つのステージを通じて、レポートやプレゼンのコツがつかめる入門書。自分で読むだけでなく、書いて、話して、社会学を丸ごと体験しよう。アクティブな学びを引き出す教科書シリーズ創刊！
心理	藤木 庸介 編	
宗 教 思想 哲学	住まいがたえる世界のくらし——今日の居住文化誌 A5 判並製／214頁 2,970円／2016年 978-4-7907-1689-1	さまざまな「くらし」／多様な「生活のカタチ」 その土地の気候風土やつくられる住居、また習俗習慣、生業、信仰など、人々の生活そのものが形づくる居住文化の多様性を学び理解し、自らの居住文化と比較・考察するきっかけを示す。
歴史	天童 睦子 編	
日本語 日本文学	育児言説の社会学——家族・ジェンダー・再生産 四六判並製／232頁 2,640円／2016年 978-4-7907-1686-0	多様化する育児雑誌が映し出す子育ての現在——子育てをめぐる言葉の東＝「育児言説」を鍵概念に、育児知識の伝達媒体である育児メディアとその変化に注目し、現代の家族・育児・教育の課題を社会構造とのかかわりから検討する。
外国語 芸術	原田 隆司 著	
環境 学 境	震災を生きぬく——阪神・淡路大震災から20年 四六判上製／276頁 3,080円／2016年 978-4-7907-1685-3	1995年1月17日、大地が揺れた。著者は、中学校に置かれた避難所に向かい、夏までボランティアとして過ごした。それから20年、人びとはどう生きたか。深いインタビューに基づいて人生と震災の交差を描く、ヒューマン・ドキュメント。
教養 読書	田代 志門 著	
叢書 こころの みらい	死にゆく過程を生きる——終末期がん患者の経験の社会学 四六判並製／272頁 2,750円／2016年 978-4-7907-1678-5	告知、療養環境の選択、何かを遺すこと、お迎え体験——在宅緩和ケアを受け、自宅で最期を迎えたがん患者たちの語りから、「自らの死を予見しつつ今このときを生きる」という、「日常の生」と地続きにある「死にゆく過程の生」を描き出す。
日常を 拓く知	内海 成治 編	学ぶ人
世界思想社 現存書	〔新版〕国際協力論を学ぶ人のために 四六判並製／416頁 3,080円／2016年 978-4-7907-1674-7	国際協力は国際社会に対する最も重要な貢献であり21世紀の日本と世界を考えるキーワードの一つである。私たちは国際協力を通して何ができるのか。現状と動向をアクター・分野別に整理し、新たな課題に取り組むための方途を探る。
社会学 ベジンス	数理社会学会 監修／筒井 淳也・神林 博史・長松 奈美江・渡邊 大輔・藤原 翔 編	
	計量社会学入門——社会をデータでよむ A5 判並製／284頁 3,080円／2015年 978-4-7907-1671-6	計量社会学の考え方から、分析手法・最新の研究・論文例まで、労働・教育・階層・家族・都市・健康・社会意識の分野ごとに、わかりやすく丁寧に解説。これから学びたい人も、数字が苦手な人も、計量社会学をまるごと理解できる一冊。

草柳 千早 著

日常の最前線としての身体——社会を変える相互作用

四六判並製/276頁
2,750円/2015年
978-4-7907-1670-9

他者と共に相互作用を繰り返して、私たちは、生身で今ここを生きている。自分の身をどこかへ置き去りにするわけにはいかない。身体を起点に、生きづらい社会について、よりよく生きようとするということについて、考える。

伊藤 公雄・牟田 和恵 編

ジェンダーで学ぶ社会学 [全訂新版]

四六判並製/264頁
1,980円/2015年
978-4-7907-1666-6

男/女の二色刷から、個性の光る多色刷の社会へ——「育つ」から「シユエカツする」、そして「ケアする」までの身近なできごとを、ジェンダーの視点から見なおし、「あたりまえ」をくつがえす。好評ロングセラーを全面改訂。

中川 輝彦・黒田 浩一郎 編

セミナー

〔新版〕現代医療の社会学——日本の現状と課題

四六判並製/280頁
2,530円/2015年
978-4-7907-1663-1

医療の「今」を成り立たせる様々な要素とその複雑な関係を、中心構造/支持構造/周縁に分け、日本をはじめ先進国での近代から現代の変化を追うことで丁寧に読み解く。そのあり方が多様に問われる現代医療を見通すための知見を提供する一冊。

渡辺 潤 編

レジャー・スタディーズ

A5 判並製/240頁
2,750円/2015年 国
978-4-7907-1662-4

自由とは何か、豊かさとは何か、私はなぜ働くのか——レジャーからライフスタイルを見つめよう。旅行・音楽・スポーツからテレビやキャンプまで、多様なレジャーの過去と現在を学ぶ入門書の決定版。現代文化を学びたい人にも最適。

山元 隆春 編

学ぶ人

読書教育を学ぶ人のために

四六判並製/312頁
2,530円/2015年
978-4-7907-1653-0

いつも、読みかけの本を。そばに。本と子どもを愛するすべての人びとの必携書。交わる、出会う、引き出す、ひたらせる、ひらく、交流する、伸ばす。本との取り組み方・付き合い方をサポートし、読み、考え、発見する読書教育をデザインする。

齋藤 雪彦 著

農山村の荒廃と空間管理——計画学の立場から地域再生を考える

A5 判上製/232頁
4,290円/2015年
978-4-7907-1652-2

農業の衰退や高齢化、耕作放棄地の増加という現代の状況に対し、本書では、従来の空間を「利用」する観点ではなく、空間を実際に成立させる「メンテナンス」(=作業)の側面からとらえ、荒廃の実態と再生への道筋を住民の生活から展望する。

吉田 国光 著

農地管理と村落社会——社会ネットワーク分析からのアプローチ

A5 判上製/212頁
5,280円/2015年
978-4-7907-1652-5

農家は減少の一途をたどり、離農を理由とした農地利用の中止による耕作放棄地化のリスクはますます高まっている。農地利用の維持を通じて農地がどのように管理されているのか、農地管理のしくみを村落社会の動態との関連性から読み解く。

北澤 毅 著

セミナー

「いじめ自殺」の社会学——「いじめ問題」を脱構築する

四六判並製/270頁
2,640円/2015年
978-4-7907-1650-1

「いじめは死に値する苦しみである」という認識が社会文化的につくられたものであることを、新聞、テレビ番組、書籍のなかに観察される「いじめ言説」を分析することにより明らかにする。「いじめ自殺」根絶への糸口を探る試み。

中谷 文美 著

オランダ流ワーク・ライフ・バランス——「人生のラッシュアワー」を生き抜く人々の技法

四六判上製/254頁
3,080円/2015年
978-4-7907-1646-4

人生は、仕事だけじゃない——結婚・出産・子どもの就学など、人生の節目で仕事のかたをどう変えるか、時間をどう振り分けるか。長年のインタビュー調査から、「パートタイム大国」オランダに生きる人々のライフスタイルを浮き彫りにする。

政法
治律

経
済

社
会

メ
ディア
マス
コミ

ジ
ェン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
教
哲
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学

科
環
境
学

教
養
の
選
書

こ
の
こ
ろ
の
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
社
現
代
学

社
会
学
ベ
ジ
ン
ス

政治 法律	春日井 典子 著		ゼミナール
経済	〔新版〕 介護ライフスタイルの社会学	個人化の進行する現代社会における要介護者と介護関与者の「主体性の尊重」と「自己実現」をめざす新たな高齢者介護の分析から「主体性と自己責任のディレンマ」に悩む現代の諸相をとらえ、共生社会の創生を期待する社会変動論——待望の新版。	
社会	井上 俊編		学ぶ人
メディア コミュニケーション センター	〔全訂新版〕 現代文化を学ぶ人のために	流動化しグローバル化する現代文化——その輪郭を都市・消費・情報という基軸から描き、さらにポピュラー音楽、映像、マンガ、スポーツ、ファッション、観光などの個別フィールドに分け入る。定評あるロングセラーの全面改訂版。	
人類学 民俗学	木村 一信・西尾 宣明 編		学ぶ人
教育	国際堺学を学ぶ人のために	自由都市、文化都市、国際都市、伝統産業都市等々の相貌を持つ堺の歴史を俯瞰し、産業・経済・文化・教育の現在を分析し、更なる居住性の高い街を求め、諸大学や地域社会との連携に希望を見だし、望まれる未来像を探る。	
心理	石戸 教嗣 編		学ぶ人
宗 教 思想 哲学	〔新版〕 教育社会学を学ぶ人のために	待望久しい「新版」——各領域の研究動向・理論的課題の整理に重点を置き概説書や入門書にはない独自の視点を示す。研究の流れと今後の課題／経済・政治と教育／学校・教員論／個人的領域と教育／ネットワーク社会と教育／教育社会学の半世紀	
歴史	安藤 丈将 著		
日本語 日本文学	ニューレフト運動と市民社会——「六〇年代」の思想のゆくえ	戦後の民主化運動、60年安保闘争、学生運動、反戦運動……ニューレフト運動を中心に、50～70年代の日本の社会運動を概観し、それが市民社会に与えた正負の影響を考察。60年代の「生き方を問い直す」思想の軌跡の先に、市民の力の源泉を見出す。	
外国語 芸術学	中村 治 著		
環境 学	洛北岩倉と精神医療——精神病患者家族的看護の伝統の形成と消失	精神障害者を施設等に閉じ込めず、一般民家で預かって、共に暮らしていた京都洛北・岩倉。本書は、その歴史を著者の長年にわたる聞き取りと地元に残る史料により解明し、地域で精神障害者を看護していくためのヒントを得ようとする試みである。	
教養 書	片瀬 一男 著		ゼミナール
こ み あ い の 書	ライフ・イベントの社会学〔新版〕	読書、試験、自分探し、就職、仕事、恋愛、友情、病気、看護……身近な出来事を通じて社会学の考え方を学び、混沌とした世界を読み解く力を身につける。小説、マンガ、映画も素材に取り入れたわかりやすいテキスト。好評書の全面改訂版。	
日常 を 拓 く 知	西山 哲郎 編		ゼミナール
世界 思想 書	科学化する日常の社会学	近代化とともに発展し、日常生活に浸透してきた科学技術。リスクの中で、科学とどう付き合えばよいのか。「専門家への白紙委任」から「対話」の時代に向け、化粧品広告、育児産業、インフルエンザ報道、「脳力」論、防災をテーマに検証した。	
社会 学	善積 京子 著		
ベ ジ ン ス	離別と共同養育——スウェーデンの養育訴訟にみる「子どもの最善」	スウェーデンにおける家族変容、特にパートナー関係解消後の養育権・居所・面会のあり方に焦点を置き、「子どもの最善」「ジェンダー公平性」の観点から養育訴訟を分析、日本の今後の親権・監護法制のあるべき方向性を探る。	

平井 孝典 著

公文書管理と情報アクセス——国立大学法人小樽商科大学の「緑丘アーカイブズ」

A5 判上製／478頁
8,360円／2013年
978-4-7907-1583-2

公文書管理が適正に実施されなければ情報アクセスは不可能である。明治に官立第五高商として創設された小樽商科大学での11年にわたる実務を主な素材に、公文書管理を適正に行うための理論と課題を提示。関係法令も説明。先進的事例を比較紹介。

村田 陽平 著

受動喫煙の環境学——健康とタバコ社会のゆくえ

四六判並製／232頁
2,310円／2012年
978-4-7907-1574-0

タバコ規制の国際条約（FTC）の批准国でありながら、受動喫煙対策「後進国」である日本の現状に警鐘を鳴らし、よりよい社会環境の実現に向けた議論の道筋を示す。第13回人文地理学会賞一般図書部門、2014年度日本地理学会賞著作発信部門受賞。

山田 信行 著

世界システムという考え方——批判的入門

四六判並製／266頁
2,640円／2012年
978-4-7907-1572-6

ウォラステインの『近代世界システム』第1巻刊行以来、四〇年にわたり社会科学全般に影響を与え続けてきた世界システム分析。壮大なパラダイムを、理論的・総体的・歴史的視座を求めてコンパクトに概説する。社会学者による批判的入門書。

ダニエル・P.アルドリッチ 著／湯浅 陽一 監訳

誰が負を引きうけるのか——原発・ダム・空港立地をめぐる紛争と市民社会

A5 判並製／328頁
3,520円／2012年
978-4-7907-1561-0

「負の公共財」とされる施設＝原子力発電所・ダム・空港の立地をめぐる闘いからみる市民社会と国家——広島・長崎の原発投下や第五福竜丸の事件を経験した日本が、なぜ世界屈指の原発大国となりえたのか。日・仏・米の事例を比較分析する。

樋口 直人 編

日本のエスニック・ビジネス

四六判上製／294頁
3,080円／2012年
978-4-7907-1553-5

韓国・朝鮮人、ニューカマー中国人、ブラジル人、フィリピン人、ベトナム人、パキスタン人、南米系のびと……日本に暮らす外国籍の人たちの築き上げた個性的なビジネスの世界。歴史の変遷と現状を精細な調査により解き明かす。

亀山 佳明 著

生成する身体社会学——スポーツ・パフォーマンス／フロー体験／リズム

A5 判並製／296頁
3,080円／2012年 ㊦
978-4-7907-1518-4

身体への新たなパースペクティブ——フロー体験といった究極的体験に限らず、生きて働く身体作用を人間の可能性として考察する新領域としての生成の社会学、すなわち社会学的知識を基盤とする人間学を拓く。

遠藤 薫 編

グローバリゼーションと都市変容

四六判並製／286頁
2,530円／2011年 ㊦
978-4-7907-1546-7

都市は、絶え間なく自己変容する社会構造／世界観の写像である。観光、メディア、消費空間、サバルチャー、コミュニティなどを通して、ローカルな場としての都市とグローバル世界の動的なマイクロ・マクロ連結を透視する。

稲垣 恭子 編

教育文化を学ぶ人のために

四六判並製／302頁
2,420円／2011年 ㊦
978-4-7907-1524-5

教育に対する道具的な見方的一方、それを越えた価値、文化的慣習等への関心や憧れが顕在化しつつある。本書は規範的な教育研究や従来の教育社会学と異なる角度でこうした教育＝文化現象に光を当て、新たな社会学的アプローチの可能性を拓く。

小國 和子・亀井 伸孝・飯嶋 秀治 編

支援のフィールドワーク——開発と福祉の現場から

四六判並製／264頁
2,530円／2011年 ㊦
978-4-7907-1522-1

開発プロジェクトの後の農村、暴力と向き合う児童福祉施設、占領下のパレスチナ……。「支援ある風景」のなかでのフィールドワークを通じて、実践の現場で使えるかかわりの作法が浮かびあがる。場に誘われて、寄りそうことの意味を問う。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ
シエンター

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗 思 哲
教 学 学

歴
史

日本
文学

外国
文学

科 環
学 境

選 教
書 養
み
ら
い

叢 ことばの
書 暮らし

拓 日常を
く 知

現 世界思想社
代 叢書

社 社会学
会 ベジネス

政治 法律	立石 裕二 著	
経済	A5 判上製 / 312頁 3,520円 / 2011年 978-4-7907-1515-3	科学の自律性に着目し、専門知と民主的手続きをともに生かす社会的条件を模索。イタイタイ病、長良川河口堰問題、化学物質過敏症・シックハウス症候群など、事例の実証的分析を通して科学の果たすべき役割、果たすべきではない役割を問う。
社会	大野 道邦 著	
メディア コミュニケーション ジャーナリズム		
人文学 民俗学	片桐 雅隆 著	
教育	自己の発見——社会学史のフロンティア 四六判上製 / 280頁 2,420円 / 2011年 978-4-7907-1504-7	ウェーバー、ミードから、ギデンズ、パウマンまで。社会学のキーパーソンは、アイデンティティ、人格、主体をどう語ってきたか。個人化・私化・心理化する社会の動態を探り、自己の「語り」を鍵として社会学百年の歴史を再構築する意欲作。
心理	田中 美子 著	
宗 教 哲 学	「いじめ」のメカニズム——イメージ・ダイナミクスモデルの適用 四六判上製 / 144頁 2,750円 / 2010年 978-4-7907-1492-7	どうして「いじめ」が発生・エスカレートし、果ては被害者の自殺にまで至るのか。アンケート調査、事例研究に基づき概念モデルを構築するとともに、深刻化を最小限に抑えるための政策提言を行う。本邦初の本格的な学術研究の書。
歴史	佐藤 純一・土屋 貴志・黒田 浩一郎 編	セミナー
日本語 日本文学	先端医療の社会学 四六判並製 / 240頁 2,200円 / 2010年 978-4-7907-1487-3	近年の生命科学のめざましい発達に伴い、今日の社会を存立させている諸前提に変更を迫るがごとく、大きな変容を遂げつつある「先端医療」について、社会学的な観点から、その把握と定義を試み、日本における展開の分析をめざす。最新の論考集。
外国語 外国文学	松田 恵示・松尾 哲矢・安松 幹展 編	セミナー
環境 学	福祉社会のアミューズメントとスポーツ——身体からのパースペクティブ 四六判並製 / 272頁 2,420円 / 2010年 978-4-7907-1472-9	年齢や障がいなど、生の条件にとらわれない「身体のアミューズメント（楽しみ）」はいかに実現できるのか。「身体」の多様な側面から、スポーツや身体を使った遊びを捉え、「すべての人がともに生きる社会」への可能性を照らし出す。
教養 書	串田 秀也・好井 裕明 編	学ぶ人
こころの 叢書	エスノメソドロジーを学ぶ人のために 四六判並製 / 324頁 2,640円 / 2010年 978-4-7907-1469-9	身近なリアリティから社会学的探究へ——エスノメソドロジーの考え方を、平易な言葉と身近な例示によって説き、そのおもしろさを伝え、読者を社会学的探究へと誘う。初学者のために徹底してわかりやすく編まれた格好の入門書。
日 知	表 真美 著	
世界 思想 書	食卓と家族——家族団らんの歴史の変遷 四六判上製 / 206頁 2,530円 / 2010年 978-4-7907-1463-7	家族再生の手段として期待され、人々が望む幸せな家族の象徴である「食卓での家族団らん」はどのように意味づけられてきたのか。「団らん」言説の初出、歴史の変遷をたどり、今後の家族団らんに関する教育のあり方について考察する。
社会 学	加藤 剛 編	
ベ ジ ン ス	もっと知ろう!! わたしたちの隣人——ニューカマー外国人と日本社会 四六判並製 / 282頁 2,530円 / 2010年 〔Ⅲ〕 978-4-7907-1459-0	グローバル化と少子高齢化の中、今や日本の農業や産業は多くのニューカマー外国人労働者に支えられている。中国、ブラジル、フィリピン等から来た彼らはどのように働き、暮らしているのか? 多様な外国人住民を包摂する21世紀の社会を考える。

加茂 直樹 著

現代日本の家族と社会保障

A5 判上製 / 300頁
2,750円 / 2010年 ㊦
978-4-7907-1458-3

社会哲学研究者としての著者が最後に辿りついたテーマが「家族」と「社会保障」である。現代の家族を取り巻く状況を分析・整理し、内外における社会福祉・社会保障の歴史と現状を概観した上で、それぞれが直面している課題に批判的検討を加える。

橋本 純一 編

ゼミナール

スポーツ観戦学——熱狂のステージの構造と意味

四六判並製 / 322頁
2,530円 / 2010年
978-4-7907-1454-5

スポーツ観戦と場所、生活、メディア、マイノリティ、哲学・政治学——存在感を増す社会／文化的現象としてのスポーツ観戦を12人の論者が多角的に読み解く。「観るスポーツ」の新たなバリエーション。

井上 真理子 編

学ぶ人

家族社会学を学ぶ人のために

四六判並製 / 312頁
2,530円 / 2010年
978-4-7907-1452-1

「家族とは～である」と決め付けることなく、本書では、従来家族に対して付与されてきた虚像、根拠のない〈思い込み〉に気づき、変化し多様化する家族を、「病理的形態」ではなく「問題解決」に取り組む「開かれたシステム」として考える。

柴野 昌山 編

青少年・若者の自立支援——ユースワークによる学校・地域の再生

四六判並製 / 240頁
2,200円 / 2009年
978-4-7907-1434-7

人間的成熟と社会を見る眼をどこでどのように養うか、これこそが今日の青少年問題である。心理主義の限界を踏まえつつ、社会学的観点からグループのもつ人間的成長機能を再認識し、現代の若者が抱える自立への課題とその困難性を多角的に考察。

内田 良著

ゼミナール

「児童虐待」へのまなざし——社会現象はどう語られるのか

四六判並製 / 232頁
2,200円 / 2009年
978-4-7907-1428-3

「虐待」に注目し、意味を付与する「まなざし」——そもそも私たちがおこなっている意味付与とはいかなるものか。意味付与自体を議論の俎上に載せ、児童虐待問題についてこれまでとは別の語り方を提起する。日本教育社会学会第4回奨励賞受賞。

西村 秀樹 著

ゼミナール

スポーツにおける抑制の美学——静かなる強さと深さ

四六判並製 / 322頁
2,530円 / 2009年
978-4-7907-1428-6

ガッツポーズに違和感を感じるのはなぜか？ 今日の世界における自我呈示のパフォーマンスの隆盛に理論的考察を加えつつ、日本古来の文化的伝統に分け入り、洗練された感情表現の美学、感情表出を抑制するアスリートの魅力を語る。

鈴木 健・岡部 朗一 編

学ぶ人

説得コミュニケーション論を学ぶ人のために

四六判並製 / 324頁
2,200円 / 2009年
978-4-7907-1406-4

「公的な説得の技法」としてのレトリックを、政治、メディア、歴史、物語、イデオロギーなどさまざまな文脈（コンテクスト）においてコミュニケーション論的に批評する方法を紹介することにより、批判的（クリティカル）な「言語力」の養成を図る。

富永 茂樹 編

転回点を求めて——一九六〇年代の研究

四六判並製 / 358頁
2,750円 / 2009年 ㊦
978-4-7907-1401-9

東京オリンピック、三種の神器、ミニスカート、牛乳神話、『沈黙の春』、ポップ・ディラン……。『黄金の六〇年代』の舞台裏で、いったい何が終焉し、何が出現したのか。我々が今ある位置を知るために、転回点としての一九六〇年代を考察する。

石川 実著

ゼミナール

嫉妬と羨望の社会学

四六判並製 / 288頁
2,530円 / 2009年 ㊦
978-4-7907-1400-2

「嫉妬」の正体を社会的に解剖する！ 他者への関心から芽生える複雑な情動——。嫉妬・妬み・羨望の情動の生成から表面化までのメカニズムを、社会学的・社会心理学的な視角から体系的にさぐる試みを展開した注目の書。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ
シ
ェ
ン
タ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
思
哲
教
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学
芸
術

科
環
学
境

教
養
み
ら
い
選
書

こ
の
こ
の
み
ら
い
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
社
社
現
代
学
叢
書

社
会
学
ヘ
リ
ン
ス

政治 法律	池田 太臣 著	ゼミナール
経済	ホップズから「支配の社会学」へ——ホップズ、ウェーバー、パーソンズにおける秩序の理論	
社会	四六判並製/284頁 2,530円/2009年 978-4-7907-1399-9	支配(権力)の社会学の系譜を、脱ホップズの苦闘の歴史として跡づけ、マックス・ウェーバーの「支配論」とタルコット・パーソンズの「権力論」を辿りつつ、社会学にとって「支配」概念とは何だったのかに迫り、今後の課題を考察した意欲作。
メディア コミュニケーション センター	杉村 和彦 編	
人類学 民俗学	21世紀の田舎学——遊ぶことと作ること	
教育	四六判並製/290頁 2,200円/2009年 978-4-7907-1398-2	ないものねだりではなく、あるもの探しからスタートすること。古民家再生プロジェクト、匠の技を楽しむイベント、グリーンツーリズムなどの豊富な事例を紹介し、新しい「田舎」のあり方と、それを支える「学」を構想する。「遊作」への誘い。
心理	野々山 久也 編	
宗思想学	論点ハンドブック 家族社会学	
歴史	A5 判並製/382頁 2,750円/2009年 国 978-4-7907-1396-8	家族をめぐる諸現象を、社会学はどのように読み解くか——家族社会学の蓄積を、理論から実証まで、幅広く網羅し、精選された80項目のテーマに沿って簡潔明瞭に紹介する。家族に関心を持つすべての読者のための格好のレファレンス・ブック。
日本文学	ダダ・マヘシュヴァラナング 著/岩崎 信彦 監訳/松尾 光喜 訳	
外国語 芸術	資本主義を超えて——新時代を拓く進歩的活用理論(プラウト)	
環境学	四六判並製/312頁 2,200円/2009年 978-4-7907-1389-0	グローバル資本主義の問題性を鋭く考察し、地球的自然と人類の再生をめざすネオヒューマニズムと実践ビジョンを提起する、P. R. サーカーの思想を紹介した注目作。N. チョムスキーによる序文、J. ガルトゥングによるコラムも併せて収載。
教養 選書	片桐 新自 著	
こどもの みらい の 書	不安定社会の中の若者たち——大学生調査から見るこの20年	
日常を 拓く 知	四六判上製/246頁 2,640円/2009年 978-4-7907-1381-4	バブル経済、失われた十年、就職氷河期、格差社会——日本社会の不安定要素が劇的に大きくなったこの二十年間に、学生たちの意識や価値観はどう変化したのか。緻密なデータをもとに、気鋭の社会学者が繊細かつ大胆に論じる。渾身の意欲作。
世界思想社 ベジナス	アーノルト・ゲーレン 著/池井 望 訳	
社会学	人間——その性質と世界の中の位置	
社会学	A5 判上製/438頁 4,290円/2008年 978-4-7907-1378-7	自分とは何か? なぜ、人殺しをしてはいけないのか? なぜ、社会にノブレス・オブリージュが必要なのか? ——毒杯によって最期を全うしたソクラテス以来、現代も変わらぬわれわれの切実な問いに、明快に答える最も科学的な人間論。
社会学	今津 孝次郎 著	
社会学	人生時間割の社会学	
社会学	四六判上製/374頁 3,080円/2008年 978-4-7907-1378-4	社会学的見地から、「時間」をめぐる「個人」と「社会」の相関関係を考察し、現代人のライフサイクルやライフコースの捉え方を再検討する。世界に先駆けて超高齢社会に突入したわが国から、新たな問題提起を目指す意欲作。
社会学	早川 洋行・菅野 仁 編	学ぶ人
社会学	ジンメル社会学を学ぶ人のために	
社会学	四六判並製/324頁 2,530円/2008年 978-4-7907-1372-2	二十一世紀のジンメル社会学入門。ジンメルの生涯と主要著作をたどり、社会学史のなかにその思想を再定位し、新たなジンメル解釈の可能性を提示する。最新の研究成果を包含したジンメル社会学への招待。
社会学	佐藤 哲彦 著	ゼミナール
社会学	ドラッグの社会学——向精神物質をめぐる作法と社会秩序	
社会学	四六判並製/288頁 2,530円/2008年 国 978-4-7907-1369-2	マリファナ・覚醒剤・LSD・ヘロインなど薬物をめぐる作法はどのようなものなのか? それは、どのように形づくられてきたのか? 使用者自身のリアルな語りからその作法を浮き彫りにし、自由化運動と統制政策から社会秩序について考える。

池井 望・菊 幸一 編

「からだ」の社会学——身体論から肉体論へ

四六判並製/276頁
2,530円/2008年
978-4-7907-1345-6

スポーツ、ジェンダーから Wii、叶姉妹まで——人間のからだを、制度化した「身体」ではなく、生きている「からだ」=「肉体」と捉えることを出発点に、現代社会、そして人間について豊かな議論を展開。「身体」からの解放が拓く可能性を大胆に提言。

間瀬 啓允 編

公益学を学ぶ人のために

四六判並製/336頁
2,200円/2008年
978-4-7907-1335-7

みんなの役に立ち、みんなのためになる身近な公益活動や公益現象に学問の光をあて、現代社会のニーズに応える新学問《公益学》。その思想的側面、企業活動、科学（医療）技術、社会活動、国際社会の五つを切り口に、《公益学》の全体像にせまる。

北澤 毅・古賀 正義 編

質的調査法を学ぶ人のために

四六判並製/280頁
2,420円/2008年
978-4-7907-1333-3

「データは集めたけれど、どう分析すればいいの？」——エスノメソドロジーと社会構築主義をベースに、インタビュー、エスノグラフィー、会話分析、言説研究などの思考法と技法を解説。日常に埋め込まれている社会の構造を読み解く力を磨く。

高田 公理・堀 忠雄・重田 眞義 編

睡眠文化を学ぶ人のために

四六判並製/272頁
2,200円/2008年
978-4-7907-1330-2

豊かで楽しい眠りの世界へ！ 夢のコントロール技法、諸民族の夢理論、就眠儀礼、シエスタ文化、眠具、狸寝入り……。文系/理系の枠を超えたアプローチで、眠りの文化の全貌を明らかにし、新しい研究へと誘う。テーマ別文献リストつき。

高田 公理・嗜好品文化研究会 編

嗜好品文化を学ぶ人のために

四六判並製/258頁
2,200円/2008年
978-4-7907-1329-6

コーヒー・酒・たばこ・茶・チョコレートはもちろん、コーラ（西アフリカ）やカート（イエメン）、さらには香水・ハチミツ・音楽・ケータイまで、人を惹きつけるモノを解き明かす。遊びと楽しみを学問するための決定版入門書。文献リストつき。

宮下 晋吉 著

模倣から「科学大国」へ——19世紀ドイツにおける科学と技術の社会史

A5 判上製/446頁
3,740円/2008年
978-4-7907-1328-9

発明と特許の先願主義、コモンス、初の国立研究所、CSRの萌芽カール・ツァイス。国をあげた「模倣」による工業化、研究所など科学の組織化を通して世界一の「科学大国」へ。その過程を詳らかにし、世界の科学史研究にも一石を投じる意欲作。

玉野 和志 著

実践社会調査入門——今すぐ調査を始めたい人へ

四六判並製/236頁
2,200円/2008年
978-4-7907-1321-0

〈いつ〉〈どうすれば〉〈何が〉わかるのか——聞き取り調査・文書資料・サーベイ調査のノウハウとそれぞれの効果的な組み合わせ方を、社会調査全体の中に位置づけながらわかりやすく解説。今すぐ調査を始める人に最適な実践的テキスト。

坂部 晶子 著

「満洲」経験の社会学——植民地の記憶のかたち

四六判並製/270頁
2,530円/2008年 国
978-4-7907-1320-3

「満洲国」という植民地経験を題材に、植民者=日本人と被植民者=中国人の双方の多層的な語りから、彼らの生活世界の再構成を試みる。凍てつく大地で歴史のはざまを翻弄されてきた人びとの、記憶のエスノグラフィ。第17回橋本峰雄賞受賞！

山村 高淑・張 天新・藤木 庸介 編

世界遺産と地域振興——中国雲南省・麗江にくらす

A5 判並製/200頁
2,200円/2007年
978-4-7907-1302-9

地域振興のツールとしての「世界遺産登録」と「観光開発」の可能性と問題点を現地資料や住民の生の声を詳細に分析することで明らかにし、真の地域振興とは何か、そして地域社会がこの諸刃の剣を自律的にコントロールしてゆくための途を考える。

政法
治律

経
済

社
会

メ
ディ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ

ジ
ェ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
教
哲
学

教
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
語
文
学

科
環
学
境

教
養
選
書

こ
の
ま
い
ら
の
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
社
想
叢
書

社
会
学

政治 法律	小野 善邦 編 グローバル・コミュニケーション論 ——メディア社会の共生・連帯をめざして	
経済	A5 判並製 / 376頁 3,080円 / 2007年 978-4-7907-1297-8	コミュニケーション技術の進歩により、地球全体は巨大なネットワークで結ばれた。では、マクルーハンの構想が現実化した世界はどんな光景か？ 各人がグローバル・リテラシーを身につけ、グローバリゼーションの大潮流に向かう力を得るために。
社会	荒木 光彦 監修 技術者の姿 ——技術立国を支える高専卒業生たち	
メディア コミュニケーション センター	四六判並製 / 228頁 1,760円 / 2007年 978-4-7907-1293-0	ロボコンでおなじみの「高専」。だが、その実態はあまり知られていない。現代日本の技術現場を支えているのは、ほかならぬ高専卒業生であることが本書で明らかにする。各界で活躍する高専卒業生たちの素顔、企業人からのメッセージなども収録。
人類学 民俗学	伊奈 正人・中村 好孝 著 社会学的想像力のために ——歴史的特殊性の視点から	
教育	四六判並製 / 344頁 2,530円 / 2007年 978-4-7907-1289-3	ミルズの書物を離れ独自の問題領域をつくり出しつつある「社会学的想像力」という思考方法について再検討を加え、11個のピボット＝考察の軸足となる論点から整理、社会学的想像力の、「ためにならない」解釈を質し、その今日的意味を考える。
心理	玉井 金五・大森 真紀 編 〔三訂〕 社会政策を学ぶ人のために	学ぶ人
宗 教 思想学	四六判並製 / 296頁 2,310円 / 2007年 978-4-7907-1278-7	グローバル化と少子高齢化のうねりのなかで仕事と暮らしをいかに創造していくべきか。二一世紀において社会政策が担うべき役割を「雇用」「社会保障」「生活」の三領域から問い直し、ワーク・ライフ・バランスの近未来像を追求する。
歴史	横田 恵子 編 解放のソーシャルワーク	セミナー
日本語 日本文学	四六判並製 / 242頁 2,420円 / 2007年 978-4-7907-1270-1	日本のソーシャルワーク実践・教育が抱える根幹の問題を多元的かつラディカルに論じ、市民社会から認知される援助理論・実践に向けて示唆や提言を行う。日本とオーストラリアのクリティカル・ソーシャルワーク研究者による国際的共同研究。
外国語 外国文学 芸術	黄 順姫 著 同窓会の社会学 ——学校の身体文化・信頼・ネットワーク	
環 境 学 境	四六判上製 / 256頁 2,200円 / 2007年 〔Ⅱ〕 978-4-7907-1264-0	学校の身体文化と記憶は卒業後の人生になにをもたすのか。記憶の信頼とノスタルジアをもとにネットワーク、社会的資本を形成する同窓会。学校教育というものの持つ、より深く本質的な意味を描き出す意欲作。
教養 読書	葛西 賢太 著 断酒が作り出す共同性 ——アルコール依存からの回復を信じる人々	
こころ の 書	四六判並製 / 240頁 2,200円 / 2007年 〔Ⅱ〕 978-4-7907-1260-2	「治癒はないが、回復はある」——アルコール依存症は治らない。何十年、酒を断っても、一口飲めば元どおり。米国生まれの断酒セルフヘルプグループ「アルコールリクス・アノニマス」の仲間たちは、そこからどのようにして回復へと踏み出すか。
日常 を 拓く 知	田中 耕一・荻野 昌弘 編 社会調査と権力 ——〈社会的なもの〉の危機と社会学	
世界 思想 書	A5 判上製 / 242頁 3,960円 / 2007年 〔Ⅱ〕 978-4-7907-1256-5	社会調査の本質とは何か——福祉国家の終焉、グローバリゼーション、個人化、リスク社会……〈社会的なもの〉のリアリティが急速に失われつつある現代社会において、社会調査のもつ意味を問い、いま求められる実践としての知のありかたを探る。
社会 学	近森 高明 著 ベンヤミンの迷宮都市 ——都市のモダニティと陶酔経験	
ベ ジ ン ス	四六判上製 / 292頁 3,080円 / 2007年 978-4-7907-1250-3	遊歩者が街路に迷い、陶酔するとき、抑圧された都市が、無気味な〈迷宮〉として帰還する。ベンヤミンのテクストの再解釈を通じて、「観察者」と「陶酔者」のはざまに、精神分析と都市論の理論的接合を試みる。第16回橋本峰雄賞に輝いた意欲作。

二階堂 裕子 著

民族関係と地域福祉の都市社会学

A5 判上製/264頁
3,850円/2007年
978-4-7907-1233-6

大阪市生野区における在日韓国・朝鮮人と日本人の民族関係をもとに、民族を超えた連帯と都市コミュニティ再生の可能性、そして来るべき「多民族・多文化社会」のあり方を探究する。日本都市社会学会若手奨励賞・地域社会学会奨励賞受賞。

倉島 哲 著

身体技法と社会学的認識

A5 判上製/306頁
3,960円/2007年 ㊦
978-4-7907-1232-9

「技を身に付ける」とはどういうことか？ プルデュールの実践理論、エスノメソドロジー、状況的学習論、わざ言語論、暗黙知理論、モースの身体技法論……社会学的身体論を整理。その成果を、4年間にわたる武術教室のフィールドワークで実証。

太郎丸 博 編

フリーターとニートの社会学

四六判並製/228頁
2,090円/2006年
978-4-7907-1221-3

フリーターとニートの問題は、これまで教育や経済の分野で論じられてきた。本書では、社会移動、社会的ネットワーク、ジェンダー、生活意識、労働観など、社会学の知見を駆使してこれまで見落とされてきた事実を拾い上げ、若年者の実態に迫る。

片桐 雅隆 著

認知社会学の構想——カテゴリー・自己・社会

四六判上製/254頁
2,530円/2006年
978-4-7907-1203-9

社会の消失と社会学の再構築——社会が個人化し、集団や組織など既存概念の自明性が解体しつつあるいま、カテゴリー化の作用に焦点を当てつつ、自己と社会の成り立ちを根本的に問いなおし、社会学理論を鍛えなおす。

恩田 守雄 著

互助社会学——ユイ、モヤイ、テツダイの民俗社会学

A5 判上製/520頁
4,180円/2006年
978-4-7907-1198-8

かつて日本の村落社会で多く見られたユイ、モヤイ、テツダイといった互助行為と、それに基づく互助社会について、膨大な歴史・民俗的資料や緻密なフィールドワークによって捉え直し、そこから現代のボランティア社会のあり方を模索する。

佐伯 年詩雄 著

現代スポーツを読む——スポーツ考現学の試み

四六判並製/360頁
2,420円/2006年
978-4-7907-1197-1

近代スポーツから現代スポーツへ。その転換の過程で生じた高度化と大衆化に分裂する膨張のベクトル、そしてテクノロジーのイノベーション。現代スポーツに潜む本質的な課題と希望の可能性をスポーツの文化的存在論から探る。

加茂 陽 編

被虐待児童への支援論を学ぶ人のために

四六判並製/304頁
2,200円/2006年 ㊦
978-4-7907-1193-3

子どもを虐待してはならない、絶対に！ 誰もがそう思っていて、なぜ悲惨な事態が繰り返されるのか。本書は、被虐待児童への支援の理論と実践について具体的かつ詳細に議論することで、学問としての支援論を学習する方向性を明らかにする。

三浦 耕吉郎 編

構造的差別のソシオグラフィ——社会を書く／差別を解く

A5 判上製/348頁
3,960円/2006年
978-4-7907-1182-7

人が差別をするのではない、人の置かれた社会的立場性が差別をなさしめるのである——社会において人びとが互いに取り結ぶ複雑な関係性を仔細に観察しつつ記述することで、これまで社会学的认识から洩れ落ちてきた〈関係性の間隙〉を活写する。

進藤 雄三 著

近代性論再考——パーソンズ理論の射程

四六判並製/250頁
2,200円/2006年
978-4-7907-1180-3

「近代性の理論家」としてのパーソンズの業績の総体と、その再解釈のための見取り図を提示し、緻密なテキストクリティークを介することにより、ポストモダンの知的状況におけるパーソンズ社会学理論の持つ意味を解き明かし、その可能性を探る。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ

シ
エン
ター

人
類
学

教
育

心
理

宗
教
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学

科
環
学
境

学
ぶ
人

教
養
み
らい

こ
ども
の
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
社
会

社
会
学

政治 法律	平 英美・中河 伸俊 編	ゼミナール
経済	〔新版〕 構築主義の社会学 ——実在論争を超えて 四六判並製／380頁 2,530円／2006年 978-4-7907-1177-3	エンピリカルな構築主義プロジェクトの再興へ——新たな調査研究の実例を紹介し、エスノメソドロジーやルーマンとの対話を手がかりに、構築主義論争の決着を提示する。最新の動向を踏まえて、構築主義的研究の将来像を探る、待望の新版。
社会	岩崎 信彦・廳 茂 編	ゼミナール
メディア コミュニケーション ジェンダー	『貨幣の哲学』という作品——ジンメルの価値世界 四六判並製／304頁 2,530円／2006年 978-4-7907-1170-4	天性の重層的・複眼的視点による自在な語り口により、極めて難解、そして真に深い思想的含蓄をもつとされる『貨幣の哲学』の解説という難業に、思想史的及び受容史的コンテクスト論を組み入れ取り組んだ、現代ジンメル研究者による貴重な成果。
人類学	細谷 昌志 編	学ぶ人
民俗学	異文化コミュニケーションを学ぶ人のために 四六判並製／296頁 2,530円／2006年 978-4-7907-1163-6	グローバル化が進む一方で言語や宗教、民族性に根ざした地域研究が欠かせない今日、多様な異文化接触の具体的・個別的事例を比較探究することにより、外国語教育・研究の目的である「異文化インターフェイスする能力」の基盤を明らかにする。
教育	荻野 昌弘 著	
心理	零度の社会 ——詐欺と贈与の社会学 四六判上製／214頁 2,200円／2005年 国 978-4-7907-1148-3	社会の原点としての詐欺——道徳や規範、イデオロギーから限りなく遠ざかることで社会の原点に立ち返る。不確定性に満ち、ときに暴力が噴出する世界から秩序が生まれる瞬間をとらえ、社会の成り立ちを考察する。新しい社会学理論構築の試み。
宗 教 哲 学	北澤 裕 著	
歴史	視覚とヴァーチャルな世界 ——コロンブスからポストヒューマンへ 四六判上製／356頁 3,080円／2005年 国 978-4-7907-1141-4	絵画からサイバースペースまで視覚社会発展の歴史的経緯を追ひ、見ることの意味の変遷を探る。われわれの眼は何を見てきたのか。ヴァーチャルな世界が一人歩きする現代において、何を見ているのか。ヴィジュアル・スタディーズの緒たる一冊。
外国語 文学	上杉 富之 編	ゼミナール
環 境 学	現代生殖医療 ——社会科学からのアプローチ 四六判並製／282頁 2,420円／2005年 978-4-7907-1121-5	「生殖革命」を捉え直す——「試験管ベビー」の誕生から四半世紀。先端的な生殖医療がもたらす諸問題を俯瞰し、それが社会や文化におよぼす影響について医学・法学・社会学・人類学・ジェンダー研究など、学際的・超領域的な視点から再検討する。
宗教 学	河原 和枝 著	
宗教 学	日常からの文化社会学 ——私らしさの神話 四六判上製／274頁 1,980円／2005年 国 978-4-7907-1120-9	ファッション、通販、フィットネス、女性スポーツといった現代の身近な文化現象から、大正・昭和初期の文学における「童心」やユートピア思想、そして「怪人二十面相」の魅力までを、日常感覚と自己省察に根ざすしなやかな視線でとらえる。
外国語 学	橋本 茂 著	ゼミナール
環 境 学	交換の社会学 ——G・C・ホーマンズの社会行動論 四六判並製／294頁 2,530円／2005年 978-4-7907-1112-4	社会構造はいかにして発現・維持・革新されるのか——社会行動を報酬あるいはコストの交換としてとらえ、小集団の水準から社会の成り立つしくみを体系的に説明するホーマンズの交換理論を平明かつ明晰に読み解いた好著。マイクロ社会学への誘い。
世界思想 史	宝月 誠・進藤 雄三 編	
社会 学	社会的コントロールの現在 ——新たな社会的世界の構築をめざして A5 上製／496頁 6,160円／2005年 978-4-7907-1108-7	現代社会の様々な領域に見出されるソーシャル・コントロールの諸相に着目し、そのメカニズムを分析することによって、不透明で不確実な時代を描出する。来るべき社会の構想のために、二七名の気鋭の執筆陣が、多様な社会学的知見を呈示する試み。

中村 治 著

あのころ 京都の暮らし——写真が語る百年の暮らしの変化

A5 判並製/166頁
1,650円/2004年
978-4-7907-1095-0

現代は物があふれ、ずいぶん便利になったが、自然環境や地域共同体との関わり方、子どもたちの世界はすっかり様変わりし、さまざまな問題が生じている。京都の人々が保存していた古写真約60枚を、そうした問題について考える材料として提供する。

瀬沼 克彰・蘭田 碩哉 編/日本余暇学会 監修

学ぶ人

余暇学を学ぶ人のために

四六判並製/244頁
2,090円/2004年
978-4-7907-1090-5

“近代の後（ポストモダン）”の生活と社会が模索される中、あらためて日本の余暇の伝統を回復し、労働と余暇の新しい関係を構築する＝ライフスタイルをデザインし直すことが求められている——この大きな課題に向けた「総合的余暇学」の試み。

関口 英里 著

現代日本の消費空間——文化の仕掛けを読み解く

四六判並製/226頁
1,760円/2004年 国
978-4-7907-1084-4

日本において消費社会が成熟した1980年代に注目し、クリスマス・バレンタインデー・ハロウィン、東京ディズニーランド、百貨店屋上、ホテルなど、都市の文化装置から日本におけるアメリカ文化の受容と再構築をめぐるメカニズムを検証する。

好井 裕明・三浦 耕吉郎 編

セミナー

社会学的フィールドワーク

四六判並製/270頁
2,090円/2004年
978-4-7907-1043-1

具体性から遊離することなく、調査から得られた情緒や実感を殺すことのないフィールドワークは可能か？ 調査する「わたし」の営みと、それを変容させていく「現場」のちからと抵抗のせめぎあいを読み解き、フィールドワークの可能性を探る。

中 久郎 編

戦後日本のなかの「戦争」

A5 判並製/364頁
3,080円/2004年
978-4-7907-1034-9

「人間にとって戦争とは何か」——戦後の「平和」な日本社会にあって、様々に語り継がれ想起もされ、また体験の思想化や文学化などによって戦後の社会のなかに持続されてきた「戦争」を社会学の視座から問い直したユニークな論集。

黄 順姫 編

W杯サッカーの熱狂と遺産——2002年日韓ワールドカップを巡って

A5 判並製/202頁
1,980円/2003年 国
978-4-7907-1026-4

全世界をつつんだ興奮——日韓 W 杯催は、双方の社会の何を映し出し、何を残したのか。余韻さめやらぬ2002年 FIFA ワールドカップの遺産に、身体文化、メディア、時空間の政治学などの視点から、日韓の社会学者たちが挑戦する。

岡村 圭子 著

セミナー

グローバル社会の異文化論——記号の流れと文化単位

四六判並製/224頁
1,980円/2003年
978-4-7907-1008-0

グローバル化は文化の多様性を踏みこむだけなのか。さまざまな差異を抱えながらも、いかにして文化はひとつのユニットとして成立しているのか。新たな異文化論を求めて、これらの問題に社会情報学的な視座から迫る。

小谷 敏 編

セミナー

子ども論を読む

四六判並製/288頁
2,200円/2003年
978-4-7907-0999-2

理想と権威の崩壊。果てしなく進む私化と家族幻想の肥大、そして成熟の喪失。様々な分野の知性が、「山びこ学校」から教育改革論議まで子ども言説の変容をたどりつつ、戦後日本の実相を浮かび上がらせる。子どもたちの行方を問う野心的論集。

松田 恵示 著

おもちゃと遊びのリアル——「おもちゃ王国」の現象学

A5 判並製/240頁
2,090円/2003年 国
978-4-7907-0997-8

おもちゃの魅力とは何か。おもちゃで遊ぶとは何なのか。おもちゃと人をつなぐ空間とまなざしの意味を探り、「人間」「モノ」「遊び」「社会」をめぐる関係性を描き出した、「おもちゃ王国」というテーマパークにおけるフィールドノート。

政法
治律

経
済

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ
シ
ェ
ン
タ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
思
哲
教
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
語
文
学
芸
術

科
環
学
境

教
養
み
ら
い
選
書

こ
い
ま
の
み
ら
い
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
社
社
現
代
学
叢
書

社
会
学
ベ
シ
ン
ス

政法 治律	上田 正昭 監修／芳賀 徹・富士谷 あつ子 編	学ぶ人
経 済	四六判並製／352頁 2,530円／2002年 国 978-4-7907-0959-6	京都学を学ぶ人のために
社 会	上野 征洋 編	学ぶ人
メディア コミュニケーション センター	四六判並製／338頁 2,530円／2002年 978-4-7907-0955-8	文化政策を学ぶ人のために
人類学 民俗学	富野 幹雄・住田 育法 編	学ぶ人
教 育	四六判並製／248頁 2,420円／2002年 978-4-7907-0952-7	ブラジル学を学ぶ人のために
心 理	鮎川 潤 著	ゼミナル
宗 思 哲 教 想 学	四六判並製／288頁 2,090円／2002年 978-4-7907-0944-2	〔新版〕少年非行の社会学
歴 史	大村 英昭 著	非行のリアリティ——「普通」の男子の生きづらさ
日本 文学	四六判上製／250頁 2,200円／2002年 978-4-7907-0934-3	非行をめぐる近年のマスコミ論調や世論における思い込みを、著者一流のみごとなデータの解説と明晰な分析によって撃ち、引きこもりや不登校等の背後にひそむ問題を喝破する。二十余年にわたるロングセラー『非行の社会学』の全面改訂版。
外国語 芸術	亀山 佳明・富永 茂樹・清水 学 編	文化社会学への招待——〈芸術〉から〈社会学〉へ
環 境	四六判上製／344頁 2,200円／2002年 978-4-7907-0928-2	芸術は社会学に何を語るのか。社会学は芸術から何を学べるのか。小説・映画・マンガ・日記など、さまざまな芸術作品を社会学の視点から読み解き、遊びやジェンダー、歴史や記憶などのかたちを、物語のなかに探り出す。
教養 の 書	原田 達 著	鶴見俊輔と希望の社会学
こころ の 書	四六判上製／260頁 2,200円／2001年 国 978-4-7907-0907-7	文化的支配階級に生まれた「マゾヒスティックな知識人」鶴見俊輔の視線の先には、日常を生きる「ふつうの人びと」の姿があった——「仮託の思想家」鶴見俊輔の軌跡を辿り、その個人史のなかに戦後日本におけるひとつの知識人の形を描き出す。
日 知	田所 清克 著	ゼミナル
世界 思想 社	四六判並製／242頁 2,090円／2001年 978-4-7907-0898-8	ブラジル学への誘い——その民族と文化の原点を求めて
社 会 学	居安 正・副田 義也・岩崎 信彦 編	ゼミナル
		21世紀への橋と扉——展開するジンメル社会学
	四六判並製／272頁 2,090円／2001年 国 978-4-7907-0880-3	100年前、『貨幣の哲学』によって世紀をつないだジンメル。気鋭のジンメル研究者たちが、個人主義、貧者、都市、貨幣、宗教など、各々のこだわりをもってジンメル理論の今日的解析力を検証し、そのなかに21世紀へのメッセージをさぐる。

居安 正・副田 義也・岩崎 信彦 編

ゼミナル

ゲオルク・ジンメルと社会学

四六判並製/280頁
2,090円/2001年 国
978-4-7907-0879-7

ジンメルは、社会学にとって何者だったのか、そして何者になるのか——。気鋭の執筆陣が、多面性と流動性をもったジンメルの思想と論理を読み解き、それぞれの興味に即してその価値のある部分を切り出しながら集成した書。付・文献目録

松田 恵示 著

交叉する身体と遊び——あいまいさの文化社会学

四六判上製/240頁
2,420円/2001年 国
978-4-7907-0872-8

マジメでなければならなかった近代以降の身体は、その枠組みのなかにはおさまりきらず、遊びを取り入れることによって、あいまいさのなかで絶妙なバランスを保っている。身体と遊びとがまじりあうさまざまな場面をユニークな視点で読み解く。

A. L. ストラウス 著/片桐 雅隆 監訳

ゼミナル

鏡と仮面——アイデンティティの社会心理学

四六判並製/250頁
2,420円/2001年 国
978-4-7907-0864-3

人は、他者という鏡に映った自己を見つ、仮面を着脱する。アイデンティティ・言語・メンバーシップ・記憶・歴史などをキーワードとする構築主義的なシンボリック相互行為論の展開。本書は、ストラウス社会心理学の先駆的名著である。

井上 俊 著

スポーツと芸術の社会学

四六判上製/208頁
2,090円/2000年 国
978-4-7907-0846-9

「芸術」型文化としてのスポーツ——多様化していくスポーツのなかに潜む社会的・文化的意味を問いかけながら、スポーツ・武道・芸術・物語をつなぐユニークな視点に立つ、文化社会学の可能性を探る試み。スポーツと芸術との類縁性とは？

大村 英昭 編

学ぶ人

臨床社会学を学ぶ人のために

四六判並製/280頁
1,980円/2000年 国
978-4-7907-0823-0

「今、ここ」の生活世界において、誰もが日々体験している具体的な現場、個人的な経験に即した、実践的な社会学としての臨床社会学の目が、いま求められている。医療・家族・宗教・教育などへのさまざまなアプローチの仕方を紹介する。

A. R. ホックシールド 著/石川 准・室伏 亜希 訳

管理される心——感情が商品になるとき

A5 判上製/338頁
3,190円/2000年 国
978-4-7907-0803-2

乗客に微笑む客室乗務員。債務者の恐怖を煽る集金人。彼らは肉体労働者や頭脳労働者であるまゝに感情労働者である。丹念なインタビューをもとに、感情を売り買いつける時代の「心」のあり方を探究する。感情社会学のバイブル、ここに完訳。

小笠原 真 著

ゼミナル

日本社会学史への誘い

四六判並製/300頁
2,750円/2000年 国
978-4-7907-0800-1

日本社会学の歴史的發展を、フェノロサをプロローグに置き、米田庄太郎、高田保馬、戸田貞三、松本潤一郎、鈴木栄太郎、有賀喜左衛門、新明正道の順にとり上げ、彼らの独創的な研究業績を簡明に紹介する。社会学を学ぶ人のための必読の書。

阪本 俊生 著

ゼミナル

プライバシーのドラマトゥルギー——フィクション・秘密・個人の神話

四六判並製/308頁
2,420円/1999年 国
978-4-7907-0780-6

個人をフィクション化しようとする社会と、それに抵抗する個人とのあいだに交わされる果てしなき闘争のドラマトゥルギー。ゴフマン、ベイトソンを援用し、侵害のまなざしという視点からプライバシーの意識と感情を徹底的に解明する。

進藤 雄三・黒田 浩一郎 編

学ぶ人

医療社会学を学ぶ人のために

四六判並製/320頁
2,420円/1999年 国
978-4-7907-0777-6

現代医療を社会学はどう捉えるのか——基礎的知識の提供のみならず、その理論的、実践的な可能性の追求を試みる最新の成果をも収録。保健や医療をめぐる現象への社会学独自のアプローチを目指して編まれた、本邦初のスタンダード・テキスト。

政法
法律

経
済

社
会

メ
ディア
マ
ス
コ
ミ
ニ
シ
ン
タ
ー

シ
ン
タ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
教
哲
学

教
学
史

日
本
文
学

外
国
文
学

科
環
学
境

選
書

教
養
書

こ
の
ま
い
し

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社

社
会
学

政法 治律	伊奈 正人 著	ゼミナール
経 済	サブカルチャーの社会学 四六判並製/264頁 2,090円/1993年 978-4-7907-0773-8	「サブカルチャーのサブカルチャー」という視点から、「老人」「障害者」「女性」「外国人」「イナカモノ」などを排除する「サブカルチャー」の“暗黙の前提”を照射し、「バリアフリーなサブカルチャー」の可能性を描き出す。
社 会	内海 成治・入江 幸男・水野 義之 編	学ぶ人
メディア コミュニケーション ジェンダー	ボランティア学を学ぶ人のために 四六判並製/304頁 2,420円/1993年 978-4-7907-0772-1	阪神・淡路大震災を機にボランティア活動は身近なものとなった。本書は、災害救援だけでなく、社会福祉、開発支援等きわめて多岐にわたるボランティア活動の全般について、その思想的背景、現状、動向、課題を示し、将来の方向性を提案する。
人類学 民俗学	中河 伸俊 著	ゼミナール
教 育	社会問題の社会学——構築主義アプローチの新展開 四六判並製/344頁 2,750円/1993年 国 978-4-7907-0750-9	社会学は何を調べ、何を探索するのか——社会問題を“人びとの営み(活動)”ととらえ、従来とは異なるアプローチをとる構築主義の研究手法を、「有害マンガ」問題といった事例研究を交えてわかりやすく紹介する。
心 理	岡原 正幸 著	ゼミナール
宗 教 哲 学	ホモ・アフェクトス——感情社会的に自己表現する 四六判並製/292頁 2,530円/1998年 978-4-7907-0736-3	歓喜・悲嘆・憎悪・羞恥・自尊・感謝・侮蔑・恐怖・憐憫…感情を伝える、パンク=ダダの社会的実験。抑圧的感情管理を越えて、表現されない感情に声を与え、そこに力を吹き込み、自律した感情生活を自分の手で築きあげたい人々のために。
歴 史	黄 順姫 著	
日 本 文 学	日本のエリート高校——学校文化と同窓会の社会史 A5 判上製/276頁 3,080円/1998年 978-4-7907-0730-1	学校文化への新たな視点を導入し、福岡県下の名門高校を対象とした11年間にもわたる調査に基づいて、エリートの身体文化が形成・変革・継承される過程をエスノグラフィの手法で描き出す。韓国日本学会賞(学術賞)受賞。
外 国 文 学 芸 術	日本スポーツ社会学会 編	
科 環 学 境	変容する現代社会とスポーツ A5 判並製/276頁 2,750円/1998年 国 978-4-7907-0723-3	スポーツは世界を変える——政治・経済・文化など、あらゆるものがグローバル化するなかで、「スポーツ」の意味が再び問われはじめた。世界各国の第一線研究者たちが京都に集い、熱く語ったスポーツの行方とは。
教 養 書	柿本 昭人・嶋守 さやか 著	ゼミナール
こ れ ぞ こ の み し の 書	社会の実存と存在——汝を傷つけた槍だけが汝の傷を癒す 四六判並製/222頁 2,090円/1998年 978-4-7907-0707-3	社会学——それは社会の実存可能性を隠蔽するものである。社会学が自明の前提とする「社会」なるものは、根拠を持って〈実存〉せず、いかなる根拠も持たない空虚な縁取りとしてのみ〈存在〉する。学としての社会学の存立を問う意欲的試み。
日 常 を 拓 く 知	宮原 浩二郎・荻野 昌弘 編	ゼミナール
世 界 思 想 社	変身の社会学 四六判並製/264頁 2,530円/1997年 国 978-4-7907-0682-3	詐欺師・フィクション中のヒーロー・主婦・躁鬱の人——周囲を驚かす突然の変わり身を分析し、新しい存在論としての社会学を提示する。同時に、いささか硬直化した感のある社会学そのものの変身をも志す。
社 会 学	伊東 俊太郎 編	学ぶ人
ベ ジ ン ス	比較文明学を学ぶ人のために 四六判並製/318頁 2,420円/1997年 978-4-7907-0655-7	21世紀に向けて希望の未来を語るためには、地球上に存在する諸文明の相互理解を進め自然との共生を図る叡知が求められる。本書は、人類のゆくえを視野に入れた巨視的な観点から、比較文明学という新しい「知」の形成と役割について考える。

J.リーヴァー 著／亀山 佳明・西山 けい子 訳

ゼミナール

サッカー狂の社会学——ブラジルの社会とスポーツ

四六判並製／322頁
2,456円／1996年
978-4-7907-0611-3

世界最大のスポーツ・スペクタクル・イベントといわれるワールドカップ（W杯）を四度にわたって制覇したブラジル。なぜブラジルのサッカーはこんなに強いのだろうか。この疑問に「社会学」という視点から答えようとした貴重な一冊。

藤本 和貴夫 編

学ぶ人

ロシア学を学ぶ人のために

四六判並製／284頁
2,082円／1996年 国
978-4-7907-0583-3

新生ロシアとの率直な対話が求められている。ロシアが現在どのような状況におかれており、またどのような選択をしようとしているのか。本書は、隣国ロシアを考察するための知の体系としての「ロシア学」の構築を試みるものである。

山口 修・齋藤 和枝 編

ゼミナール

比較文化論——異文化の理解

四六判並製／270頁
2,082円／1995年
978-4-7907-0569-7

言語、音楽、遊び、芸能、宗教、都市、女性史といったテーマを手がかりに、人間の文化がいかに多様性にみちているか、文化がいかにさまざまに解釈し得るか、また比較文化論がいかに多彩な展開の可能性を秘めているかを明らかにする。

松本 通晴・丸木 恵祐 編

ゼミナール

都市移住の社会学

四六判並製／260頁
2,082円／1994年 国
978-4-7907-0508-6

現代日本の変貌期に焦点をあて、地方村落出身者の出郷の論理と心情、都市への定着過程、人口の還流あるいは帰郷現象について、村落・都市の構造連関の社会的視角から捉える我が国において初めての組織的な研究成果である。

メディア・マスコミ



林 香里・田中 東子 編

ジェンダーで学ぶメディア論

四六判並製
2023年（近刊）
978-4-7907-1778-2

「ジェンダー」のレンズを通して現代の情報化社会をとらえると、これまで取り残されてきた多くの問題が見えてくる。インターネット空間、マスメディアからメディア文化論まで、メディア論の基礎をジェンダーの視点から学ぶ画期的テキスト。

三砂 慶明 編

電子版あり

本屋という仕事

四六判並製／216頁
1,870円／2022年
978-4-7907-1770-6

本に込められた熱が読者を温める。本を囲んで人は集まる。本屋は焚き火である。本棚の耕し方、お客様との対話、マネジメント…。仕事に何を求め、個性をどう生かし、どんな仕事をつくっているのか。全国18人の書店員が語る、働くことと生きること。

デビッド・バックingham 著／水越 伸 監訳／時津 啓・砂川 誠司 訳

メディア教育宣言

四六判並製
2023年（近刊）
978-4-7907-1767-6

ネットに流れるフェイクにどう立ち向かうのか？一人ひとりが批判的に考えるしかない。どうすればそうできる？メディア教育の第一人者である研究者が、デジタル資本主義時代のメディアリテラシー教育の原理、方法、実践を熱く語る。解説・水越伸。

木下 浩一 著

電子版あり

テレビから学んだ時代——商業教育局のクイズ・洋画・ニュースショー

四六判上製／248頁
3,520円／2021年
978-4-7907-1761-4

テレビ朝日・毎日放送テレビ・読売テレビは、かつて教育テレビだった。本放送開始後ほどなく、強い批判にさらされていた1950年代の民放テレビ。新たに開局する教育テレビに課せられた課題とは何だったのか。番組づくりの“苦闘”を活写する。

政法
治律

経
済

社
会

メ
ディ
ア
マ
ス
コ
ミ

ジ
ェ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
思
哲
教
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学

科
環
学
境

教
養
み
ら
い
の
叢
書

こ
の
ち
の
こ
の
ち

こ
の
ち
の
ち

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
社
会

社
会
学

政治 法律	浪田 陽子・福岡 良明 編	
経 済	A5 判並製／288頁 2,640円／2021年 978-4-7907-1747-8	メディア研究の基本的事柄を押さえた上で、具体的な研究例を幅広く紹介。初めて学ぶ人からゼミや卒業論文の研究テーマを探す人まで、基礎的事項を確認し応用へとつなげるヒントを提示——社会状況の変化を踏まえ内容を再考・精選、リニューアルした第2版。
社 会	石田 佐恵子・岡井 崇之 編	基礎ゼミ (電子版あり)
メディア /マス /コミュニケーション	基礎ゼミ メディアスタディーズ	
ジェンダー	A5 判並製／212頁 2,090円／2020年 978-4-7907-1741-6	ネットは「みんなの声」を伝えているか。ジェンダー表現は炎上しがちか。さまざまな問いと適切な方法を通じ、メディアの特性や社会の仕組みにせまる。自分で読むのはもちろん、調べ、考えたことを書き、話すことで、研究のコツがつかめる入門書。
人類学	渡辺 武達・金山 勉・野原 仁 編	
民俗学	メディア用語基本事典 〔第2版〕	
教育	四六判並製／368頁 2,970円／2019年 978-4-7907-1732-4	メディアを使いこなす情報発信する基礎知識としてのメディア・リテラシーを身につけていただくためにメディアとジャーナリズム、コミュニケーションの実状と研究動向を今日の視点でとらえた総合的かつハンディな、読み事典——好評書の全面改訂版。
心理	逸村 裕・田窪 直規・原田 隆史 編	学ぶ人
宗 教 哲 学	図書館情報学を学ぶ人のために	
思想	四六判並製／256頁 2,640円／2017年 978-4-7907-1695-2	人類の知識を、本という形で今に伝える図書館。未来に伝える知識のカチはデジタル時代にどう変容するのか？ 図書館情報学を「知識の伝達と共有」という視座で新たに捉え直し、その魅力を多面的に解説した、まったく新しい入門書。
歴 史	津田 正太郎 著	
日本 文学	メディアは社会を変えるのか——メディア社会論入門	
外国 文学	A5 判並製／266頁 2,750円／2016年 978-4-7907-1680-8	戦争、都市、原発など、メディアと社会の様々な接点と、マスコミュニケーション理論から、複雑な現代社会のとらえ方をわかりやすくレクチャー。「学問」としてのメディア研究のおもしろさをまっすぐに伝える入門書。
芸 術	富田 英典 編	
環 境	ポスト・モバイル社会——セカンドオフラインの時代へ	
学 境	A5 判並製／294頁 3,960円／2016年 978-4-7907-1677-8	スマート化がもたらす“オフラインの再発見”——モバイルメディアの登場は、人々の暮らしに歴史的変化をもたらした。スマートフォンの普及により、今、再び大転換期が訪れている。第一線の研究者がモバイル社会の過去・現在・未来を考える。
教 養 書	渡辺 武達・田口 哲也・吉澤 健吉 編	セミナー
選 書	メディア学の現在 〔新訂第2版〕	
叢 書	四六判並製／312頁 2,530円／2015年 〔Ⅲ〕 978-4-7907-1661-7	私たちの社会観の形成にきわめて大きな役割を果たすメディア——激変しつつある現代社会においてその占める位置を認識し、学問的立場からメディアの世界にかかわろう、知ろうとする若い人たちに向けて。理論的、かつ実証的な入門書。
日 常 を 拓 く 知	伊藤 守・岡井 崇之 編	
現 世 想 社	ニュース空間の社会学——不安と危機をめぐる現代メディア論	
社 会 学	A5 判並製／294頁 2,750円／2015年 978-4-7907-1651-8	モバイルメディアの発達により遍在化・断片化するニュースが、様々な「危機」を伝えるたびに、私たちは漠然とした「不安」を抱く。世界的な経済危機や3.11を経て、今、メディアと私たちの関係はどうなっているのか？ 多様な視点から明らかにする。
ベ ジ ン ス	伊藤 明己 著	
	メディアとコミュニケーションの文化史	
	A5 判並製／272頁 2,530円／2014年 978-4-7907-1628-0	メソポタミア文明の文字から現代のインターネットまで、人間が生み出した様々なメディアは、コミュニケーションを広げ、豊かな文化を形成してきた。その歴史をわかりやすく解説し、メディア論の視点から、よりよい未来の在り方を考える入門書。

日高 勝之 著

昭和ノスタルジアとは何か——記憶とラディカル・デモクラシーのメディア学

四六判上製/536頁
4,070円/2014年
978-4-7907-1626-6

映画、テレビ、音楽、雑誌等に現れる《昭和ノスタルジー》は、単純な懐古にすぎないのか。メディア表象や言説の詳細な検証を通して通説に挑み、背後に隠れたモダンティへの抵抗、戦後の「光」と「闇」を炙り出す斬新な戦後文化論の誕生。

金山 勉・津田 正夫 編

ネット時代のパブリック・アクセス

四六判並製/342頁
2,420円/2011年
978-4-7907-1516-0

市民メディアの求めるもの、社会的役割とはなにか。市民・住民・NPOによる“市民メディア”のパワーが世界を刻々変えていく。地域の主体である市民誰もが発信しつながりあう、21世紀のコミュニケーションを創り出す試み。

高野 光平・難波 功士 編

テレビ・コマーシャルの考古学——昭和30年代のメディアと文化

A5 判上製/244頁
3,300円/2010年
978-4-7907-1483-5

これまで眠っていた9000本余の初期CMを掘り起こし、記憶ではなく映像資料から戦後社会のリアリティに迫る。CM論に新たな展開をもたらすと同時に、戦後日本文化の歴史と現在を見直し、ステレオタイプな昭和イメージに一石を投じる一冊。

伊藤 高史 著

ゼミナール

ジャーナリズムの政治社会学——報道が社会を動かすメカニズム

四六判並製/264頁
2,420円/2010年
978-4-7907-1468-2

薬害エイズ事件、桶川ストーカー事件、栃木リンチ殺人事件、ウォーターゲート事件——メディアが社会を動かすとき、その背景にジャーナリストの「熱い闘争」がある。報道の構造と力を、新たな理論モデルの構築を通じて描きだす気鋭の注目作。

大城 房美・一木 順・本浜 秀彦 編

マンガは越境する！

四六判並製/284頁
2,420円/2010年 国
978-4-7907-1461-3

マンガという日本製ポピュラー文化は、いまや国、言語、文化を超え、“MANGA”として世界中で親しまれている。グローバル/ローカル双方の視点から越境のメディアとしての可能性を探る、グローバル化時代の新たなマンガ論！

難波 功士 著

広告のクロノロジー——マスメディアの世紀を超えて

四六判並製/296頁
2,200円/2010年
978-4-7907-1447-7

デジタル化、ネットワーク化、モバイル化——メディア環境が激変するなか、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌のマス4媒体上の広告は朽ちつつあるのか。過去と現在を同時に見据え、未来への胎動を探る、世紀を超えた年代記。

高井 昌史・谷本 奈穂 編

メディア文化を社会学する——歴史・ジェンダー・ナショナルティ

四六判並製/320頁
2,200円/2009年
978-4-7907-1445-3

「社会学するとは何か What is Doing-Sociology?」。メディアを通して様々な「常識」や「記憶」が創られている。身近な文化現象を、理論/歴史/流行現象の視角から再考し、社会学を「実践」することの面白さと奥深さを開示する。

柳澤 伸司 著

新聞教育の原点——幕末・明治から占領期日本のジャーナリズムと教育

A5 判上製/440頁
4,180円/2009年
978-4-7907-1407-1

新聞ジャーナリズム黎明期からの新聞・雑誌、啓蒙書、教科書等に見られる先見者たちの思想を辿りながら、新聞と教育の関係、NIE運動の原点と展開を明らかにする。第3回内川芳美記念マス・コミュニケーション学会賞受賞。

藤田 真文・岡井 崇之 編

プロセスが見えるメディア分析入門——コンテンツから日常を問直す

A5 判並製/232頁
2,530円/2009年
978-4-7907-1405-7

見ているだけで、いいのか?——テレビ番組、CM、インターネットの掲示板、雑誌など、現代の多様なメディアのメッセージを自分で読み解くための実践的入門書。メディア・コンテンツの扱い方から理論まで、実際の授業に沿って丁寧に解説する。

政法
治律

経
済

社
会

メ
ディ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ
シ
エ
ン
タ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
思
哲
教
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学
芸
術

科
環
学
境

教
養
み
ら
い
の
書

こ
の
ち
の
み
ら
い
の
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
社
社
現
代
学
叢
書

社
会
学
ベ
ジ
ン
ス

政法 治律	古田 尚輝 著 『鉄腕アトム』の時代——映像産業の攻防	
経 済	四六判並製／292頁 2,200円／2009年 978-4-7907-1390-6	『鉄腕アトム』が拓いた映像の新時代！ 勃興するテレビ放送産業、暗転する映画産業、転換を図るアニメーション産業——相互の関係を通して総体的に読み解き、斬新な視点で綴る1960年代の映像産業史。
社 会	井川 充雄 著 戦後新興紙とGHQ——新聞用紙をめぐる攻防	
メディア ／マス ／コミュニケーション	A5 判上製／326頁 3,520円／2008年 978-4-7907-1368-5	戦後日本の新聞用紙割当制度および新興紙の盛衰に着目し、GHQ内部の問題、日本政府とGHQの関係、新聞の対応といった諸点から、占領史全般に関わる論点についても論じた力作。第2回内川芳美記念マス・コミュニケーション学会賞受賞。
シ ン タ ー	阿部 潔 著 スポーツの魅惑とメディアの誘惑——身体／国家のカルチュラル・スタディーズ	
人 類 学	四六判上製／292頁 2,530円／2008年 978-4-7907-1347-0	グローバルな祝祭としてのオリンピックやW杯。そこに働くポリティクスを、多様な事例・場面・テキストに内在しつつ徹底的に解剖し、スポーツする身体の衝撃、ナショナルなものの表象をトータルにとらえる。新たな語りを志す、気鋭の最新論集。
教 育	影山 貴彦 著 テレビのゆくえ——メディアエンターテインメントの流儀	
心 理	四六判並製／164頁 1,650円／2008年 国 978-4-7907-1338-8	大宅壮一からは「電気紙芝居」と揶揄され肩身の狭い思いをしながらも、ずっと社会に君臨し続けてきたテレビ、その何かが変わり始めている。いまや相当に元気を失いかけているテレビが再びポジティブな光を放つようになる、その可能性を信じて。
宗 教 哲 学	有山 輝雄 著 「中立」新聞の形成	
歴 史	四六判上製／258頁 2,530円／2008年 国 978-4-7907-1334-0	幕末から維新期にかけて急激に生じた社会的コミュニケーションの活性化と混沌状況の中から秩序はいかにして形成されたのか。それ自身が発展途上にあつた政治権力と、今日まで続く「中立」のジャーナリズムの成立過程との関わりを歴史的に分析。
日 本 文 学	窪田 守弘 編 映画で日本文化を学ぶ人のために	【学ぶ人】
外 国 語	四六判並製／352頁 2,530円／2007年 978-4-7907-1290-9	日本文化という視点から日本映画を分析した本書は、娯楽性とその教育性に着眼して、鑑賞法を会得し、楽しみながら日本文化や日本人の生き方・考え方を知り、映画に関心のある人のみならず語学教育に活用したいと思う人々に良き案内書となる。
環 境 学	大石 裕 編 ジャーナリズムと権力	【セミナー】
教 養 書	四六判並製／242頁 2,090円／2006年 978-4-7907-1227-5	ジャーナリズムに引きつけて「権力」という概念が持つ意味を再検討し、「権力を行使するジャーナリズム／権力を行使されるジャーナリズム」という二つの切り口からジャーナリズムをめぐる諸問題に迫る。従来への批判を踏まえ新たな展開を試みる。
こ の と こ ろ の み し り	福間 良明 著 「反戦」のメディア史——戦後日本における世論と輿論の拮抗	【セミナー】
日 常 を 拓 く 知	四六判並製／394頁 2,530円／2006年 978-4-7907-1196-4	「反戦」に国民は何を読み込んだのか。「原爆」と「沖繩戦」の各語りの相違や変化。映画と書籍を横断する比較メディア論の視点から、「反戦」の位相差と変容を追究した画期的戦後世論史。第1回内川芳美記念マス・コミュニケーション学会賞受賞。
世 界 思 想 社	伊藤 守 編 テレビニュースの社会学——マルチモダリティ分析の実践	
社 会 学	A5 判並製／264頁 2,530円／2006年 978-4-7907-1181-0	テロップ、画像、音声、音響、キャスターをとらえるカメラ・アングルなど、多様なモードから作られたテレビのニュース番組。そのメディアとしての特質を見なおし、ディスコース分析による新たなニュース研究の枠組みと方法を提示する。

別府 三奈子 著

ジャーナリズムの起源

A5 判上製 / 456頁
6,076円 / 2006年 国
978-4-7907-1166-7

エスカレートしていく商業主義。国防という名の国家言論統制。20世紀初頭の米国では、言論の自由の本義を守りジャーナリズムの核を育むための死闘が繰り広げられ、日本では戦前に頓挫したプロフェッションの理念と大胆な社会制度が確立した。

坂田 謙司 著

「声」の有線メディア史——共同聴取から有線放送電話を巡る〈メディアの生涯〉

A5 判上製 / 328頁
3,080円 / 2005年 国
978-4-7907-1111-7

メディアには「始まり」や「終わり」がある。それは、われわれ人間自身が生きる生涯に似ている——。「ラジオ共同聴取」「有線放送電話」というメディアを生みだし、育み、あるいはその終焉の時を決める、ほかならぬ人間社会の、ひとつの物語。

山中 茂樹 著

震災とメディア——復興報道の視点

四六判並製 / 244頁
1,760円 / 2005年 国
978-4-7907-1101-8

阪神淡路大震災から10年、被災地は復興したのだろうか。東京と地方、防災と復興の垣根を克服し、各地の災害の教訓を共有し、市民・学者と協働した主体的な提言報道をめざす。災害をテーマに取材を続けてきた著者による、新しい災害メディア論。

田村 紀雄 編

地域メディアを学ぶ人のために

四六判並製 / 296頁
1,980円 / 2003年 国
978-4-7907-1023-3

いま、マス・メディアとは異なる、「市民の参加する、市民のつくるメディア」のあり方に注目が集まっている。地域の小さな新聞、CATV、FM放送、広告……地域社会空間に育つ新しいメディアの現在を追い、地域メディアのあり方を考える。

学ぶ人

橋本 純一 編

現代メディアスポーツ論

四六判並製 / 320頁
2,530円 / 2002年 国
978-4-7907-0968-8

膨張、拡散、疾走するメディアスポーツ——オリンピック、パラリンピック、ワールドカップなど、メディアによって劇的に演出されるスポーツに注目。プロセス論、テクスト論、激変するメディア空間における権力の位相を捉え直す諸論考を収める。

セミナー

竹山 昭子 著

ラジオの時代——ラジオは茶の間の主役だった

四六判上製 / 354頁
3,080円 / 2002年 国
978-4-7907-0941-1

大正の終わりから昭和の初め、放送といえばラジオを意味した「ラジオの時代」があった。報時システム、天皇報道、オリンピック放送、ラジオドラマなど、ラジオ黎明期を特色づける番組を、多彩な資料から再検討する。

津金澤 聰廣 編著

戦後日本のメディア・イベント—— [1945-1960年]

A5 判上製 / 368頁
4,180円 / 2002年 国
978-4-7907-0917-6

「戦後」という名の時代に、日本の再生・復興へと向けてさまざまなイベントが仕掛けられ演出されていった。その中心となっていたメディアの役割に焦点を当てて考察する。『戦時期日本のメディア・イベント』に次ぐ1冊。

正村 俊之 著

コミュニケーション・メディア——分離と結合の力学

四六判上製 / 234頁
2,420円 / 2001年 国
978-4-7907-0900-8

人々は、貨幣・マスメディア・電子メディアや真理・規範・権力・影響力などが媒介する社会的コミュニケーションによって結びつくだけでなく、同時に分離している。そのダイナミクスをメディア論的に解明したユニークな論考集。

鈴木 みどり 編

メディア・リテラシーの現在と未来

A5 判並製 / 280頁
2,530円 / 2001年 国
978-4-7907-0896-4

メディアが構成し提示する「現実」を多面的かつ批判的に読み解く力を持たなければ、今日の社会において民主主義に基づく自らの権利を行使しつつ生きてゆくことさえ困難である。メディア社会における民主主義の根幹に関わる問題として考える。

政法
治律

経
済

社
会

メ
ディア
マス
コミ

ジ
ェ
ン
ダ
ー

人
類
学

教
育

心
理

宗
思
哲
教
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学

科
環
学
境

教
養
み
ら
い
の
書
庫

こ
の
こ
ろ
の
書
庫

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
社
社

社
会
学

ベ
ジ
ン
ス

政治 法律	渡辺 潤 著 アイデンティティの音楽——メディア・若者・ポピュラー文化	ロックは20世紀のサウンドトラック——メディアの一世紀、若者の半世紀、リズムが社会を動かした！ ロック音楽を通して20世紀後半の時代精神や社会的な背景を問い直し、ポピュラーの意味を考察する。ロック世代の社会学者による意欲作。
経済	四六判上製／324頁 2,640円／2000年 978-4-7907-0853-7	
社会	高島 國男 著 エチュードの青春志	ある出版人の戦中の若き日のドキュメント——人生の意味を真剣に考え続けた一学徒の、戦争での死の問題を無理に自己に納得させようとした戯曲や敗戦前後の人生観・世界観の日記などの記録。大戦中の証言であり当社創業者の出版五十年「志」の原点。
メディア コミュニケーション シエンター	A5 判上製／250頁 1,430円／1998年 978-4-7907-0734-9	
人類学 民俗学	ジェンダー	
教育	チェ・スンボム 著／金 みんじょん 訳 私は男でフェミニストです	電子版あり
心理	四六判並製／196頁 1,870円／2021年 978-4-7907-1764-5	「こんな男性フェミニストの本が生まれたとは感激だ。女にも男にも、被害者にも加害者にも、そして傍観者にも、ならないでほしい」上野千鶴子さん推薦&解説。韓国の男子高校の、30代男性教師による、生きるための「男フェミ」宣言。
宗思想学	上野 加代子 著 国境を越えるアジアの家事労働者——女性たちの生活戦略〔オンデマンド版〕	セミナー
歴史	四六判並製／264頁 2,310円／2016年 978-4-7907-1691-4	国家・エージェンシー・雇用者の収奪と抑圧に抗して、悩みながらも、したたかに、軽やかに——シンガポールで働くインドネシア・フィリピン女性を中心に、人生を切り開くために奮闘を続ける姿を、10年にわたる調査から鮮やかに描き出す。
外国語 文学	井上 摩耶子 編 フェミニストカウンセリングの実践	
環境学	四六判並製／336頁 2,530円／2010年 978-4-7907-1496-5	ジェンダー、男女共同参画の視点に立つ心理カウンセリング＝フェミニストカウンセリングとは。日本における歴史と理論・方法論を体系的にまとめる初めてのテキスト。女性支援の現場、心理・福祉などの対人援助職にある人、めざす人必読の書。
教養 選書	中村 彰 著 男性の「生き方」再考——メンズリブからの提唱	
教養 選書	四六判並製／214頁 1,980円／2005年 978-4-7907-1145-2	仕事、地域、家庭、趣味……多様な暮らしを欲張りに生きること、メンズリブを通じた自分の姿が見えてくる。更年期、ドメスティック・バイオレンスなど、さまざまな角度から「男性」を照らす。自分らしさを追求する「欲張り人生」のすすめ。
日常 を知	楠瀬 佳子・三木 草子 編 「わたし」を生きる女たち——伝記で読むその生涯	セミナー
世界 思想	四六判並製／288頁 1,980円／2004年 978-4-7907-1078-3	女性の自己実現が今よりもずっと難しかった時代に、「わたし」らしく懸命に生きた女たちがいた。すばらしい出会いを力に、逆風のなかで新しい時代を切り拓いた21人のライフストーリーを通して、近代以降の歴史を女性の視点から見なおす。
社会 学	M. ジャコーパス、E. F. ケラー、S. シャトルワース 編／田間 泰子・美馬 達哉・山本 祥子 監訳 ボディー・ポリティクス——女と科学言説	セミナー
	四六判並製／340頁 2,530円／2003年 978-4-7907-0987-9	女性の身体について西洋近代科学（特に医学）がつくりだした言説、それら科学的言説と産業資本主義や白人中産階級など社会経済的要因との密接な関係、そしてその実効的な効果を明らかにする、西洋近代科学の権力の力学についてのエッセイ集。

A. ホール 著／飯田 貴子・吉川 康夫 監訳

フェミニズム・スポーツ・身体

四六判並製／296頁
2,860円／2001年
978-4-7907-0889-6

スポーツのジェンダーポリティクスを分析——スポーツ界のジェンダー・フリーはそれほど容易に手に入るであろうか。体育教師・スポーツ研究者や学生、スポーツをしている女性たちに向けて、スポーツとジェンダーを巡る言説を読み解く入門書。

富士谷 あつ子・伊藤 公雄 監修／日本ジェンダー学会 編

学ぶ人

ジェンダー学を学ぶ人のために

四六判並製／284頁
2,090円／2000年
978-4-7907-0802-5

男女両性が互いに対峙／共通する問題を追究し各自の生き方や社会のあり方を変革するためのジェンダー学を目指して、学際的・国際的アプローチを試みる。——Ⅰジェンダー学の可能性・Ⅱ暮らしの中のジェンダー学・Ⅲ社会の中のジェンダー学

米田 佐代子・池田 恵美子 編

学ぶ人

『青鞥』を学ぶ人のために

四六判並製／288頁
2,750円／1999年
978-4-7907-0785-1

「時代と青鞥」をキーワードに、歴史的・社会的視点を重視しつつ文学作品にも目を向け、『青鞥』の全体像をとらえる。研究入門等としても役立てていただけるよう、巻末に「青鞥社概則」等の基本的資料、年表、人名・項目解説、文献目録を収載。

人類学・民俗学



杉田 映理・新本 万里子 編

電子版あり

月経の人類学——女子生徒の「生理」と開発支援

A5 判並製／304頁
3,850円／2022年
978-4-7907-1768-0

「生理の貧困」を訴え「生理の平等化」を求める動きは身近な各地で広がっている——本書は月経をめぐる国際開発の動向を整理し、フィールドワークで得た情報から各地の状況を分析、月経対処のローカルな文脈と現状を「今」同時期にとらえる。

仲尾 友貴恵 著

電子版あり

不揃いな身体でアフリカを生きる——障害と物乞いの都市エスノグラフィ

四六判上製／392頁
3,960円／2022年
978-4-7907-1769-0

福祉制度が実動しないタンザニアで、「ふつう」に働けない障害者たちは、いかに生計を立ててきたのか。植民地期から現在までの彼らの姿を追う。障害学、都市下層研究、地域研究の枠組を越え、路上に「居る」障害者たちの生活世界を描く。

宇田川 彩 著

それでもなおユダヤ人であること——ブエノスアイレスに生きる〈記憶の民〉

A5 判上製／312頁
4,180円／2020年
978-4-7907-1744-7

重いリュックを背負って、しなやかに歩む！ 旧約聖書の時代からディアスポラとして暮らしてきたユダヤ人。居住地に溶け込みながらもユダヤ人であり続けたのはなぜか？ 彼らの現在の暮らしに密着した長期調査から、ユダヤ人の記憶の本質に迫る。

太田 好信・浜本 満 編

メイキング文化人類学〔オンデマンド版〕

四六判並製／324頁
2,090円／2019年
978-4-7907-1735-5

ダーウィン、ボアズ、マリノフスキー、グリオール、ミード、ベネディクト、レヴィ=ストロース、ターナー、ギアツ、ロザルド夫妻……巨人たちの理論はいつもフィールドから生れてきた。知の立ち上がる瞬間を捉え直す、人類学への熱い招待状！

松村 圭一郎・中川 理・石井 美保 編

電子版あり

文化人類学の思考法

四六判並製／224頁
1,980円／2019年
978-4-7907-1733-1

「文化人類学は『これまでのあたりまえ』の外へと出ていくための『思考のギア（装備）』だ。本書はその最先端の道具が一式詰まった心強い『道具箱』だ。こんなに『使える』本は滅多にない」若林恵子推薦。尾原史和氏による常識を覆すカバー付。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ

ジェン
ダー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗 思 哲
教 学 学

歴
史

日 本 語
日 本 文 学

外 国 語
芸 術 学

科 環
学 境

教
養
選
書

こ
こ
ま
か
ら
の
選
書

こ
こ
ま
か
ら
の
選
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社

社
会
学
ヘ
リ
ン
ス

政法 治律	中空 萌 著	電子版あり
経 済	知的所有権の人類学——現代インドの生物資源をめぐる科学と在来知	A5 判上製/304頁 5,720円/2019年 978-4-7907-1727-0
社 会	田中 雅一 著	知識は誰のものか？豊富な薬草資源をもつインドに「知的所有権」という概念が持ち込まれたとき、現地で何が起るのか。緻密なフィールドワークにもとづき解明。過去の労働への対価ではなく、未来への責任としての所有という概念を提示する、異色の所有論。
メディア コミュニケーション シエンター	誘惑する文化人類学——コンタクト・ゾーンの世界へ	A5 判上製/336頁 4,180円/2018年 978-4-7907-1706-5
人類学 民俗学	川瀬 慈 著	暴力、セクシュアリティ、宗教実践、モノなど、一貫して近代性と対立するテーマに挑み続けてきた著者が、「誘惑」に導かれて新たな領野を拓く。共鳴するコンタクト・ゾーンと身体世界を探究し、全体化に抗する文化人類学を提唱する渾身の力作。
教 育	ストリートの精霊たち	四六判並製/204頁 2,090円/2018年 978-4-7907-1717-1
心 理	長友 淳 編	人類学のフィールドワークのため、エチオピアのゴンダールに居着いた著者。そこは、物売りや物乞い、芸能者たちが息づく奥深い空間だった。著者と彼ら“ストリートの精霊たち”との密な交流から、雑踏の交響詩が聞こえてくる。坂本龍一さん推薦！
宗 教 哲 学	グローバル化時代の文化・社会を学ぶ——文化人類学/社会学の新しい基礎教養	四六判並製/176頁 2,090円/2017年 978-4-7907-1696-9
歴 史	左地 亮子 著	文化相対主義や贈与論など基礎的理論から、ジェンダー論やポストコロニアル理論などの現代的視点までカバーする入門書。今日の文化の動態性を学ぶ上で重要な視点が身につく。調査法とレポートの書き方も伝授。各章ディスカッションテーマ付。
日本 文学	現代フランスを生きるジプシー——旅に住まうマヌーシュと共同性の人類学	A5 判上製/304頁 5,720円/2017年 978-4-7907-1694-5
外国 文学	中川 加奈子 著	なぜ彼らは旅人であり続けるのか？ 都市周辺の空き地に、移動式住居（キャラヴァン）をとめて暮らす、マヌーシュたち。〈住まう〉という実践を通して、共同性を紡ぐ人々の姿を描きだす。第39回サントリー学芸賞（思想・歴史部門）受賞。
環 境 学	ネパールでカーストを生きぬく——供犠と肉売りを担う人びとの民族誌	A5 判上製/328頁 6,380円/2016年 978-4-7907-1681-5
教 養 書	中谷 文美・宇田川 妙子 編	差別に苦しみながらもカーストの伝統的な役割である食肉屠畜で経済力をつけたカドギ。グローバル市場経済への包摂と王政から共和制への移行という激変の時に、カーストが再創造される過程を示す。第6回日本南アジア学会賞、第44回溢澤賞受賞。
こ の こ ろ の 書	仕事の人類学——労働中心主義の向こうへ	A5 判上製/318頁 4,400円/2016年 978-4-7907-1675-4
日 知 識	浮ヶ谷 幸代 編	〈働くこと〉＝〈稼ぐこと〉だろうか……「仕事」って何？「仕事でないもの」って何？ お金にならない仕事にどんな意味がある？ 世界のさまざまな地域に暮らす人々のリアリティに寄り添いながら、働くことの意味と可能性を問い直す。
世 界 思 想 社	苦悩とケアの人類学——サファリングは創造性の源泉になりうるか？	A5 判上製/344頁 4,620円/2015年 978-4-7907-1672-3
社 会 学	バルタ・チャタジー 著/田辺 明生・新部 亨子 訳	生きる、老いる、病む、死ぬ——すべての人間の生に、サファリング（苦悩の経験）が伴っている。それを否定することなく、どう向き合い、生きぬくのか。国内外のフィールドから、苦悩の経験とケア実践のあり方を民族誌的に描き出す。
	統治される人びとのデモクラシー——サバルタンによる民衆政治についての省察	四六判上製/306頁 4,400円/2015年 978-4-7907-1669-3
	デモクラシーの本質は「人民主権」ではない。「統治される人びとの政治」である。線路から数十センチの場で生活する不法占拠者による政治とは。現代の民衆政治をポストコロニアルの視点から読み解く、サバルタン研究の最高峰。中島岳志氏推薦。	

山崎 吾郎 著

臓器移植の人類学——身体の贈与と情動の経済

A5 判上製/292頁
4,290円/2015年 国
978-4-7907-1655-6

無償で臓器を提供した家族の背後に見え隠れする苦悩、部品化した身体の行方、脳死論争の現在……。制度と実践を緻密に分析することで、身体への技術的介入の先に現れる、生と死の姿を浮き彫りにし、社会と経済の秩序再編のプロセスを描き出す。

鈴木 裕之 著

恋する文化人類学者——結婚を通して異文化を理解する

四六判並製/280頁
2,420円/2015年
978-4-7907-1645-7

これは恋の物語であり、異文化交流の物語である。アフリカで、著者は彼の地の女性アイドル歌手と恋に落ちた。結婚式は、8日間にわたる壮麗なものだった。激しい異文化の渦に巻き込まれた著者が、自らを素材に語る体験的入門書。

東 賢太郎・市野澤 潤平・木村 周平・飯田 卓 編

リスクの人類学——不確実な世界を生きる

A5 判上製/346頁
4,400円/2014年
978-4-7907-1629-7

誰もが生のあらゆる局面でリスクを引き受けさせられる「リスク社会」。現代世界を一樣に塗りつぶす「リスク社会」化の動きは必然か？ 感染症からダイビングまでリスクの多様な相貌を描き、「リスク社会」に対するオルタナティブを探索する。

松岡 悦子 著

妊娠と出産の人類学——リプロダクションを問い直す

四六判並製/278頁
2,640円/2014年
978-4-7907-1627-3

女性の人生に大きな影響を及ぼす妊娠、出産。どの社会にも、産む女性に寄り添い、妊娠と出産を見守る産婆や助産師がいる。日本、アジア、ヨーロッパでの長年のフィールドワークから、女性が健康で満足できるお産のあり方を提唱する。

森 明子 編

ヨーロッパ人類学の視座——ソーシャルなるものを問い直す

A5 判上製/300頁
4,180円/2014年
978-4-7907-1620-4

現代世界に生きる人々は、何に共同性を求め、どのようなつながりに社会を見出しているのか。フランス・ドイツ・イギリス・スペイン・スウェーデン・エストニアを舞台に、改めて社会的なるものとは何かを問い直す、ヨーロッパ人類学の成果。

松田 素二 編

アフリカ社会を学ぶ人のために

四六判並製/322頁
2,530円/2014年
978-4-7907-1616-7

多様な民族・言語・生態環境をもつアフリカが体系的にわかる入門書。アフリカの経験してきた過去・困難・絶望のなかから、アフリカの潜在力を描きだし、人類社会の希望と可能性を展望する。21世紀のアフリカを理解するための必携書。

田村 うらら 著

トルコ絨毯が織りなす社会生活——グローバルに流通するモノをめぐる民族誌

A5 判上製/336頁
5,500円/2013年
978-4-7907-1590-0

嫁入り道具にも現金獲得源にもなる絨毯。市場経済化で、製作の基盤となる世帯どうしのつながりはむしろ活性化し生活の隅々まで浸透した。グローバルな経済にもローカルな慣習にも呑み込まれず、変化を共に生きる女たちのしなやかな生を描く。

木村 周平 著

震災の公共人類学——揺れとともに生きるトルコの人びと

A5 判上製/312頁
4,620円/2013年
978-4-7907-1587-0

大地震が起こった。近い将来、また起こるかもしれない。だが急速に高まった災害への関心は、急速に低下してしまう。どうすれば記憶の風化に抗うことができるのか。過去と未来の地震の狭間で揺れる人びとの営みに注目する、公共人類学の構想。

大野 哲也 著

旅を生きる人びと——バックパッカーの人類学

四六判並製/272頁
2,530円/2012年
978-4-7907-1567-2

5年間、世界を放浪した冒険家が、人類学者に転じ日本人バックパッカーをフィールドワーク。「自分探し」をする人、「沈没」する人、十数年の獄中生活をタイで送る人、国家から逃れて実験的共同体で自由に暮らす人……多様な生の営みを描く。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ
ン

ジェンダー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗
教
哲
学

歴
史

日本文学

外国語
文学

科
環
境
学

学
ぶ
人

教
養
み
ら
い
の
書

こ
こ
の
こ
ろ
の
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
社
社

社
会
学

ヘ
レン
ス

政治学	西井 凉子 編	
政治学	時間の人類学——情動・自然・社会空間	
経済学	A5 判上製 / 450頁 4,290円 / 2011年 978-4-7907-1521-4	ミクロ分析は人間認識にどれほどの生産的展望を呈示できるか？ 出来事、情動、自然、モノ、身体、死、記憶、語り…。異質な関係性が生成する場にとどまりながら、それぞれの時間論的視座から応答する刺激的論文集。
社会学	小川 さやか 著	電子版あり
メディア・コミュニケーション学	都市を生きぬくための狡知——タンザニアの零細商人マチンガの民族誌	
メディア・コミュニケーション学	A5 判上製 / 398頁 5,720円 / 2011年 978-4-7907-1513-9	嘘や騙しを含む熾烈な駆け引きをしながら路上で古着を売り歩き、500人以上の常連客をもった著者。ストリートで培われる戦略的实践知に着目し、彼らの商売のしくみを解明し、日本を逆照射する。第33回サントリー学芸賞（社会・風俗部門）受賞。
人類学	常田 夕美子 著	
人類学	ポストコロナルを生きる——現代インド女性の行為主体性	
人類学	四六判上製 / 280頁 3,080円 / 2011年 978-4-7907-1512-2	ポストコロナルの苦境のなかで、インドの女性たちが模索してきた自分らしい生き方とは。構造から関係性へと視点をシフトし、社会、身体、行為主体性（エージェンシー）をめぐる理論に新風をふきこむエスノグラフィの快作。
心理学	山口 裕子 著	
心理学	歴史語りの人類学——複数の過去を生きるインドネシア東部の小地域社会	
宗教学	A5 判上製 / 406頁 5,720円 / 2011年 978-4-7907-1511-5	インドネシア、スラウェシ島の沖合に浮かぶブトン島。村で語られ、記されるいくつもの歴史を重ね合わせると、「真実の歴史」が見えてきた。世界史と民族誌、歴史学と人類学、史料と語りとを節合する壮大なエスノグラフィ。第39回瀧澤賞受賞。
歴史学	橋本 和也 著	セミナー
歴史学	観光経験の人類学——みやげものとガイドの「ものがたり」めぐって	
日本語学	四六判並製 / 272頁 2,420円 / 2011年 978-4-7907-1510-8	わたしたちは、観光という経験になにを求めているのか？ 観光の歴史、これまでの研究、内外の事例などを織りまぜつつ、第一人者が観光経験の意味をわかりやすく読み解く。観光立国や地域おこしを企図する関係者必読の書。
外国文学	津田 浩司 著	
外国文学	「華人性」の民族誌——体制転換期インドネシアの地方都市のフィールドから	
環境学	A5 判上製 / 384頁 5,720円 / 2011年 978-4-7907-1497-2	スハルト体制の崩壊前後で、インドネシア華人をとりまく状況はどう変わったか。かれらと日常をともにした著者が描きだす、大転換期の諸相。従来のエスニシティ論にインパクトを与え、東南アジア理解に欠かせぬ華人研究の礎石となる一冊。
教育学	田中 雅一・田辺 明生 編	学ぶ人
教育学	南アジア社会を学ぶ人のために	
教育学	四六判並製 / 324頁 2,640円 / 2010年 978-4-7907-1490-3	多種多様な民族・文化・言語・宗教をもつ人びとの、独特のまとまりとネットワークが展開する南アジア。カースト制や多宗教世界から民主政治やグローバルゼーションまで、インドを中心とする7カ国の織りなすダイナミックな動態を解き明かす。
日本文学	太田 好信 著	セミナー
日本文学	〔増補版〕トランスポジションの思想——文化人類学の再想像	
日本文学	四六判並製 / 362頁 2,750円 / 2010年 978-4-7907-1485-9	いくつもの重大なアポリアに直面する人類学。混淆する文化状況の中で、新たな語りのポジションを志す。その問題提起により大きな話題を呼んだ書に、文化理論をめぐる地殻変動をとらえ返す「文化概念の往還」を書き下ろし増補。待望の注目作。
社会学	丸山 淳子 著	
社会学	変化を生きぬくブッシュマン——開発政策と先住民運動のはざまで	
社会学	A5 判上製 / 350頁 5,280円 / 2010年 978-4-7907-1464-4	再定住地で暮らすことを余儀なくされた彼らは、狩猟採集生活の特徴を、どのように変化させ、どう維持しているのか。激変のなかを融通無碍に生きぬく姿をいきいきと描き出す民族誌。第23回日本アフリカ学会研究奨励賞、第38回瀧澤賞受賞。

田中 正隆 著

神をつくる——ベナン南西部におけるフェティッシュ・人・近代の民族誌

四六判並製/252頁
2,090円/2009年
978-4-7907-1432-3

西アフリカの経済活動や地域社会史、そしておびただしい儀礼実践から、人とモノとの豊饒な関係が浮かび上がる。かつては「奴隷海岸」とよばれたベナンに今なお息づくブドゥ（神霊）信仰の実態を、豊富な民族誌的記述によって明らかにする。

中川 敏 著

言語ゲームが世界を創る——人類学と科学

四六判並製/248頁
2,200円/2009年
978-4-7907-1418-7

ゲームの数だけ世界がある。ゲームの数だけ真理がある。高校生にもわかる、それでいて高度な、あなたの脳を鍛え、あなたの世界を塗りかえる、理屈人類学への招待状。文化人類学者にはならない人のための文化人類学入門。

ゼミナール

風戸 真理 著

現代モンゴル遊牧民の民族誌——ポスト社会主義を生きる

A5 判上製/336頁
5,720円/2009年
978-4-7907-1393-7

前触れもなく全財産をもってゲルごと移動していく、遊動的な人間関係。遊牧民たちの内面に濃い影を落とす、社会主義。モンゴル遊牧民とともに450日間暮らした著者の経験と実証的調査に基づいて、モンゴル国の牧畜社会の現在を活写する。

速水 洋子 著

差異とつながりの民族誌——北タイ山地カレン社会の民族とジェンダー

四六判並製/352頁
3,850円/2009年
978-4-7907-1388-3

山地に暮らす少数民族カレン。さまざまな差異がクロスする中で、彼らはどう生きてきたか。国家の周縁にあるカレン女性に焦点を置きながら、カレンの生活実践を丹念にたどり、差異による分断を越えた「つながり」の瞬間をくっきりと描き出す。

竹沢 尚一郎 著

サバンナの河の民——記憶と語りのエスノグラフィ

A5 判上製/370頁
4,400円/2008年 国
978-4-7907-1359-3

アフリカのサバンナを流れるニジュール河。そこに生きる〈河の民〉ボゾ。植民地支配、独立、世界経済への包摂といった百年余の転変の中で、かれらがどのように生きてきたかを、漁、宗教、社会組織、記憶と歴史、の4つの章にわたって描き出す。

トーマス・ヒランド・エリクセン 著/鈴木 清史 訳

人類学とは何か

四六判並製/254頁
2,530円/2008年
978-4-7907-1348-7

世界には、私たちの社会とはまったく違う暮らしがある。そんな多様性を丸ごと理解しようとする人類学——本書は、その基礎概念から現代の潮流までを、コンパクトにまとめた新世代の入門書である。

ゼミナール

飯田 卓 著

海を生きる技術と知識の民族誌——マダガスカル漁撈社会の生態人類学

A5 判上製/356頁
5,060円/2008年
978-4-7907-1326-5

海を隣人とみなし、海の表情を読み解き、海のポテンシャルを知悉して、次つぎと漁法を編みだす漁民たち。その暮らしの成り立ちをあらゆる角度から克明に描きだし、自然との対峙を問題化した海の民族誌。第22回日本アフリカ学会研究奨励賞受賞。

権野 若菜 著

結婚と死をめぐる女の民族誌——ケニア・ルオ社会の寡婦が男を選ぶとき

A5 判上製/414頁
5,280円/2007年
978-4-7907-1323-4

性をめぐる欲望と感情は尽きることがない。それを満たすために男女が結ぶ関係は、まさにさまざまなものである。ケニアのルオ社会では、夫を亡くした妻は「墓の妻」になるという。彼女らの生き方を、ともに暮らした著者がトータルに描いた注目作。

鷹木 恵子 著

マイクロクレジットの文化人類学——中東・北アフリカにおける金融の民主化にむけて

A5 判上製/424頁
4,180円/2007年
978-4-7907-1305-0

貧しい人々が自ら収入の機会をつくり、自立していくにはどうすればよいか——そんな切実な問いへの解答として生まれた無担保少額融資は、今大きく変わりつつある。その多様で動的な実態を、フィールドワークに基づいて明らかにした力作。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ

シ
エン
ター

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗
教
哲
学

教
学

日
本
文
学

外国語
文学

科
環
学
境

教
養
選
書

こ
の
こ
ろ
の
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
社
会

社
会
学

政治 法律	岸上 伸啓 著	
経済	A5 判上製/346頁 4,950円/2007年 978-4-7907-1299-2	カナダという国家のなかで、先住民民族イヌイットはいかに生きるか。世界経済に急速に取り込まれる極北の社会で、変化と再生産が同時進行している様を、食物分配の分析をとおして丹念に描き出す。第18回カナダ首相出版賞に輝く大作。
社会	煎本 孝・山岸 俊男 編	
メディア コミュニケーション ジェンダー	現代文化人類学の課題——北方研究からみる 四六判上製/250頁 2,090円/2007年 ㊦ 978-4-7907-1257-2	地球規模で進行する急激な変動の時代、北方文化を語ることは、単なる地域研究の枠を超えて、人類学が抱えている普遍的課題に立ち向かうことである。「人間とは何か」というテーマのもと、現代の文化人類学が直面する喫緊の問題を鋭くえぐり出す。
人類学 民俗学	宇田川 妙子・中谷 文美 編	
教育	ジェンダー人類学を読む——地域別・テーマ別基本文献レビュー A5 判上製/400頁 3,300円/2007年 ㊦ 978-4-7907-1255-8	ゆたかな議論のためのプラットフォーム——グローバル化と研究の細分化の中で、いまや大きな転換期を迎えつつあるジェンダー人類学。その膨大な蓄積を整理し、問題点と可能性を探る。本書は、今後のすべての議論の出発点である。
心理	石井 美保 著	
宗 教 哲 学	精霊たちのフロンティア——ガーナ南部の開拓移民社会における〈超常現象〉の民族誌 A5 判上製/350頁 4,620円/2007年 978-4-7907-1244-2	異界からの光が照らしだす、日常世界の実践的論理とは何か。妖術と呪術がせめぎあい、精霊や小人が跳梁するガーナのフロンティア社会を舞台に、人々の生と身体に浸透する〈超常現象〉のリアリティを解きほぐす。第35回澁澤賞受賞作。
歴史	関 恒樹 著	
日本語 日本文学	海域世界の民族誌——フィリピン島嶼部における移動・生業・アイデンティティ A5 判上製/372頁 5,280円/2007年 ㊦ 978-4-7907-1243-5	支配・被支配関係や不均衡な力の階層構造のもとで、人々はどうの生計戦略をとり、アイデンティティを構築するのか。ビサヤ諸島の事例を中心に、彼らの日常的実践を描き出し、海域社会研究への新たな視座を提示。第24回大平正芳記念賞受賞。
外国語 芸術	伊藤 泰信 著	
環境 学 境	先住民の知識人類学——ニュージーランド=マオリの知と社会に関するエスノグラフィ A5 判上製/420頁 5,280円/2007年 ㊦ 978-4-7907-1241-1	先住民の知は、どのように生成・再生産されているのか？ 白人学者を排除し、人類学と競合するマオリ学。分離主義イデオロギーを子供の身体に刻むマオリ小学校……今日の先住民の知と社会をめぐる動態を探る。第7回日本オセアニア学会賞受賞。
宗教 学	阿久津 昌三 著	
教養 書	アフリカの王権と祭祀——統治と権力の民族学 A5 判上製/452頁 6,380円/2007年 ㊦ 978-4-7907-1235-0	王権と祭祀をめぐって、西アフリカのアサンテの民族誌を描き、アフリカ社会の政治の本質をつかむ。『金枝篇』以来の英国社会人類学の歴史に、四半世紀にわたるフィールドワークの成果を加える大著。第6回木村重信民族芸術学会賞受賞。
日 語 知	田中 雅一・松田 素二 編	
世界 思想 書	ミクロ人類学の実践——エイジェンシー/ネットワーク/身体 A5 判上製/476頁 5,280円/2006年 978-4-7907-1225-1	交響する人類学へ——人類学はフィールドワークという実践のなにを継承すべきか。鳥瞰図が与える全能感を拒否し、権力が作用する場としての日常生活に注目する。虫瞰図にこだわり、「全体化」の誘惑に抗するミクロ人類学の画期的論集。
社会 学	関根 康正 著	
ベ ジ ン ス	宗教紛争と差別の人類学——現代インドで〈周辺〉を〈境界〉に読み替える A5 判上製/364頁 4,180円/2006年 978-4-7907-1219-0	「異文化理解」から「他者了解」へ——現代インド社会における宗教対立・紛争のメカニズムを考察し、信仰生活の現場に密着した視点から、「生きた宗教」の融合力に注目することによって、排他性の溶解の可能性を提示する。

湖中 真哉 著

牧畜二重経済の人類学——ケニア・サンプルの民族誌的研究

A5 判上製/336頁
5,170円/2006年
978-4-7907-1218-3

生業経済と市場経済の併存的な複合化現象たる牧畜二重経済の実態を地域の脈絡に即し総合的に解明、グローバル化への対応として構築されたその仕組みの尊重を地域の内発的発展のための開発政策として提言する。第11回国際開発研究大会受賞。

菅原 和孝 編

フィールドワークへの挑戦——〈実践〉人類学入門

四六判並製/326頁
2,530円/2006年
978-4-7907-1188-9

人生至る所フィールドあり！ 仕事・社会・コミュニケーション・宗教・異文化の5分野を網羅し、40人の初々しいフィールドワークを一挙公開。技術的ノウハウから理論的設問まで実践的な助言を満載。フィールドセンスを体得できる最良の指南書。

西尾 哲夫 著

アラブ・イスラム社会の異人論

A5 判上製/284頁
3,300円/2006年 国
978-4-7907-1183-4

シナイ半島で出会った一つの民話には、社会原理を明らかにする鍵が隠されていた——。民話の深層構造を読み解くことで、アラブ・イスラム社会における異人観の解明を試みる。言語と文化をめぐる研究がたどりついた「異人論」の新たな展開。

西井 凉子・田辺 繁治 編

社会空間の人類学——マテリアリティ・主体・モダニティ

A5 判上製/464頁
4,180円/2006年
978-4-7907-1162-9

人間の生のアクチュアリティへ接近する——人びとの相互行為や権力作用が繰り広げられる多様な「社会空間」。その日常実践の現場から、モダニティにおける身体、モノ、主体、他者の関係性を鮮やかに描き出す。

櫻井 哲男・水野 信男 編

諸民族の音楽を学ぶ人のために

四六判並製/254頁
2,090円/2005年
978-4-7907-1154-4

耳をすませば聞こえてくる——アジアの音、アフリカの歌、ヨーロッパの響き。その背景にはどんな文化、社会、歴史があるのだろうか、じっくりみてみよう。聞き流すだけではつまらない、地球各地のフィールド発、豊かな音楽世界への招待状。

窪田 幸子 著

アボリジニ社会のジェンダー人類学——先住民・女性・社会変化

A5 判上製/266頁
4,290円/2005年
978-4-7907-1106-3

変化の直中にあるアボリジニ社会。その歴史的背景や社会的実践のあり方を、しなやかに力強い生き方を見せる女性たちに着目して描き出す民族誌。男女の関係や平等のあり方一つではないことを示し、人類学的方法のオルタナティブを提案する。

八杉 佳穂 編

マヤ学を学ぶ人のために

四六判並製/304頁
2,090円/2004年
978-4-7907-1086-8

巨大な神殿や美しい土器、神秘的な文字を残して消えた古代マヤ文明を中心におき、起源から文明の隆盛と衰退、現在までを包括的に見通す視点を提示する。著者自らが発掘や現地調査で得た最新の成果も盛り込んだ。第一線の研究者による入門書。

青柳 まちこ 編

老いの人類学

四六判並製/256頁
1,980円/2004年
978-4-7907-1042-4

人類学者と老人は古くて新しい友人である——本書では、伝統文化の伝承者・インフォーマントとしての老人ではなく「老い」そのものについて、高齢者の意味、老化のプロセス、老人の生活や意見、社会的地位や役割の分析をおおして考察する。

杉村 和彦 著

アフリカ農民の経済——組織原理の地域比較

A5 判上製/490頁
7,150円/2004年 国
978-4-7907-1041-7

アフリカ小農世界は近代化に後れた社会として指弾されてきた。そこでは人々が共食と分与の共同体に生きる。生産性至上主義に抗する「情の経済」の組織原理とは？ 2004年度地域農林経済学会賞、2005年度発展途上国研究奨励賞受賞。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ
ン
ジェンダー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗思哲
教
学

学
史

日本文学
日本文学

外国語
芸術学

科
環
学
境

学
ぶ
人

教養
選
書

こ
の
ま
い
ら
の
書

セ
ミ
ナ
ル

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
社
会
書

社
会
学
ベ
ジ
ン
ス

政法 治律	中谷 文美 著 「女の仕事」のエスノグラフィ——バリ島の布・儀礼・ジェンダー	
経 済	四六判上製/292頁 2,530円/2003年 978-4-7907-0978-7	著者が住みこんだバリ島の農村で、女たちは布を織り、儀礼に精を出す。結婚はしたい、でもしきたりに縛られたくはない。近代と伝統の狭間を生きるバリ人女性の喜びと悩み、働く誇りと苦勞を鮮やかに描くエスノグラフィ。第32回澁澤賞受賞。
社 会	橋本 和也・佐藤 幸男 編	ゼミナール
メディア コミュニケーション ジェンダー	観光開発と文化——南からの問いかけ	
	四六判並製/256頁 2,090円/2003年 978-4-7907-0977-0	青い海、白い砂浜、美しいサンゴと強い太陽——「南海の楽園」イメージはいかに開発され、売買されるのか。地球環境問題がクローズアップされる昨今、とみに注目される観光開発を、フィールドワークと文化研究の視点で批判的に読む意欲的論集。
人類学 民俗学	飯田 剛史 著 在日コリアンの宗教と祭り——民族と宗教の社会学	
教 育	A5 判上製/380頁 3,960円/2002年 978-4-7907-0927-5	生きるエネルギーと恨（はん）——朝鮮寺の巫俗儀礼から先祖祭祀、韓国仏教、キリスト教会、民族祭にいたるまで、大阪を中心に在日コリアンの宗教文化の全貌を、緻密なフィールドワークと現代社会学からのアプローチによって初めて解明した労作。
心 理	鈴木 七美 著 癒しの歴史人類学——ハープと水のシンボリズムへ	
宗 教 哲 学	四六判上製/304頁 2,090円/2002年 978-4-7907-0925-1	古代ギリシャで、近代アメリカで、現代ヨーロッパで——人々は心と身体の癒しを求めて植物を育て、水に触れ、星たちを見上げた。豊富で不思議な資料をもとに、やすらぎを希求する魂たちの遍歴を解き明かす、ヒーリングの系譜学。
歴 史	小山 修三・窪田 幸子 編 多文化国家の先住民——オーストラリア・アボリジニの現在	ゼミナール
日本語 日本文学	四六判並製/312頁 2,420円/2002年 978-4-7907-0922-0	十八世紀末に、主としてイギリスから白人が入植してくると、アボリジニたちは五万年続いた暮らしに急激な変化を迫られた。以来、彼らはオーストラリアをいかに生きてきたのか。その歴史と経験をふまえ、二十一世紀の多様性と可能性をさぐる。
外国語 外国文学 芸術	住原 則也・箭内 匡・芹澤 知広 著 異文化の学びかた・描きかた——なぜ、どのように研究するのか	ゼミナール
環 境 学	四六判並製/272頁 1,980円/2001年 978-4-7907-0906-0	なぜ学ぶのか、どのように描くのか。——研究テーマの設定から、図書館やインターネットを利用した文献調査、さらにフィールドワーク、論文作成のしかたまで、初学者向けに具体的かつ平易に紹介した、人類学の専門家による研究入門書。
教養 読書	嶋田 義仁・松田 素二・和崎 春日 編 アフリカの都市的世界	ゼミナール
	四六判並製/340頁 2,860円/2001年 978-4-7907-0882-7	ジャングルとサバンナ、野生動物と「部族」……アフリカ大陸を広く深く踏査してきた日本の人類学者が、お決まりの「未開」イメージを覆し、伝統文化の創造性と現代都市のダイナミズムを描く。日本発、都市人類学からの挑戦！
日常 を知	池田 光穂 著 実践の医療人類学——中央アメリカ・ヘルスケアシステムにおける医療の地政学的展開	
世界 思想 書	A5 判上製/406頁 6,380円/2001年 978-4-7907-0874-2	低開発国に対する医療援助・協力の現場では、いったい何が起きているのか。本書は、村落保健に関するフィールドワークとグローバル化する国際保健研究を総合した労作である。第一人者の案内で、臨床=応用人類学のフロンティアへ！
社会 学	佐々木 重洋 著 仮面パフォーマンズの人類学——アフリカ、豹の森の仮面文化と近代	
	A5 判上製/398頁 3,960円/2000年 978-4-7907-0840-7	カメルーンの熱帯雨林で著者が出会った仮面結社と呪葉の神。その儀礼とパフォーマンスの魅力をあますところなく描き、近代アフリカのダイナミズムをあぶりだす。第13回日本アフリカ学会研究奨励賞と第28回澁澤賞をダブル受賞した気鋭の力作。

福田 晃・常光 徹・斎藤 寿始子 編

学ぶ人

日本の民話を学ぶ人のために

四六判並製／354頁
2,530円／2000年
978-4-7907-0839-1

民話の歴史は長く、その広がりも国の隅々にまで及ぶ。民話のもつ底知れぬ生命力と可能性、その魅力を研究者・作家・ストーリーテラーなど多様な視点から総合的に紹介し、若い人々や一般市民の、民話を学ぶ知的関心を高める助けになるだろう。

鈴木 裕之 著

ストリートの歌——現代アフリカの若者文化

四六判上製／248頁
2,090円／2000年
978-4-7907-0807-0

学校や家庭から落ちこぼれ、ストリートに降り立った俺たち。世間からは不良だと言われている。だが聞いてほしい、俺たちの歌を。見てほしい、俺たちの生き方を！ストリート・ボーイと暮らした気鋭が都市を描く。現代フランス・エッセー賞受賞。

鏡味 治也 著

ゼミナール

政策文化の人類学——せめぎあうインドネシア国家とバリ地域住民

四六判並製／254頁
2,090円／2000年
978-4-7907-0795-0

人びとは、近代国家に参入する過程でどう中央に向き合い、いかに自らの地位を確保しようとしたか。宗教・観光・慣習をめぐって、政府と州と住民とが、どんな綱引きを演じたか。「慣習村コンテスト」に、バリ島社会の創造力を探る。

小川 了著

ゼミナール

可能性としての国家誌——現代アフリカ国家の人と宗教

四六判並製／318頁
2,640円／1998年 国
978-4-7907-0712-7

西アフリカのセネガルに住む人々が、公権力と対峙しつつ巧みに織りなす「国家」の姿を、インフォーマル・セクターの分析などを通じて鮮やかに描く。日常の文化と国際社会の流れを総体として捉える新たな記述——ステイトグラフィ——の誕生。

赤田 光男 著

ゼミナール

ウサギの日本文化史

四六判並製／308頁
2,670円／1997年 国
978-4-7907-0645-8

日本の文化史上、山野に棲息する鳥獣は人間とどのような交渉をしてきたのか。特に、ある時は神として崇拜され、またある時は山の幸として捕獲されてきたウサギ——その聖と俗の両様を歴史民俗学的に考察し、日本精神史の世界に迫る。

栗本 英世 著

ゼミナール

民族紛争を生きる人びと——現代アフリカの国家とマイノリティ

四六判並製／352頁
2,456円／1996年 国
978-4-7907-0593-2

平和に暮らしていた村人が、ある日いっせいに民族解放戦線に参加する。殺戮と破壊のなかで、人びとはいかに主体的に生きようとしているか。渦中に身をおいた人類学者が憤激と共感をこめて描きだす、現在（いま）を闘う人びとの民族誌。

嶋田 義仁 著

ゼミナール

牧畜イスラーム国家の人類学——サバンナの富と権力と救済

四六判並製／336頁
2,670円／1995年 国
978-4-7907-0572-7

18、19世紀西アフリカの原野に超多部族世界を現出させた牧畜民フルベ族によるイスラーム国家形成運動「フルベ族の聖戦」。現存するレイ・プーバ王国を徹底的に解剖し、牧畜民の生産する家畜という富の巨大さに注目しつつ、その謎に迫る。

秋道 智彌・市川 光雄・大塚 柳太郎 編

学ぶ人

生態人類学を学ぶ人のために

四六判並製／292頁
2,082円／1995年 国
978-4-7907-0561-1

アフリカの森・オセアニアの海・極北の平原——地球のおどろくほど多彩な空間で、人びとは自然にたけこむようにして生きつづけてきた。本書は、人間と環境との根源的な関わりを問いなおす、フィールドワークの集大成である（付「文献案内」）。

中川 敏 著

ゼミナール

交換の民族誌——あるいは犬好きのための人類学入門

四六判並製／228頁
1,794円／1992年
978-4-7907-0429-4

東インドネシア、フローレス島に住むエンデ人の世界——誰と結婚し、何を交換し、どんな集団をつくるか——を、関係・親族理論を縦横に駆使して生き生きと照らしだす、知的刺激に満ちたテキスト。犬（事実）好きのための民族誌構築事始め。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ

ジェンダー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗
教
哲
学

歴
史

日本語
日本文学

外国語
外国文学

科
環
学
境

選
書
みらい
の
こころ

教
養
書

こころ
の
こころ

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社

社
会
学

政法 治律	米山 俊直・谷 泰 編	学ぶ人
経済	文化人類学を学ぶ人のために 四六判並製／296頁 1,976円／1991年 978-4-7907-0388-4	異なる慣習、異なる風俗、異なる顔立ち、異なる言語——異文化の森へ入ろうとする者は、未知の世界を読みとる手だてを身につけておかななくてはならない。多様な人間社会を理解し、自らをとらえ直すための知的地平を開く書（付「文献案内」）。
社会	鳥越 皓之 編	学ぶ人
メディア コミュニケーション シエンター	民俗学を学ぶ人のために 四六判並製／264頁 1,976円／1989年 978-4-7907-0361-7	日々の暮らしのなかで、人びとが出くわす切実な問題を解くために生まれた民俗学は、脱工業化社会といわれる現代において、どのような解答を用意しているのか。従来の方法論を立てなおし、普通の人びとの世界観を総体として理解する。
人類学	教 育	
教育		
心理	世界思想社編集部 編	電子版あり
宗 教 思想学	大学生 学びのハンドブック [5訂版] A5 判並製／128頁 1,320円／2021年 978-4-7907-1749-2	ノートのとり方、レポートの書き方、ゼミ発表の仕方など、大学での学びに必要なスタディ・スキルを、イラストで具体例を示して解説。メールやSNSの注意点など、大学生必携の基礎知識も満載。徹底的な学生目線で人気の初年次教育テキスト、5訂版。
歴史	堀内 かおる 編	
日本語 日本文学	生活をデザインする家庭科教育 四六判並製／224頁 2,530円／2020年 978-4-7907-1740-9	答えが一つではない問いに向き合い、対話を重ね、行動する力を子どもたちが身に付けるために、教師は何をすべきなのか。衣食住、家族、保育、消費、環境など生活のあらゆる事象を探究する、現在進行形の家庭科。
外国語 芸術学	初年次教育学会 編	
環 境 学 境	進化する初年次教育 A5 判並製／208頁 2,530円／2018年 978-4-7907-1722-5	学びへの動機付けや学習技術の修得で、大学生への移行を支援してきた初年次教育。高大接続改革やアクティブラーニングの浸透でどう変わるのか？ 政策動向から実践方法まで、多様化する初年次教育の全貌を描く。初年次教育学会設立十周年記念出版。
教養 選書 こぼれ みらい の 書	小寺 正一・藤永 芳純 編	学ぶ人
日常を 拓く知	〔四訂〕 道徳教育を学ぶ人のために 四六判並製／272頁 2,090円／2016年 978-4-7907-1688-4	子どもたちの「生きる力」「未来を拓く心」を育てるために、私たちは何をなすべきか。道徳教育の目的・意義・指導法から具体的な実践課題までをトータルに解説した、教育人必携のガイドブック。平成27（2015）年「学習指導要領」一部改正に対応。
世界思想社 現 著 書	世界思想社編集部 編	
社会 学	大学新入生ハンドブック A5 判並製／64頁 5,060円／2014年 978-4-7907-1641-9	大学の仕組みや勉強の仕方について、「高校までとはどう違うのか」という視点から、わかりやすく紹介。「Q&A」や「大学用語集」も収録した、新入生向けオリエンテーションに最適のテキスト。大学に慣れるまで持ち歩きたい、ハンディーな一冊。
ベジ ン ス	位藤 紀美子 監修	
	言語コミュニケーション能力を育てる——発達調査をふまえた国語教育実践の開発 A5 判上製／330頁 5,060円／2014年 978-4-7907-1618-1	小学校から中学校までの国語科授業における子どもの言語コミュニケーション発達調査の分析・検討と、言語コミュニケーション能力を育てる国語教育実践の開発研究の成果をふまえて、通じ合うことばの育つ教室実践の具体像を多角的に描き出す。

堀内 かおる 著

学ぶ人

家庭科教育を学ぶ人のために

四六判並製/202頁
2,200円/2013年
978-4-7907-1597-9

子どもたちが自立した生活者として生きていくために必要な学習とは何か。家族・保育・食生活・衣生活・消費生活をめぐる実践的学びを紹介し、授業づくり・授業実践・評価活動などの知識と方法も示す、教師を目指す人必携の書。

初年次教育学会 編

初年次教育の現状と未来

A5 判並製/272頁
2,750円/2013年
978-4-7907-1581-8

高校生から大学生への移行を支援する初年次教育は、この十年で急速に普及し、今やほとんどの大学で実施されている。その最新の理論・研究を体系化するとともに、実践に活用できる様々な教育法を紹介する。初年次教育学会設立五周年記念出版。

国立教育政策研究所・日本物理学会キャリア支援センター 編

ポストドクター問題—科学技術人材のキャリア形成と展望

A5 判並製/302頁
2,530円/2009年
978-4-7907-1416-3

ポストドクターとは、博士の学位取得後、意思があるにもかかわらず常勤学術職に就くことができぬまま研究に従事する者をいう。本書ではPD対象の定性的・定量的調査に基づきPDの現在・実態を記録、現代の高等教育や学術体制をも照射する。

高橋 三郎・新田 光子 著

大学生入門〔3訂版〕

四六判並製/176頁
1,430円/2009年
978-4-7907-1394-4

新入生が戸惑いがちな大学の現実の仕組みについて、体験する順に説明。また、ゼミでの発表の心得やレポートの書き方など、大学におけるプレゼンテーションについて、見本を交えながらアドバイスする。定評のある初年次教育テキストの3訂版。

杉本 厚夫・高乗 秀明・水山 光春 著

教育の3C時代—イギリスに学ぶ教養・キャリア・シティズンシップ教育

四六判並製/252頁
2,200円/2008年
978-4-7907-1371-5

イギリスの3C教育〈教養教育（カルチャー・エデュケーション）、キャリア教育（キャリア・エデュケーション）、シティズンシップ教育（シティズンシップ・エデュケーション）〉の取り組みから、社会で「生きる力」をつちかう教育を提案する。

難波 博孝 著

セミナー

母語教育という思想—国語科解体/再構築に向けて

四六判並製/368頁
2,750円/2008年
978-4-7907-1399-5

今教育現場には単なるハウツーでない理論が求められているが、国語教育の現場で必要とされる理論と言語学/日本語学や文学研究が基盤とする理論とは絶望的な差異が存在する。新学問=母語教育学に立脚してその差異を繋ぐ手立てを模索する。

稲垣 恭子 編

子ども・学校・社会—教育と文化の社会学

四六判並製/320頁
2,420円/2006年
978-4-7907-1223-7

「教育」「社会化」の多様化・個別化のなかで、「大人になること」の意味も変貌をとげつつある。「子ども」や「教育」をめぐる共通の前提が見えにくくなりつつある現代の様々な教育現象について、新たな解読の可能性をあらゆる形で提示する。

佐伯 年詩雄 著

学ぶ人

これからの体育を学ぶ人のために

四六判並製/328頁
2,090円/2006年
978-4-7907-1195-7

「身体の教育」から「運動の学習」、そして「身体的自由」の探求へ。規律訓練型体育のパラダイムを転換した最初で唯一のものである「楽しい体育」論。その学習指導論の可能性を改めて問い、これからの体育の諸課題に取り組み展望を示す。

杉浦 宏 編

セミナー

現代デューイ思想の再評価

四六判並製/352頁
2,750円/2003年 国
978-4-7907-0995-4

最近のアメリカにおけるデューイ復興の動きに呼応して、教育思想、哲学・論理学、倫理学・心理学、社会科学、価値論・科学論、宗教論・芸術論、ポストモダニズム、フェミニズム等の分野ごとにデューイの思想を検証し、新時代への展望を試みる。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ
ン
シ
ン
タ
ー

人
類
学

教
育

心
理

宗
思
哲
教
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学

科
環
学
境

教
養
の
選
書

こ
の
ま
じ
ら
の
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
社
想
叢
書

社
会
学

政治 法律	鈴木 秀人 著 変貌する英国パブリック・スクール——スポーツ教育から見た現在	A5 判上製 / 266頁 2,530円 / 2002年 ㊦ 978-4-7907-0933-6	『トム・ブラウンの学校生活』に見られるように伝統的に重視されてきた課外のスポーツ活動。いっぽうで、周辺に追いやられる体育の授業。スポーツをめぐる二つの教育実践を分析視点に、変わりゆく英国エリート学校のリアルな姿を鮮やかに描き出す。	
社会	中山 兼芳 編 児童英語教育を学ぶ人のために	四六判並製 / 360頁 2,530円 / 2001年 978-4-7907-0904-6	こころ豊かな国際人の育成、総合的学習の一環としての英語指導に向けて、明確な理論や多様な実践例を公開しつつ、小学校英語教育のあり方や具体的授業の進め方にひとつの指針を示す。学校・塾などで英語教育にかかわる人々の必携書である。	学ぶ人
メディア コミュニケーション センター	岩田 純一・河嶋 喜矩子 編 新しい幼児教育を学ぶ人のために	四六判並製 / 352頁 2,310円 / 2001年 ㊦ 978-4-7907-0897-1	豊かな育ちを願い、家庭や地域との連携に注目した保育環境の理論的模索や現場の貴重な実践記録を通して21世紀に人間らしく生きる力を育む幼児教育を構想する。21世紀の幼児教育 / 生きる力を育むために / 豊かな育ちを支えるために / 付録資料	学ぶ人
人類学 民俗学	杉本 厚夫 編 体育教育を学ぶ人のために	四六判並製 / 360頁 2,530円 / 2001年 978-4-7907-0832-2	わが国の近代化の過程で生まれた体育教育は、近代的身体とエトスの形成に力を注いできた——身体の意味とは何か。近代という時代とは何だったのか。「近代」が目指した「身体」のゆくえを探りながら、体育教育の歩みとこれからを考える。	学ぶ人
教育 心理	杉浦 宏 編 日本の戦後教育とデューイ	四六判並製 / 368頁 3,080円 / 1998年 978-4-7907-0735-6	戦後50年を経過した今日、その間のわが国の教育状況を回顧しつつ、デューイの教育思想・実験が日本の戦後教育にどのような影響を及ぼし、どのように修正・批判・継承されてきたかを検証、21世紀の日本の教育がめざすべき方向を考える。	セミナー
宗 哲 思 想 教 学	日本文学 外国文学	環境 学 境	心 理	
教育 学	M. チクセントミハイ 著 / 浅川 希洋志 監訳 / 須藤 祐二・石村 郁夫 訳 クリエイティヴィティ——フロー体験と創造性の心理学	A5 判並製 / 488頁 3,520円 / 2016年 978-4-7907-1690-7	ノーベル賞級巨匠たちが仕事や生活を語り、それを伝説の心理学者が分析。天才たちの人生から抽出される、「!」の瞬間を呼び込む処方箋。「すべての作り手に対するこのうえない激励」斎藤環氏。茂木健一郎氏・金井壽宏氏推薦。8カ国語に翻訳。	
芸術	H. ガードナー、M. チクセントミハイ、W. デイモン 著 / 大森 弘 監訳 / 安室憲一・梅野巨利・山口隆英・西井進剛 訳 グッドワークとフロー体験——最高の仕事で社会に貢献する方法	A5 判並製 / 328頁 3,080円 / 2016年 978-4-7907-1679-2	市場の圧力や技術革新によって急激に変化する職場環境、先行きが見えない将来、どう働けばいいのか？ 質の高い仕事と社会的責任を両立させる〈グッドワーク〉こそ解決策！ ジャーナリズムと遺伝学の現場から得たサバイバル術を指南。	
社会 学	村澤 和多里 監修 / 杉本 賢治 編 ひきこもる心のケア——ひきこもり経験者が聞く10のインタビュー	四六判並製 / 192頁 1,980円 / 2015年 978-4-7907-1665-5	ひきこもりとは何か？ ひきこもりのベテランである中年男性が、支援機関職員、心理学者、精神科医、ケースワーカーなど支援のプロと語りあう！ ジャーナリストのルポでも経験者の体験談でもないひきこもり問題への第三のアプローチ。中井久夫氏推薦。	



坂本 真士・大平 英樹 編

心理学論文道場——基礎から始める英語論文執筆

A5 判並製 / 276頁
3,080円 / 2013年
978-4-7907-1605-1

査読者が英語論文の極意を伝授！ 論文の発想法、投稿先の選び方、執筆ツールの作り方、査読者の着眼点……。国際誌で投稿・査読経験の豊富な著者が、技術のノウハウから精神の構えまで秘伝を開陳。ゼロから始めて英語論文の採択を勝ち取ろう！

小西 行郎・遠藤 利彦 編

学ぶ人

赤ちゃん学を学ぶ人のために

四六判並製 / 324頁
2,640円 / 2012年 ㊦
978-4-7907-1570-2

科学的な目で赤ちゃんを観察し、発達のしくみを解明し、育児や保育の現場に活かす赤ちゃん学。赤ちゃん学の全体像が体系的にわかり、赤ちゃんと接する際のポイントが身につく、決定版入門書。

梶田 叡一・溝上 慎一 編

学ぶ人

自己の心理学を学ぶ人のために

四六判並製 / 280頁
2,530円 / 2012年
978-4-7907-1560-3

心理学は「私」をどう研究してきたか？ 社会心理学、人格心理学、認知心理学、発達心理学、青年心理学、心理臨床・精神分析にまたがる自己研究。各分野における自己論について、理論的な流れを古典からレビューし、最先端の理論を解説する。

M. チクセントミハイ 著 / 大森 弘 監訳

フロー体験入門——楽しみと創造の心理学

四六判並製 / 264頁
2,530円 / 2010年
978-4-7907-1479-8

フロー体験とは、チャレンジとスキルが釣り合う状況でものごとに没入する体験。それは生活にわくわくする楽しみをもたらし、人生を充実させる。本書はフロー体験を日常生活のあらゆる場面に適用するためのポジティブで実践的な解説書である。

白井 利明・下村 英雄・川崎 友嗣・若松 養亮・安達 智子 著

セミナー

フリーターの心理学——大卒者のキャリア自立

四六判並製 / 240頁
2,420円 / 2009年
978-4-7907-1433-0

若者の生きづらさはどこからくるのか？ 彼らの考え方がいけない？ 価値観と収入の関係は？ 23歳～39歳の8336人の調査で、非正規雇用から正社員へと移行するプロセスと条件を明らかにし、フリーター支援のための提言をおこなう。

澤田 瑞也 著

セミナー

感情の発達と障害——感情のコントロール

四六判並製 / 192頁
2,090円 / 2009年
978-4-7907-1427-9

感情の発達とコントロールのメカニズムを解明し、豊かな感情を生きるために必要な共感的かわりについて考察。さらに、さまざまな感情の障害への介入と予防方法を提示。子どもの感情を扱いかねている親、保育士、教師必読の書。

M. チクセントミハイ 著 / 大森 弘 監訳

フロー体験とグッドビジネス——仕事と生きがい

四六判並製 / 312頁
2,530円 / 2008年
978-4-7907-1351-7

学生からビジネスリーダーまで必読の書！ フロー（楽しみ）を体験することで、仕事は自己実現と社会貢献の場となりうる。幸福と成功へ導くビジネスとは何か、豊富なデータと世界のトップ企業リーダー39人へのインタビューから読み解く。

岡田 努 著

セミナー

現代青年の心理学——若者の心の虚像と実像

四六判並製 / 202頁
2,090円 / 2007年
978-4-7907-1291-6

今どきの若者は変わったのか？ 友人関係、アイデンティティ、フリーター・ニートと自分さがし、恋愛、援助交際、ストーカーなどについて、心理学の知見を駆使し、最新データを示しながら、現代を生きる青年の3つのタイプを浮き彫りにする。

廣中 直行 著

心理学へのスタディガイド

四六判並製 / 208頁
1,980円 / 2007年
978-4-7907-1246-6

心理学って、どんなもの？ 心理学を勉強すると何がわかる？ これらをわかりやすく説明し、心理学の勉強のコツを伝授。これから学ぶ人はもちろん、最初でつまづいた人も、勉強がスラスラ進み、もっと楽しくなる！ 心理学を学ぶ人必携の書。

政法
治律

経
済

社
会

メ
ディ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ
シ
エ
ン
タ
ー

シ
エ
ン
タ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
思
哲
教
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学
芸
術

科
環
学
境

教
養
み
ら
い
の
書

こ
い
し
の
書

こ
い
し
の
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
社
社

社
会
学

政法 治律	R. C. マンネル、D. A. クリーバー 著／速水 敏彦 監訳		
経 済	A5 判上製／392頁 3,300円／2004年 978-4-7907-1048-6	社会心理学的理論や研究法を適用し、人々のレジャーの心理を体系立てて説明する、本邦初の本格的な研究書。レジャーにおけるパーソナリティや動機づけの役割から、メンタルヘルスやウェルビーイングへの影響も視野に入れた包括的な著作。	
社 会	播磨 俊子・佐藤 眞子・澤田 瑞也 編		学ぶ人
メディア コミュニケーション センター	レジャーの社会心理学 四六判並製／352頁 2,090円／2003年 978-4-7907-1010-3	「話す―聴く」ことを根幹にした心理療法であるカウンセリングにおいて、カウンセラーの果たす専門的な「聴く」役割とは何か。ありのままの自分の心に向き合うという心理的に守られた場を、クライアントに提供する力をつけるための導入書。	
人 類学	M. チクセントミハイ 著／今村 浩明 訳		ゼミナール
民 俗学	カウンセリングを学ぶ人のために 四六判並製／378頁 2,670円／1996年 978-4-7907-0614-4	幸福、喜び、楽しさ、最適経験などの現象学的課題の本質を、心理学、社会学、文化人類学、進化論、情報論などを駆使し、原理的、総合的に解明した労作。アメリカで3つの出版文化団体の選定図書に指定され、日本語のほか世界30カ国語で出版。	
教 育	間場 寿一 編		学ぶ人
心 理	フロー体験 喜びの現象学 四六判並製／288頁 1,980円／1986年 978-4-7907-0296-2	社会心理学は第二次大戦後に驚異的發展を遂げた学問である。本書は、最新の研究成果をとり入れ、社会的立場を明確に打ち出しつつ社会心理学の理論や問題領域を検討し、かつ世代・教育・宗教・労働・社会病理等の現代的な重要問題を分析する。	
宗 教学	社会心理学を学ぶ人のために		
歴 史	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold; margin: 0;">哲学・思想・宗教</p>  </div>		
日 本文学	安井 邦夫 著		
外 国文学	現代論理学〔新装版〕 A5 判並製／224頁 2,640円／2021年 978-4-7907-1755-3	論理学は、哲学や数学基礎論だけでなく、情報理論、計算機科学、電子工学、数理論理学でも不可欠。現代論理学の基本的なトピックを選び、命題論理学、述語論理学、形式的数論、帰納的関数、不完全性定理について概説する定番テキストの新装版。	
科 環 学 境	松元 雅和・井上 彰 編		
教 養 書	人口問題の正義論 A5 判上製／264頁 3,960円／2019年 978-4-7907-1725-6	どれくらいの人口規模が理想的なのか？ どのような人口政策が正しいのか？ 哲学、倫理学、経済学がそれぞれ進めてきた知の蓄積を結集して体系化した、最良のガイド。哲学の基礎から、生殖と家族計画、世代間正義、移民・外国人労働者問題まで。	
こ ども の 書	加賀 裕郎・高頭 直樹・新 茂之 編		学ぶ人
日 常 を 拓 く 知	プラグマティズムを学ぶ人のために 四六判並製／280頁 2,640円／2017年 978-4-7907-1698-3	プラグマティズムの発想を多角的に理解できる入門書。従来の哲学に大転回をもたらしたプラグマティズム。主唱者バース、ジェイムズ、デューイの思索の要点と、新たな展開を通覧し、教育学、民主主義論など現代の哲学的諸問題との接続を解説。	
世 界 思 想 社	大谷 栄一・川又 俊則・猪瀬 優理 編		基礎ゼミ
社 会 学	基礎ゼミ 宗教学 A5 判並製／196頁 2,090円／2017年 978-4-7907-1697-6	祭りや墓参りなどの身近な宗教体験から、被災者支援や政教分離といった社会との関わりまでを、アクティブラーニングで学べる入門書。資料を読み、仲間と議論し、自分の意見をワークシートに整理することを通じ、宗教情報リテラシーを身につける。	

井上 順孝 編

学ぶ人

宗教社会学を学ぶ人のために

四六判並製／296頁
2,420円／2016年
978-4-7907-1682-2

ウェーバー、デュルケム、ジンメル等の古典的理論、日本の民俗宗教や新宗教の研究
成果、隣接する人類学・心理学から最新の認知科学・進化生物学までの知見を整理し、
複雑化する現代の宗教と社会、宗教と文化の関係を解きほぐす。豊富なデータ収載。

内山 勝利 編

学ぶ人

プラトンを学ぶ人のために

四六判並製／312頁
2,530円／2014年
978-4-7907-1635-8

「哲学の原点」ともいえるプラトン哲学の基本的特色に照明を当て、その「対話」に
よる方法と多面にわたる思想の全体的な見取図を提示するとともに、「現代」との接
点を展望する。巻末に基礎的で有用な「文献案内」を付して読者の便宜に資する。

船木 亨 著

差異とは何か——〈分かること〉の哲学

四六判上製／362頁
3,190円／2014年
978-4-7907-1630-3

〈分かる〉ために、古代人は分類し、近代人は組み立ててきた。しかしその経験の底
では、時間・言語・感覚の数多の差異が豊穡にざわめいている。差異自身を思考する
「差異の哲学」は、生の復権を目指して〈分かること〉の真の仕方を探究する。

松嶋 健 著

電子版あり

プシコ ナウティカ——イタリア精神医療の人類学

A5 判上製／484頁
6,380円／2014年
978-4-7907-1625-9

なぜ精神病院を廃絶したのか？ 精神病院から地域への移行で何が生じたか。地域精
神保健サービスの現場でいま何が行なわれているのか。イタリア精神医療の歴史と現
状を展望し、「人間」を中心にすえた、地域での集合的な生のかたちを描く。

水地 宗明・山口 義久・堀江 聡 編

学ぶ人

新プラトン主義を学ぶ人のために

四六判並製／418頁
2,970円／2014年
978-4-7907-1624-2

三世紀から六世紀にかけて多彩な「プラトン主義者たち」によって展開されたネオプ
ラトニズム。古代最高かつ最後の形而上学であり、西洋神秘主義思想の源流ともなっ
ているその思想の概要を、充実したコラム15編を織り込みつつ詳しく解説する。

行安 茂 編

イギリス理想主義の展開と河合榮治郎——日本イギリス理想主義学会設立10周年記念論集

A5 判上製／382頁
3,960円／2014年 ㊦
978-4-7907-1621-9

十九世紀イギリスの政治、社会、教育、宗教をはじめ幅広い社会改革の原動力となっ
たイギリス理想主義を再検討すると同時に、日本においてその思想を精力的に紹介し、
多くの学生や知識人に多大な影響を及ぼした河合榮治郎の足跡を詳しくたどる。

福吉 勝男 著

福沢諭吉と多元的「市民社会」論——女性・家族・「人間交際」

四六判上製／258頁
4,180円／2013年
978-4-7907-1604-4

近代日本の形成主体として、福沢諭吉は女性と男性を対等に位置づけていた。
“citizen＝市民”の訳語を日本で最初に用い、自立した個人から成る市民社会をめざ
した福沢と、哲学者ヘーゲルの「市民社会」論における共通点を読み解く。

野家 啓一 監修／林 永強・張 政遠 編

日本哲学の多様性——21世紀の新たな対話をめざして

A5 判上製／254頁
2,970円／2012年
978-4-7907-1579-5

世界に広がりつつある日本哲学と、中国や韓国などの東アジアの哲学、そして西洋哲
学とが交差するところに「同化」と「異化」が生じ、それぞれの伝統から新たな知の
地平が拓かれる——その可能性を多角的に描き出した意欲的論文集。

宮原 勇 編

学ぶ人

ハイデガー『存在と時間』を学ぶ人のために

四六判並製／350頁
2,530円／2012年
978-4-7907-1573-3

二十世紀の最重要哲学書『存在と時間』を解き明かす——新資料や新研究を取り入れ
つつ、従来とは異なった観点から解説した研究入門書。初学者にとって理解のネック
になりそうな概念を正確かつ簡潔に捉え、独自の視点から深く掘り下げて詳説。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ
シエン
ター

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗
教
哲
学

歴
史

日
本
文
学

外国語
文学
芸術

科
環
学
境

教
養
選
書

こ
の
ま
の
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社

社
会
学

政法 治律	有福 孝岳・牧野 英二 編	学ぶ人
経 済	四六判並製/434頁 2,750円/2012年 関 978-4-7907-1562-7	今日、カント研究は欧米や東アジア文化圏で新たな展開を見せている。カントの理論哲学、実践哲学、美学、目的論、政治哲学、法哲学、歴史哲学、宗教論、人間学等と諸科学や現代哲学との対話・対決を通してその歴史的・現代的意義を探る意欲作。
社 会	八木 久美子 著	ゼミナール
メディア コミュニケーション センター	四六判並製/264頁 2,530円/2011年 978-4-7907-1544-3	グローバル化とイスラム——エジプトの「俗人」説教師たち 衛星放送やインターネットなど、新たなメディアの爆発的な普及は、イスラムをどう変えたか。十四世紀にわたるイスラムの歴史を持つ国、エジプトを舞台に、普通のムスリムがグローバル化の波にどう対応してきたかをいきいきと伝える。
人類学 民俗学	岡田 勝明 著	自己を生きる力——読書と哲学
教 育	四六判上製/246頁 2,090円/2011年 978-4-7907-1534-4	「自己」を問うことは「孤独」を問うことだ。孤独な自己を生きることの核心を求めて、夏目漱石、遠藤周作、三島由紀夫、上田閑照、竹内敏晴、山崎正和、一遍の代表的著作を読み進め、「自己存在」の「生」はどこに安心を得るのかを究明する。
心 理	戸田山 和久・出口 康夫 編	学ぶ人
宗 教 哲 学	四六判並製/380頁 3,080円/2011年 978-4-7907-1527-6	応用哲学を学ぶ人のために 哲学、現場へ——気鋭の執筆陣が、長年培われてきた「哲学的問い」と「知のツール」を手には、既存の学問の枠を破り、時代の「旬」のトピックに敢然と立ち向かう。全二八章からなる、日本初（発）！「応用哲学」のマニフェスト、ここに登場。
歴 史	ジェームズ・レイチェルズ 著/古牧 徳生・次田 憲和 訳	倫理学に答えはあるか——ポスト・ヒューマンズムの視点から
日本 文学	A5 判上製/302頁 2,750円/2011年 978-4-7907-1519-1	進化の観点から人間の尊厳を徹底的に否定し、メタ倫理から応用倫理まで、宗教・平等・安楽死・動物等について自在に論じたレイチェルズ渾身の論文集。鋭い視点と透徹した論理が正しい哲学的思考へと導く。大学のゼミのテキストとしても最適。
外国 文学	伊藤 徹 編	ゼミナール
環 境 学	四六判並製/310頁 2,750円/2010年 978-4-7907-1495-8	作ることの日本近代——一九一〇-四〇年代の精神史 物を作り人を作る力とは何か。近代化のかたちの根源に向かって、夏目漱石・柳宗悦・萬鉄五郎・高田保馬・小原國芳・三木清・中井正一・保田與重郎・堀口捨己などを取り上げ、分野を横断しつつ「作ること」の視点から日本の近代化を再検討する。
教 養 書	鏡味 治也 著	ゼミナール
こ だ ま の 書	キーコンセプト 文化——近代を読み解く 四六判並製/228頁 2,090円/2010年 978-4-7907-1493-4	ドイツ、フランス、イギリス、アメリカ、日本——国や時代によって異なる意味を持つ「文化」概念。その変遷をたどり、ネイション、伝統、民族概念との関係を一望のもとに照らし出すことで、近代という時代の特徴をあぶり出す。
日 常 知	山川 偉也 著	ギリシア思想のオデュッセイア
世 界 思 想 社	A5 判上製/382頁 4,180円/2010年 978-4-7907-1481-1	ホメロス、ヘシオドスをはじめ、主としてソクラテス以前の古代ギリシアの思想家たちを、著者独自の切り口で自由闊達に論究する。半世紀にわたるギリシア思想研究の蓄積を踏まえて縦横に語る「妒辺漫談」。著者自身によるスケッチも多数収録。
社 会 学	亀喜 信 著	ハンナ・アレント——伝えることの人間学
	四六判並製/222頁 1,760円/2010年 関 978-4-7907-1448-4	人々は自己を伝え合うことによって個として生きることができ。個を否定する全体主義と闘ったアレントの思想を、「伝える存在」としての「人間論」として読み解き、その根底にある〈人間を肯定する意志〉から、公共性の意味をとらえなおす。

落合 仁司 著

学ぶ人

数理神学を学ぶ人のために

四六判並製 / 154頁
1,760円 / 2009年
978-4-7907-1441-5

神が無限であるとするれば、神を無限集合にたとえることができる。無限集合は無限でありながら限界を有する。そのとき神は神でありながら苦しむ。神が人の苦しみを共に苦しめ、人の死を共に死ぬことを数学的に弁明する。それが数理神学である。

棚次 正和 著

祈りの人間学——いきいきと生きる

四六判並製 / 184頁
1,760円 / 2009年
978-4-7907-1440-8

〈人間の自然本性〉と〈宗教経験の原点〉、この二つの視点が交差する地平に立って著者が提案する新たな生き方と人間観とは？ いきいきと生きるためにはどうすればよいか。——「祈り」という切り口から「人間学」の再構築を試みた注目の書。

ケネス・W. グッドマン 編著 / 板井 孝彦郎 監訳

セミナー

医療 IT 化と生命倫理——情報ネットワーク社会における医療現場の変容

四六判並製 / 274頁
2,200円 / 2009年
978-4-7907-1386-9

コンピュータは医療現場をどのように変革したか——個々人の医療情報が次々と電子化され、網の目のようなネットワーク上を飛び交う「生命情報社会」の到来を目前にして、医療 IT 化に伴って生じてくる倫理的諸問題に鋭く切り込んだ注目の書。

外川 昌彦 著

宗教に抗する聖者——ヒンドゥー教とイスラームをめぐる「宗教」概念の再構築

A5 判上製 / 318頁
4,180円 / 2009年
978-4-7907-1382-1

インドとバングラデシュを超えて人びとに支持される聖者ラロンのあり方を通して、近代の「宗教」概念を問い直す。宗教的なもののえたいの知れなさを読み解き、様々な対立や混乱を回避するための対話の可能性を探る、渾身のエスノグラフィー。

間瀬 啓允 編

学ぶ人

宗教多元主義を学ぶ人のために

四六判並製 / 334頁
2,200円 / 2008年
978-4-7907-1376-0

ブルーリズム（多元主義）の時代に宗教はどうあるべきか。宗教理解にはパラダイム変換をもたらし、未来世代には行動指針「アジェンダ21」を提示する宗教多元主義とは、どのような思想か。その基本的な考え方をさまざまな角度から検証する。

中才 敏郎・美濃 正 編

セミナー

知識と実在——心と世界についての分析哲学

四六判並製 / 310頁
2,860円 / 2008年
978-4-7907-1367-8

「心は世界をどう見るか」——世界という実在、そのなかで生きるわれわれの心、言語、価値、そしてこれらについてのわれわれの知識（科学）。哲学の永遠の諸テーマをめぐって分析哲学の立場から鋭く切り込んだ、本格的哲学論集である。

平子 義雄 著

公共性のパラドックス——私たちこそ公共精神の持ち主

四六判並製 / 244頁
1,650円 / 2008年
978-4-7907-1344-9

いま日本で幸福だと感じる人が少ないのは、本来、人間のためにあったはずの公共性が、制度やシステムとして逆に人間を支配しているからだ。公共性のありかを人間の精神活動に求め、それが人間という社会的存在の幸福と直結していることを説く。

田中 雅一・川橋 範子 編

ジェンダーで学ぶ宗教学

四六判並製 / 280頁
2,090円 / 2007年
978-4-7907-1279-4

躍動する宗教学へ！——もはやジェンダーの視点なしに宗教を語ることはできない。これまでの宗教学が掲げてきた客観性や中立性を問題視し、わたしとあなたと世界との望ましい関係をつくりだすためのスリリングなテキスト。

上枝 美典 著

セミナー

「神」という謎 [第二版] ——宗教哲学入門

四六判並製 / 304頁
2,200円 / 2007年
978-4-7907-1253-4

「神」の存在を信じなくても信仰が持てる？ 「自由」の概念に潜む宗教的な意味とは？ 宗教について、楽しく学びながら、自分の頭で考えてみたい貴方に贈る。分析的宗教哲学の入門書として好評を博した旧版に新たに二章を追加した待望の改訂版。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ
シエン
ター

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗
教
哲
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学

科
環
学
境

教
養
選
書

こ
の
こ
ろ
の
書

日
常
を
拓
く
知

現
代
思
想
書

社
会
学

政治 法律	住原 則也 編 グローバル化のなかの宗教——文化的影響・ネットワーク・ナラロジー	
経 済	四六判上製/260頁 1,980円/2007年 978-4-7907-1231-2	ゆらぎ、適応し、創造する宗教の姿とは。深化するグローバル化のなかで宗教はどのように変化しているのか。伝統宗教から新宗教、さらに宗教経営学やスピリチュアリティ、ナラロジー（奈良学）まで、具体的な事例をもとに多様な視点から考察。
社 会	鈴木 健・大井 恭子・竹前 文夫 編 クリティカル・シンキングと教育——日本の教育を再構築する	ゼミナール
メディア コミュニケーション シエンター	四六判並製/236頁 2,090円/2006年 ㊦ 978-4-7907-1220-6	「人の意見を鵜呑みにせず自ら考える力」こそが、真の基礎学力であり、教育再生のかなめである。母語・外国語を問わず、すべての教育の基礎をなす「クリティカル・シンキング」の重要性と伸長のための方法論を8つの視点から平易に解説する。
人 類 学	山田 邦男 著 〈自分〉のありか	
民 俗 学	四六判並製/308頁 2,090円/2006年 978-4-7907-1209-1	「自分探し」に答えはあるのか？ 西田幾多郎、V・E・フランクル、エーリッヒ・フロム、東井義雄、金子みすゞ、禅仏教といった古今東西の人物・思想をたどりつつ、現代の精神状況について考察し、自己をめぐる根底的な問題を明らかにする。
教 育	滝澤 武人 著 イエスの現場——苦しみの共有	ゼミナール
心 理	四六判並製/276頁 2,090円/2006年 978-4-7907-1200-8	貧しい者、弱い者、罪ある者など当時の最底辺者・被差別者たちと共に生きたイエスの日常は、貧困と飢餓、病氣と障害、差別と抑圧にまみれていた。そうした「現場」に徹底してこだわったイエスの「真実の生」を、福音書に即して明らかにする。
宗 教 哲 学	J. W. ハイジック 編 日本哲学の国際性——海外における受容と展望	
歴 史	A5 判上製/366頁 3,080円/2006年 978-4-7907-1179-7	フランス語、英語、スペイン語、イタリア語、ドイツ語そして中国語という六つの言語圏で「日本哲学」がどのように受容されてきたかを概観し、歴史的資料の紹介や将来への展望を交えつつ、「日本哲学」研究上の様々な問題点を浮かび上がらせる。
日 本 文 学	富田 恭彦 著 観念説の謎解き——ロックとパークリをめぐる誤読の論理	
外 国 文 学	四六判上製/252頁 2,420円/2006年 978-4-7907-1156-5	ロックの「観念説」はなぜ誤読されるに至ったのか。ロックの観念はヴェールではなく、感覚や心像だけが観念と呼ばれたわけでもない。捏造されたロック像をクワイン流自然主義の視点から解体し、パークリの観念論の論理の歪みを明らかにする。
環 境 学	大橋 良介 編 ドイツ観念論を学ぶ人のために	学ぶ人
教 養 書	四六判並製/348頁 2,530円/2006年 978-4-7907-1156-8	現代の英・独・仏語圏の哲学における「ドイツ観念論」像を提示し、理性・倫理・自然・芸術・歴史・宗教といったドイツ観念論の主要問題につきその系譜と展開を辿る。またフィヒテ・ヘーゲル・シェリングの主要著作20余点の詳細な解説を付す。
日 常 知	中川 純男・加藤 雅人 編 中世哲学を学ぶ人のために	学ぶ人
世 界 思 想 社	四六判並製/300頁 2,200円/2005年 978-4-7907-1143-8	古代ギリシアを継承し、近世哲学の母胎となった中世哲学。その豊かな可能性を解明すべく、神と人間、心と記号、認識と存在、超越と実存、自然と宇宙といった視点から、中世思想に新たな光を照射する。巻末に年表、人名小事典、用語集を付す。
社 会 学	新田 孝彦・蔵田 伸雄・石原 孝二 編 科学技術倫理を学ぶ人のために	学ぶ人
ベ ジ ン ス	四六判並製/306頁 2,090円/2005年 978-4-7907-1135-3	今日、科学技術の安全性の確保と、その使用をめぐる人間の自律的選択の可能性が問われている。科学技術の知の構造と社会的位相を明らかにしつつ、専門家としての科学技術者の役割を問い直し、市民に開かれた新しい科学技術のあり方を追求する。

新田 義弘・河本 英夫 編

ゼミナール

自己意識の現象学——生命と知をめぐる

四六判並製/276頁
2,530円/2005年 ㊦
978-4-7907-1133-9

現代の現象学的分析は、経験の根底に働く世界と生命の関わりに新たな展望を切り開く。伝統的反省理論からの解放、過去の思想遺産の多角的な問い直しを通じて、自己意識本来の働きである〈生きたる知の根源的な差異化運動〉を明るみに出す。

中 敬夫 著

ゼミナール

自然の現象学——時間・空間の論理

四六判並製/252頁
2,420円/2004年
978-4-7907-1058-5

「自然」についての著者一連の現象学的研究のなかから、特に根源的な時間・空間経験の問題を出発点として、現代哲学のもろもろの有力な立場と対決しつつ、〈多における一〉〈一なき多〉の根底に、〈多なき一〉〈一における一〉の論理を析出する。

四日谷 敬子 著

ゼミナール

建築の哲学——身体と空間の探究

四六判並製/168頁
1,980円/2004年
978-4-7907-1051-6

身体が自らの廻りに空間を開くことを現象学的に証明し、建築の形態化する空間が「生かされる空間」であることを証示して、ハイデッガーの存在思想を身体現象に向けて超えていく意欲作。身体現象を空間と建築との関連で解き明かすユニークな試み。

平石 善司・山本 誠作 編

学ぶ人

ブーバーを学ぶ人のために

四六判並製/304頁
2,420円/2004年
978-4-7907-1037-0

「我-汝」「我-それ」という〈根源語〉の考察に始まり、ブーバーの宗教・哲学・教育観を解明、ハシディズムやユダヤ教、キリスト教、文学等との関わりを紹介するなど、ブーバー思想の全体像に迫りつつ、対話主義思想の今日的意義を考える。

池田 善昭 編

ゼミナール

自然概念の哲学的変遷

四六判並製/378頁
2,530円/2003年
978-4-7907-1016-6

「生ける自然」はなぜ「死せる自然」と化したのか。その原因を西洋形而上学の歴史にさぐるべく、古代ギリシアから現代に至る主要な西洋哲学および日本の仏教思想の自然観を比較検討することにより、人間と自然との本来的なあり方を究明する。

大村 英昭 著

臨床仏教学のすすめ

四六判上製/212頁
1,980円/2003年 ㊦
978-4-7907-1009-7

もっと“現場”の人たちの想いに近づき、それこそ身につまされるようなものを書かなければ——僧侶と社会学者の「二足わらじ」、「臨床仏教学」の看板をあえて掲げ、「現場」の方々に励ましの気持ちを込めて語る。

R. M. チザム 著/上枝 美典 訳

知識の理論 [第3版]

四六判並製/298頁
2,640円/2003年 ㊦
978-4-7907-0984-8

アメリカ分析哲学界の泰斗 R. M. チザムによる *Theory of Knowledge* の第3版。伝統的な知識理論を、「基礎付け主義」と「内在主義」の見地から擁護し、外在主義への反論を試みる。巻末に、訳者によるていねいな解説および文献紹介を付す。

内山 勝利 著

哲学の初源へ——ギリシア思想論集

四六判上製/284頁
2,530円/2002年 ㊦
978-4-7907-0926-8

タレスの時代、ソクラテス-プラトンの時代を中心として、ギリシア的な知の諸相に新たな光を当て、ギリシア哲学をはぐくんだ精神的風土や文化的情況を浮かび上がらせることにより、「愛知の精神」(ピロソピアー)としての哲学の本質に迫る。

花岡 永子 著

ゼミナール

絶対無の哲学——西田哲学研究入門

四六判並製/264頁
2,090円/2002年
978-4-7907-0913-8

環境倫理、生命倫理そして情報倫理といった現代的諸問題に対処するためには、思考の基盤として「絶対無」のパラダイムが欠かせない。西田哲学を中心とする東洋的知の特質を紹介することにより、西欧哲学の行きづまりを打開しようとする試み。

政治
法律

経
済

社
会

メディア
コミュニケーション
ジェンダー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗 教 哲
学 教 学

歴
史

日 本
文 学

外国語
文学 芸術

科 環
学 境

教
養
選
書

こ
の
ま
じ
ら
い
の
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社
現
代
哲
学
叢
書

社
会
学
ヘ
レ
ン
ス

政治 法律	船木 亨 著 〈見ること〉の哲学——鏡像と奥行	
経済	四六判上製／312頁 2,860円／2001年 978-4-7907-0914-5	鏡像はなぜ左右の向きで逆転するのか。網膜は湾曲した平面であるにもかかわらず、奥行のある立体的な世界を見ることができるのはなぜか——視空間に開いたパドドゥクスの裂け目から〈見ること〉の本質を探ろうとする、現象学的空間論の試み。
社会	北岡 武司 著 カントと形而上学——物自体と自由をめぐる	ゼミナル
メディア コミュニケーション センター	四六判並製／250頁 2,530円／2001年 978-4-7907-0878-0	弱くてもろい存在者であるにもかかわらず、人間はその内なる純粋理性により、自由の地平で死を超え時間を超えて成長することができる。「星のきらめく天空」の下で人間が自由であることの意味を徹底追究したカントの形而上学的思惟を追跡する。
人類学 民俗学	加茂 直樹 編 社会哲学を学ぶ人のために	学ぶ人
教育	四六判並製／340頁 2,200円／2001年 国 978-4-7907-0876-6	家族制度や教育問題から国家・地球環境にいたるまで、混迷する現代社会がかかえる重要な諸課題に正面から立ち向かい、それらの相互関連的な把握と総合的な解決をめざす。21世紀の現代社会を全体として捉えようとする哲学の新たな可能性を追求。
心理	中 敬夫 著 メース・ド・ビラン——受動性の経験の現象学	
宗 教 哲 学	A5 判上製／426頁 8,250円／2001年 978-4-7907-0859-9	ビランの哲学は通常、「意志の哲学」「努力の哲学」などと称される。だが本書は、そうしたピラニズムが、実は、その意志的能動性の根底に〈受動性の経験〉を置く一つの現象学的存在論であることを明らかにし、従来のピラニズム観の転回を図る。
歴 史	新田 孝彦 著 入門講義 倫理学の視座	ゼミナル
日本 文学	四六判並製／288頁 2,200円／2000年 978-4-7907-0838-4	本書で紹介する三〇の「例題」に代表されるような日常生活の中で浮かび上がってくる素朴な問いを倫理的考察へと導くことにより、現実的諸問題と倫理学説との架橋を図り、「倫理的に考える」ためのヒントを与える、新機軸の倫理学入門書。
外国 文学 芸術	岡田 勝明 著 フィヒテと西田哲学——自己形成の原理を求めて	ゼミナル
環 境 学	四六判並製／214頁 2,090円／2000年 978-4-7907-0801-8	前期西田哲学に及ぼしたフィヒテの影響についてはしばしば指摘されるが、両者の後期思想をも視野に入れた比較検討はこれまでほとんどなされてこなかった。本書は、両者の最終的到達点まで見通した上でなされた、初めての包括的研究書である。
教 養 書	山折 哲雄・川村 邦光 編 民俗宗教を学ぶ人のために	学ぶ人
こ ども の 書	四六判並製／264頁 2,090円／1999年 978-4-7907-0763-9	縄文と弥生、カミとホトケ、血と性、イノチと救い、籠りと巡り、地獄と極楽……身近な信仰の世界では、歴史と現在が交差している。その重層性に「驚きの心」をさしむけ、現在に生きる宗教の変貌を読み解く。民俗宗教の不思議への案内書。
日 常 を 拓 く 知	加茂 直樹 著 社会哲学の現代的展開	ゼミナル
世 界 思 想 社	四六判並製／268頁 2,640円／1999年 978-4-7907-0757-8	法と道徳、医療技術と生命倫理、環境問題、あるいは教育、政治、性といった、現代社会が抱えるさまざまな問題に長年取り組んできた社会哲学者が提示する、現代人へのメッセージ。ほかに医療、環境、教育等をテーマとする講演やエッセイも収録。
社 会 学	常俊 宗三郎 編 日本の哲学を学ぶ人のために	学ぶ人
ベ ジ ン ス	四六判並製／312頁 2,530円／1998年 978-4-7907-0714-1	西田幾多郎、田辺元、和辻哲郎、九鬼周造、三木清、植田寿蔵、西谷啓治、波多野精一——近代日本の代表的な哲学者8人の主著を取り上げ、西洋的ロゴスとの出会いと対決のなかから生まれたそれぞれの思想的営為の結晶を明らかにする本格的論考。

加藤 尚武・加茂 直樹 編

学ぶ人

生命倫理学を学ぶ人のために

四六判並製／368頁
2,530円／1998年
978-4-7907-0690-8

クローン人間・代理母・精子売買等々、先端医療が突きつける問題に人間はどう対処すべきか。インフォームド・コンセント、パターンリズム、パーソン論といった基本的概念とその問題点を徹底分析することにより生命倫理学の現在と未来を展望する。

米澤 有恒 著

ゼミナール

芸術を哲学する——現代美学批判

四六判並製／276頁
2,420円／1997年
978-4-7907-0661-8

内容の点でも形式の点でも、今日ほど芸術が多様な形態をとって存在している時代はない。そうした百家争鳴の観がある現在の芸術状況を俯瞰し、なぜそのようなものかを主として芸術哲学の立場から考察、学としての美学の可能性を追究する。

内井 惣七 著

ゼミナール

科学哲学入門——科学の方法・科学の目的

四六判並製／286頁
2,456円／1995年
978-4-7907-0558-1

正統的科学哲学と新科学哲学との対決を見直し、科学の認識と実践、発見と確証、客観性と主観性、連続性と断絶といった科学哲学の諸問題を体系的に見渡す、待望の本格的入門書。科学の歴史的展開をふまえつつ、科学の方法と目的について考える。

宇都宮 芳明・熊野 純彦 編

学ぶ人

倫理学を学ぶ人のために

四六判並製／288頁
2,082円／1994年
978-4-7907-0523-9

本書はまず倫理学の課題と形成過程を踏まえた上で、行為と規範、人格と自由、自己と他者、理性と物神といった倫理学の基本問題を新たな視点から捉え直し、正義論・生命倫理・環境倫理・近代化論等、倫理学が直面する現代的諸問題とも対決する。

井上 順孝 編

ゼミナール

現代日本の宗教社会学

四六判並製／270頁
2,082円／1994年
978-4-7907-0514-7

近現代の日本社会に焦点を当て、宗教が社会の中に現われる姿を豊富な資料・データを駆使して紹介。欧米の宗教社会学理論をそのまま日本の現象にあてはめて理解するのではなく、日本特有の現象に即した理論の必要性をも説く（付「文献解題」）。

金子 晴勇 著

ゼミナール

聖なるものの現象学——宗教現象学入門

四六判並製／248頁
2,082円／1994年
978-4-7907-0492-8

「無神論とニヒリズムの時代」といわれる現在、宗教は世俗化が進行し、その生命が枯渇する危機に直面している。本書は、こうした宗教の本質を「聖なるものの経験」に求め、宗教的生の根源を現象学的方法によって解明しようとする試みである。

池田 善昭 著

ゼミナール

システム科学の哲学——自己組織能の世界

四六判並製／220頁
2,082円／1991年
978-4-7907-0406-5

社会科学、人間科学、生命科学、物質科学のそれぞれの根底に共有されている「自己組織能の世界」——本書は、機械論的システム論の批判を通じて近代科学と哲学のパラダイムの転換をはかり、科学と形而上学との新たな接点をさぐる試みである。

塚崎 智・加茂 直樹 編

ゼミナール

生命倫理の現在

四六判並製／288頁
2,082円／1989年
978-4-7907-0353-2

生命工学と医療技術の発達をもたらした生命倫理に関わる諸問題は、現代社会の重要な論争のテーマとなっている。本書は、生命倫理の思想的背景と生命科学の基本的考え方にふれながら、医療に関する倫理的諸問題を哲学・倫理学の立場から考察する。

政治
法律

経
済

社
会

メ
ディ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ
シ
エ
ン
タ
ー

ゼミナール

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
教
哲
学
教
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学
芸
術

科
環
学
境

選
書
み
ら
い
の
書

教
養
の
書

こ
の
ま
の
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
社
想
書

社
会
学
ヘ
リ
ン
ス

政治
法律経
済社
会メディア
コミュニケーション
センター人類学
民俗学教
育心
理宗 教
思想学歴
史日本語
日本文学外国語
外国文学
芸術環
境
学教養
図書こども
の
みらい
の
書日常を
拓く知世界思想社
現存書社会学
ベジナス

歴史



松田 ヒロ子 著

電子版あり

沖繩の植民地的近代——台湾へ渡った人びとの帝国主義的キャリア

A5 判上製／272頁
4,180円／2021年
978-4-7907-1754-6

沖繩にとって〈植民地〉とは何だったのか？——琉球併合以来、日本人による差別と偏見に苦しんだ沖繩の人びとは、植民地支配下の台湾でどのように生きたのか。支配—被支配の間を往復した人びとの経験から、沖繩の近代と日本帝国主義を再考する。

今江 秀史 著

京都発・庭の歴史

四六判並製／232頁
2,640円／2020年
978-4-7907-1743-0

先入観をぶっ飛ばし、庭の見方を変える旅へ！文化財保護に長年携わってきた哲学研究者が、平安から現代までの千年をガイド。見た目や美しさだけではなく、知られざる使われ方に注目し、庭の本性を浮き彫りにする。

江上 綾・道明 三保子・ヤマンラール水野 美奈子 著

織り上げられた動物たちと花々——横浜ユーラシア文化館蔵二作品の美術史的・文化史的考察

B5 判並製／136頁
6,380円／2017年
978-4-7907-1702-7

横浜ユーラシア文化館が収蔵する、江上波夫が集めた2点の染織品を、表現内容、技法と素材、関連する文化史的環境の観点から研究し、その特性を総合的に紹介する。2作品のカラー写真25葉と、関連する128葉のカラー写真を掲載した労作。

佛教学歴史学部 編

歴史学への招待

A5 判並製／272頁
1,980円／2016年
978-4-7907-1687-7

それぞれの時代に、人びとはどう生きていたのか。過去の出来事に学び、現在への、そして未来への洞察力を養おう。日本でただひとつ、歴史学部をもつ佛教学部の教員が、総力をあけて、高校生を、一般読者を、歴史的世界の魅力へと誘う。

前川 玲子 著

亡命知識人たちのアメリカ

四六判上製／420頁
5,060円／2014年
978-4-7907-1623-5

一九三〇年代、ナチスに追われた亡命知識人たちは大恐慌に揺れるアメリカに辿り着いた。第二次世界大戦から冷戦、赤狩り、ベトナム戦争——激動の二〇世紀アメリカ史と、難しい選択を迫られた知識人たちの個人史との結節点を切り取った意欲作。

飯田 操 著

忠犬はいかに生まれるか——ハチ公・ポビー・パトラッシュ

四六判上製／310頁
3,190円／2013年
978-4-7907-1595-5

日本の近代国家形成とハチ公物語の生成、十九世紀の大英帝国世界支配と動物愛護運動の中で生まれるポビー、ウィータ作『フランダースの犬』のパトラッシュと二面性。《忠犬》に生まれ変わる背景を日英文化比較や社会・文化史的視点から探る。

野村 真理 著

ホロコースト後のユダヤ人——約束の土地は何処か

四六判上製／200頁
2,640円／2012年
978-4-7907-1575-7

ホロコーストからイスラエル建国に至る事情は、現在日本において正確に知られているとは言い難い。本書ではホロコーストとイスラエルのほぐまにある問題、国際社会の責任を明らかにし、現在の中東問題の歴史的理解に寄与することをめざす。

染田 秀藤・関 雄二・網野 徹哉 編

アンデス世界——交渉と創造の力学

A5 判上製／466頁
4,290円／2012年 函
978-4-7907-1554-2

歴史学・人類学・考古学の立場から、アンデス世界とそれにまつわる言説の創出・発展・変容過程で生じた多様なコンフリクトの真相に迫り、その歴史的意味を論じる。海外研究者7名を含む第一線の研究者と新進気鋭の若手研究者による画期的な試み。

小辻 梅子・山内 淳 編

ゼミナル

二つのケルト——その個性と普遍性

四六判並製／298頁
2,530円／2011年
978-4-7907-1538-2

「ヨーロッパ民族の原像」とも言われるケルトの民が住むイギリス諸島とフランスのブルターニュ。このいわゆる〈島のケルト〉と〈大陸のケルト〉の歴史や伝統、神話や言語・文学、また音楽や自然観をとらえて、文化の普遍性と個性をさぐる。

龍谷 直人・脇村 孝平 編

帝国とアジア・ネットワーク——長期の19世紀

A5 判上製／358頁
4,290円／2009年 国
978-4-7907-1431-6

ヨーロッパ帝国主義のもとでダイナミックに展開したアジアの商業的ネットワークに光を当て、18世紀から20世紀にまたがる「長期の19世紀」の枠組みを提示する。中国とインド、二つの大国をつなぐ広域経済史を通して、アジア史を見直す試み。

山田 由美子 著

原初バブルと《メサイア》伝説——ヘンデルと幻の黄金時代

四六判上製／412頁
2,860円／2009年
978-4-7907-1422-4

原初バブル（南海泡沫事件）はどのように発生し、いかなる余波を伴ったのか——ドイツ・ハノーファーの王位継承工作要員としてイギリスに送り込まれた音楽家ヘンデルの活動を通して事件の真相を究明し、《メサイア》作曲家の真像を甦らせる。

小田 康徳 編

学ぶ人

公害・環境問題史を学ぶ人のために

四六判並製／296頁
2,200円／2008年
978-4-7907-1361-6

明治以降の日本における公害問題・環境問題の通史的な把握をめざしつつ、代表的な事件を考究し、諸問題が日本の国家の制度や社会のシステム、人間の意識、学問のあり方などに与えた多様な影響を注視する。画期的な座右の史書である。

関 雄二・染田 秀藤 編

他者の帝国——インカはいかにして「帝国」となったか

A5 判上製／396頁
3,960円／2008年 国
978-4-7907-1325-8

「帝国」と名づけたのは誰か——近世ヨーロッパ史観に基づくインカ社会解釈は、再生産と再解釈を繰り返しつつ様々な影響を及ぼし続けている。本書では、錯綜する「帝国」像の生成過程や利用実態を解体、人類学的「帝国」分析の一例を示す。

野崎 京子 著

強制収容とアイデンティティ・シフト——日系二世・三世の「日本」と「アメリカ」

四六判並製／242頁
2,530円／2007年
978-4-7907-1274-9

戦争中の数年間、社会から追い出され隔離された日系人の体験——その傷痕は今も完全に消えてしまったわけではない。時代のざまで生きた世代の証言を記録し「歴史の記憶」としてとどめ、その意味について考察する。

平体 由美 著

連邦制と社会改革——20世紀初頭アメリカ合衆国の児童労働規制

A5 判上製／256頁
3,850円／2007年
978-4-7907-1265-7

合衆国における社会改革とはまず地域を単位とした運動であり、これを連邦大でイメージすることは難しい——連邦制が人々の意識や行動にどのような影響を与えているか、児童労働規制を通じて論じる。2008年度アメリカ学会清水博賞受賞。

泉森 皎 著

学ぶ人

河内の古道と古墳を学ぶ人のために

四六判並製／298頁
2,420円／2006年
978-4-7907-1204-6

大阪平野東南部に伝わる古道（東高野街道等）を通して、古市古墳群や百舌鳥古墳群、終末期古墳や古代寺院を考古学的に究明しながら人・物・文化の流れを解明する。写真・地形図を多数掲載、河内考古・歴史略年表や博物館・資料館案内を付載。

小林 道憲 著

ゼミナル

古代日本海文明交流圏——ユーラシアの文明変動の中で

四六判並製／278頁
2,090円／2006年
978-4-7907-1202-2

文明があって出会いがあるのではなく、出会いがあって文明は生成してくる——本書は「交流」をキーワードに、古代日本文明の形成過程を、日本海とユーラシア大陸の〈文明交流圏〉というネットワークのなかで捉えようとする意欲的試みである。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ
ジェンダー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗 教
思想
哲学

歴
史

日本文学
日本語

外国語
外国文学
芸術

科 学
環 境
学 術

教
養
選
書

こ
の
ま
じ
ら
の
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社
現
代
選
書

社
会
学
ベ
ジ
ン
ス

政治 法律	武藤 脩二・入子 文子 編著	
経済	四六判上製／302頁 2,420円／2006年 978-4-7907-1160-5	広くヨーロッパの伝統をふまえながら、ポーからウォートンにいたるアメリカン・ルネサンス期ならびにその前後の時代の作家たちと、建築・絵画・紋章・演劇など広義の視覚芸術との関係をさぐり、想像力を通してことばと図像の戯れを読み解く。
社会	柴田 秀藤・篠原 愛人 監修／大阪外国語大学ラテンアメリカ史研究会 訳	
メディア コミュニケーション センター	四六判並製／332頁 2,640円／2005年 ㊦ 978-4-7907-1127-8	現代のラテンアメリカ諸国が直面するさまざまな問題の原点は植民地支配体制の確立期に求められる——膨大な数に上る史料の中から、項目ごとに訳出する価値のある史料を厳選して紹介する本邦最初の試み。〔付：参考文献一覧・関連年表／地図〕
人類学	泉森 皎 編	学ぶ人
民俗学	日本考古学を学ぶ人のために	
教育	四六判並製／304頁 2,090円／2004年 978-4-7907-1062-2	日々新聞紙上を飾る遺跡の発掘情報は、古代へと我々の多様な想像力をかき立てるものである。考古学の歴史と現状、旧石器・縄文・弥生・古墳の各時代から飛鳥時代に至る考古学的文化を、写真・図版を多数添えて俯瞰する分かりやすい入門書。
心理	河原林 直人 著	セミナー
宗 教 哲 学	近代アジアと台湾——台湾茶業の歴史的展開	
歴史	四六判並製／250頁 2,310円／2003年 978-4-7907-1020-2	日本植民地期の台湾において、台湾人が能動的かつ自立的に国際経済活動を展開した領域として「茶貿易」がある。本書は、この日本の手の届かなかった部分で活動した台湾人「茶商」たちの実態を解明することで、近代台湾史像に再考を迫る。
日本 文学	金 文吉 著	
外国 文学	津田仙と朝鮮——朝鮮キリスト教受容と新農業政策	
芸術	A5 判上製／250頁 2,530円／2003年 ㊦ 978-4-7907-0976-3	明治初期の日本において、農学者、教育家、キリスト者として活躍した津田仙。その人物と業績をたどり、安宗洙と李樹廷という二人の朝鮮人とのかわりを中心に、彼が朝鮮の近代化と日朝友好の文化交流に果たした役割を探る。著者渾身の意欲作。
環 境 学	世界思想社編集部 編	
環境 学	瀧川事件——記録と資料	
教 養 書	B5 判上製／868頁 11,000円／2001年 ㊦ 978-4-7907-0883-4	時代の流れに抗し、研究の自由・大学自治を護ろうとした人々の記録。昭和8年当時の朝日新聞による新聞記事を中心に、『刑法読本』『京大事件』など復刻書籍をあわせて収載。他にも研究論文、大学新聞など豊富な資料で事件の全貌に迫る。
叢 書	生田 滋・岡倉 登志 編	セミナー
日 常 知	ヨーロッパ世界の拡張——東西交易から植民地支配へ	
世界 思想 社	四六判並製／246頁 2,090円／2001年 978-4-7907-0854-4	ヴァスコ・ダ・ガマのインド航路発見による東西交易の開始は、その後のアジア・アフリカ史に大きな影響を与えた。本書は、東西交易開始からアジア・アフリカにおける植民地形成、そして解放に至る歴史を「ヨーロッパの衝撃」の側面より探る。
社会 学	奈良大学文学部世界遺産を考える会 編	学ぶ人
ベ ジ ン ス	世界遺産学を学ぶ人のために	
世界 思想 社	四六判並製／308頁 2,090円／2006年 ㊦ 978-4-7907-0842-1	普遍的価値を有する地球規模での人類の文化遺産と自然遺産を、国際社会全体の任務として保全・保護しようとする世界遺産条約の精神に則り、英知を結集し総合的に調査・研究・保存するための〈世界遺産学〉の創造を目指した先駆的成果である。

日本語・日本文学



森 まゆみ 著

京都不案内

四六判並製/248頁
1,760円/2022年
978-4-7907-1774-4

京都を暮らすように旅する——市民運動のやり過ぎから免疫低下でがんになった。治療の後、体にいいことをするため京都へときどき転地。気功をし、映画を見、銭湯に入り、ごはんを食べて語り合う。観光客の集まる古都とは違う何かが見えてくる。

近刊 **電子版あり**

桑島 秀樹 著

司馬遼太郎 旅する感性

四六判並製/240頁
2,310円/2020年
978-4-7907-1739-3

日本各地や朝鮮半島に日本人の祖形を探り、アイルランドやオランダ、そしてアメリカに文明の起源をたずねた司馬遼太郎。『街道をゆく』をつらぬく独自の感性を解き明かし、行き詰まった現代社会のその先まで見晴るかす、新たな歴史風景論。

電子版あり

新村 恭 著

広辞苑はなぜ生まれたか——新村出の生きた軌跡

四六判上製/240頁
2,530円/2017年
978-4-7907-1703-4

【三浦しをん氏推薦!】「偉大にしてチャーミング!」『広辞苑』編者・新村出先生の多岐にわたる業績だけでなく、恋愛や生活をも知ることができ、胸キュンしました。なんと魅力的なお人柄!」没後50年、初の伝記。膨大な資料から祖父の素顔に迫る。

飯島 洋 著

虚構の生——堀辰雄の作品世界

四六判上製/272頁
4,400円/2016年
978-4-7907-1673-1

外国文学の方法に学び、日常空間から独立した世界を構築した堀辰雄。「聖家族」「風立ちぬ」「かげろふの日記」「ほととぎす」「菜穂子」「ふるさと」とを比較文学的に考察し、フィクションに普遍的な「生の本質」を追求した創造の軌跡を辿る。

柴田 勝二 著

夏目漱石 「われ」の行方

四六判上製/384頁
4,180円/2015年
978-4-7907-1654-9

格闘する知性の軌跡の追究。青年期に選び取った英文学への疑念を掘り下げつつ「東洋」という居場所を見出す漱石。それは緊迫する二十世紀初頭の国際関係の中で「日本」と「西洋」という「非我」をともども相対化する「われ」の在り処だった。

鈴木 貞美 著

日本文学の論じ方——体系的研法

四六判並製/240頁
2,420円/2014年 **叢書**
978-4-7907-1637-2

北京・清華大学での連続講義をもとにした、国際的に活躍する第一人者が明かす日本近現代文学研究の奥義。作品と概念、思潮、作者…と、ひとつひとつの考察を着実に進め、体系的に理解する方法を伝授する、未来の研究者への「知」のバトン。

土屋 忍 編

武蔵野文化を学ぶ人のために

四六判並製/374頁
2,750円/2014年
978-4-7907-1634-1

かつて武蔵野は海沿いを果てに、関八州までを指したが、さらに範囲を彼方へと広げることもあった。古代からの武蔵野の記憶を探り、今の武蔵野を見つめるとき、紋切り型の武蔵野イメージから解き放たれ、懐かしくも未知だった武蔵野と出会う。

学ぶ人

原田 香織 著

現代芸術としての能

四六判並製/256頁
2,310円/2014年
978-4-7907-1610-5

世阿弥生誕六五〇年の時間。能の世界は演劇としての伝統を守りながらも、世阿弥の理想とする世界に変化を遂げている。国内外の美術・彫刻・舞台芸術に多大な影響を与え続ける能、その現状と取り組み、新たな可能性を貴重な写真と共に探索する。

セミナー

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ

シ
ン
タ
ー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗
教
哲
学

歴
史

日
本
文
学

外国語
外国文学
芸術

科
環
境
学

教
養
み
ら
い
の
選
書

こ
の
ち
の
こ
ら
の
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社
現
代
藝
術
叢
書

社
会
学
ヘ
リ
ン
ス

政法 治律	木田 章義 編		学ぶ人
経 済	四六判並製 / 342頁 3,190円 / 2013年 978-4-7907-1596-2	日本語の歴史、発音や文法の各分野の現在の水準を明らかにし、これからどのように研究してゆくべきか概説する。国文学的研究の資料として古典籍を分析するための主要な方法である国語学の、最新学説に基づく教科書。付・国語史関連年表	
社 会	渡邊 澄子 著		
メディア コミュニケーション センター	男漱石を女が読む		
人 類学	A5 判上製 / 412頁 4,400円 / 2013年 ㊦ 978-4-7907-1591-7	法的には男女平等社会となって久しいが、現在に至ってもなお女性差別が現前することを思い合わせると、夏目漱石の新しさが際立つ。女性の人権確立を切望する著者が漱石文学を女の視点からジェンダー論として読み、漱石の平等主義を検証する。	
民 俗学	岩津 航 著		
教 育	死の島からの旅——福永武彦と神話・芸術・文学		
心 理	四六判上製 / 232頁 3,520円 / 2012年 978-4-7907-1580-1	虚無に向かって、忘却に逆らって歌うこと。東西の神話、ベックリーンの絵画、シベリウスの音楽、ボードレールの文学などを共鳴させる福永武彦最後の長篇『死の島』。「魂の死」をめぐるこの小説を、トボスを通じて開かれた世界として読み直す。	学ぶ人
宗 教 哲 学	林 和利 編		
歴 史	能・狂言を学ぶ人のために		
日 本 学	四六判並製 / 306頁 2,530円 / 2012年 978-4-7907-1559-7	ユネスコの無形文化遺産に登録された能楽に、国際的な関心が高まっている。能・狂言の歴史、作者と作品、伝書や演技、扮装や舞台にいたるまで、懇切な概説によって学びへの第一歩を支援する。最新の研究成果を反映させた本格的入門書。	セミナー
外 国 語	武久 堅 著		
環 境	平家物語・木曾義仲の光芒		
日 本 学	四六判並製 / 288頁 2,860円 / 2012年 978-4-7907-1552-8	平家物語の中で平清盛と共に屹立する人物、一一五四年から八四年に至る義仲の三十余年の生涯が放つ、ひたむきで純朴な一条の光を、信濃・北陸・京洛・琵琶湖畔にわたる足跡を辿りつつ夢と野望と破綻と挫折の壮絶な時の中、虚実の狭間に迫る。	学ぶ人
外 国 語	佐々木 瑞枝 著		
環 境	実践日本語教育を学ぶ人のために		
日 本 学	四六判並製 / 282頁 2,420円 / 2011年 978-4-7907-1542-9	外国人に日本語を教えて三〇年になる著者が、日本語教育の指導現場を公開する！——初級・中級・上級それぞれの指導法を「授業展開例」「授業のポイント」などにフォーカスして実践的に解説する。実践の背後に確かな理論があるユニークな一冊。	学ぶ人
日 本 学	鈴木 健一・鈴木 宏子 編		
日 本 学	和歌史を学ぶ人のために		
日 本 学	四六判並製 / 344頁 2,530円 / 2011年 ㊦ 978-4-7907-1533-7	万葉・古今・新古今から、近世の歌、近代短歌（啄木・晶子・子規等）までの三百七十余首を鑑賞し、日本の古典和歌の歴史を俯瞰すると同時に、和歌の情報に満ちあふれる本書は日本語・文学・文化学習にとって不可欠な座右の書となるであろう。	学ぶ人
日 本 学	秋澤 互・川村 裕子 編		
日 本 学	王朝文化を学ぶ人のために		
日 本 学	四六判並製 / 288頁 2,310円 / 2010年 978-4-7907-1488-0	艶やかに着飾る女房たちが遊び、日記や物語を書いた貴族の邸宅はどのようなものか。冠婚葬祭から音楽、美術、スポーツ、都大路を行き交う人々のファッションなど日常の些事にいたる、多様で尽きない好奇心に応える王朝文化の小百科。	学ぶ人
日 本 学	糸井 通浩・半沢 幹一 編		
日 本 学	日本語表現学を学ぶ人のために		
日 本 学	四六判並製 / 288頁 2,640円 / 2009年 978-4-7907-1430-9	日本語表現学とは、日本語表現の機構を体系的に明らかにしようとする、古くて新しい、ありふれていそうで実は画期的な学問である。人間関係も含め、日本語によって表現するということのすべてを対象とする、懐の深い研究の世界を紹介する。	学ぶ人

和田 博文 編

ゼミナル

戦後詩のポエティクス 1935～1959

四六判並製／328頁
2,640円／2009年
978-4-7907-1403-3

荒地派を中心に第一次戦後派の詩の世界を、『LUNA』『LE BAL』『純粹詩』などの一次資料を通して読み解く。戦後詩を「戦後」に閉じ込めるのではなく、戦前の都市モダニズム詩の継承と切断として捉え直す試み。基本資料の図版とガイドも充実。

山崎 國紀 著

思索する湯川秀樹——日本人初のノーベル賞受賞者の天才論

四六判上製／224頁
2,530円／2009年
978-4-7907-1395-1

人文系への湯川秀樹の貴重な「思索」に初めて照明をあてる。啄木や荘子等について真摯に語る天才論を軸に、漱石や紫式部等の文学、そして哲学、宗教、倫理、教育、戦争、平等への「思索」を掘り起こし、精細に分析した画期的湯川論である。

久保 朝孝・外山 敦子 編

端役で光る源氏物語

四六判並製／276頁
2,530円／2009年
978-4-7907-1384-5

これまで見過されていた〈端役〉に焦点を当て、端役論の視点から各場面を読み直すことによって、物語の陰影・迫真性・生動感を浮き彫りにする。多様な端役存在によって、『源氏物語』がますます光り輝く作品であることが明らかになる。

新熊 清 著

翻訳文学のあゆみ——イソップからシェイクスピアまで

A5 判上製／268頁
2,530円／2008年
978-4-7907-1363-0

ザビエルの鹿児島上陸による吉利支丹文学の移入から、明治時代前期のさまざまな翻訳事業まで、多数の事例を紹介しながら、過去数百年に渡る先人達の努力と工夫の跡と、西洋文化に対する熱い思いをたどる。文化創造の足跡としての翻訳史の試み。

吉海 直人 著

源氏物語の乳母学——乳母のいる風景を読む

四六判上製／256頁
2,530円／2008年
978-4-7907-1352-4

王朝物語において重要な役割を担われた特殊な人物群として〈乳母〉がいる。源氏物語に登場する主要な乳母・乳母子のうち、光源氏・夕顔・紫の上・末摘花・明石姫君・夕霧・雲居の雁・女三の宮・柏木・浮舟の乳母達を祖上のにせ分析する。

難波 博孝 編

学ぶ人

臨床国語教育を学ぶ人のために

四六判並製／352頁
2,860円／2007年
978-4-7907-1296-1

日本語にかかわる全ての場面で、日本語が豊かに深く適切に使えるようになることを願う、研究者の言説に飽き足りない実践者や現状打破を願う研究者、そして国語教育にかかわりながら様々な矛盾と戦っている全ての人への福音となるであろう。

神谷 忠孝・木村 一信 編

ゼミナル

〈外地〉日本語文学論

四六判並製／332頁
2,530円／2007年
978-4-7907-1258-9

「外地」という言葉で「隠蔽」され、あるいは「隠蔽」されようとした近現代日本の旧植民地を中心とする地域における日本語文学活動の一端を明らかにする。日本とアジアとの関係の文学的視点からの再考察、日本近代文学史への位置づけとなる。

小野 恭靖 著

学ぶ人

子ども歌を学ぶ人のために

四六判並製／338頁
2,530円／2006年
978-4-7907-1230-5

子どもたちの感受性を育み、コミュニケーション力を養い、そして文化の伝承を担ってきた子ども歌。この豊穡な日本の子ども歌を、すべてのジャンルにわたって通史的にたどる画期的な構成のもと、子どもと歌を愛するすべての人に捧げる。

堀井 令以知 著

学ぶ人

京都語を学ぶ人のために

四六判並製／196頁
2,090円／2006年
978-4-7907-1206-0

千年以上の歴史を有するみやびな京都語とは、どのようなことばか。その特徴・変遷・語源をさぐり、京都御所のことばをはじめ、町家・職人・舞妓のことば、さらに京都の年中行事で使われることばを幅広く紹介、京都語の現在と未来を展望する。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ
ジェンダー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗
教
哲
学

歴
史

日本文学
日本文学

外国文学
芸術

科
環
学
境

教養
選書
みらい

こころ
の
書

日常
を
知

世界
思想
叢書

社
会
学

政法 治律	和田 博文 編		ゼミナル
経 済	四六判上製/304頁 2,750円/2005年 978-4-7907-1132-2	近代詩と現代詩の境界をなした前衛詩の表現を、西洋のアヴァンギャルド、関東大震災とモダン都市、隣接領域等との交通の中で解明。Ⅰ 都市の崩壊と、精神の解放区 Ⅱ 前衛芸術の基本資料（一九一四～一九三〇）Ⅲ 日本語の変革Ⅳ 水先案内	
社 会	吉田 金彦・糸井 通浩 編		学ぶ人
メディア コミュニケーション センター	四六判並製/360頁 2,530円/2004年 978-4-7907-1088-2	人は地名をして文化を育て、育った文化は地名に歴史の足跡を刻む。本書は、地名研究のための実践の手引書として理論、方法論、実践例、また問題提起などを盛り込んだ。日本文化論の根底をなす基礎的研究分野としての地名学の基本図書である。	
人類学 民俗学	上野 誠・大石 泰夫 編		学ぶ人
教 育	四六判並製/288頁 2,420円/2003年 978-4-7907-1015-8	万葉集研究と民俗学・考古学研究との総合。恋・手向け・住空間・袖・皮服・稲作・女性労働・禁忌・祟・墓など多様なテーマや方法を模索しながら歌の表現から生活の歴史を復元する万葉民俗学の可能性に向けて開拓者のチャレンジがいま始まる。	
心 理	小峯 和明 編		学ぶ人
宗 教 哲 学	四六判並製/360頁 2,750円/2003年 978-4-7907-0967-1	今や世界文学と称すに値する『今昔物語集』の研究の最前線に立ち、過去・現在・未来への展望を視野に収めつつその深奥に分け入る。味読の道しるべに、また学習のためのアシスタントとして幅広い関心に対応した斬新かつ画期的な入門書である。	
歴 史	北岡 誠司・三野 博司 編		ゼミナル
日本 文学	四六判並製/342頁 2,530円/2003年 978-4-7907-0966-4	ナラトロジー（物語論）の観点から、漱石、鷗外、鏡花、荷風、谷崎、川端、大岡、三島、筒井、中上、大江を読み、そうした日本の近現代小説に潜む、語りの技（表現方法）と物語の構造（ストーリー）の両面を分析、小説の新たな読解を提示する。	
外国 文学	青木 直子・尾崎 明人・土岐 哲 編		学ぶ人
環 境 学	四六判並製/266頁 1,980円/2001年 978-4-7907-0891-9	日本語教育の歴史的・社会的位置づけの考察に始まり、応用言語学、心理学、教育学、異文化コミュニケーション論などの視点から日本語教師の仕事を再検討する。多言語化する日本社会において日本語教師をめざす人々のための新しい日本語教育論。	
教 養 書	植垣 節也・橋本 雅之 編		学ぶ人
こ み み の 書	四六判並製/340頁 2,530円/2001年 978-4-7907-0887-2	風土記を読んだあとで、古事記・日本書紀・万葉集を読みなおすと、異なった新鮮な古代社会像が見えてくる。ここに、国語国文学・国史学・地理学などの最前線にある若い研究者が協力して、新しい風土記世界を示現してみせる。	
日 知	井上 敏幸・上野 洋三・西田 耕三 編		学ぶ人
現 世 社	四六判並製/292頁 2,420円/2001年 978-4-7907-0866-7	「三」の時代としての元禄期。三代目の朝廷・幕府、三都の成立、三教一致思想の実質化、そして三文豪の活躍など、十七世紀の日本の文学や文化を問直すことにより二十一世紀におけるその情況の活性化を促そうとする意欲的論考の集成である。	
社 会 学	渡邊 澄子 編		学ぶ人
ヘ ル ス	四六判並製/292頁 2,090円/2000年 978-4-7907-0830-8	ジェンダーの言説と文化の構造を分析する視点を抜きにした現代社会・文化、思想の分析・批評はありえない——性差への想像力・理解力・洞察力を培い、新しい文学と生の可能性について考える最も適切なテキストとして、女性文学を読む。	

浅野 洋・芹澤 光興・三嶋 譲 編

学ぶ人

芥川龍之介を学ぶ人のために

四六判並製／314頁
2,530円／2000年
978-4-7907-0805-6

《芥川龍之介》を自明のものとしなない——この確認から出発した本書は、各論稿の個性を主張するにとどまらず、一方が他方を補完したり、逆に批判し合う体の、一種の有機性をもつ構造物となっており、かつ芥川研究の現在をするどく照射する。

廣庭 基介・長友 千代治 著

学ぶ人

日本書誌学を学ぶ人のために

四六判並製／208頁
2,090円／1998年
978-4-7907-0710-3

伝統的で多種多様な和本の調査には相応の知識と技術を必要とする。その手がかりを得るため図版に基づきわかりやすく解説した初めて通読できる書誌学の本。書誌学とは何か／書物の歴史と形態／書物の種類／書物の大きさ／書物の各部位の名称

安森 敏隆・上田 博 編

学ぶ人

近代短歌を学ぶ人のために

四六判並製／336頁
3,080円／1998年
978-4-7907-0705-9

明治から昭和前期までの近代短歌の歩みを振り返りながら日々の暮らしの中で短歌を楽しむ人々、創作する人々、そして研究する人々に、最適な道しるべを提供する。巻末に名歌集・歌論・記念館の各案内、年譜を併載し本書活用の便宜を図った。

大槻 修・神野藤 昭夫 編

学ぶ人

中世王朝物語を学ぶ人のために

四六判並製／350頁
2,860円／1997年
978-4-7907-0669-4

平安王朝から鎌倉そして室町期へと、延々と書き継がれた“貴公子と姫君の恋物語”。物語研究における未開な分野への新たな一歩を標すべく、その全容解明に敢然と挑む。系統的に配された13編の論考、その最終章には詳細な参考文献を収載する。

犬養 孝 著

セミナー

万葉の歌人 高橋虫麻呂

四六判上製／272頁
2,090円／1997年
978-4-7907-0664-9

孤愁を抱き、美の世界を構築した自己暗晦の人・高橋虫麻呂。大阪大学文学部における名講義の記録などをもとに、この万葉きってのロマンティシスト虫麻呂への不変の思念を説き明かす。犬養万葉学の要諦を成す、待望久しい高橋虫麻呂論である。

阪口 弘之 編

学ぶ人

近世演劇を学ぶ人のために

四六判並製／348頁
2,805円／1997年
978-4-7907-0640-3

浄瑠璃や歌舞伎の各時代的特徴、史的展開、さらに近世文化としての特質などの把握を考慮しつつ、斬新で啓蒙的であると同時に、最新の研究成果を十全に盛り込む。——近世演劇史をめぐる／歌舞伎研究の歩みと展望／近世演劇の芸態とその周辺

久保 朝孝 編

学ぶ人

王朝女流日記を学ぶ人のために

四六判並製／308頁
2,456円／1996年 国
978-4-7907-0612-0

女たちは現し世をいかに生き、いかに書いたか。王朝女流日記の読みの地平を大胆に、しなやかに切り拓く。〔執筆著〕三角洋一・長谷川政春・後藤祥子・高橋亨・平田喜信・室伏信助・原岡文子・伊井春樹・久保朝孝・中野幸一

島津 忠夫 編

学ぶ人

新古今和歌集を学ぶ人のために

四六判並製／338頁
2,456円／1996年 国
978-4-7907-0585-7

新古今の表現の解明に向けて、表現論序説を巻頭に、次章で藤原俊成・西行・藤原定家・慈円・藤原良経・藤原家隆・後鳥羽院の歌風の位置付け、第三章では連歌・俳諧・現代短歌への影響を考察し、第四章で注釈書・研究書を研究史とともにみる。

伊井 春樹 著

学ぶ人

源氏物語を学ぶ人のために

四六判並製／284頁
2,082円／1993年
978-4-7907-0448-5

平安貴族社会の実相や内外出典の説明、万治3年版（1660）『源氏物語』挿絵をふんだんに添えて、母恋と予言とをモチーフにする54帖全編を隈なく見渡し、わかりやすく作品論・紫式部論を展開しつつ『源氏物語』味読への道を示唆する。

政治
法律

経
済

社
会

メディア
マスコミ
シ
ン
タ
ー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗
教
哲
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学

科
環
境
学

教
養
書
い
ろ
は
な
り

こ
の
ま
は
ら
の
こ
の
ま
は
ら

こ
の
ま
は
ら
の
こ
の
ま
は
ら

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社

社
会
学

ヘ
レ
ン
ス

政法 治律	玉村 文郎 編	学ぶ人
経 済	日本語学を学ぶ人のために 四六判並製/322頁 2,082円/1992年 978-4-7907-0440-9	世界的な日本語熱の高まりが見られる現在、日本語を客観的かつ対照的に分析し、その諸性質を平易に解説した、新しい日本語学の入門書。本書は、現代日本語の研究と教育をめざす人々に、日本語学全般にわたる基本的知識を提供するものである。
社 会	徳川 宗賢・真田 信治 編	学ぶ人
メディア コミュニケーション センター	新・方言学を学ぶ人のために 四六判並製/300頁 2,082円/1991年 978-4-7907-0387-7	日本語のパラエティーの中で地域差だけが目立っていた時代は終わった。本書は、現代社会の多様性を反映して、地域差のほか性差、年齢差、職業差、階層差、さらには場面差等の観点を含む社会言語学的視座に立った「社会方言学」の入門書である。
人類学 民俗学	外国語・外国文学・芸術	
教 育	小倉 孝誠 編	学ぶ人
心 理	批評理論を学ぶ人のために 四六判並製 2023年(近刊) 978-4-7907-1776-8	構造主義、脱構築批評からフェミニズム批評、ポストコロニアル批評、そしてメディア批評、エコクリティシズムまで。20世紀後半から現代までの理論を幅広く学び、具体的な作品分析を通して批評のプロセスも体感できる入門書。
宗 教 思想学	矢萩 多聞・つた 著	
歴 史	美しいってなんだろう？ 四六変型判※/256頁 1,980円/2022年 978-4-7907-1771-3	魚の骨、道ばたの石、焼けた画集……あらゆるものは美しさを隠し持っている。じっと見つめ、耳をすまし、デザインすれば、いのちがやどる。装丁家と小学生の娘が交わした、世界のみみつを探る13の対話。※仮フランス装
日本語 日本文学	今村 純子 著	電子版あり
外国語 文学	映画の詩学——触発するシモース・ヴェイユ 四六判上製/308頁 2,970円/2021年 978-4-7907-1758-4	『となりのトトロ』『リトアニアへの旅の追憶』『阿賀に生きる』『東京物語』『ニュー・シネマ・パラダイス』……映画という具体的な芸術に沈潜するとき、ヴェイユの思想はどう生きられるのか。己の詩をもつ人々が放つ美の閃光を読みとく。
環 境 学	榎木 野衣・京都市京セラ美術館 編	
教養 みらい の こころ の 書	平成美術——うたかたと瓦礫(デブリ) 1989-2019 B5 変型判上製/232頁 3,500円/2021年 978-4-7907-1751-5	現代美術を総括！ 14作家の70点を写真200枚でカラー掲載。榎木の平成美術論、平成美術史カラー年表(731項目、図版77点)、赤坂真理・立岩真也・片山杜秀の平成論。切って貼ると完成するブックカバー型ポストカード15枚付。デザイン・松本弦人
日常 を 知 る	塚田 健一 著	電子版あり
世界 思想 書	エイサー物語——移動する人、伝播する芸能 四六判上製/272頁 3,080円/2019年 978-4-7907-1729-4	「大切なことは生きていると実感できる瞬間であり、それを与えてくれるのがエイサーなのだ」——沖繩の盆踊りであったエイサーが、いまや日本全土に広がっている。芸能伝播の現場で何が起きているのか。エイサーを踊り、歌い、伝えた人々の物語。
社 会 学	中筋 朋 著	
ベジ タ ス	フランス演劇にみるボディワークの萌芽——「演技」から「表現」へ A5 判上製/240頁 3,850円/2015年 978-4-7907-1659-4	自然主義を唱えたゾラ、自由劇場の創設者アントワース、演劇雑誌を主宰したジュリアン、象徴主義演劇の可能性を示したメーテルランク。見えない「生」に取り憑かれた人々の演劇論や戯曲を通して、現代演劇の源となった俳優訓練術の萌芽を描く。

辻 裕子 著

ジョン・ミルトンの思想と現代

四六判上製/262頁
3,850円/2014年
978-4-7907-1642-6

女性擁護の聖書解釈により近代の女性観・結婚観に多大な影響を与え、自然環境保全、環境倫理を示唆、言論出版の自由の危機に対峙し、平和愛好者・近代哲学の先駆者で全人教育の理想を説くミルトンに熱く共感する著者渾身の現代日本への警鐘。

小倉 孝誠 編

学ぶ人

十九世紀フランス文学を学ぶ人のために

四六判並製/320頁
2,970円/2014年
978-4-7907-1639-6

革命後のフランス。小説・詩・演劇の世界は刷新され、作家たちはこぞって自伝・日記や旅行記を書いた。激動する社会の中で新たな思想が生まれ、ジャーナリズムの発達が文芸批評を促した。時代と社会の産物としての文学を鮮やかに描きだす。

高谷 修 著

ギリシア・ローマ文学と十八世紀英文学——ドライデンとボープによる翻訳詩の研究

A5 判上製/356頁
6,930円/2014年
978-4-7907-1632-7

17～18世紀イギリス。詩人たちは英語表現の可能性を追い求め、ギリシア・ローマ文学の英語による再創造を試みた。古典の正確な理解を基に、原典と英訳を比較検討し、新古典主義時代の詩人、ドライデンとボープの翻訳詩の特質を究明する。

中 良子 編

災害の物語学

四六判上製/336頁
3,850円/2014年
978-4-7907-1622-8

災害の記憶を語り継ぎ、小さくても声を上げ、歴史に残す。その記録の営みに文学がいかに、自由に、関わっていくか、それが災害の物語学。自然災害・環境破壊・疫病から超常現象まで、アメリカ的想像力の結晶である災害表象の諸相を解明する。

塚田 健一 著

アフリカ音楽学の挑戦——伝統と変容の音楽民族誌

A5 判上製/424頁
6,380円/2014年
978-4-7907-1617-4

南部アフリカのサバンナの民ルヴァレと、西アフリカの熱帯雨林の民ファンティ。二つの文化にまったく異なるアプローチ——構造分析的アプローチと社会的アプローチ——を適用し、音楽研究の方法論的な刷新を促す第一人者からの挑戦。

小田中 章浩 著

セミナー

フィクションの中の記憶喪失

四六判並製/238頁
2,310円/2013年
978-4-7907-1602-0

天国か地獄か？ 小説、演劇、映画、漫画、アニメ、コンピュータ・ゲーム等に現れる記憶喪失。十九世紀における登場から現在生み出される多様な表象文化の中の記憶喪失モチーフの展開と機能を扱った、類を見ない斬新なフィクション論の誕生。

大池 真知子 著

エイズと文学——アフリカの女たちが書く性、愛、死

A5 判上製/320頁
4,180円/2013年 ㊦
978-4-7907-1600-6

小説、自伝・評伝や聞き書き、メモリーブックの実践など広義の文学実践において、アフリカの女たちがHIV/エイズとともに生きながら語る物語を読む。分析を通して人々が日々経験する性と愛と死をたどり、エイズ時代の文学の意味を考察する。

井桁 貞義・井上 健 編

チャーホフの短篇小説はいかに読まれてきたか

四六判並製/258頁
2,420円/2013年
978-4-7907-1585-6

世界と人間との真実を凝視し、書きつくした作家チャーホフ。その短篇小説の特質、魅力を存分に浮かび上がらせつつ、今日に至るまで世界各国の文学、特に日本の作家たちに与えてきた幾重もの影響の波動を、さまざまな角度から精緻に読み解く。

植田 祐次 編

学ぶ人

ヴォルテールを学ぶ人のために

四六判並製/266頁
2,420円/2012年
978-4-7907-1578-8

戦争に代表されるような人間のもたらす「悪」と対峙し、狂信に起因する宗教上の不寛容や不正を痛烈に批判して「寛容」を説いたヴォルテール。哲学コント、歴史著作、社会批評、そして書簡等を通してその思想を紹介し、後世への影響をたどる。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ

シ
エン
ター

人
類
学

教
育

心
理

宗
思
哲
教
学

歴
史

日
本
語
文
学

外
国
語
文
学

科
環
境
学

教
養
み
ら
い
の
書

こ
の
ま
じ
ら
い
の
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社

社
会
学

政法 治律	東浦 弘樹 著 フランス恋愛文学をたのしむ——その誕生から現在まで	
経済	四六判並製/288頁 2,530円/2012年 978-4-7907-1569-6	いつの時代も文学は、恋に生きる「おろかしきもいとおしい」人間を描いてきた。「トリスタンとイゾー」から古典悲劇、ファミ・ファタル小説、そして現代小説『人生は短く、欲望は果てなし』まで、フランス恋愛文学珠玉の二十篇を読み解く。
社会	塩谷 清人 著 ダニエル・デフォーの世界	
メディア コミュニケーション センター	A5 判上製/480頁 5,060円/2011年 ㊦ 978-4-7907-1547-4	イギリスの近代化の渦中で貿易業、ジャーナリスト、政治スバイ、『ロビンソン・クルーソー』などの小説家として活躍したダニエル・デフォー（1660-1731）の本格的評伝。初紹介の原典を含め膨大な資料によって彼の全貌が浮かび上がる。
人類学 民俗学	植木 照代 監修/山本 秀行・村山 瑞穂 編 アジア系アメリカ文学を学ぶ人のために	学ぶ人
教育	四六判並製/464頁 3,080円/2011年 978-4-7907-1539-9	アジア系移民150年の歴史にちりばめられた文学的遺産——新たな潮流・新しい作家・作品・理論を紹介するとともに国・民族・文化の境界がボーダーレス化・トランスナショナル化・ハイブリッド化してゆく21世紀の新たな観点から捉え直す。
心理	木原 善彦 著 ピンチョンの『逆光』を読む——空間と時間、光と闇	
宗思想 哲学	四六判並製/204頁 2,200円/2011年 978-4-7907-1531-3	フロンティアが消滅したアメリカと世界大戦へと突き進むヨーロッパを舞台に、〈偶然の仲間〉の冒険、トラヴァース一家の復讐が交錯する物語『逆光』。ポストモダン文学の巨人ピンチョンの千ページを超える傑作の訳者が贈る、ひとつの創造的注釈書。
歴史	東浦 弘樹 著 晴れた日には『異邦人』を読もう——アルベール・カミュと「やさしい無関心」	
日本語 日本文学	四六判上製/216頁 2,530円/2010年 978-4-7907-1489-7	僕は幸福だったし、いまもそうだ——ムルソーの最後の叫びは何を意味するのか？『異邦人』が投げかける本質的な4つの問いを中心に、カミュの想いをときあかす。変えられないものに意味を与え、和解を可能にする文学の豊かな力が見えてくる。
外国語 外国文学 芸術	浜田 邦裕 著 多言語学習の練習帖	
環境 学	四六判並製/180頁 1,980円/2010年 978-4-7907-1477-4	「知ることは、われらを自由にする！ みなさんは、語学の勉強が好きですか。なぜ、語学を勉強するのでしょうか。多くの言語に共通している文法書の目次項目をガイドに、たくさんの方々の言語の「全体像」になじむための練習帖（付 練習問題）。
教養 読書	野口 祐子 編著 『サウンド・オブ・ミュージック』で学ぶ欧米文化	
こどもの 読書	四六判並製/172頁 1,980円/2010年 978-4-7907-1460-6	映画『サウンド・オブ・ミュージック』に描かれたトラップ一家の物語から20世紀の激動の歴史を読む——歌と音楽、セリフと視覚・聴覚的演出をテキストとして読み解き、映画が20世紀欧米世界について何を教えてくれるかを解き明かす。
日常 雑学 雑知	木村 護郎クリストフ・渡辺 克義 編 媒介言語論を学ぶ人のために	学ぶ人
世界 思想 書	四六判並製/364頁 2,530円/2009年 978-4-7907-1425-5	異言語間コミュニケーションの多様な世界。異なる言語をもつ人々が出会うとき、どのような相互伝達がなされるか。異言語話者間の言語的な媒介に光をあて、世界各地のさまざまな形態を理論的・実証的に研究。媒介言語論の新たな地平を切り開く。
社会 学	C. シールズ 著/内田 能嗣・惣谷 美智子 監訳 ジェイン・オースティンの生涯——小説家の視座から	
ベジ ンセス	四六判上製/240頁 2,530円/2009年 978-4-7907-1414-9	イギリス近代小説の伝統を確固たるものにしたJ. オースティン。ピュリッツァー賞作家C. シールズはオースティンの心の中に入り込む。そこで小説家同士の視線が同一化し、紡ぎ出された、単なる出来事の羅列に終わらない斬新な伝記である。

風呂本 武敏 編

学ぶ人

アイルランド・ケルト文化を学ぶ人のために

四六判並製/372頁
2,200円/2009年
978-4-7907-1402-6

ケルトの英雄伝説や妖精物語を糧とし、英国植民地、ジャガイモ飢饉、移民、さらに宗教紛争など、苦難の歴史を生き延びた国アイルランド。その豊饒なる文化と文学について、斯界を代表する執筆陣による、入門から今日の課題に至るまでの三十章。

桐山 恵子 著

境界への欲望あるいは変身——ヴィクトリア朝ファンタジー小説

四六判上製/232頁
2,530円/2009年
978-4-7907-1379-1

ワイルドとコレリが愛したロンドン。お姫さまが働き、ゴブリンが飛び回り、サタンが紳士に、紳士がサルになる……著名な作品のみならず、ベストセラー作家コレリ的小説におけるファンタジー的諸相を読み解き、19世紀イギリスの虚実をあばく。

山本 秀行 著

アジア系アメリカ演劇——マスキュリニティの演劇表象

四六判並製/304頁
2,640円/2008年
978-4-7907-1355-5

アジア系アメリカ人男性による演劇作品のマスキュリニティ表象を通して、アジア系アメリカ人における人種、ジェンダー、セクシュアリティの交差、マスキュリニティに依拠したアメリカニズム、およびアメリカ社会の問題点を浮き彫りにする。

武藤 脩二 著

ゼミナール

ヘミングウェイ『われらの時代に』読釈——断片と統一

四六判並製/268頁
2,090円/2008年
978-4-7907-1354-8

世界と人間の断片化の意識と統一への衝動——十九世紀末モダニズムの潮流の中から生まれたこの名作の全作品を対象に、緻密なテクスト分析と文化的背景の研究を通して境界と越境の諸相を抽出、閉塞状況にある従来の解釈に新たな地平を切り開く。

荒木 映子 著

ゼミナール

第一次世界大戦とモダニズム——数の衝撃

四六判並製/232頁
2,200円/2008年
978-4-7907-1341-8

十九世紀の猛烈な人口爆発から第一次世界大戦の大量死にいたる社会・文化現象を「数の衝撃（ショック）」という観点から読み解き、戦争詩とモダニスト詩との違い、さらにはパラダイムを喪失したポストモダニズム以降の時代状況を明らかにする。

植田 祐次 編

ゼミナール

フランス女性の世紀——啓蒙と革命を通して見た第二の性

四六判並製/310頁
2,420円/2008年
978-4-7907-1336-4

フランス十八世紀は「女性の世紀」である。それまで「第二の性」とみなされていた女性たちが、自立した生を主張しはじめる。彼女たちはいかに生き、何をいかに表現したか、男性作家の作品にどう描かれたか——彼女らの肖像を重層的に再現する。

清水 一嘉・小林 英美 編

ゼミナール

読者の台頭と文学者——イギリス一八世紀から一九世紀へ

四六判並製/224頁
2,090円/2008年
978-4-7907-1331-9

いかに読者の興味に訴え、読者を獲得するか！ 18世紀文学を支えたペイトロンの退場以後のロマン派文学における読書界を彩る人間模様や、イギリス近代出版の市場形成の過程を、具体的な文学現象を掘り起こしながら明らかにする。

田中 多佳子 著

ヒンドゥー教徒の集団歌謡——神と人との連鎖構造

A5 判上製/468頁
7,150円/2007年
978-4-7907-1309-8

地上に顕現した神々とともに遊び、信仰を表現する手段として伝承されてきた北インドの集団歌謡。その歌唱形式を、純粹に音楽として、さらに宗教儀礼として分析し、神と人、人と人の連鎖によって育まれた叡智を見いだす。第26回田邊尚雄賞受賞。

マリーズ・ブリュモン 著/三野 博司 訳

学ぶ人

『星の王子さま』を学ぶ人のために

四六判並製/166頁
1,760円/2007年
978-4-7907-1292-3

『星の王子さま』を名作古典として読み、哲学や思想史、宗教、とくに物語論を駆使して、この名作の「神秘」のいくつかを明らかにするとともに、それを手がかりに、文学作品一般の読解方法についても解説する、「文学批評理論」の格好の入門書。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコ
ミニア
シエン
ター

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗 思 哲
教 学 学

歴
史

日本語
日本文学

外国語
外国文学
芸術

科 環
学 境

教養
選書
みらい
の
こころ

日常を
拓く
知

世界思想社
現代理論書

社 会 学
ベジ
ン
ス

政法 治律	浜田 邦裕 著	
経 済	現代音楽の練習帖	何かを論じようとするとき、どのような論点・視点があるか、どう考えてゆけばよいのか——ドビュッシーから、プレスリー、ビートルズ、クイーン、井上陽水、コブクロまで、現代の音楽を題材にその道筋を示し、論理的思考を練習する。
社 会	内田 能嗣・塩谷 清人 編	学ぶ人
メディア コミュニケーション センター	ジェイン・オースティンを学ぶ人のために	〈結婚〉というテーマで日常生活を皮肉とユーモアを交えて淡々と描いた、イギリス小説史上に燦然と輝くジェイン・オースティンの文学の全貌を、日本での受容をはじめ、生涯、研究法、六大小説と断片の特色など珠玉の考察から明らかにする。
人類学 民俗学	谷本 尚子 著	
教育	国際構成主義——中欧モダニズム再考	ロシア構成主義と西側のアヴァンギャルドが出会い、大戦間にドイツおよび中欧各地で花開いた国際構成主義運動。それは現代の芸術理論にも多大な影響を及ぼした。造形芸術・デザイン・写真・映画などの作品分析を通して、その今日的意義を問う。
心理	渡辺 克義 編	学ぶ人
宗 教 思想学	ポーランド学を学ぶ人のために	近世～現代の歴史から、政治・経済、宗教、文学、エスペラント、音楽、美術、映画、日本における研究史まで、ポーランド研究のエッセンスがぎっしり詰まった「ポーランド学」総合入門書。あなたはどれだけポーランドについて知っていますか？
歴 史	児玉 実英・杉野 徹・安森 敏隆 編	学ぶ人
日本語 日本文学	二〇世紀女性文学を学ぶ人のために	戦争の時代と称される二〇世紀に、日本をはじめ、アメリカ、ヨーロッパ、アジア、アフリカにおいて封建的束縛からの解放や政治・経済的な自立、男性との共生などを模索した女性作家たち。その文学的営為についての世界的な潮流を俯瞰する。
外国語 外国文学 芸術	小川 順子 著	
環 境 学	「殺陣」という文化——チャンバラ時代劇映画を探る	A5 判上製／410頁 4,620円／2007年 978-4-7907-1236-7
教養 選書	人を斬る、その残酷な所作の美しさとは——映画の草創期から現代に至るまで、無数の観客が銀幕の上で繰り広げられるチャンバラ（殺陣）に酔いしれた。時代劇映画における殺陣の歴史から身体運用、日本文化研究の新たな展開へと広がる壮大な試み。	学ぶ人
こどもの 読みもの 叢書	竹内 博・長町 充家・春日 明夫・村田 利裕 編	
日 常 を 拓 く 知	アート教育を学ぶ人のために	人間形成に大きな影響を与える青年期のアートを指導する指導者の望ましい資質と能力を問いつつ、教育計画から新指導内容、その背景をなす実践的な教育哲学や発達への見識など、教育実践に必要とされる内容に光をあてるチャレンジの書である。
世界思想社 現 代 書	奈倉 洋子 著	ゼミナール
社 会 学	日本の近代化とグリム童話——時代による変化を読み解く	比較文化の視角から、教育や国語改革などにみる日本の近代化過程においてグリム童話の果たした役割を明らかにし、メルヒェンの具体的イメージを喚起する四十一の絵図をふまえつつ、時代の変遷に伴う話の変容とその起因を多角的に探る。
ベ ジ ン ス	中岡 洋・内田 能嗣 編	学ぶ人
	ブロンテ姉妹を学ぶ人のために	シャーロット、エミリー、アン。『ジェイン・エア』『嵐が丘』をはじめとする想像力あふれるブロンテ姉妹の全作品を網羅する遠大な視野に立ち、生い立ちや取り巻く環境の特異性を観つつ、ブロンテ文学の特質を平易に説き明かす。

小泉 博一・飯田 操・桂山 康司 編

学ぶ人

イギリス文化を学ぶ人のために

四六判並製／378頁
2,530円／2004年 図
978-4-7907-1072-1

様々な文化現象の生成過程に注目し、その相互関連を明らかにして、イギリスという国の真の姿、国民の世界観、社会観、人間観や価値観を見定め、総体としてのイギリス文化を批判的精神と鋭い鑑識眼をもって探究するための格好の入門書である。

水野 信男 著

音楽のアラベスク—ウンム・クルスームの歌のかたち

A5 判上製／264頁
3,520円／2004年
978-4-7907-1069-1

アラブ世界の「永遠のディーヴァ（歌姫）」として人びとを魅了し続けるウンム・クルスームの歌声に宿るものは何か。エジプトの大歌手に魅せられた筆者が、アラブの感性と心性を秘めた「アラベスク」を通して、その歌に息づく情動に迫る。

「陶・山田光の世界」刊行会 編

陶・山田光の世界

A3 変型判／260頁
33,000円／2004年
978-4-7907-1019-6

宋窯を出で、「走泥社」と歩んだ、山田光。自己と他者を問いかける、深くひそやかな造形世界と言葉。2001年逝去までの主要作品を網羅。寄稿／木村重信、梅原猛、内山武夫、平野重光、宮永東山、伊藤均 解説／正村美里

松村 昌家 著

ゼミナル

十九世紀ロンドン生活の光と影—リージェンシーからディケンズの時代へ

四六判並製／286頁
2,200円／2003年
978-4-7907-0998-5

リージェンシー（摂政時代）のダンディの世界から、ディケンズ時代の煙突小僧の世界にいたるまで、十九世紀ロンドンのあらゆる種類・身分の人びとの生活の場に踏み込んで、そのありのままの生活風景や心情を多くの挿絵を援用しながら活写する。

宇野木 洋・松浦 恆雄 編

学ぶ人

中国二〇世紀文学を学ぶ人のために

四六判並製／360頁
2,860円／2003年
978-4-7907-0994-7

文学革命から革命文学、人民文学から商業主義へと推移する二〇世紀の中国文学。「制度としての文学」の視角や苦悩する作家達の「表現することの意味」を発見する過程に注目するなどした初学者から研究者までの問題意識を刺激する画期的な論集。

植田 祐次 編

学ぶ人

十八世紀フランス文学を学ぶ人のために

四六判並製／380頁
2,750円／2003年
978-4-7907-0979-6

近年における批評と研究の深化は作家レチフやサドなどの復権や再評価、古典的小説の新たな解釈を生み出した。本書では時に率直な疑問や見方を提示しつつ、フランス小説が市民権を獲得するに至る社会的メンタリティーの一端を測定する。

内藤 道雄 編

学ぶ人

ドイツ詩を学ぶ人のために

四六判並製／314頁
2,420円／2003年
978-4-7907-0973-2

中世・バロック時代に始まり、ゲーテから二度の世界大戦をへて現代にいたるまで、ドイツ語圏で活躍した個性豊かな詩人たちの多彩かつ強烈な詩業を余すところなく描き出すことにより、「ドイツ詩」に固有の特質をあざやかに浮かび上がらせる。

宮元 健次 著

日本の伝統美とヨーロッパ—南蛮美術の謎を解く

四六判並製／244頁
2,200円／2001年
978-4-7907-0861-2

キリスト教伝来から鎖国に至る約六十年間、日本人はあらゆる西欧文化に接触した。南蛮趣味からルネサンス・バロックの手法まで、茶室建築・桂離宮・日光東照宮など、桃山・江戸初期の伝統建築に隠された西欧の痕跡をさぐる。図版多数。

渡邊 洋 著

ゼミナル

比較文学的読書のすすめ

四六判並製／254頁
2,090円／2000年
978-4-7907-0818-6

ツルゲーネフ『煙』、二葉亭四迷『浮雲』から開高健『パニック』まで、さまざまな小説ジャンルの中から代表例二〇を取り上げ、具体的読解を通して比較文学的観点に立って作品を読むことの意義を明らかにした、文学研究に必須の比較文学小説史。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ
シエン
ター

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗 思 哲
教 学 学

歴
史

日本語
日本文学

外国語
外国文学
芸術

科 環
学 境

学 ぶ 人

教
養
選
書

こ
の
こ
ろ
の
こ
ん
ご
の
こ
ん
ご
の
こ
ん
ご

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社

社
会
学

政法 治律	清水 一嘉 著	ゼミナル
経 済	四六判並製／296頁 2,530円／1999年 978-4-7907-0789-9	若い詩人が文壇への足掛かりを掴んだコーヒー・ハウス、作家の執筆作品の内容にまで影響を与えた貸本屋、優れた詩人や作家を育成したリトル・マガジン、作品のあるべき姿を提示した書評等、18世紀から現代に至るイギリス出版界を活写する。
社 会	寺崎 英樹・山崎 信三・近藤 豊 編	ゼミナル
メディア コミュニケーション センター	四六判並製／204頁 2,530円／1999年 978-4-7907-0764-6	全10章より成り、第一部「スペイン語の表情」では、音と文字、語彙、態、「～になる」を表現する動詞、叙法、第二部「スペイン語の風景」では、その誕生、方言、ラテンアメリカのスペイン語、日本人とスペイン語の出会い、西和辞書を扱う。
人類学 民俗学	太田 喬夫 編	学ぶ人
教 育	四六判並製／354頁 2,860円／1999年 978-4-7907-0746-2	芸術学を学ぶ人のために 芸術学の諸領域において「ヨーロッパ近代の見直し」がいかになされてきたか、また注目される芸術研究の現在とはどのようなものなのか。造形芸術論と今日的な問題テーマに重点を置きながら、以上のような基本的視点から芸術学の全体像を提供する。
心 理	田辺 保 編	学ぶ人
宗 教 思想学	四六判並製／354頁 2,750円／1998年 978-4-7907-0721-9	フランス学を学ぶ人のために どのような学問分野でも、いわゆる「タコ壺の中の学問」では閉鎖性と独善に陥りやすい。本書は、歴史、言語、芸術、文化、生活といった個々の領域を超えて、全体としての「フランス的なるもの」を明らかにする〈新・フランス学〉の試みである。
歴 史	濱田 明・田淵 晋也・川上 勉 著	学ぶ人
日本語 日本文学	四六判並製／308頁 3,080円／1998年 国 978-4-7907-0713-4	ダダ・シュルレアリスムを学ぶ人のために 世界史的規模で人間精神の新しい地平を切り開いた20世紀最大の前衛的文学・芸術運動＝ダダ・シュルレアリスムの内容をわかりやすく解説する小辞典。最新の年譜／充実した参考文献／索引（書名・作品・事項索引／人名索引）を付載する。
外国語 外国文学 芸術	西田 龍雄 編	学ぶ人
環 境 学 境	四六判並製／354頁 2,456円／1986年 国 978-4-7907-0300-6	言語学を学ぶ人のために 近年とくに研究の多様化著しい言語学を、音韻論、統語論、意味論、社会言語学、言語人類学、文字学、コンピュータと言語等11の章に分け、その概説と現在の問題点、研究動向をわかりやすく紹介。巻末には主要文献15点の詳細な解説を付す。
教養 選書	浅川 千尋・有馬 めぐむ 著	
こ み た て の み ら し い 叢 書	動物保護入門——ドイツとギリシャに学ぶ共生の未来	
日 常 を 拓 く 知	四六判並製／160頁 1,980円／2018年 978-4-7907-1718-8	保護施設や法を歴史的に発展させてきたドイツと、五輪前の野犬保護成功で急速に制度を革新するギリシャ。一方、殺処分、動物実験など問題の改善が進みにくい日本。施設での保護か、地域での共生か？ 犬猫を中心に動物と人の望ましい関係を考える。
世界思想社 世界思想書	島 佐代子 著	
社 会 学 ベ ジ ン ス	カヤネズミの本——カヤネズミ博士のフィールドワーク報告	
	A5 判上製／112頁 2,420円／2014年 978-4-7907-1613-6	人と野生動物との共生への道しるべ。減少し続ける日本の草原や水辺など身近な自然を尋ね歩いて出会う小さな命、絶滅の危険度が高まるカヤネズミの生態を知ることから保護活動は始まる。愛くるしく健気なカヤネズミたちのカラー写真多数掲載！

環境・科学



和田 武 著・木村 啓二 (第5章共同執筆) 著

拡大する世界の再生可能エネルギー——脱原発時代の到来

A5 判並製/216頁
2,530円/2011年
978-4-7907-1543-6

ドイツ、デンマーク、アメリカ、インド、中国、東南アジア——今こそ諸外国の再生可能エネルギー事情に学び、原子力発電に依存する社会から持続可能なエネルギー社会への変革を！ 最新の研究成果に基づく未来づくりへの提言書。

真板 昭夫・石森 秀三・海津 ゆりえ 編

学ぶ人

エコツーリズムを学ぶ人のために

四六判並製/368頁
2,750円/2011年
978-4-7907-1502-3

エコツーリズムは単なる自然体験ツアーの代名詞ではない。世界同時多発的に普及し、観光にかかわるビジネス、地域・旅人の意識を大きく変えた「緑の観光革命」=エコツーリズムを学び、あるいは地域で進めようとするすべての人に向けた入門書。

池谷 和信 編

セミナー

日本列島の野生生物と人

四六判並製/332頁
2,640円/2010年
978-4-7907-1471-2

シカ、イノシシ、トキ、アシカやアザラシ、そして山野の植物…様々な生物と人とはどのような関係を築いてきたのか。遺伝学、生態学、考古学、地理学、民俗学、文化人類学など学際的アプローチによって、両者の関係の過去・現在・未来を展望する。

真板 昭夫・河原 司 編

大覚寺大沢池 景観修復プロジェクト——古代と現代をむすぶ文化遺産

A5 判並製/224頁
2,860円/2009年
978-4-7907-1450-7

庭園としての美しさと同時に自然景観としての美しさも備えた自然系文化遺産・大覚寺大沢池の景観修復プロジェクト「ソウギョバスターズ」8年間の軌跡と成果、持続的保全と継承の仕組みづくりの試み。第3回日本観光研究学会・学会賞受賞。

和田 武 著

飛躍するドイツの再生可能エネルギー——地球温暖化防止と持続可能社会構築をめざして

A5 判並製/218頁
2,530円/2008年
978-4-7907-1346-3

先進地の事例からわれわれが学ぶべきことは？ 積極的な再生可能エネルギー普及策を実施し、飛躍的成果を挙げているドイツにおける市民の取り組み、それを推進・支援する国・自治体の政策、企業の活動を紹介し、持続可能な明るい未来を切り拓く。

秋道 智彌・黒倉 寿 編

人と魚の自然誌——母なるメコン河に生きる

四六判並製/294頁
2,530円/2008年
978-4-7907-1324-1

チベットに源を発し、インドシナ半島を貫く母なる大河。そこには1センチに満たないコイの仲間から、3メートルにもなるオオナマズまで、1200種を超える魚が棲むという。魚と人は、どんな関係を築いてきたのか。最新の調査をふまえて描く。

井上 真 編

躍動するフィールドワーク——研究と実践をつなぐ

四六判並製/272頁
2,090円/2006年
978-4-7907-1205-3

歩く、見る、聞く、話す。読む、書く、考える——研究と実践をどう橋渡しするのか。開発と環境をどう調和させるのか。若いフィールドワーカーたちが、七転び八起きの舞台裏を披露。現場に学びたい人、実践を志す人を熱い議論に誘う。

末原 達郎 著

人間にとって農業とは何か

A5 判上製/286頁
3,080円/2004年
978-4-7907-1092-9

地球の農業を知るために、私たちの食料を考えるために——人間は自然の中で農業を生みだし、作物や家畜を育て、食料としてきた。市場経済化によって見えにくくなった本来の意味を、アフリカ、ヨーロッパ、日本の農業を取り上げて見つめなおす。

多田 道太郎 編

学ぶ人

環境文化を学ぶ人のために

四六判並製/286頁
2,090円/2000年
978-4-7907-0810-0

人間とその周りを取り囲むものとしての環境について、環境文化の可能性(多田×河合)、環境文化学入門(小関)をはじめ、著名論者が一般読書人にもわかりやすく、専門家にとっても斬新なテーマで論じる。環境文化論の一つの基準となろう。

政法
治律

経
済

社
会

メ
ディ
ア
マ
ス
コ
ミ
ニ
シ
エ
ン
ダ
ー

シ
エ
ン
ダ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
思
哲
教
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学

科
環
境
学

教
養
み
ら
い
の
書
庫

こ
こ
に
は
の
書
庫

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
社
社

社
会
学

ベ
ジ
ン
ス

政法
治律

西田 利貞・上原 重男 編

学ぶ人

霊長類学を学ぶ人のために

経
済

四六判並製／394頁
2,640円／1999年
978-4-7907-0743-1

日本のサル学が生まれて半世紀——第一線で活躍する中堅・若手の研究者を結集し、
霊長類の生態、行動の進化、社会、の最新情報をわかりやすく提供する。サル学の最
前線を歩き、新たなスタンダードの誕生を告げる本（付「読書案内」）。

社
会

メ
デ
ィ
ア
マ
ス
コ
ミ

ジ
ェ
ン
タ
ー

人
類
学
民
俗
学

教
育

心
理

宗
教
哲
学
思
想
学

歴
史

日
本
語
日
本
文
学

外
国
語
外
国
文
学
芸
術

科
環
学
境

教
養
み
ら
い
書

こ
じ
も
の
み
ら
い
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社
現
代
思
想
叢
書

社
会
学
ベ
ジ
ン
ス

教養みらい選書



世界思想社という社名には、世界のあらゆる思想を受け止め、学問と教養を推進し、平和な世界を築くという、創業時の思いが込められています。その原点に立ち返り、「教養みらい選書」を創刊します。

教養というと、従来は一部のエリート、つまり支配層のものというイメージが強かったと思いますが、これからはもっと身近なものであるべきです。若い人が将来を切り開く助けになる、近未来の社会に生きる教養や知恵を身近なテーマから学ぶ本を発信していきます。

石黒 浩 著

電子版あり

《教養みらい選書 001》僕がロボットをつくる理由——未来の生き方を日常からデザインする

四六判並製 / 168頁
1,430円 / 2018年
978-4-7907-1708-9

ロボットやAIで私たちの生活はどう変わるか？衣食住から恋愛・仕事・創造の法まで、ロボット研究の第一人者・石黒浩が、自身の経験や日々の過ごし方を交え、「新しい世界を拓く楽しさ」と人生を率直に語る。世界を変えるツボがここにある！

楡垣 立哉 著

電子版あり

《教養みらい選書 002》食べることの哲学

四六判並製 / 208頁
1,870円 / 2018年
978-4-7907-1713-9

ブタもクジラも食べるのに、イヌやネコはなぜ食べないのか？宮澤賢治「よだかの星」など食をめぐる身近な素材を、フランス現代哲学と日本哲学のマリアージュで独創的に調理し、濃厚な味わいに仕上げたエッセイ。食の隠れた本質に迫る逸品。

榎木 野衣 著

電子版あり

《教養みらい選書 003》感性は感動しない——美術の見方、批評の作法

四六判並製 / 208頁
1,870円 / 2018年
978-4-7907-1713-9

子供の絵はなぜいいの？絵はどうやって見てどう評価すればいい？美術批評家・榎木野衣は、どのようにつくられ、どんなふうに住事をして生きているのか？絵の見方と批評の作法を伝授し、批評の根となる人生を描く。著者初の書き下ろしエッセイ集。

岡田 暁生 著

電子版あり

《教養みらい選書 004》音楽と出会う——21世紀のつきあい方

四六判並製 / 208頁
1,870円 / 2019年
978-4-7907-1730-0

人生を変えるような音楽と出会うには？ネット動画、AIによる自動作曲、カリスマ不在、癒し音楽ブーム…近代西洋音楽史を専門とする著者が、21世紀固有の音楽現象に挑み、規格外の音楽とつきあう楽しさを自在に語る。著者おすすめの音楽も紹介。

谷口 忠大 著

電子版あり

《教養みらい選書 005》賀茂川コミュニケーション塾——ピプリオバトルから人工知能まで

四六判並製 / 240頁
1,870円 / 2019年
978-4-7907-1737-9

ピプリオバトルって何？コミュニケーションするロボットは創れる？ピプリオバトルの考案者にして人工知能の研究者が、既存の学問枠組みにとらわれずに、コミュニケーションの新しい視点を伝授。教授と高校生の対話によるライトノベル形式の入間書。

鷺田 清一 著

電子版あり

《教養みらい選書 006》二枚腰のすすめ——鷺田清一の人生案内

四六判並製 / 208頁
1,870円 / 2020年
978-4-7907-1742-3

どん底でも押し潰されずにもちこたえるための算段。読売新聞の人気連載「人生案内」から71の名問答を厳選。回答を裏打ちする人生作法「二枚腰のすすめ」は書き下ろし。付録は、自身の二枚腰の人生を描いた写真満載の自筆年譜と全著書リスト。

長谷川 真理子 著

電子版あり

《教養みらい選書 007》人、イヌと暮らす——進化、愛情、社会

四六判並製 / 200頁
1,870円 / 2021年
978-4-7907-1763-8

進化生物学者と心理学者の夫婦の家に、真っ白な可愛い子犬がやってきた。名前はキクマル。続いて、やんちゃな暴れん坊コギク、可愛いわがまま娘のマグー。3頭3様、個性の違う彼らと一緒に暮らして考えたことをつづる。科学×愛犬エッセイ。

政法
治律

経
済

社
会

メディア
マスコミ
ン

シ
ン
タ
ー

人
類
学

教
育

心
理

宗
教
哲
学

歴
史

日
本
文
学

外
国
文
学

科
環
学
境

教
養
み
ら
い
選
書

こ
の
ま
の
叢
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
想
社

社
会
学

政治
法律

経済

社会

メディア

ジェンダー

人類学

教育

心理

宗 教
思想学

歴史

日本語

外国語
芸術学

環境学

環境学

児童学

児童学

日常を
拓く知

世界思想社

社会学

こどものみらい叢書



終戦より七十余年を経て、私たちをとりまく世界は大きく変化しています。こどもの生活や教育の問題については、長期的なビジョンと個別の適切な対応が必要にもかかわらず、長い混迷状態から抜け出せていません。

私たちには、前の世代から受け継いできたものをより豊かにして次の世代につたえていく責任があります。そのために、いま一度、私たちの行為が「こどもたちの幸せにつながるのか」という視点に立ち戻る必要があるのではないのでしょうか。

そこで当社では、さまざまな分野の専門家によるエッセイをとおして、こどもたちについてより深く理解すると同時に、こどもたちの生命と人権が尊重され、かれらが自由に未来を創造できる社会を考察しようと、本叢書を企画いたしました。

こどもは、一粒の小さな種子であり、遙かなる生命の歴史と叡智が詰まった贈り物です。また、こどもは芽を吹きはじめた一本の苗であり、みずから生きていく強い力をもっています。本叢書が、そんな可能性を秘めた小さな命を育む営みに少しでも寄与できればと願っています。

(創刊のことばより)

佐川 光晴 著

電子版あり

《こどものみらい叢書①》おいしい育児——家でも輝け、おとうさん！

四六判並製／128頁
1,430円／2018年
978-4-7907-1709-6

おとうさんが家事と育児をするのがあたりまえになってほしい。そうすれば世の中は変わる。主夫として二人の息子を育ててきた小説家が、固定観念を乗り越えた先にあ
る豊かな育児生活を提案。料理家・文筆家の高山なおみさん推薦！

山下 太郎 著

電子版あり

《こどものみらい叢書②》お山の幼稚園で育つ

四六判並製／152頁
1,540円／2018年
978-4-7907-1712-6

歩いての登園、森の探検遊び、俳句の素読などユニークな実践をするお山の幼稚園。
幼児教育は全ての教育の根っこと信じる園長が子ども達の無限の可能性を綴る。中川
李枝子氏推薦！「目の前の子ども一人一人がよくわかり、いっそういとおくなる」

片岡 佳美 著

電子版あり

《こどものみらい叢書③》子どもが教えてくれた世界——家族社会学者と息子と猫と

四六判並製／152頁
1,540円／2018年
978-4-7907-1721-8

それって大人の都合だよな——そんな視点があれば、大人も子どもも「～ねばなら
ない」という呪縛から自由になれる。日常でのふとした疑問を、小学生の息子と猫と暮
らす家族社会学者と共に、じっくり考えてみませんか。社会活動家・湯浅誠さん推薦！

松崎 行代 著

電子版あり

《こどものみらい叢書④》遊びからはじまる

四六判並製／208頁
1,760円／2021年
978-4-7907-1746-1

子どもにとって生活は遊びそのもの。遊びは子どもの心とからだを丸ごと育てる。絵
本、紙芝居、人形劇、お絵かき、ごっこ遊び、感触遊び、料理、かたづけ、栽培…。
沢山の遊びを通して、子どもの育ちを見つめる。絵本作家・中川ひろたかささん推薦！

高石 恭子 著

電子版あり

《こどものみらい叢書⑤》子育ての常識から自由になるレッスン——おかあさんのミカタ

四六判並製／200頁
1,760円／2022年
978-4-7907-1756-0

「母とはこうあるべき」という「常識」がおかあさんの心を縛りつけている。大切な
のは、育てる側の心が自由で生き生きとしていること。社会と母親自身の「おかあさ
んのミカタ」を解きほぐし、別れを見すえた親子関係を考える。俵万智さん推薦！

中島 京子 著

電子版あり

《こどものみらい叢書⑥》ワンダーランドに卒業はない

四六判並製／214頁
1,760円／2022年
978-4-7907-1772-0

空想が日常の子ども時代、誰もが異世界へと旅する時間を持つ。物語に没頭する喜び
は、ずっとあなたを支えてくれる。本を開いて、自分の中の子どもに会いにいこう。
『クマのプーさん』から『ゲド戦記』まで——中島京子・初の児童文学エッセイ集。

日常を拓く知



全6巻
神戸女学院大学文学部総合文化学科 監修

くらしのなかの営みを取り上げ、生きる手ざわりをもとにした新しい知性を手に入れる！ 学問を日常の現場に連れ戻し、よりよき生き方を提唱するシリーズ。

大橋 完太郎 編

〈日常を拓く知 1〉知る・学ぶ

四六判並製／208頁
1,980円／2013年
978-4-7907-1603-7

知の可能性と大学の面白さを再発見！ 「知る」とは何か？ 何をどう学ぶべきか？ 哲学・文学から国際法・社会福祉学まで幅広い分野の人々が、座談会・エッセイ・学問の地図という3つの形式で、「学ぶこと」と「生きること」を結びあわせる。

河西 秀哉 編

〈日常を拓く知 2〉恋する

四六判並製／194頁
1,980円／2014年
978-4-7907-1621-1

人はなぜ〈恋する〉のか？ 〈恋する〉気持ちは時代や地域で変わるのか？ スタンダールの『恋愛論』から『ハチクロ』まで多彩な恋をとりあげ、対談・エッセイ・ブックガイドという3つの形式で「恋すること」と「生きること」を結びあわせる。

建石 始 編

〈日常を拓く知 3〉伝える

四六判並製／186頁
1,980円／2014年
978-4-7907-1633-4

言葉は何を伝えるのか？ 社会・文化と言語の関係とは？ 『全国アホ・バカ分布考』から『エースをねえ！』まで多様な題材から言葉を見つめ直し、対談・エッセイ・ブックガイドの3つの形式で「伝えること」と「生きること」を結びあわせる。

景山 佳代子 編

〈日常を拓く知 4〉食べる

四六判並製／192頁
1,980円／2015年
978-4-7907-1648-8

人は何のために〈食べる〉のか？ 食をめぐるグローバルな問題とは？ 『エビと日本人』から『ブタがいた教室』まで食の多様なあり方をとりあげ、対談・エッセイ・ブックガイドの3つの形式で「食べること」と「生きること」を結びあわせる。

桐生 裕子 編

〈日常を拓く知 5〉旅する

四六判並製／184頁
1,980円／2015年
978-4-7907-1664-8

人はなぜ〈旅する〉のか？ 旅と旅行はどう違うか？ 旅とはなにか？ 『ギルガメッシュ叙事詩』から『千と千尋の神隠し』まで古今東西の旅をとりあげ、対談・エッセイ・ブックガイドの3つの形式で「旅すること」と「生きること」を結びあわせる。

與那嶺 司 編

〈日常を拓く知 6〉支える

四六判並製／184頁
1,980円／2016年
978-4-7907-1673-0

支えるだけ／支えられるだけの人はいるのか？ スタインベック『ハツカネズミと人間』から『こんな夜更けにバナナかよ』まで多様な支え合いをとりあげ、対談・エッセイ・ブックガイドの3つの形式で「支えること」と「生きること」を結びあわせる。

政治
法律

経
済

社
会

メディア
マスコミ

ジェン
ダー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗 思 哲
教 学 学

歴
史

日本語
日本文学

外国語
外国文学
芸 術

科 環
学 境

教
養
選
書

こ
の
て
い
の
み
ら
し
い
書

日
常
を
拓
く
知

世
界
思
社
現
代
文
学
叢
書

社
会
学
ヘ
レン
ス

政治
法律

経
済

社
会

メディア
コミュニケーション

ジェンダー

人類学

教
育

心
理

宗
教
哲
学

歴
史

日本語
日本文学

外国語
外国文学
芸術

環
境
学

教養
書

こころ
の
みらい
の
書

日常を
拓く知

世界思想社
現代思想書

社会
学

日常を拓く知 古典を読む



全5巻
神戸女学院大学文学部総合文化学科 監修

時間や場所を超えて多くの人がびとの心をとらえてきた古典を手がかりに、現代の「常識」を問いなおす。学問を日常の現場に連れ戻し、よりよい生き方を提唱するシリーズ第2弾！

景山 佳代子 編

〈日常を拓く知 古典を読む 1〉やさしさ

四六判並製／128頁
1,650円／2017年
978-4-7907-1704-1

その〈やさしさ〉、疑ってみませんか？——ボランティアは「偽善」なのか？ 傷つけないことがやさしさなのか？ 『旧約聖書』『バイドン』『緋文字』『たけくらべ』『母よ！殺すな』などの古典を手がかりに、やさしさの深遠に迫る。

北川 将之 編

〈日常を拓く知 古典を読む 2〉つよさ

四六判並製／128頁
1,650円／2018年
978-4-7907-1720-1

今を生き抜く〈つよさ〉を求めて——つよいリーダーは危ない？ 助けないことが人を助ける？ 『キッチン』『べてるの家の「非」援助論』『わが闘争』などの古典から、現代のつよさのあり方を問いなおす。

笹尾 佳代 編

〈日常を拓く知 古典を読む 3〉さびしさ

四六判並製／120頁
1,650円／2019年
978-4-7907-1736-2

〈さびしさ〉におびえていませんか？——SNSにふりまわされるのはなぜ？ 本当に孤独な人は孤独を知らない？ ジンメルの『社会学』や『ヨブ記』『明治大帝』『孤独な群衆』『哲学する民主主義』などの古典をたどり、さびしさとともにある生を考える。

栗山 圭子 編

〈日常を拓く知 古典を読む 4〉ゆたかさ

四六判並製／132頁
1,650円／2020年
978-4-7907-1745-4

あなたにとっての〈ゆたかさ〉とは？——格差はなぜ広がる？ 世界幸福度ランキング、日本は何位？ 『資本論』『方丈記』『イタリア絵画史』『科挙』『苦海浄土』などの古典をとおして、この世界のゆたかさを覗き込む。

奥野 佐矢子 編

〈日常を拓く知 古典を読む 5〉うつくしさ

四六判並製／126頁
1,650円／2021年
978-4-7907-1757-7

人はなぜ、〈うつくしさ〉を求めるの？——美が健康と結びつくのはなぜ？ 平安貴族は仕事ぶりのうつくしさにこだわる？ 『ヴェニスに死す』『王朝の貴族』『アイヌ神謡集』などの古典をひもとき、うつくしさを謎に触れてみる。



本叢書創刊の2011年という年は、日本人にとって忘れられない年となった。3月11日午後2時46分、マグニチュード9という巨大地震が東北・三陸地方を襲ったのである。それに伴う津波が甚大な被害をもたらし、2万人に及ぶ死者・行方不明者を出した。それと同時に発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故によって大量の放射能が放出され、その終息には長い年月を要するとされている。

こうした現実を前にして学問に何ができるのか。とりわけ哲学はその時代の人々の生き方を問うものでなければならぬ。多種多様な現代的諸問題と哲学はどのように格闘しているのか。本叢書はそうした哲学の「現場」をさまざまな角度・論点から紹介し、その最前線へと読者をいざなおうとする試みである。読者は著者と対峙することで、自らの思索を深めることができるであろう。本叢書がそのための一助となることを願ってやまない。

(創刊のことばより)

徳永 哲也 著

プラクティカル 生命・環境倫理——「生命圏の倫理学」の展開

四六判並製/272頁
2,200円/2015年
978-4-7907-1666-2

功利主義・義務論・徳倫理学という規範理論と、農と食、原発の是非など生命と環境を揺るがせる21世紀の現実を正面からクロスさせて論じ、「筋を通す」語りや解決へ向かう思考の土台となる「プラクティカル=実践的」な生命圏倫理を提言。

木岡 伸夫 著

〈あいだ〉を開く——レンマの地平

四六判並製/210頁
1,980円/2014年
978-4-7907-1643-3

西田幾多郎の系譜上で独自の個性を放つ山内得立の思想に着目し、古代インドに発するもう一つの論理、レンマの地平を見極める。ロゴスの二元論に分断された人と自然、人と人の〈あいだ〉を回復し、生命と環境の危機から蘇生する道を切り拓く。

杉田 聡 著

「3・11」後の技術と人間——技術的理性への問い

四六判並製/254頁
2,090円/2014年
978-4-7907-1611-2

大震災を機に哲学が問うべきは、近代において理性が、技術・テクノロジーに依存する「技術的理性」に変貌したという事実である。原発をはじめとする技術問題を俎上に載せて「技術的理性」の諸特質について論じ、その変革可能性を考察する。

安彦 一恵 著

「道徳的である」とはどういうことか——要説・倫理学原論

四六判並製/214頁
1,980円/2013年
978-4-7907-1609-9

カント、ムア、ロス、ヘア、ロールズ、ハーバマス、大庭健、永井均等の道徳説を検討し、併せて「利己」ということを突き詰めて考察、「功利主義」について新しい解釈を施しつつ、「義務論 vs. 帰結主義」という基本対立構図を基底的に問い直す。

徳永 哲也 著

ベーシック 生命・環境倫理——「生命圏の倫理学」序説

四六判並製/248頁
2,090円/2013年
978-4-7907-1606-8

妊娠中絶や人工生殖、安楽死や脳死・臓器移植等の生命倫理と、自然の権利、世代間倫理、地球全体主義という環境倫理の問題を踏まえつつ、いのちを守る身体（内的環境）と自然や地球（外的環境）の統合的な持続を考える「生命圏の倫理学」を提唱。

加茂 直樹 著

社会保障の哲学——日本の現状を把握し、未来を展望する

四六判並製/202頁
1,980円/2012年
978-4-7907-1576-4

年金、医療、保険、税制、雇用、格差、貧困、等々——国民的関心の高いこれらの現状はどうなっているか。日本の社会保障制度の歴史的展開をたどりつつ、各種資料を駆使してその現状と問題点を鋭く指摘、今後の社会保障のあるべき姿を展望する。

政治
法律
経済
社会
メディア
コミュニケーション
ジェンダー
人類学
民俗学
教育
心理
宗教学
哲学
歴史
日本文学
外国文学
芸術
環境学
教養
選書
叢書
日常
拓く知
現代学
世界思想社
ベジンス
社会学

政治学	加藤 尚武 著
災害論	災害論——安全性工学への疑問
経済学	四六判並製／216頁 1,980円／2011年 978-4-7907-1541-2
社会学	「絶対安全」と言われたフクシマ原発事故の原因は、技術体系と責任制度のミスマッチにあった。技術の暴走はなぜ起こり、どうすれば止められるのか。原発事故の原因究明から復興の倫理まで、未来世代への責任という視点から原発問題を考える。
メディア	
マスコミ	
センター	
人類学	
民俗学	
教育	
心理	
宗思想学	
歴史	
日本文学	
外国語	
芸術学	
環境学	
看護学	
遠く	
暮らし	
こども	
日常	
日常	
世界思想社	
現代思想叢書	
社会学	
ベジンス	

社会学ベーシックス



全10巻＋別巻1
井上 俊・伊藤 公雄 編

社会学を学ぶ人にとってベーシックな文献を、各10ページでガイド。文献の概要と学説史的背景、現代的意義を整理し、著者のエピソードや人脈に触れ、さらにポイントとなる引用文も加えて立体的に編成しました。執筆陣は、気鋭の若手から著名な研究者まで、第一線で活躍中の方々。社会学および隣接する諸学がこれまで蓄積してきた知の財産目録をコンパクトに鳥瞰し、読者を本の森へと誘います。初学者はもちろん専門家まで幅広く活用していただけるシリーズです。

〈社会学ベーシックス 1〉

自己・他者・関係

四六判並製／272頁
2,200円／2008年 ㊦
978-4-7907-1362-3

つながりの力学——マイクロ社会学の射程 ヴェーバーの『社会学の基礎概念』から、ハーバーマスの『コミュニケーション的行為の理論』まで、マイクロ社会学24の視点から社会を読み解く。

〈社会学ベーシックス 2〉

社会の構造と変動

四六判並製／270頁
2,200円／2008年
978-4-7907-1349-4

近代から現代へ——変貌する社会のゆくえ コントが「三状態の法則」を提示した論文から、パウマンの『リキッド・モダニティ』まで、24冊のガイドでマクロ社会学を鳥瞰する。

〈社会学ベーシックス 3〉

文化の社会学

四六判並製／292頁
2,200円／2009年
978-4-7907-1423-1

「意味」の誘惑——文化による拘束と解放 マリノフスキー『文化の科学的理論』から蓮實重彦『小説から遠く離れて』まで、人々がなぜ「意味」を求めてしまうのかについて探究する、文化の社会学26の名著解題。

〈社会学ベーシックス 4〉

都市的世界

四六判並製／270頁
2,200円／2008年 ㊦
978-4-7907-1373-9

「自由」の光と影——都市空間を生きる パークらの『都市』からライアの『監視社会』まで、複雑化・巨大化する都市の諸相と人々の生のあり方をとらえる都市社会学の名著解題。

〈社会学ベーシックス 5〉

近代家族とジェンダー

四六判並製／270頁
2,200円／2010年
978-4-7907-1449-1

親密性のゆらぎ——多様化する〈生〉と〈性〉 アリエス『〈子供〉の誕生』からボーヴォワール『第二の性』、そして上野千鶴子『ナショナリズムとジェンダー』まで、ジェンダー・家族論の名著24冊。

〈社会学ベーシックス 6〉

メディア・情報・消費社会

四六判並製／260頁
2,200円／2009年
978-4-7907-1443-9

記号化する世界——主体と欲望の変容 マクルーハン『グーテンベルクの銀河系』から見田宗介『現代社会の理論』まで、近代から現代に至る社会の変貌を鮮やかに描き出す23の名著解題。

政治
法律

経
済

社
会

メディア
マスコミ

ジェン
ダー

人類学
民俗学

教
育

心
理

宗 教
思想学

歴
史

日本語
日本文学

外国語
外国文学
芸術

科 学
環境学

教養
選書

こころの
みらい
叢書

日常を
拓く知

世界思想社
現代思想叢書

社会学
ベジックス

政治学	〈社会学ベーシックス 7〉 ポピュラー文化	
経済学	四六判並製/248頁 2,200円/2009年 ㊦ 978-4-7907-1408-8	民衆のイマジネーション——夢と理想の織物 ホルクハイマー/アドルノ『啓蒙の弁証法』から鶴見俊輔『限界芸術論』『戦後日本の大衆文化史』まで、ポピュラー文化の多彩な模様を鮮やかに写しとる24の名著解題。
社会学	〈社会学ベーシックス 8〉 身体・セクシュアリティ・スポーツ	
メディア コミュニケーション	四六判並製/260頁 2,200円/2010年 978-4-7907-1456-9	〈からだ〉の社会学——生の基層へ モース「身体技法」からバトラー『ジェンダー・トラブル』、マーフィー『ボディ・サイレント』、ハーグリーヴス『スポーツ・権力・文化』まで、身体をめぐる社会の諸相を浮き彫りにする23の名著解題。
ジェンダー	〈社会学ベーシックス 9〉 政治・権力・公共性	
人類学 民俗学	四六判並製/290頁 2,200円/2011年 978-4-7907-1520-7	正義と自由——あるべき社会の構想 モンテスキュー『法の精神』からベラー『心の習慣』『善い社会』まで、時代に鋭く切り込む社会構想をさまざまな視角から提示する26の名著解題。
教育学	〈社会学ベーシックス 10〉 日本の社会と文化	
心理学	四六判並製/280頁 2,200円/2010年 978-4-7907-1486-6	比較と自省——アイデンティティの模索 柳田国男『明治大正史世相篇』、ベネディクト『菊と刀』、山崎正和『柔らかな個人主義の誕生』、ウォルフレン『日本/権力構造の謎』など、日本人のアイデンティティを読み解く名著27冊を解題。
宗教学 思想学	〈社会学ベーシックス 別巻〉 社会学的思考	
歴史	四六判並製/296頁 2,200円/2011年 ㊦ 978-4-7907-1525-2	Doing Sociology —— 〈社会〉を可視化する技法 マルクス、ヴェーバーからブルデュー、バッカーまで、「社会学する」ための基本的な方法を提示する名著24冊を解題。付録：全巻目次/文献名索引/著者名索引/主題索引/執筆者索引
日本語 日本文学		
外国語 外国文学 芸術		
環境学		
児童学 児童心理学		
こどもの 暮らし 叢書		
日常を 拓く知		
世界思想社 現代思想叢書		
社会学 ベジックス		

品切書目一覧

☒：絶版
 (☒電子版あり)：電子書店にて電子書籍を配信しています

法的人格者の理論

恒藤 恭 (1949年) ☒

刑法読本

滝川 幸辰 (1949年) ☒

社会科学を学ぶ人々に

恒藤 恭・滝川 幸辰 編 (1950年) ☒

新税法読本

汐見 三郎 (1950年) ☒

ロシア革命史

猪木 正道 (1951年) ☒

法史学

猪熊 兼繁 (1951年) ☒

刑法各論

滝川 幸辰 (1951年) ☒

自然科学読本

長谷川 万吉・横山 次郎・小林 稔 編 (1951年) ☒

刑法総論講義

瀧川 春雄 (1952年) ☒

日本生活史

猪熊 兼繁 (1952年) ☒

政治思想史

森 義宣 (1952年) ☒

政治変動論

猪木 正道 (1953年) ☒

行政法総論

磯崎 辰五郎 (1953年) ☒

日本商業史概論

宮本 又次 (1954年) ☒

近代西洋文化史概観

金子 光介 (1954年) ☒

英米法概論

大阪谷 公雄 (1955年) ☒

総長の記録

滝川 幸辰 (1958年) ☒

刑法総論講義 新訂

瀧川 春雄 (1960年) ☒

時と人を追うて

末川 博 (1964年) ☒

ある生涯——滝川幸辰 文と人

滝川 幸辰／瀧川 春雄 編 (1965年) ☒

技術開発——企業競争の焦点

野間 正秋 (1967年) ☒

法律を学ぶ人々のために

瀧川 春雄 編 (1967年) ☒

哲学概説

当津 武彦 (1967年) ☒

ローマ裁判制度研究——元首政時代を中心として

柴田 光蔵 (1968年) ☒

法哲学史——要説と年表

八木 鉄男 (1968年) ☒

増補 ローマ裁判制度研究

柴田 光蔵 (1970年) ☒

現代の実存と倫理

P. ラムゼイ／武 邦保・駒城 鎮一 訳 (1970年) ☒

経済史総論

永田 啓恭 (1970年) ☒

古代ローマの刑事裁判

柴田 光蔵 (1971年) ☒

現代の法哲学理論

八木 鉄男 編 (1971年) ☒

白居易研究

花房 英樹 (1971年) ☒

政治を学ぶ人のために

高坂 正堯・渡辺 一 編 (1971年) ☒

比較憲法論序説

K. レーヴェンシュタイン／佐藤 幸治・平松 毅 訳 (1972年) ☒

アメリカ司法の英知——ギデオン事件の系譜

A. ルイス／山本 浩三・山中 俊夫 訳 (1972年) ☒

主体的真理と例外者実存——哲学と神学の間

竹田 寿恵雄 (1972年) ☒

若き日の恒藤恭

山崎 時彦 編 (1972年) ☒

哲学を学ぶ人のために

藤沢 令夫 編 (1972年) ☒

非政治的市民の抵抗——ヘンリー・ソーロウ評伝

山崎 時彦 (1973年) ☒

陶人 山田喆

内山 武夫・山田 光 編／小西 晴美 撮影 (1973年) ☒

論理学初歩

E. J. レモン／竹尾 治一郎・浅野 橋英 訳 (1973年) ☒

西洋文学を学ぶ人のために

中村 善也 編 (1973年) ☒

自由社会の哲学とその論敵

カール・ライマンド・ポッパー／武田 弘道 訳 (1973年) ☒

陽明学研究

野村 恵二 (1974年) ☒

現代資本主義経済の基礎理論

池上 惇 (1974年) ☒

反「ナショナルリズムの時代」

尾崎 彦朔 (1974年) ☒

通貨制度と物価騰貴の構造

井上 清実 (1974年) ☒

現代政治の虚像と実像 猪木 正道 (1974年) 図	セミ	法理論入門 J. D. フィンチ／田中 成明・深田 三徳 訳 (1977年) 図	
流行歌のイデオロギー 長尾 直 (1974年) 図	セミ	法学を学ぶ人のために 中川 淳 編 (1977年) 図	学ぶ人
成長と福祉の近代経済理論 末永 隆甫 (1974年) 図	セミ	アメリカ政治学研究 山川 雄巳 (1977年) 図	
現代の流通機構 森下 二次也 (1974年) 図	セミ	盆栽の社会学——日本文化の構造 池井 望 (1978年)	セミ
悪の社会誌——「不自然な死」をめぐる 小関 三平 (1974年) 図	セミ	論争労働法 恒藤 武二 編 (1978年) 図	
家族関係を学ぶ人のために 中川 淳 編 (1974年) 図	学ぶ人	マスコミを学ぶ人のために 早川 善治郎・津金澤 聰廣 編 (1978年) 図	学ぶ人
中国哲学を学ぶ人のために 本田 濟 編 (1975年) 図	学ぶ人	社会福祉を学ぶ人のために 明山 和夫・三浦 陽郎 編 (1978年) 図	学ぶ人
労働法を学ぶ人のために 久保 敬治・下井 隆史 (1975年) 図	学ぶ人	共同態の社会学——人間性の呪縛と解放 間庭 充幸 (1978年) 図	セミ
海上の道 世界への道 深作 光貞 (1975年) 図	セミ	日本国憲法 長尾 一紘 (1978年) 図	
社会的広告史 山本 明 (1975年) 図	セミ	哲学の潮流 西川 富雄・磯江 景孜 編 (1978年) 図	
歴史を学ぶ人のために 奈良本 辰也 編 (1975年) 図	学ぶ人	理論法学の方法 駒城 鎮一 (1978年) 図	
イデオロギー支配と逆ユートピア 武並 義和 (1975年) 図	セミ	ルソーの政治思想 樋口 謙一 (1978年) 図	
社会学を学ぶ人のために 仲村 祥一 編 (1975年) 図	学ぶ人	テレビの社会学 井上 宏 (1978年) 図	セミ
中小企業成長論の研究 北澤 康男 (1975年) 図	セミ	広告の社会心理 大石 準一 (1979年) 図	セミ
現代テレビ放送論 井上 宏 (1975年) 図		抵抗と持続 山本 明・鶴見 俊輔 編 (1979年) 図	セミ
日本国憲法提要 盛 秀雄 (1976年) 図		風俗の人間学 小関 三平 (1979年) 図	セミ
行動論政治学 阪野 亘 編 (1976年) 図		論理学を学ぶ人のために 飛田 就一 編 (1979年) 図	学ぶ人
論争刑法 中 義勝 編 (1976年) 図		コミュニティの思想 R. プラント／中 久郎・松本 通晴 訳 (1979年) 図	セミ
続・社会的広告史 山本 明 (1976年) 図	セミ	秘密の社会学 G. ジンメル／居安 正 訳 (1979年) 図	セミ
広告百年史 明治 織田 久 (1976年) 図	セミ	暴力の社会学 宝月 誠 (1980年) 図	セミ
広告百年史 大正・昭和 織田 久 (1976年) 図	セミ	サルトルの哲学——人間と歴史 渡辺 幸博 (1980年) 図	セミ
ブラウン管の思想——大衆操作の構図 青木 貞伸 (1976年) 図	セミ	現象としての組織社会 筆谷 稔 (1980年) 図	
かくて映像はとらえられた——テレビの50年 青木 貞伸 (1976年) 図	セミ	非行の社会学 大村 英昭 (1980年) 図	セミ
現代経済学概説 和田 貞夫 編 (1977年) 図		労働組合法の理論課題——久保敬治教授還暦記念論文集 下井 隆史・浜田 富士郎 編 (1980年) 図	
児童文学を学ぶ人のために 中川 正文 編 (1977年) 図	学ぶ人	罪刑法定主義 大野 真義 (1980年) 図	
遊びの社会学 井上 俊 (1977年) 図	セミ	学歴の深層心理——日本人のコンプレックスを探る 井上 敏明 (1980年) 図	

仕事の社会学 辻 勝次 (1980年) ㊟	セミ	増補 労働法を学ぶ人のために 久保 敬治・下井 隆史 (1982年) ㊟	学ぶ人
国際人道法 藤田 久一 (1980年) ㊟		社会調査を学ぶ人のために P. H. マン／中野 正大 訳 (1982年) ㊟	学ぶ人
ケースワークの思想 R. プラント／丸木 恵祐・加茂 陽 訳 (1980年) ㊟	セミ	都市コミュニティ論——機能的コミュニティの研究 河村 雷雨 (1982年) ㊟	
新聞学を学ぶ人のために 和田 洋一 編 (1980年) ㊟	学ぶ人	レジャーの社会学 岡田 至雄 (1982年) ㊟	セミ
ヴァイマルの反逆者たち 八田 恭昌 (1981年) ㊟	セミ	増補 アメリカ政治学研究 山川 雄巳 (1982年) ㊟	
現代社会論の基礎 筆谷 稔 (1981年) ㊟		ことばの社会学——意味の復権を求めて 松島 浄・望月 重信 (1982年) ㊟	セミ
家族の社会学 山路 勝彦 (1981年) ㊟	セミ	科学と自由——ラッセルの予言 ルイス・グリーンズパン／野村 博 訳 (1982年) ㊟	セミ
転形期の中国経済 河地 重蔵 編 (1981年) ㊟	セミ	国際経済の新展開 前田 芳人・小川 雄平 (1982年) ㊟	セミ
模索する現代社会主義 上島 武 (1981年) ㊟	セミ	患者の深層心理——人間らしい医療を求めて 井上 敏明 (1982年) ㊟	
イスラム世界——その歴史と文化 勝藤 猛・内記 良一・岡崎 正孝 編 (1981年) ㊟	セミ	受験戦士たちはいま——燃える青春 予備校生の366日 各務 英明 (1982年) ㊟	
現代マスコミ論批判——精神的交通論ノート 秋元 春朝 (1981年) ㊟	セミ	マス・メディアの社会学——情報と娯楽 津金澤 聡廣 (1982年) ㊟	セミ
日常の経済学 能見 宗利 (1981年) ㊟		カリスマの社会学——気高き未開人 B. R. ウィルソン／山口 素光 訳 (1982年) ㊟	セミ
自由の探究 野村 博 (1981年) ㊟	セミ	風花のように——読売新聞のコラム「今日のノート」 中川 友吉 (1982年) ㊟	
世界の人口問題 今井 清一 (1981年) ㊟		ライフスタイルの社会学——対抗文化の行方 渡辺 潤 (1982年) ㊟	セミ
対人関係の深層——学校と家庭の心の病理を衝く 井上 敏明 (1981年) ㊟		政治エリート G. バリオ／中 久郎 他訳 (1982年) ㊟	セミ
競争の社会学——学歴と昇進 竹内 洋 (1981年) ㊟	セミ	政党派閥の社会学——大衆民主制の日本的展開 居安 正 (1983年) ㊟	セミ
日常経験の社会学 仲村 祥一 (1981年) ㊟	セミ	落ちこぼれっ子が大人になったとき——優等生の時代は終わった 井上 敏明・高橋 敷・倉光 弘己 (1983年) ㊟	
宗教の社会学 G. ジンメル／居安 正 訳 (1981年) ㊟	セミ	価値と欲望の人間学 堀田 輝明・森下 利明 (1983年) ㊟	
愛と性の社会学 C. サフィリオス・ロスシルド／仲村 祥一 訳 (1981年) ㊟	セミ	広告を学ぶ人のために 山本 明・天野 祐吉 編 (1983年) ㊟	学ぶ人
まんざい——大阪の笑い 井上 宏 (1981年) ㊟		児童文学——はじめの一步 三宅 興子・鳥 式子・島山 兆子 (1983年) ㊟	
美学を学ぶ人のために 吉岡 健二郎 編 (1981年) ㊟	学ぶ人	近代日本の公害問題——史的形過程の研究 小田 康徳 (1983年) ㊟	
政治における 理性と情念 小野 修 (1982年) ㊟	セミ	会計学を学ぶ人のために 村上 仁一郎 編 (1983年) ㊟	学ぶ人
発展途上国経済論——インドの国民経済形成と国家資本主義 西口 章雄 (1982年) ㊟		産業構造論 金子 敬生 (1983年) ㊟	セミ
犯罪の社会学 問庭 充幸 (1982年) ㊟	セミ	都市比較の社会学——欧ロ都市の原型比較 神谷 国弘 (1983年) ㊟	セミ
文明と思想——哲学と科学のあいだ 渡辺 幸博・植村 汎 (1982年) ㊟	セミ	ロシア世界——その歴史と文化 國本 哲男・奥村 颯三・小野 堅 編 (1983年) ㊟	セミ
増補 日本国憲法提要 盛 秀雄 (1982年) ㊟		市民福祉の政策と思想——参加と計画 小倉 襄二 (1983年) ㊟	セミ

知のシステム——哲学と科学の対話を求めて H.ヘンドリヒス／飛田 就一 訳 (1983年) 図	セミ	軍記物の系譜 北川 忠彦 編 (1985年) 図	セミ
地域政治の社会学 間場 寿一 編 (1983年) 図	セミ	放送芸史 井上 宏 編 (1985年) 図	
地域生活の社会学 松本 通晴 編 (1983年) 図	セミ	登校拒否の深層——井上敏明の教育相談 井上 敏明 (1985年) 図	
笑いの社会学 木村 洋二 (1983年) 図	セミ	開発と農業 北原 淳 (1985年) 図	セミ
現代人の心の深層——生きてゆく力をもとめて 井上 敏明 (1984年) 図		中国思想を学ぶ人のために 森 三樹三郎 編 (1985年) 図	学ぶ人
リンカーン——風化の像 山本 幹雄 (1984年) 図		市民的自由の探究——兩大戦間のアメリカ 今津 晃・横山 良・紀平 英作 編 (1985年) 図	セミ
地域文化の社会学 井上 俊 編 (1984年) 図	セミ	転機に立つ社会主義 上島 武・井手 啓二・山本 恒人 (1985年) 図	セミ
ソ連の政治改革 ロナルド・J.ヒル／菊井 禮次 訳 (1984年) 図	セミ	アリストテレス 詩学 松本 仁助 訳／岡 道男 訳 (1985年) 図	セミ
ニューメディアと著作権 播磨 良承 (1984年) 図		教育社会学を学ぶ人のために 柴野 昌山 編 (1985年) 図	学ぶ人
アフリカ世界——その歴史と文化 宮本 正興・岡倉 登志 編 (1984年) 図	セミ	読本の世界——江戸と上方 横山 邦治 編 (1985年) 図	セミ
ニューメディア研究——情報新時代を考える 井上 宏・多喜 弘次 (1984年) 図		戦間期の日本帝国主義 小野 一郎 編 (1985年) 図	
教育人のための法学 辻 朗・芳野 勝 編 (1984年) 図		キリスト教を学ぶ人のために 武藤 一雄・平石 善司 編 (1985年) 図	学ぶ人
中国経済——調整と改革 藤本 昭・河地 重蔵・上野 秀夫 (1984年) 図	セミ	近世文学の女性像 西島 孜哉 (1985年) 図	セミ
女性のための法学 中川 淳 編 (1984年) 図		脱・結婚——女と男のしなやかな関係を求めて 善積 京子・柳原 佳子・服部 範子・西川 美紀・志村 明子 (1985年) 図	図
日本文学と仏教思想 濱千代 清・渡辺 貞磨 編 (1984年) 図	セミ	薬害の社会学——薬と人間のアイロニー 宝月 誠 編 (1986年) 図	セミ
中世文学の世界 稲田 利徳・佐藤 恒雄・三村 晃功 編 (1984年) 図	セミ	古今集の世界——伝授と享受 横井 金男・新井 栄蔵 編 (1986年) 図	セミ
ラテンアメリカ世界 増田 義郎・山田 善郎・柴田 秀藤 編 (1984年) 図	セミ	Q&A 著作権入門 播磨 良承 編 (1986年) 図	
オーウェル現象の社会学——国家と個人 小野 修 (1984年) 図	セミ	源氏物語生成論——局面集中と継起的展開 森 一郎 (1986年) 図	セミ
王朝和歌の世界——自然感情と美意識 片桐 洋一 編 (1984年) 図	セミ	二十世紀の宗教社会学 小笠原 真 (1986年) 図	セミ
王朝の姫君 大槻 修 (1984年) 図	セミ	学校ストレスの深層 井上 敏明 (1986年) 図	
万葉——ことばの森 清原 和義 (1984年) 図	セミ	啓蒙主義の辺境への旅 大津 真作 (1986年) 図	セミ
インド世界——その歴史と文化 近藤 治 編 (1984年) 図	セミ	インド経済——発展と再編 西口 章雄・浜口 恒夫 編 (1986年) 図	セミ
家と村の社会学 鳥越 皓之 (1985年) 図	セミ	物語文学の系譜 伊井 春樹 編 (1986年) 図	セミ
法的現象論序説 駒城 鎮一 (1985年) 図	セミ	社会病理学を学ぶ人のために 仲村 祥一 編 (1986年) 図	学ぶ人
宗教的真理 鹿野 治助 (1985年) 図	セミ	老後保障システム論——総合化の視点 小倉 襄二 編 (1986年) 図	セミ
勝ち抜く僕ら少国民——少年軍事愛国小説の世界 山中 恒・山本 明 編 (1985年) 図		機能主義の社会理論——パーソンズ理論とその展開 中 久郎 編 (1986年) 図	セミ

自殺者の近代文学 山崎 國紀 編 (1986年) ㊟	ゼミ	新版 社会学を学ぶ人のために 仲村 祥一 編 (1988年) ㊟	学ぶ人
風俗の社会学 井上 俊 編 (1987年) ㊟	ゼミ	ウェーバーの社会学——現代社会への視角 鈴木 正仁 (1988年) ㊟	ゼミ
流行の風俗学 多田 道太郎 編 (1987年) ㊟	ゼミ	人間—その生死の位相 山川 偉也 編 (1988年) ㊟	ゼミ
科学技術時代と哲学 藤本 是 (1987年) ㊟	ゼミ	財務会計論——論理と実践 村上 仁一郎 編 (1988年) ㊟	ゼミ
アメリカ文学を学ぶ人のために 岩山 太次郎 編 (1987年) ㊟	学ぶ人	ドイツ憲法思想史 C. F. メンガー／石川 敏行 訳 (1988年) ㊟	
ブレインヴィル USA——1940年のアメリカ農村生活 J. ウェスト／増田 光吉 監訳 (1987年) ㊟	ゼミ	国際機構——平和と協力を考える 家 正治・川岸 繁雄・金 東勲 編 (1988年) ㊟	ゼミ
アフリカ危機の構造 川端 正久 (1987年) ㊟	ゼミ	Q&A 不正競争防止法入門 播磨 良承 編 (1988年) ㊟	
テレビ文化の社会学 井上 宏 (1987年) ㊟	ゼミ	英語の社会文化史——季節名から文化の深層へ 伊藤 忠夫 (1988年) ㊟	ゼミ
社会学の基礎理論 中 久郎 編 (1987年) ㊟	ゼミ	生きられる文化の社会学 仲村 祥一 (1988年) ㊟	ゼミ
英文学を学ぶ人のために 坂本 完春 編 (1987年) ㊟	学ぶ人	ヘーゲル哲学の現在 加藤 尚武・安井 邦夫・中岡 成文 編 (1988年) ㊟	ゼミ
冥き途——評伝和泉式部 増田 繁夫 (1987年) ㊟	ゼミ	神秘主義を学ぶ人のために 久野 昭 編 (1989年) ㊟	学ぶ人
知の理論の現在 丸山 高司・小川 侃・野家 啓一 編 (1987年) ㊟	ゼミ	民事責任の現代的課題——中川淳先生選暦祝賀論集 中川 淳先生選暦祝賀論集刊行会 編 (1989年) ㊟	
新版 女性のための法学 中川 淳 編 (1987年) ㊟		芭蕉——月の遊行 夏見 知章 (1989年) ㊟	ゼミ
アメリカ史を学ぶ人のために 今津 見・池本 幸三・高橋 章 編 (1987年) ㊟	学ぶ人	アメリカ文化論 J. ホイジンガ／橋本 富郎 訳 (1989年) ㊟	ゼミ
論理学——思考の法則と科学の方法 鯉坂 真・有尾 善繁・梅林 誠爾 (1987年) ㊟	ゼミ	民間説話——日本の伝承世界 福田 晃 編 (1989年) ㊟	ゼミ
変貌する中国経済 河地 重蔵・藤本 昭・上野 秀夫 (1987年) ㊟	ゼミ	ラテン世界の民間説話 三原 幸久 編 (1989年) ㊟	ゼミ
広告論 木地 節郎 (1987年) ㊟	ゼミ	意味と日常世界——シンボリック・インタラクショニズムの社会学 片桐 雅隆 編 (1989年) ㊟	ゼミ
都市公害の形成——近代大阪の成長と生活環境 小田 康徳 (1987年) ㊟	ゼミ	庶民仏教と古典文芸 渡邊 昭五・江本 裕 編 (1989年) ㊟	ゼミ
哲学と科学の源流——ギリシア思想家群像 山川 偉也 (1987年) ㊟	ゼミ	ラテンアメリカ史——植民地時代の実像 柴田 秀藤 編 (1989年) ㊟	ゼミ
説話文学の世界 池上 海一・藤本 徳明 編 (1987年) ㊟	ゼミ	現象学の現在 新田 義弘・常後 宗三郎・水野 和久 編 (1989年) ㊟	ゼミ
戦間期の日本農村 伊藤 正直・大門 正克・鈴木 正幸 (1988年) ㊟	ゼミ	叡山の文化 新井 栄蔵・渡辺 貞磨・三村 晃功 編 (1989年) ㊟	ゼミ
日本国憲法〔新版〕 長尾 一紘 (1988年) ㊟		しつけの社会学——社会化と社会統制 柴野 昌山 編 (1989年) ㊟	ゼミ
現代世界と政治——猪木正道先生古稀祝賀論集 猪木正道先生古稀祝賀論集刊行委員会 編 (1988年) ㊟		新版 非行の社会学 大村 英昭 (1989年) ㊟	ゼミ
多民族国家中国の基礎構造——もうひとつの南北問題 佐々木 信彰 (1988年) ㊟		医療関係者法学——現代医療と法 中川 淳・大野 真義 編 (1989年) ㊟	ゼミ
美の変貌——西洋美学史への展望 当津 武彦 編 (1988年) ㊟	ゼミ	東南アジアの社会学——家族・農村・都市 北原 淳 編 (1989年) ㊟	ゼミ
新版 児童文学—はじめの一歩 鳥 式子・三宅 興子・畠山 兆子 (1988年) ㊟		宗教学を学ぶ人のために 石田 慶和・園田 坦 編 (1989年) ㊟	学ぶ人

本朝三十六河川——川に流れる文学 大森 亮尚 (1989年) 図	セミ	中国文学を学ぶ人のために 興膳 宏 編 (1991年) 図	学ぶ人
イギリス経済——サッチャー革命の軌跡 内田 勝敏 編 (1989年) 図	セミ	生命倫理と現代社会 加茂 直樹 (1991年) 図	セミ
開発計画とインド——理論と現実 S.チャクラヴァルティー／黒沢 一晃・脇村 孝平 訳 (1989年) 図	セミ	共同性の社会学論 中 久郎 (1991年) 図	
小倉百人一首の言語空間——和歌表現史論の構想 糸井 通浩・吉田 究 編 (1989年) 図	セミ	ドイツ文学を学ぶ人のために 深見 茂 編 (1991年) 図	学ぶ人
漂泊俳人の系譜 大星 光史 (1989年) 図	セミ	現代論理学 安井 邦夫 (1991年) 図	
ギリシア叙事詩の誕生 松本 仁助 (1989年) 図	セミ	啄木評論の世界 上田 博・田口 道昭 (1991年) 図	セミ
日本道州制国家論 芝 烝 編著 (1990年) 図	セミ	現代的自己の社会学 仲村 祥一 編 (1991年) 図	セミ
ノスタルジアの社会学 フレッド・デーヴィス／岡場 寿一・荻野 美穂・細辻 恵子 訳 (1990年) 図	セミ	ギリシア文学を学ぶ人のために 松本 仁助・岡 道男・中務 哲郎 編 (1991年) 図	学ぶ人
祭りの文化人類学 森田 三郎 (1990年) 図	セミ	民間説話——日本の伝承世界 (新装版) 福田 晃 編 (1991年) 図	セミ
イギリス中世文学の聖と俗 斎藤 勇 (1990年) 図	セミ	アジアの中の中国経済 河地 重蔵・藤本 昭・上野 秀夫 (1991年) 図	セミ
現代アメリカ社会——コミュニティの経験 D. J. アブスティン／橋本 富郎 訳 (1990年) 図	セミ	山椒大夫読例 清水 克彦 (1991年) 図	セミ
王朝の女流作家たち 樋口 芳麻呂・鷹尾 純・久保 朝孝・岩下 紀之 (1990年) 図	セミ	叡山の和歌と説話 新井 栄蔵・渡辺 貞磨・寺川 真知夫 編 (1991年) 図	セミ
蟻塚教育体制への警鐘 勝田 有恒・高坂 正克・河上 倫逸 編 (1990年) 図	セミ	韓国自動車産業論——技術発展にかんする実証分析 玄 永錫／佐藤 静香 訳 (1991年) 図	セミ
現代社会学の諸理論 中 久郎 編 (1990年) 図	セミ	ソヴェト商品生産論——社会主義経済におけるその半永久的存続 藤田 整 (1991年) 図	セミ
説話文学の世界 (新装版) 池上 海一・藤本 徳明 編 (1990年) 図	セミ	ゴフマン世界の再構成——共在の技法と秩序 安川 一 編 (1991年) 図	セミ
柳田國男を読み直す 岩本 由輝 (1990年) 図	セミ	政治の文法——日本・アメリカ・ソ連 猪木 正道 (1991年) 図	セミ
性のポリフォニー 原田 平作・溝口 宏平 編 (1990年) 図	セミ	変容する日常世界 片桐 雅隆 (1991年) 図	セミ
医療の社会学 進藤 雄三 (1990年) 図	セミ	新版 Q&A 著作権入門 播磨 良承 編 (1991年) 図	
インド経済 [新版] 西口 章雄・浜口 恒夫 編 (1990年) 図	セミ	カリブ海世界 石塚 道子 編 (1991年) 図	セミ
シェイクスピア花苑 金城 盛紀 (1990年) 図	セミ	万葉 恋の歌 犬養 孝 (1991年) 図	セミ
スポーツの社会学 亀山 佳明 編 (1990年) 図	セミ	日本資本主義の教育像 尾崎 ムゲン (1991年) 図	
中ソ外交史研究 香島 明雄 (1990年) 図		日本の美のかたち 神林 恒道 編 (1991年) 図	セミ
反俗脱俗の作家たち 大星 光史 (1991年) 図	セミ	医学を哲学する——医学、この問題なるもの 池辺 義教 (1991年) 図	セミ
現代日本の構造変動——1970年以降 遠藤 惣一・光吉 利之・中田 実 編 (1991年) 図	セミ	家族法の現代的課題 中川 淳 (1992年) 図	
現代日本の生活変動——1970年以降 塩原 勉・飯島 伸子・松本 通晴・新睦人 編 (1991年) 図	セミ	万葉集を学ぶ人のために 中西 進 編 (1992年) 図	学ぶ人
政党組織の比較研究 間 登志夫 (1991年) 図	セミ	中東世界——国際関係と民族問題 岡崎 正孝 編 (1992年) 図	セミ

実践哲学の現在	ゼミ	女と愛と文学——日本文学の中の女性像	ゼミ
青木 隆嘉・西谷 敬・鷲田 清一 編 (1992年) 図		小泉 道・三村 晃功 編 (1993年) 図	
論理学初歩〔新装丁〕		中国経済の市場化構造	
E. J. レモン／竹尾 治一郎・浅野 裕英 訳 (1992年) 図		佐々木 信彰 (1993年) 図	
エスノメソドロジーの現実——せめぎあう(生)と(常)	ゼミ	法と道徳——その現代的展開	ゼミ
好井 裕明 編 (1992年) 図		サイモン・リー／加茂 直樹 訳 (1993年) 図	
物語の方法——語りの意味論	ゼミ	国際関係	ゼミ
糸井 通浩・高橋 亨 編 (1992年) 図		家 正治 編 (1993年) 図	
タバコの社会学——紫煙をめぐる攻防戦	ゼミ	エスニシティの社会学——日本社会の民族的構成	ゼミ
ロナルド・J. トロイヤー、ジェラルド・E. マーケル／中河 伸俊・鮎川 調 訳 (1992年) 図		中野 秀一郎・今津 孝次郎 編 (1993年) 図	
ミッテラン——フランス1981-88	ゼミ	婚外子の社会学	ゼミ
カトリクス・ネイ／村田 晃治 訳 (1992年) 図		善積 京子 (1993年) 図	
日本文学と人間の発見	ゼミ	家族の法と歴史——氏・戸籍・祖先祭祀	ゼミ
上田 博・國末 泰平・宮岡 薫・安森 敏隆 編 (1992年) 図		井戸田 博史 (1993年) 図	
新版 女性のための法学〔全訂版〕		現代文化を学ぶ人のために	学ぶ人
中川 淳 編 (1992年) 図		井上 俊 編 (1993年) 図	
現代哲学の基底	ゼミ	本朝三十六河川——川に流れる文学 (新装版)	ゼミ
田中 芳美 (1992年) 図		大森 亮尚 (1993年) 図	
共感の心理学——そのメカニズムと発達	ゼミ	日本近代史の探究	ゼミ
澤田 瑞也 (1992年) 図		小田 康徳 (1993年) 図	
女性とメディア	ゼミ	ヴィクトリア朝の文学と絵画	ゼミ
加藤 春恵子・津金澤 聰廣 編 (1992年) 図		松村 昌家 (1993年) 図	
地域情報化——理論と政策	ゼミ	ポスト近代の社会学	ゼミ
大石 裕 (1992年) 図		三上 剛史 (1993年) 図	
浄瑠璃の世界	ゼミ	ニーチェと政治	ゼミ
阪口 弘之 編 (1992年) 図		青木 隆嘉 (1993年) 図	
異文化の語り方——あるいは猫好きのための人類学入門	ゼミ	環境学を学ぶ人のために	学ぶ人
中川 敏 (1992年) 図		高橋 正立・石田 紀郎 編 (1993年) 図	
日本文学史を読む——万葉から現代小説まで	ゼミ	苦悩の社会学	ゼミ
島津 忠夫 (1992年) 図		桐田 克利 (1993年) 図	
ラテン文学を学ぶ人のために	学ぶ人	ラテンアメリカ——自立への道	ゼミ
松本 仁助・岡 道男・中務 哲郎 編 (1992年) 図		染田 秀藤 編 (1993年) 図	
フランス文学を学ぶ人のために	学ぶ人	近世文学の女性像 (新装版)	ゼミ
田辺 保 編 (1992年) 図		西島 孜哉 (1993年) 図	
作家のアジア体験——近代日本文学の陰面	ゼミ	西鶴を学ぶ人のために	学ぶ人
芦谷 信和・上田 博・木村 一信 編 (1992年) 図		谷脇 理史・西島 孜哉 編 (1993年) 図	
人口増加と生活環境		友情の社会学	ゼミ
今井 清一 (1992年) 図		G. アラン／仲村 祥一・細辻 恵子 訳 (1993年) 図	
激動期の国際経済	ゼミ	地域のロゴス	ゼミ
羽鳥 敬彦 編 (1992年) 図		大峯 顯・原田 平作・中岡 成文 編 (1993年) 図	
中世歌人の心——転換期の和歌観	ゼミ	国際政治経済論	ゼミ
山本 一 編 (1992年) 図		坂本 正弘 (1993年) 図	
新版 国際機構	ゼミ	経済システムの転換——20世紀社会主義の実験	ゼミ
家 正治・川岸 繁雄・金 東興 編 (1992年) 図		木原 正雄・澤端 佐登史・大西 広 編 (1993年) 図	
日本の広告——人・時代・表現	ゼミ	ジャーナリズムを学ぶ人のために	学ぶ人
山本 武利・津金澤 聰廣 (1992年) 図		田村 紀雄・林 利隆 編 (1993年) 図	
王朝物語を学ぶ人のために	学ぶ人	アフリカ研究——人・ことば・文化	ゼミ
片桐 洋一・増田 繁夫・森 一郎 編 (1992年) 図		赤阪 賢・日野 舜也・宮本 正興 編 (1993年) 図	
万葉王族歌人群像	ゼミ	マーソンの社会学	ゼミ
北島 徹 (1992年) 図		C. クロザース／中野 正大・金子 雅彦 訳 (1993年) 図	
現代哲学を学ぶ人のために	学ぶ人	中世王朝物語の研究	
丸山 高司 編 (1992年) 図		大槻 修 (1993年) 図	

百人一首の新考察——定家の撰歌意識を探る 吉海 直人 (1993年) 図	セミ	新・法学を学ぶ人のために 中川 淳 編 (1994年) 図	学ぶ人
コールバーグ理論の基底 佐野 安仁・吉田 謙二 編 (1993年) 図	セミ	文化の地平線——人類学からの挑戦 井上 忠司・祖田 修・福井 勝義 編 (1994年) 図	セミ
万葉 挽歌の世界——未完の魂 渡辺 護 (1993年) 図	セミ	広告論概説——歴史と未来を探る 大石 準一 (1994年) 図	セミ
叡山をめぐる人びと 新井 栄成・後藤 昭雄 編 (1993年) 図	セミ	文芸批評を学ぶ人のために 田辺 保・三野 博司・荒木 映子 編 (1994年) 図	学ぶ人
カント哲学の現在 竹市 明弘・坂部 恵・有福 孝岳 編 (1993年) 図	セミ	日本文学の男性像 西島 孜哉 編 (1994年) 図	セミ
文化経済学を学ぶ人のために 池上 惇・山田 浩之 編 (1993年) 図	学ぶ人	アジア経済の現代的構造 小川 雄平・本多 健吉 編 (1994年) 図	セミ
生涯という物語世界——説経節 西田 耕三 (1993年) 図	セミ	クワインと現代アメリカ哲学 富田 恭彦 (1994年) 図	セミ
家と村の社会学 (増補版) 鳥越 皓之 (1993年)	セミ	性的人类学——サルとヒトの接点を求めて 高畑 由起夫 編 (1994年) 図	セミ
若者論を読む 小谷 敏 編 (1993年) 図	セミ	現代中国経済とアジア——市場化と国際化 河地 重蔵・藤本 昭・上野 秀夫 (1994年) 図	セミ
イスラームを学ぶ人のために 山内 昌之・大塚 和夫 編 (1993年) 図	学ぶ人	メディア学の現在 岡 満男・山口 功二・渡辺 武達 編 (1994年) 図	セミ
万葉——ことばの森 (新装版) 清原 和義 (1993年) 図	セミ	社会思想史を学ぶ人のために 平井 俊彦 編 (1994年) 図	学ぶ人
役割行為の社会学 栗岡 幹英 (1993年) 図	セミ	能と狂言——生成と展開の諸相 林 和利 (1994年) 図	セミ
アウグスティヌスを学ぶ人のために 金子 晴勇 編 (1993年) 図	学ぶ人	人類学的出会いの発見 宮永 國子 (1994年) 図	セミ
現代家族法を学ぶ人のために 中川 淳 (1994年) 図	学ぶ人	変貌する産業空間 辻 悟一 編 (1994年) 図	セミ
女性記者——新聞に生きた女たち 春原 昭彦・米田 佐代子・岩崎 千恵子 他編著 (1994年) 図	セミ	現代犯罪の深層と文化——日米中比較社会学 間庭 充幸 (1994年) 図	セミ
芭蕉を学ぶ人のために 濱千代 清 編 (1994年) 図	学ぶ人	宗教の人間学 岸 英司 編 (1994年) 図	セミ
近代化と宗教——マックス・ヴェーバーと日本 小笠原 真 (1994年) 図	セミ	幼児教育を学ぶ人のために 岡本 夏木・河嶋 喜矩子 編 (1994年) 図	学ぶ人
森鷗外を学ぶ人のために 山崎 國紀 編 (1994年) 図	学ぶ人	高校野球の社会学——甲子園を読む 江刺 正吾・小椋 博 編 (1994年) 図	セミ
歌枕を学ぶ人のために 片桐 洋一 編 (1994年) 図	学ぶ人	ロシア・東欧経済——体制転換期の構図 小野 堅・岡本 武・溝端 佐史 編 (1994年) 図	セミ
ポピュラー文学の社会学 中嶋 昌彌 編 (1994年) 図	セミ	法と紛争の社会学——法社会学入門 和田 安弘 (1994年) 図	セミ
構造人類学のフィールド 小田 亮 (1994年) 図	セミ	現代文学理論を学ぶ人のために 川上 勉 編 (1994年) 図	学ぶ人
Q&A 意匠法入門 中川 淳 監修 (1994年) 図	セミ	現代中国の変革——社会主義システムの形成と変容 上原 一慶 編 (1994年) 図	セミ
作家の世界体験——近代日本文学の憧憬と模索 芦谷 信和・上田 博・木村 一信 編 (1994年) 図	セミ	『モノドロジー』を読む——ライプニッツの個と宇宙 池田 善昭 (1994年) 図	セミ
一握の砂——啄木短歌の世界 村上 悦也・上田 博・太田 登 編 (1994年) 図	セミ	少年非行の社会学 鮎川 潤 (1994年) 図	セミ
悲しき玩具——啄木短歌の世界 村上 悦也・上田 博・太田 登 編 (1994年) 図	セミ	ハイデggerを学ぶ人のために 大橋 良介 編 (1994年) 図	学ぶ人
知と権力の社会学 原田 達 (1994年) 図	セミ	環境思想を学ぶ人のために 加茂 直樹・谷本 光男 編 (1994年) 図	学ぶ人

アジア NIEs —— 転換期の韓国・台湾・香港・シンガポール 平川 均・朴 一 編 (1994年) 図	中国の農村発展と市場化 加藤 弘之 編 (1995年) 図
万葉 魂の歌 大養 孝 (1994年) 図	現代メディアを学ぶ人のために 有山 輝雄・津金澤 聰廣 編 (1995年) 図
人間学としての哲学 金子 晴男 (1995年) 図	モアレー—映画という幻 上島 春彦 (1995年) 図
新講 源氏物語を学ぶ人のために 高橋 亨・久保 朝孝 編 (1995年) 図	「方法序説」を読む——若きデカルトの生と思想 山田 弘明 (1995年) 図
フランス語史を学ぶ人のために ピーター・リカード／伊藤 忠夫・高橋 秀雄 訳 (1995年) 図	平安朝の乳母達——「源氏物語」への階梯 吉海 直人 (1995年) 図
ベン・ジョンソンとセルバンテス——騎士道物語と人文主義文学 山田 由美子 (1995年) 図	国際交通論 吉田 茂・高橋 望 (1995年) 図
教育現象の社会学 竹内 洋・徳岡 秀雄 編 (1995年) 図	ニーチェを学ぶ人のために 青木 隆嘉 (1995年) 図
現代人類学を学ぶ人のために 米山 俊直 編 (1995年) 図	現代統計学を学ぶ人のために 吉田 忠 編 (1995年) 図
風俗の文化心理 井上 忠司 (1995年) 図	漱石——作品の誕生 浅田 隆 編 (1995年) 図
王朝の姫君 (新装版) 大槻 修 (1995年) 図	日本のシュールレアリスム 澤 正宏・和田 博文 編 (1995年) 図
ソーシャルワークの社会学——実践理論の構築を目指して 加茂 陽 (1995年) 図	現代の解釈学的哲学——デルタイおよびそれ以後の新展開 塚本 正明 (1995年) 図
関西方言の社会言語学 徳川 宗賢・真田 信治 編 (1995年) 図	現代医療と医事法制 大野 真義 編 (1995年) 図
現代医療の社会学——日本の現状と課題 黒田 浩一郎 編 (1995年) 図	ファミリズムの再発見 井上 眞理子・大村 英昭 編 (1995年) 図
楽園の文学——エデンを夢見た作家たち 山川 鴻三 (1995年) 図	国語教育を学ぶ人のために 糸井 通浩・植山 俊宏 編 (1995年) 図
地域社会に住む——コミュニティとアメニティ 橋本 和幸 (1995年) 図	比較文学を学ぶ人のために 松村 昌家 編 (1995年) 図
文化の深淵としての宗教——宗教的作用論序説 細谷 昌志 (1995年) 図	万葉空間 清原 和義 (1997年) 図
美術教育を学ぶ人のために 竹内 博 編 (1995年) 図	女々しい漱石、雄々しい鷗外 渡邊 澄子 (1996年) 図
メディア・トリックの社会学——テレビは「真実」を伝えているか 渡辺 武達 (1995年) 図	西田哲学を学ぶ人のために 大峯 顯 編 (1996年) 図
スポーツ文化の変容——多様化と画一化の文化秩序 杉本 厚夫 (1995年) 図	プライバシーの社会学——相互行為・自己・プライバシー 片桐 雅隆 (1996年) 図
与謝野子を学ぶ人のために 上田 博・富村 俊造 編 (1995年) 図	美女のイメージ 小玉 美意子・人間文化研究会 編 (1996年) 図
企業文化論を学ぶ人のために 梅澤 正・上野 征洋 編 (1995年) 図	ユーモアの社会学 森下 伸也 (1996年) 図
犯罪学の方法序説 高島 学司 (1995年) 図	東西文化共生論——比較文化の視点から ロバート・E.カーター／山本 誠作 訳 (1996年) 図
教育心理学を学ぶ人のために 梅本 堯夫・岩田 純一 編 (1995年) 図	南方徴用作家——戦争と文学 神谷 忠孝・木村 一信 編 (1996年) 図
日本古辞書を学ぶ人のために 西崎 亨 編 (1995年) 図	共同体の思想——村落開発理論の比較社会学 北原 淳 (1996年) 図
現代経営学を学ぶ人のために 赤岡 功 編 (1995年) 図	片隅の思想——法学前 中川 淳 (1996年) 図
メソアメリカ世界 小林 致広 編 (1995年) 図	社会システムと法の理論——ポスト・モダンとロマン主義 駒城 鎮一 (1996年) 図

新編 女性のための法学 中川 淳 編 (1996年) 図	
ハイデッガーの思惟と芸術 四日谷 敬子 (1996年) 図	ゼミ
民話の原風景——南島の伝承世界 福田 兎・岩瀬 博 編 (1996年) 図	ゼミ
進化論と倫理 内井 惣七 (1996年) 図	ゼミ
ライフ・ヒストリーを学ぶ人のために 谷 富夫 編 (1996年) 図	学ぶ人
現代デザインを学ぶ人のために 嶋田 厚 編 (1996年) 図	学ぶ人
アメリカ言語哲学の視点 富田 恭彦 (1996年) 図	ゼミ
インド史研究序説 近藤 治 (1996年) 図	
技術の知と哲学の知——哲学的科学技術批判の試み 星月 太郎 (1996年) 図	ゼミ
響きあう神話——現代アマゾニアの物語世界 木村 秀雄 (1996年) 図	ゼミ
〈わたし〉を生きる——自分さがしの人間学 奥村 和滋・濱名 陽子 編 (1996年) 図	ゼミ
地域研究調査法を学ぶ人のために 佐藤 誠 編 (1996年) 図	学ぶ人
国際化と地域経済 内田 勝敏 編 (1996年) 図	ゼミ
言語人類学を学ぶ人のために 宮岡 伯人 編 (1996年) 図	学ぶ人
アフリカ史を学ぶ人のために 岡倉 登志 編 (1996年) 図	学ぶ人
〈色好み〉の系譜——女たちのゆくえ 今関 敏子 (1996年) 図	ゼミ
フィクションとしての社会——社会学の再構成 磯部 卓三・片桐 雅隆 編 (1996年) 図	ゼミ
ケルケゴールを学ぶ人のために 細谷 昌志・大屋 憲一 編 (1996年) 図	学ぶ人
インド現代政治——その光と影 木村 雅昭 (1996年) 図	ゼミ
児童虐待の社会学 上野 加代子 (1996年) 図	ゼミ
アジア経済を学ぶ人のために 坂田 幹男・本多 健吉 編 (1996年) 図	学ぶ人
新約聖書に学ぶ——聖句講解90 飯坂 良明 (1996年) 図	ゼミ
パブリック・スクールの社会学——英国エリート教育の内幕 G. ウォルフオード/竹内 洋・海部 優子 訳 (1996年) 図	
ポスト冷戦時代の国連 K. A. ミングスト、M. P. カーンズ/家 正治・桐山 孝信 監訳 (1996年) 図	ゼミ
芸術経営学を学ぶ人のために 佐々木 晃彦 編 (1997年) 図	学ぶ人
個のアイデンティティ——誰かであること、誰でもないこと K. バリッジ/宮永 國子 訳 (1997年) 図	ゼミ
道徳教育を学ぶ人のために 小寺 正一・藤永 芳純 編 (1997年) 図	学ぶ人
いくさ物語の語りと批評 山下 宏明 (1997年) 図	ゼミ
感情の社会学——エモーション・コンシャスな時代 岡原 正幸・山田 昌弘・安川 一・石川 准 (1997年) 図	ゼミ
比較言語学を学ぶ人のために 堀井 令以知 (1997年) 図	学ぶ人
スポーツファンの社会学 杉本 厚夫 編 (1997年) 図	ゼミ
文芸としての童謡——童謡の歩みを考える 畑中 圭一 (1997年) 図	ゼミ
永井荷風・音楽の流れる空間 真銅 正宏 (1997年) 図	ゼミ
セルバンテスの世界 坂東 省次・蔵本 邦夫 編 (1997年) 図	ゼミ
比較文学研究入門 渡邊 洋 (1997年) 図	ゼミ
法律用語を学ぶ人のために 中川 淳・大野 真義 編 (1997年) 図	学ぶ人
宗教とナショナリズム 中野 毅・飯田 剛史・山中 弘 編 (1997年) 図	ゼミ
「性を考える」わたしたちの講義 上野 輝将・倉地 克直・沢山 美果子・田中 貫子・西山 良平・妻鹿 淳子 (1997年) 図	ゼミ
高度成長の社会学 鈴木 正仁・中道 實 編 (1997年) 図	ゼミ
貿易論を学ぶ人のために 小川 雄平 編 (1997年) 図	学ぶ人
メディア・リテラシーを学ぶ人のために 鈴木 みどり 編 (1997年) 図	学ぶ人
アンデス文化を学ぶ人のために 友枝 啓泰・染田 秀藤 編 (1997年) 図	学ぶ人
社会病理を考える 徳岡 秀雄 (1997年) 図	ゼミ
現代中国経済の分析 佐々木 信彰 編 (1997年) 図	ゼミ
日本近代文学を学ぶ人のために 木村 一信・中川 成美・上田 博 編 (1997年) 図	学ぶ人
日本近代思想を学ぶ人のために 藤田 正勝 編 (1997年) 図	学ぶ人
日本国憲法〔第三版〕 長尾 一紘 (1997年) 図	
比較文化の地平——日本とヨーロッパ 新 陸人 編 (1997年) 図	ゼミ
アメリカ研究とジェンダー 渡辺 和子 編 (1997年) 図	ゼミ
王朝和歌を学ぶ人のために 後藤 祥子 編 (1997年) 図	学ぶ人
分析哲学の現在 藤本 隆志・伊藤 邦武 編 (1997年) 図	ゼミ
国際関係論の軌跡——文明接触の座標から 長井 信一 (1997年) 図	ゼミ

日本文学史論——島津忠夫先生古稀記念論集 島津忠夫先生古稀記念論集刊行会 編 (1997年) 総	
形象と言語——その哲学的背景と課題 四日谷 敬子・内藤 道雄 編 (1997年) 総	セミ
メディア学の現在〔改訂版〕 岡 満男・山口 功二・渡辺 武達 編 (1997年) 総	セミ
アジア音楽の世界 櫻井 哲男 (1997年) 総	セミ
アメリカ経済を学ぶ人のために 横田 茂 編 (1997年) 総	学中人
社会政策を学ぶ人のために 玉井 金五・大森 真紀 編 (1997年) 総	学中人
共生の国際関係——国際学の試み 松本 仁助・香西 茂・島岡 宏 編 (1997年) 総	セミ
老荘思想を学ぶ人のために 加地 伸行 編 (1997年) 総	学中人
悲恋の古典文学 久保 朝孝 編 (1997年) 総	セミ
トニ・モリスンの世界——語られざる、語り得ぬものを求めて 加藤 恒彦 (1997年) 総	セミ
ギャンブルの社会学 谷岡 一郎・仲村 祥一 編 (1997年) 総	セミ
ヒューマンサービス論——その社会学論的批判的吟味 加茂 陽 (1998年) 総	セミ
アフリカ経済 末原 達郎 編 (1998年) 総	セミ
地方文化の社会学 間場 寿一 編 (1998年) 総	セミ
医療神話の社会学 佐藤 純一・黒田 浩一郎 編 (1998年) 総	セミ
日本近代女性文学論——闇を拓く 渡邊 澄子 (1998年) 総	セミ
宗教の根源——祈りの人間論序説 棚次 正和 (1998年) 総	セミ
現代宗教思想を学ぶ人のために 長谷 正當・山本 誠作 編 (1998年) 総	学中人
斎藤茂吉短歌研究 安森 敏隆 (1998年) 総	
ジェンダーで学ぶ社会学 伊藤 公雄・牟田 和恵 編 (1998年) 総	
イギリス桂冠詩人 小泉 博一 (1998年) 総	セミ
社会意識論を学ぶ人のために 池井 望・仲村 祥一 編 (1998年) 総	学中人
シングル単位の社会論——ジェンダー・フリーな社会へ 伊田 広行 (1998年) 総	セミ
シングル単位の恋愛・家族論——ジェンダー・フリーな関係へ 伊田 広行 (1998年) 総	セミ
生活文化を学ぶ人のために 石川 実・井上 忠司 編 (1998年) 総	学中人
近現代詩を学ぶ人のために 和田 博文 編 (1998年) 総	学中人
若者たちの変貌——世代をめぐる社会学的物語 小谷 敏 (1998年) 総	セミ
現代広告学を学ぶ人のために 山本 武利 編 (1998年) 総	学中人
トランスポジションの思想——文化人類学の再想像 太田 好信 (1998年) 総	セミ
カウンセリングと共感 澤田 瑞也 (1998年) 総	セミ
ロシア経済 小野 堅・岡本 武・溝端 佐登史 編 (1998年) 総	セミ
ロシア文化と近代日本 奥村 烈三・左近 毅 編 (1998年) 総	セミ
現代南アジア史研究——インド・パキスタン関係の原形と展開 近藤 治 (1998年) 総	
現代メディアとコミュニケーション 井上 宏 (1998年) 総	セミ
抵抗の快楽——ポピュラーカルチャーの記号論 ジョン・フィスク/山本 雄二 訳 (1998年) 総	セミ
中国経済と東アジア圏 河地 重蔵・藤本 昭・上野 秀夫 (1998年) 総	セミ
戦時期日本のメディア・イベント 有山 輝雄・津金澤 聰廣 編者 (1998年) 総	
老後保障を学ぶ人のために 浅野 仁・小倉 襄二 編 (1998年) 総	学中人
周辺民族の現在 清水 昭俊 編 (1998年) 総	
新しい日本語研究を学ぶ人のために 玉村 文郎 編 (1998年) 総	学中人
ラテンアメリカが語る近代——地域知の創造 上谷 博・石黒 馨 編 (1998年) 総	セミ
小倉百人一首を学ぶ人のために 糸井 通浩 編 (1998年) 総	学中人
新版 現代文化を学ぶ人のために 井上 俊 編 (1998年) 総	学中人
新版 日本近代史の探究 小田 康徳 (1998年) 総	セミ
成熟と老い 安井 信子・沢山 美果子・今関 敏子 (1998年) 総	セミ
統計にみる日本経済 吉田 忠・石原 健一 編 (1998年) 総	セミ
国際機構〔第三版〕 家 正治・川岸 繁雄・金 東興 編 (1999年) 総	セミ
談話分析を学ぶ人のために M.クルタード/吉村 昭市・貫井 孝典・鎌田 修 訳 (1999年) 総	学中人
会話分析への招待 好井 裕明・山田 富秋・西阪 仰 編 (1999年) 総	セミ
オセアニア・オリエンタリズム 春日 直樹 編 (1999年) 総	
高齢期家族の社会学 安達 正嗣 (1999年) 総	セミ
ハーマンの理性批判——18世紀ドイツ哲学の転換 磯江 景孜 (1999年) 総	

社会学原論——現代の診断原理 中 久郎 (1999年) 図	
女性と社会——女性エンパワメントを求めて 山田 昇・江刺 正吾 編 (1999年) 図	セミ
中世王朝物語の表現 田淵 福子 (1999年) 図	
観光人類学の戦略——文化の売り方・売られ方 橋本 和也 (1999年) 図	セミ
帝国意識の解剖学 北川 勝彦・平田 雅博 編 (1999年) 図	セミ
アメリカ文化を学ぶ人のために 川上 忠雄 編 (1999年) 図	学ぶ人
医療と文化 リン・ペイヤー／円山 誓信・張 知夫 訳 (1999年) 図	セミ
スペイン学を学ぶ人のために 牛島 信明・川成 洋・坂東 省次 編 (1999年) 図	学ぶ人
メディア用語を学ぶ人のために 渡辺 武達・山口 功二 編 (1999年) 図	学ぶ人
環境問題を学ぶ人のために 和田 武 編 (1999年) 図	学ぶ人
ド・ゴールとミッテラン——知印と足跡の比較論 A.デュアメル／村田 晃治 訳 (1999年) 図	セミ
女性史を学ぶ人のために 石月 静恵・藪田 貫 編 (1999年) 図	学ぶ人
東欧経済 小山 洋司 編 (1999年) 図	セミ
したたかなロシア演劇——タガンカ劇場と現代ロシア演劇 堀江 新二 (1999年) 図	セミ
世界史の回廊——比較文明の視点 吉澤 五郎 (1999年) 図	セミ
グローバル経済 羽鳥 敬彦 編 (1999年) 図	セミ
キーワードで学ぶカウンセリング——面接のツボ 澤田 瑞也・吉田 圭吾 編 (1999年) 図	セミ
分析哲学入門 竹尾 治一郎 (1999年) 図	セミ
ヘゲモニーの逆説——アジア太平洋戦争と米国の東アジア政策 1941年～1952年 杉田 米行 (1999年) 図	セミ
社会学講義——感情論の視点 高橋 由典 (1999年) 図	
スポーツ文化を学ぶ人のために 龜山 佳明・井上 俊 編 (1999年) 図	学ぶ人
誕生のジェネオロジ——人工生殖と自然らしさ 出口 顯 (1999年) 図	セミ
テレビジョン・ポリフォニー——番組・視聴者分析の試み 伊藤 守・藤田 真文 編 (1999年) 図	セミ
歌謡文学を学ぶ人のために 小野 恭靖 編 (1999年) 図	学ぶ人
地域学への招待 松田 之利・西村 貢 編 (1999年) 図	セミ
震災の社会学——阪神・淡路大震災と民衆意識 津金澤 聰廣・黒田 展之 編 (1999年) 図	
この日本で老いる 中島 健二 (1999年) 図	
百貨店の文化史——日本の消費革命 山本 武利・西沢 保 編 (1999年) 図	
家族論を学ぶ人のために 中川 淳 編 (1999年) 図	学ぶ人
アイデンティティ・ポリティクスを超えて——在日朝鮮人のエスニシティ 金 泰泳 (1999年) 図	セミ
教育的存在論の探究——教育哲学叙説 齋藤 昭 (1999年) 図	
〔新版〕ジャーナリズムを学ぶ人のために 田村 紀雄・林 利隆 編 (1999年) 図	学ぶ人
開かれた孤独へ——思想の源流に求める人間の所在 岡田 勝明 (2000年) 図	セミ
ハーバーマスの社会理論 豊泉 周治 (2000年) 図	セミ
新版 国際関係 家 正治 編 (2000年) 図	セミ
子ども家族支援の社会学 畠中 宗一 (2000年) 図	セミ
変貌する現代韓国社会 小林 孝行 編 (2000年) 図	セミ
溶解する近代——社会理論とポストモダンゼーション 今枝 法之 (2000年) 図	セミ
京都洛北の原風景——写真で見る暮らしの百年 中村 治 (2000年) 図	
法律ラテン語を学ぶ人のために 柴田 光蔵 (2000年) 図	学ぶ人
私の二十世紀——猪木正道回顧録 猪木 正道 (2000年) 図	
東南アジアの経済 北原 淳・西口 清勝・藤田 和子・米倉 昭夫 (2000年) 図	セミ
イギリス詩を学ぶ人のために 小泉 博一・東中 稜代 編 (2000年) 図	学ぶ人
夢みる主観の社会学——私社会学ノート 仲村 祥一 (2000年) 図	
シェイクスピアを学ぶ人のために 今西 雅章・尾崎 寄春・齋藤 衛 編 (2000年) 図	学ぶ人
転換期のアジア経済を学ぶ人のために 西口 章雄・朴 一 編 (2000年) 図	学ぶ人
「神」という謎——宗教哲学入門 上枝 美典 (2000年) 図	セミ
イギリス・ロマン派の研究 薬師川 虹一 (2000年) 図	
「広告」への社会学 難波 功士 (2000年) 図	セミ
経済地理学を学ぶ人のために 辻 悟一 編 (2000年) 図	学ぶ人
グローバル／ジェンダー・ポリティクス——国際関係論とフェミニズム 土佐 弘之 (2000年) 図	セミ
論理開眼——「事・物ノ理ヲ論ラフ学ヒ」としての論理学 山川 偉也・清水 真一 (2000年) 図	セミ

- 健康不安の社会学——健康社会のパラドックス** セミ
上杉 正幸 (2000年) 図
- インターネット空間の社会学——情報ネットワーク社会と公共圏** セミ
吉田 純 (2000年) 図
- 近代日本の上流階級——華族のエスノグラフィー**
タキエ・スキヤマ・リブラ/竹内 洋・海部 優子・井上 義和 訳 (2000年) 図
- 法学講義——基礎へのアプローチ**
中川 淳 (2000年) 図
- 物語の放送形態論——仕掛けられたアニメーション番組**
畠山 兆子・松山 雅子 (2000年) 図
- ソーシャルワーク理論を学ぶ人のために** 学ぶ人
加茂 陽 編 (2000年) 図
- 自己と「語り」の社会学——構築主義的展開**
片桐 雅隆 (2000年) 図
- 強制収容所における「生」** セミ
高橋 三郎 (2000年) 図
- スポーツで読むアジア** セミ
平井 肇 編 (2000年) 図
- 構築主義の社会学——論争と議論のエスノグラフィー** セミ
平 英美・中河 伸俊 編 (2000年) 図
- 外国人の参政権** セミ
長尾 一絃 (2000年) 図
- 男と女の過去と未来** セミ
倉地 克直・沢山 美果子 編 (2000年) 図
- 新版 社会政策を学ぶ人のために** 学ぶ人
玉井 金五・大森 真紀 編 (2000年) 図
- グローバル化とアイデンティティ**
宮永 國子 (2000年) 図
- フッサルを学ぶ人のために** 学ぶ人
新田 義弘 編 (2000年) 図
- 刑事法学の潮流と展望——大野真義先生古稀祝賀**
森本 益之・加藤 久雄・生田 勝義 編 (2000年) 図
- 家族臨床の社会学** セミ
畠中 宗一 (2000年) 図
- 現場の学問・学問の現場** セミ
田中 圭治郎 編 (2000年) 図
- ボランティアという人間関係**
原田 隆司 (2000年) 図
- 中国経済の展望** セミ
佐々木 信彰 編 (2000年) 図
- EU 世界を読む** セミ
小倉 襄二・有沢 僚悦・吉野 文雄 編 (2001年) 図
- 現代の社会紛争** セミ
R. ダーレンドルフ/加藤 秀治郎・楡山 雅人 訳 (2001年) 図
- 真理の形而上学——デカルトとその時代**
山田 弘明 (2001年) 図
- ヘーゲルを学ぶ人のために** 学ぶ人
加藤 尚武 編 (2001年) 図
- 太平洋のラスプーチン——ヴィチ・カンパニ運動の歴史人類学**
春日 直樹 (2001年) 図
- Q&A 商標法入門**
江口 順一 監修 (2001年) 図
- 芸能伝承の民俗誌的研究——カタとココロを伝えるくふう**
上野 誠 (2001年) 図
- 日本美術を学ぶ人のために** 学ぶ人
中村 興二・岸 文和 編 (2001年) 図
- 医療社会学のフロンティア——現代医療と社会** セミ
黒田 浩一郎 編 (2001年) 図
- 自由と意味——戦後ドイツにおける社会秩序観の変容** セミ
城 達也 (2001年) 図
- 死をめぐる実践宗教——南タイのムスリム・仏教徒関係へのパースペクティブ**
西井 凉子 (2001年) 図
- 新版 道徳教育を学ぶ人のために** 学ぶ人
藤永 芳純・小寺 正一 編 (2001年) 図
- メディア学の現在〔新版〕** セミ
山口 功二・渡辺 武達・岡 満男 編 (2001年) 図
- 祭りと宗教の現代社会学** セミ
芦田 徹郎 (2001年) 図
- 古代の幻——日本近代文学の〈奈良〉** セミ
浅田 隆・和田 博文 編 (2001年) 図
- 文化伝達の社会学** セミ
柴野 昌山 編 (2001年) 図
- 病気と医療の社会学** セミ
田口 宏昭 (2001年) 図
- アメリカと日本の奇跡——国際秩序と戦後日本の経済成長1950-60**
A. フォースバーグ/杉田 米行 訳 (2001年) 図
- 大学生入門**
新田 光子・高橋 三郎 (2001年) 図
- 開発と環境——インド先住民民族、もう一つの選択肢を求めて** セミ
真実 一美 (2001年) 図
- 民事責任の規範構造——中川 淳先生古稀記念論文集**
中井 美雄・田井 義信 編 (2001年) 図
- 現代中国の民族と経済** セミ
佐々木 信彰 編 (2001年) 図
- 学歴社会のローカル・トラック——地方からの大学進学** セミ
吉川 徹 (2001年) 図
- 冷戦とアメリカ文学——21世紀からの再検証** セミ
山下 昇 編 (2001年) 図
- 開発学を学ぶ人のために** 学ぶ人
菊地 京子 編 (2001年) 図
- 「ボランティア」の文化社会学**
小澤 亘 編著 (2001年) 図
- 彷徨えるナショナリズム——オリエンタリズム/ジャパン/グローバリゼーション**
阿部 潔 (2001年) 図
- 人類学の実践の再構築——ポストコロニアル転回以後**
杉島 敬志 編 (2001年) 図
- 応用社会言語学を学ぶ人のために** 学ぶ人
ダニエル・ロング、中井 精一、宮治 弘明 編 (2001年) 図
- イギリスの地域政策** セミ
辻 悟一 (2001年) 図
- マンガの社会学**
荻野 昌弘・宮原 浩二郎 編 (2001年) 図
- 出版女性史——出版ジャーナリズムに生きる女性たち** セミ
池田 恵美子 編著 (2001年) 図

経営情報システム論を学ぶ人のために 山本 孝・井上 秀次郎 編 (2001年) 読	学ぶ人	言語哲学を学ぶ人のために 山田 友幸・野本 和幸 編 (2002年) 読	学ぶ人
表象の植民地帝国——近代フランスと人文諸科学 竹沢 尚一郎 (2001年) 読		近代フェミニズムの誕生——メアリ・ウルストンクラフト 安達 みち代 (2002年) 読	セミ
国際経営を学ぶ人のために 根本 孝・茂垣 広志・池田 芳彦 編 (2001年) 読	学ぶ人	中国書法史を学ぶ人のために 杉村 邦彦 編 (2002年) 読	学ぶ人
国際教育協力論 内海 成治 (2001年) 読	セミ	日常実践のエスノグラフィ——語り・コミュニティ・アイデンティティ 田辺 繁治・松田 素二 編 (2002年) 読	
キリスト教と現代——終末思想の歴史的展開 芦名 定道・小原 克博 (2001年)	セミ	キリスト教文学を学ぶ人のために 吉海 直人・杉野 徹・安森 敏隆 編 (2002年) 読	学ぶ人
モンスーン・アジアの水と社会環境 藤田 和子 編 (2002年) 読	セミ	バブリック・アクセスを学ぶ人のために 津田 正夫・平塚 千尋 編 (2002年) 読	学ぶ人
現代アラブ・ムスリム世界——地中海とサハラのはざま 大塚 和夫 編 (2002年) 読	セミ	アジア系アメリカ文学——作品とその社会的枠組 エレイン・キム／植木 照代・山本 秀行・申 幸月 訳 (2002年) 読	
経済開発論——インドの構造調整計画とグローバリゼーション 佐藤 隆広 (2002年) 読	セミ	自由と権利の哲学——ヘーゲル「法・権利の哲学講義」の展開 福吉 勝男 (2002年) 読	セミ
意味の歴史社会学——ルーマンの近代ゼマンティック論 高橋 徹 (2002年) 読	セミ	アメリカ留学への招待——アメリカの社会と大学 岡地 勝二・中村 艶子 (2002年) 読	
自立と甘えの社会学 畠中 宗一 編 (2002年) 読	セミ	パーソンズと社会学理論の現在——T・Pと呼ばれた知の領域について 油井 清光 (2002年) 読	セミ
民族音楽学の課題と方法——音楽研究の未来をさぐる 水野 信男 編 (2002年) 読		政治空間としてのバラオ——島嶼の近代への社会人類学的アプローチ 遠藤 央 (2002年) 読	
情報と経済活動 大村 茂雄・岩下 正弘 編 (2002年) 読	セミ	刑法の機能と限界 大野 真義 (2002年) 読	
紛争解決のモードとは何か——協働的問題解決へむけて 名嘉 憲夫 (2002年) 読	セミ	公共性のエートス——三宅雪嶺と在野精神の近代 長妻 三佐雄 (2002年) 読	セミ
〔新版〕国際交通論 吉田 茂・高橋 望 (2002年) 読	セミ	大衆紙の源流——明治期小新聞の研究 土屋 礼子 (2002年) 読	
子どもの文化を学ぶ人のために 川端 有子・戸蒔 恭紀・難波 博孝 編 (2002年) 読	学ぶ人	私の比較文明論 米山 俊直 (2002年) 読	セミ
現代女性と法 中川 淳 編 (2002年) 読		レトリック入門——修辞と論証 野内 良三 (2002年) 読	セミ
フランクフルトを学ぶ人のために 山田 邦男 編 (2002年) 読	学ぶ人	EUの地域政策 辻 悟一 (2003年) 読	セミ
エリート理論の形成と展開 居安 正 (2002年) 読		プライベートピア——集合住宅による私的政府の誕生 エヴァン・マッケンジー／竹井 隆人・梶浦 恒男 訳 (2003年) 読	セミ
環境先進の社会とは何か——ドイツの環境思想と環境政策を事例に 平子 義雄 (2002年) 読	セミ	過去と記憶の社会学——自己論からの展開 片桐 雅隆 (2003年) 読	
社会人大学院生入門——社会人だからこそ楽しめる 影山 貴彦 (2002年) 読		夫婦別姓——その歴史と背景 久武 綾子 (2003年) 読	セミ
遠い隣国——ロシアと日本 木村 汎 (2002年) 読		能・狂言の生成と展開に関する研究 林 和利 (2003年) 読	
南方熊楠の思想と運動 後藤 正人 (2002年) 読	セミ	クイズ文化の社会学 石田 佐恵子・小川 博司 編 (2003年)	セミ
国際危機学——危機管理と予防外交 木村 汎 編 (2002年) 読		英語学史を学ぶ人のために ヘルムート・グノイス／大泉 昭夫 訳 (2003年) 読	学ぶ人
市場経済移行論 溝端 佐登史・吉井 昌彦 編 (2002年) 読	セミ	ものとの社会学 原田 隆司・寺岡 伸悟 (2003年) 読	セミ
「笑い」の技術——笑いか世界をひらく 坂井 直秀 (2002年) 読		イスラームと商業の歴史人類学——西アフリカの交易と知識のネットワーク 坂井 信三 (2003年) 読	
源氏物語歌織物 宗雪 修三 (2002年) 読	セミ	日常性とソーシャルワーク 加茂 陽 編 (2003年) 読	セミ

文化交流学を拓く 青柳 まちこ 編 (2003年) 図	セミ	シカゴ学派の社会学 中野 正太・宝月 誠 編 (2003年)	セミ
ラテンアメリカ経済学——ネオ・リベラリズムを超えて 石黒 馨 編 (2003年) 図	セミ	メディアテキストの冒険 小林 直毅 (2003年) 図	セミ
文化学講義 相良 憲昭 (2003年) 図		医療の比較文化論——その原理と倫理を求めて 久間 圭子 (2003年) 図	セミ
子どもの発達心理学を学ぶ人のために 吉田 直子・片岡 基明 編 (2003年) 図	学ぶ人	文明間の対話に向けて——共生の比較文明学 伊東 俊太郎 監修/吉澤 五郎・染谷 臣道 編 (2003年) 図	
ジェンダーで学ぶ教育 木村 涼子・天野 正子 編 (2003年) 図		アイロニーのエッジ——その理論と政治学 リンダ・ハッチオン/古賀 哲男 訳 (2003年) 図	セミ
現代教育学のフロンティア——新時代の創出をめざして 佐野 安仁 監修/加賀 裕郎・隈元 泰弘 編 (2003年) 図		国際観光学を学ぶ人のために 前田 弘・石井 雄二・堀川 紀年 編 (2003年) 図	学ぶ人
中国経済の数量分析 大西 広・矢野 剛 編 (2003年) 図	セミ	音楽学を学ぶ人のために 根岸 一美・三浦 信一郎 編 (2004年) 図	学ぶ人
産業集積の再生と中小企業 湖中 齊・前田 啓一 編 (2003年) 図	セミ	倫理学——人間の自由と尊厳 鯨坂 真・上田 浩・黒田 治夫・山川 学 (2004年) 図	セミ
日本人が知らない夏目漱石 ダミアン・フラナガン (2003年) 図		近代日本の教育学——谷本富と小西重直の教育思想 稲葉 宏雄 (2004年) 図	
異文化を知るころ——国際化と多文化理解の視座から 奥川 義尚・堀川 徹・田所 清克 編 (2003年) 図	セミ	チョコレートの文化誌 八杉 佳穂 (2004年)	
フロー理論の展開 今村 浩明・浅川 希洋志 編 (2003年) 図	セミ	環境人類学を学ぶ人のために バトリシア・K. タウンゼント/岸上 伸啓・佐藤 吉文 訳 (2004年) 図	学ぶ人
ライフ・イベントの社会学 片瀬 一男 (2003年) 図	セミ	拡大する土壌・地下水汚染——土壌汚染対策法と汚染の現状 如 明郎 (2004年) 図	セミ
「華」——メディア・エンターテインメントの世界 影山 貴彦 (2003年) 図		村の生活環境史 古川 彰 (2004年) 図	
ジンメルの社会学理論——現代的解読の試み 早川 洋行 (2003年)	セミ	第三帝国のR. シュトラウス——音楽家の〈喜劇的〉闘争 山田 由美子 (2004年) 図	
環境倫理のラディカルズム 谷本 光男 (2003年) 図	セミ	昭和作家の〈南洋行〉 木村 一信 (2004年)	
現代法学を学ぶ人のために 中川 淳 編 (2003年) 図	学ぶ人	ジャーナリズム「現」論——取材現場からメディアを考える 亘 英太郎 (2004年) 図	
ポピュラー文化論を学ぶ人のために ドミニク・ストリナチ/渡辺 潤・伊藤 明己 訳 (2003年) 図	学ぶ人	カリブ文学研究入門 山本 伸 (2004年) 図	
「野生」の誕生——未開イメージの歴史 スチュアート・ヘンリ 編 (2003年) 図		スポーツ・ボランティアへの招待——新しいスポーツ文化の可能性 山口 泰雄 編 (2004年)	
〈児童虐待〉の構築——捕獲される家族 上野 加代子・野村 知二 (2003年) 図	セミ	中国社会の人類学——親族・家族からの展望 瀬川 昌久 (2004年) 図	セミ
近代日本の法社会史——平和・人権・友愛 後藤 正人 (2003年) 図	セミ	農園主と奴隷のアメリカ 滝野 哲郎 (2004年) 図	セミ
EUと現代ドイツ——歴史・文化・社会 浅川 千尋・ウーベ・カルステン 編 (2003年) 図	セミ	社会学の根本問題——(個人と社会) G. ジンメル/居安 正 訳 (2004年) 図	セミ
地球環境問題の人類学——自然資源へのヒューマンインパクト 池谷 和信 編 (2003年) 図	セミ	現代ジャーナリズムを学ぶ人のために 田村 紀雄・林 利隆・大井 眞二 編 (2004年) 図	学ぶ人
ハイテガー入門 ギンター・フィガール/伊藤 徹 訳 (2003年) 図	セミ	メディア社会の歩き方——その歴史と仕組み 柳澤 伸司・鈴木 みどり・川口 晋一・黄 盛彬 他 (2004年) 図	
現代中国ビジネス論 佐々木 信彰 編 (2003年) 図	セミ	〈女中〉イメージの家庭文化史 清水 美知子 (2004年) 図	
生命のフィロソフィー 功刀 由紀子・中西 健一・坂東 昌子・本山 敦 編著 (2003年) 図	セミ	メディア文化を読み解く技法——カルチュラル・スタディーズ・ジャパン 阿部 潔・難波 功士 編 (2004年) 図	
家族支援論——なぜ家族は支援を必要とするのか 畠中 宗一 (2003年) 図	セミ	視線の歴史——〈窓〉と西洋文明 萩野 昌利 (2004年) 図	

現代絵画の社会学と美学——時代の画像 アーノルト・ゲーレン／池井 望 訳 (2004年) 図	
笑い学のすずめ 井上 宏 (2004年) 図	
生涯学習理論を学ぶ人のために 赤尾 勝巳 編 (2004年)	学ぶ人
公共性の哲学を学ぶ人のために 安彦 一恵・谷本 光男 編 (2004年) 図	学ぶ人
「曖昧な生きづらさ」と社会——クレイム申し立ての社会学 草柳 千早 (2004年) 図	ゼミ
介護ライフスタイルの社会学 春日井 典子 (2004年) 図	ゼミ
柳田国男の政治経済学——日本保守主義の源流を求めて 佐藤 光 (2004年) 図	ゼミ
育児戦略の社会学——育児雑誌の変容と再生産 天童 睦子 編 (2004年) 図	
夫婦の氏を考える 井戸田 博史 (2004年) 図	
老いと障害の質的 sociology——フィールドワークから 山田 富秋 編 (2004年) 図	ゼミ
夫婦・親子関係の法理 中川 淳 (2004年) 図	
生成文法を学ぶ人のために 中井 悟・上田 雅信 編 (2004年) 図	学ぶ人
法と文化の歴史社会学 小田桐 忍・塚本 潔・原 信芳 (2004年) 図	ゼミ
疎まれし者デカルト——十八世紀フランスにおけるデカルト神話の生成と展開 山口 信夫 (2004年) 図	
現代家族のアジェンダ——親子関係を考える 井上 眞理子 編 (2004年) 図	ゼミ
変貌する韓国経済 朴 一 編 (2004年) 図	ゼミ
保健と医療の人類学——調査研究の手引き A. ハルドン、S. v. d. ヘースト他／石川 信克・尾崎 敬子 監訳 (2004年) 図	ゼミ
スポーツと人間——文化的・教育的・倫理的側面 オモウ・グルーベ／永島 惇正・岡出 美則 他訳 (2004年) 図	
「福祉コミュニティ」と地域社会 平川 毅彦 (2004年) 図	ゼミ
精神分析学を学ぶ人のために 小川 豊昭・鈴木 國文・新宮 一成 編 (2004年) 図	学ぶ人
メディア史を学ぶ人のために 有山 輝雄・竹山 昭子 編 (2004年) 図	学ぶ人
ヘーゲル『精神現象学』を読む 寄川 条路 (2004年) 図	ゼミ
スピリチュアリティの社会学——現代世界の宗教性の探求 伊藤 雅之・櫻尾 直樹・弓山 達也 編 (2004年) 図	ゼミ
世論の政治心理学——政治領域における意見と行動 ドナルド・R. キンダー／加藤 秀治郎・加藤 祐子 訳 (2004年) 図	ゼミ
リス＝クラーク探検——アメリカ西部開拓の原初物語 明石 紀雄 (2004年) 図	ゼミ
アイデンティティと共同性の再構築 城 達也・宋 安鍾 編 (2005年) 図	
ジェンダーで学ぶ文化人類学 田中 雅一・中谷 文美 編 (2005年)	
国際協力論を学ぶ人のために 内海 成治 編 (2005年) 図	学ぶ人
教育研究ハンドブック 立田 慶裕 編 (2005年) 図	
生を織りなすポエティクス——インドネシア・フロレス島における詩的語りの人類学 青木 恵理子 (2005年) 図	
歯科医療過誤訴訟の課題と展望——新しい医療の指針を求めて 若松 陽子 (2005年) 図	
メイキング文化人類学 太田 好信・浜本 満 編 (2005年) 図	
翻訳を学ぶ人のために 安西 徹雄・井上 健・小林 章夫 編 (2005年) 図	学ぶ人
イリソスのほitori——藤澤令夫先生献呈論文集 内山 勝利・中畑 正志 編 (2005年) 図	
立身出世主義〔増補版〕——近代日本のロマンと欲望 竹内 洋 (2005年)	
政治理論の現在——思想史と理論のあいだ 小野 紀明 (2005年) 図	
若者の犯罪 凶悪化は幻想か 間庭 充幸 (2005年) 図	
中国型経済システム——経済成長の基本構造 唱 新 (2005年) 図	ゼミ
放送を学ぶ人のために 小野 善邦 編 (2005年) 図	学ぶ人
他者性の時代——モダニズムの彼方へ 河上 正秀 編 (2005年) 図	ゼミ
揺らぐ社会の女性と子ども——文化社会的考察 細辻 恵子 (2005年) 図	ゼミ
家族とところ——ジェンダーの視点から 千原 雅代・石飛 和彦・浅川 千尋 (2005年) 図	ゼミ
ことばと文化の日韓比較——相互理解をめざして 齊藤 明美 (2005年) 図	
社会調査の考え方——論点と方法 ティム・メイ／中野 正大 監訳 (2005年) 図	
あかねざす紫野——万葉集恋歌の世界 樋口 百合子 (2005年) 図	
文明史と「日本国のかたち」——憲法教養学序説 塚本 潔 (2005年) 図	ゼミ
〈実践〉ポピュラー文化を学ぶ人のために 渡辺 潤・伊藤 明己 編 (2005年) 図	学ぶ人
史料が語る太平洋戦争下の放送 竹山 昭子 (2005年) 図	
身体社会学——フロンティアと応用 大野 道邦・油井 清光・竹中 克久 編 (2005年) 図	ゼミ
集合住宅デモクラシー——新たなコミュニティ・ガバナンスのかたち 竹井 隆人 (2005年) 図	ゼミ
日本の狩猟採集文化——野生生物とともに生きる 池谷 和信・長谷川 政美 編 (2005年) 図	ゼミ
変容する英語 菅山 謙正 編 (2005年) 図	

送り手のメディアリテラシー——地域からみた放送の現在
黒田 勇編 (2005年) 図

スポーツを楽しむ——フロー理論からのアプローチ
S.A. ジャクソン、M. チクセントミハイ／今村 浩明 他訳 (2005年) 図

万葉論集——石見の人麻呂他
清水 克彦 (2005年) 図 **ゼミ**

長寿社会の余暇開発
瀬沼 克彰 (2005年) 図

インタビュー調査への招待
河西 宏祐 (2005年) 図 **ゼミ**

現代に甦る知識人たち
鈴木 良・上田 博・広川 禎秀 編 (2005年) 図 **ゼミ**

意味を生み出す記号システム——情報哲学試論
加藤 雅人 (2005年) 図

ディアスポラと先住民——民主主義・多文化主義とナショナリズム
橋本 和也 (2005年) 図

開発援助の社会学
佐藤 寛 (2005年) 図 **ゼミ**

現代芸術は難しくない——豊かさの芸術から「場」の芸術へ
田淵 晋也 (2005年) 図 **ゼミ**

映画に学ぶスポーツ社会学
杉本 厚夫 (2005年) 図

文学の植民地主義——近代朝鮮の風景と記憶
南 富鏡 (2006年) 図 **ゼミ**

子どものウェルビーイングと家族
畠中 宗一・木村 直子 (2006年) 図 **ゼミ**

ギリシア神話を学ぶ人のために
高橋 宏幸 (2006年) 図 **学ぶ人**

大学生入門〔改訂版〕
新田 光子・高橋 三郎 (2006年) 図

辺境の想像力——エチオピア国家支配に抗する少数民族ホール
宮脇 幸生 (2006年) 図

宗教とモダニティ
竹沢 高一郎 編 (2006年) 図

住民主導の生涯学習地域づくり——台頭する各地の市民大学
瀬沼 克彰 (2006年) 図

性と生殖の女性学
鎌田 明子 (2006年) 図 **ゼミ**

健康社会学への誘い——地域看護の視点から
榎本 妙子 (2006年) 図 **ゼミ**

〔新版〕物語の放送形態論——仕掛けられたアニメーション番組
畠山 兆子・松山 雅子 (2006年) 図

第一次大戦とイギリス文学——ヒロイズムの喪失
清水 一嘉・鈴木 俊次 編 (2006年) 図 **ゼミ**

現代女性と法〔改訂版〕
中川 淳 編 (2006年) 図

克服・拮抗・模索——文革後中国の文学理論領域
宇野木 洋 (2006年) 図

基礎社会学〔新訂第1版〕
山本 雄二・片桐 新自・永井 良和 編 (2006年) 図

現代社会論——当面する課題
加茂 直樹・小波 秀雄・初瀬 龍平 編 (2006年) 図

英語を学ぶ人・教える人のために——「話せる」のメカニズム
羽藤 由美 (2006年) 図

帝国への抵抗——抑圧の導線を切断する
戸田 真紀子 編 (2006年) 図

〔新版〕パブリック・アクセスを学ぶ人のために **学ぶ人**
津田 正夫・平塚 千尋 編 (2006年) 図

近代日本の音楽文化とタカラヅカ
津金澤 聰廣・近藤 久美 編著 (2006年) 図

保育を学ぶ人のために **学ぶ人**
片岡 基明・吉村 啓子 編 (2006年) 図

近代スポーツ文化とはなにか
西山 哲郎 (2006年) 図

男らしさの社会学——揺らく男のライフコース **ゼミ**
多賀 太 (2006年) 図

学問の小径——社会学・哲学・文学の世界
大橋 良介・高橋 三郎・高橋 由典 編 (2006年) 図

映画的思考の冒険——生・現実・可能性
箭内 匡 編 (2006年) 図

ヨーロッパ精神の源流——その栄光と挫折と教訓の探求
D. シュヴァニツ／小杉 魁次 訳 (2006年) 図

隠された国家——近世演劇にみる心の歴史
川田 耕 (2006年) 図

現代青少年の社会学——対話形式で考える37章 **ゼミ**
渡部 真 (2006年)

教育の哲学——ソクラテスから〈ケアリング〉まで **ゼミ**
ネル・ノディングス／宮寺 見夫 監訳 (2006年) 図

二〇世紀アメリカ文学を学ぶ人のために **学ぶ人**
山下 昇・渡辺 克昭 編 (2006年) 図

日本の笑いと世界のユーモア——異文化コミュニケーションの観点から
大島 希巳江 (2006年) 図

観光デザイン学の創造
桑田 政美 編 (2006年) 図

〔新版〕老後保障を学ぶ人のために **学ぶ人**
小倉 襄二・浅野 仁 編 (2006年) 図

ジェンダーで学ぶ社会学〔新版〕
伊藤 公雄・牟田 和恵 編 (2006年) 図

企業組織とグローバル化——株主・経営者・従業員の視点
鈴木 秀一 編 (2006年) 図

感情とフィールドワーク
S. クラインマン、A. コップ／鎌田 大資・寺岡 伸悟 訳 (2006年) 図

「近代家族」とボディ・ポリティクス
田間 泰子 (2006年) 図

日本語の語源を学ぶ人のために **学ぶ人**
吉田 金彦 編 (2006年) 図

相互行為秩序と会話分析——「話し手」と「共-成員性」をめぐる参加の組織化
申田 秀也 (2006年) 図

メディア・リテラシー教育——学びと現代文化
デビッド・バックingham／鈴木 みどり 監訳 (2006年) 図

格と態の認知言語学——構文と動詞の意味 **ゼミ**
二枝 美津子 (2007年) 図

フランス中世文学を学ぶ人のために **学ぶ人**
原野 昇 編 (2007年)

- 情緒的自立の社会学** セミ
 畠中 宗一 (2007年) 図
- リスクとしての教育——システム論的接近** セミ
 石戸 教嗣 (2007年) 図
- 作ることの哲学——科学技術時代のポイエーシス** セミ
 伊藤 徹 (2007年) 図
- グローバリゼーションと文化変容——音楽、ファッション、労働からみる世界** セミ
 遠藤 薫 編 (2007年) 図
- 明治の職業往来——名作に描かれた明治人の生活**
 池田 功・上田 博 編 (2007年) 図
- アメリカ研究の理論と実践——多民族社会における文化のポリティクス**
 佐々木 隆 監修/和泉 真澄・趙 無名 編著 (2007年)
- 文化としてのテレビ・コマーシャル**
 山田 葵治 編 (2007年) 図
- 現代中国地域研究の新たな視園**
 西村 成雄・田中 仁 編 (2007年) 図
- 家庭の秘密——記憶と創造の行方**
 アネット・クーン/西山 けい子 訳 (2007年) 図
- 公害渾滅の構造と環境問題** セミ
 畑 明郎・上園 昌武 編 (2007年) 図
- 近代日本女性史講義**
 石月 静恵 (2007年) 図
- メディア学の現在 (新訂)** セミ
 渡辺 武達・岡 満男・山口 功二 編 (2007年) 図
- 外来語の社会言語学——日本語のグローバルな考え方** セミ
 陣内 正教 (2007年) 図
- レトリック論を学ぶ人のために** 学ぶ人
 菅野 盾樹 編 (2007年) 図
- 人類学的思考の歴史**
 竹沢 尚一郎 (2007年) 図
- 風景の論理——沈黙から語りへ**
 木岡 伸夫 (2007年)
- 「他者」で読むアメリカン・ネサンス—メルヴィル・ホーソン・ボウストウ**
 福岡 和子 (2007年) 図
- 〈移動〉の風景——英米文学・文化のエスキス**
 御興 哲也 編著 (2007年) 図
- ひきこもりの社会学** セミ
 井出 草平 (2007年)
- コンテンツ学** セミ
 長谷川 文雄・福富 忠和 編 (2007年) 図
- グローバル化とパラドックス** セミ
 宮永 園子 編 (2007年) 図
- 人間の哲学の再生にむけて——相互主体性の哲学** セミ
 宇都宮 芳明 (2007年) 図
- 現代中国産業経済論** セミ
 佐々木 信彰 編 (2007年) 図
- ウォレス・ステイヴンズ——生存のための詩**
 古賀 哲男 (2007年) 図
- 源氏物語と和歌を学ぶ人のために** 学ぶ人
 小嶋 菜温子・加藤 睦 編 (2007年) 図
- 旅の比較文学——地中海巡礼の風光**
 吉澤 五郎 (2007年) 図
- プロパテント政策と大学** セミ
 宮田 由紀夫 (2007年) 図
- ライフスタイルとアイデンティティ——ユートピア的生活の現在、過去、未来**
 渡辺 潤 (2007年) 図
- 知られざる魅惑の都市たち——EUの東を歩く**
 平田 達治 (2007年) 図
- ソシオロジカル・スタディーズ——現代日本社会を分析する** セミ
 張江 洋直・大谷 栄一 編 (2007年) 図
- 評価論を学ぶ人のために** 学ぶ人
 三好 皓一 編 (2008年) 図
- ルターを学ぶ人のために** 学ぶ人
 金子 晴男・江口 再起 編 (2008年) 図
- 親密性の社会学——縮小する家族のゆくえ** セミ
 筒井 淳也 (2008年) 図
- 海外の日本語メディア——変わりゆく日本町と日系人**
 田村 紀雄 (2008年) 図
- 所有と分配の人類学——エチオピア農村社会の土地と富をめぐる力学**
 松村 圭一郎 (2008年) 図 (電子版あり)
- 流行と虚栄の生成——消費文化を映す日本近代文学**
 瀬崎 圭二 (2008年) 図
- キャロル・フリリップスの世界——ブラック・プリティッシュ文学の現在**
 加藤 恒彦 (2008年) 図
- メアリー・ポピンズのイギリス——映画で学ぶ言語と文化**
 野口 祐子 編著 (2008年) 図
- 子どもたちは変わったか** セミ
 小谷 敏 (2008年) 図
- 和泉式部の心性と日記**
 大橋 清秀・大橋 京子 (2008年) 図
- 知識伝達の構造——教育社会学の展開**
 天童 睦子 編 (2008年) 図
- アクション別フィールドワーク入門**
 武田 丈・亀井 伸孝 編 (2008年) 図
- 歴史と想像力——ドイツ文学の光芒**
 島谷 謙 (2008年) 図
- 石川啄木——その散文と思想**
 池田 功 (2008年) 図
- 変わりゆく日本のスポーツ** セミ
 大谷 善博 監修/三本松 正敏・西村 秀樹 編 (2008年) 図
- 環境紛争と合意の社会学——NIMBY(ニンビイ)が叫びかけるもの**
 土屋 雄一郎 (2008年) 図
- 歴史と文化の根底へ——《自然の現象学》第二編**
 中 敬夫 (2008年) 図
- 働くこととジェンダー** セミ
 倉地 克直・沢山 美果子 編 (2008年) 図
- 支援論の現在——保健福祉領域の視座から** セミ
 大下 由美 (2008年) 図
- 西洋余暇思想史** セミ
 瀬沼 克彰 (2008年) 図
- ジェンダー学の最前線** セミ
 R.コンネル/多賀 太 監訳 (2008年) 図
- コーヒー学のすすめ——豆の栽培からカップ一杯まで**
 ニーナ・ラティンジャー、グレゴリー・ディカム/辻村 英之 監訳 (2008年) 図

征服者ピサロの娘 ドーニャ・フランシスカ・ピサロの生涯1534-1598
マリア・ロストウォロフスキ/染田 秀藤 監訳 (2008年) 図

(新版) ライフヒストリーを学ぶ人のために 学ぶ人
谷 富夫 編 (2008年)

健康不安の社会学——健康社会のパラドックス[改訂版] セミ
上杉 正幸 (2008年) 図

自閉症の社会学——もう一つのコミュニケーション論 セミ
竹中 均 (2008年) 図

自己論を学ぶ人のために 学ぶ人
アンソニー・エリオット/片桐 雅隆・森 真一 訳 (2008年) 図

ヒューマンサービス調査法を学ぶ人のために 学ぶ人
加茂 陽・中谷 隆 編 (2008年) 図

京都の「まち」の社会学
鯉坂 学・小松 秀雄 編 (2008年) 図

自己形成の心理学——他者の森をかけ抜けて自己になる セミ
溝上 慎一 (2008年) 図 (電子版あり)

資料で読む教育と戦争——学生新聞を中心として
世界思想社編集部 編 (2008年)

大学生 学びのハンドブック
世界思想社編集部 編 (2008年) 図

大学生の日本語トレーニング
世界思想社編集部 編 (2008年) 図

インド経済のマクロ分析 セミ
佐藤 隆広 編 (2009年) 図

環境教育を学ぶ人のために 学ぶ人
御代川 貴久夫・関 啓子 (2009年) 図

現代若者犯罪史——バブル期後重要事件の歴史的解説
間庭 充幸 (2009年) 図

家族とところ [改訂増補版] ——ジェンダーの視点から セミ
浅川 千尋・千原 雅代・石飛 和彦 (2009年) 図

医療心理学を学ぶ人のために 学ぶ人
丹野 義彦・利島 保 編 (2009年) 図

現代哲学の真理論——ポスト形而上学時代の真理問題
吉田 謙二 監修/加賀 裕郎・隈元 泰弘・立山 善康 編集 (2009年) 図

能狂言の文化史——室町の夢 セミ
原田 香織 (2009年) 図

三訂 道徳教育を学ぶ人のために 学ぶ人
小寺 正一・藤永 芳純 編 (2009年) 図

カントの哲学——「私は、人間として、何であるか」への問い セミ
岩隈 敏 (2009年) 図

著作権法要説——実務と理論
松村 信夫・三山 峻司 (2009年) 図

さわる文化への招待——触覚でみる手学問のすすめ
広瀬 浩二郎 (2009年)

カルチュラル・スタディーズを学ぶ人のために 学ぶ人
クリス・ロジック/渡辺 潤・佐藤 生実 訳 (2009年) 図

独立の時代——アメリカ古典文学は語る
入子 文子・林 以知郎 編著 (2009年) 図

現代の高校生は何を考えているか——意識調査の計量分析をとおして
友枝 敏雄 編 (2009年) 図

日常人類学宣言! ——生活世界の深層へ/から
松田 素二 (2009年)

平和学を学ぶ人のために 学ぶ人
君島 東彦 編 (2009年) 図

探偵・推理小説と法文化
駒城 鎮一 (2009年) 図

「職業」の発見——転職の時代のために
池田 功・上田 博 編 (2009年) 図

古典の精髓 セミ
林 和利 編 (2009年) 図

天才の秘密——アスペルガー症候群と芸術的獨創性
M.フィッツジェラルド/井上 敏明 監訳/倉光 弘己・栗山 昭子・林 知代 訳 (2009年)

「先住民」とはどれか
窪田 幸子・野林 厚志 編 (2009年) 図

ライブニッツを学ぶ人のために 学ぶ人
酒井 潔・佐々木 能章 編 (2009年)

社会貢献する宗教
稲場 圭信・櫻井 義秀 編 (2009年) 図

永井荷風・ジャンルの彩り
真銅 正宏 (2010年) 図

青年期の友人関係と自己——現代青年の友人認知と自己の発達
岡田 努 (2010年) 図

サポート・ネットワークの臨床論 セミ
大下 由美 (2010年) 図

私説・教育社会学 セミ
渡部 真 (2010年) 図

基礎社会学 [新訂第2版]
片桐 新自・永井 良和・山本 雄二 編 (2010年) 図

コミュニケーション・スタディーズ
渡辺 潤 監修 (2010年) 図

法と現代社会
中川 淳 編 (2010年) 図

ヨーロッパ社会政策と共同体の再編——経済先進国における公共と社会的平和の課題
小野田 拱子 (2010年) 図

ジェンダーで学ぶ言語学
中村 桃子 編 (2010年)

若者は日本を変えるか——世代間断絶の社会学
G.マシューズ、B.ホワイト 編/小谷 敏 監訳/川畑 博臣 訳 (2010年) 図

食と農を学ぶ人のために 学ぶ人
祖田 修・杉村 和彦 編 (2010年) 図

メディアを教える——クリティカルなアプローチへ
L.マスターマン/宮崎 寿子 訳 (2010年) 図

二〇世紀アメリカ文学のポリティクス
貴志 雅之 編 (2010年) 図

グローバリゼーションと暴力——マイノリティーの恐怖
アルジュン・アバドゥライ/藤倉 達郎 訳 (2010年)

コミュニケーション社会学入門
伊藤 公雄 編 (2010年) 図

日本のデュエイ研究と21世紀の課題——日本デュエイ学会設立50周年記念論集
日本デュエイ学会 編 (2010年) 図

ルソーを学ぶ人のために 学ぶ人
桑瀬 章二郎 編 (2010年)

構造転換期の中国経済 セミ
佐々木 信彰 編 (2010年) 図

会話分析基本論集——順番交替と修復の組織 **セミ**
H. サックス、E.A. シェグロフ、G. ジェファソン／西阪 仰 訳(2010年) **図**

インド密教の儀礼世界

森 雅秀 (2011年) **図**

メディア用語基本事典

渡辺 武達・山口 功二・野原 仁 編 (2011年) **図**

スポーツ応援文化の社会学

高橋 豪仁 (2011年) **図**

古典解釈の愉悅——平安朝文学論攷

久保 朝孝 (2011年) **図**

生ける神の創造力——ソロモン諸島クリスチャン・フェローシップ教会の民族誌
石森 大知 (2011年) **図**

パフォーマンス研究のキーワード——批判的カルチュラル・スタディーズ入門
高橋 雄一郎・鈴木 健 編 (2011年)

シンガポール「多民族主義」の社会学——団地社会のエスニシティ

鍋倉 聡 (2011年) **図**

子どもをめぐるデザインと近代——拡大する商品世界

神野 由紀 (2011年) **図**

風景という知——近代のパラダイムを超えて

オギュスタン・ベルク／木岡 伸夫 訳 (2011年) **図**

フィールドワーカーズ・ハンドブック

日本文化人類学会 監修／鏡味 治也・関根 康正・橋本 和也・森山 工 編(2011年)

翻訳の文学——東アジアにおける文化の領域

南 富嶺 (2011年) **図**

フェアトレードを学ぶ人のために

佐藤 寛 編 (2011年) **図**

日本国憲法〔全訂第4版〕

長尾 一紘 (2011年) **図**

社会的宗教と世界的宗教のあいだ——見え隠れる死者 **セミ**

津城 寛文 (2011年) **図**

フェミニズムとヒロインの変遷——プロンテ、ハーディ、ドラブルを中心に
風間 末起子 (2011年) **図**

社会と文化の心理学——ヴィゴツキーに学ぶ

茂呂 雄二・田島 充士・城間 祥子 編 (2011年) **図**

刑法総論

大野 真義・森本 益之・加藤 久雄・本田 稔・神馬 幸一 (2011年) **図**

大学生 学びのハンドブック〔改訂版〕

世界思想社編集部 編 (2011年) **図**

現実批判の人類学——新世代のエスノグラフィへ

春日 直樹 編 (2011年) **図** **電子版あり**

国境を越えるアジアの家事労働者——女性たちの生活戦略 **セミ**

上野 加代子 (2011年) **図**

周縁から照射する EU 社会——移民・マイノリティとシティズンシップの人類学
石川 真作・渋谷 努・山本 須美子 編 (2012年) **図**

ピザンツ貴族と皇帝政權——コムネノス朝支配体制の成立過程

根津 由喜夫 (2012年)

旧約聖書を学ぶ人のために

並木 浩一・荒井 章三 編 (2012年) **図**

野生のエンジニアリング——タイ中小工業における人とモノの人類学
森田 敦郎 (2012年) **図** **電子版あり**

ローカルボクサーと貧困世界——マニラのボクシングジムにみる身体文化

石岡 丈昇 (2012年) **図** **電子版あり**

はじめてのメディア研究——「基礎知識」から「テーマのを見つけ方」まで
浪田 陽子・福岡 良明 編 (2012年) **図**

宗教とツーリズム——聖なるものの変容と持続

山中 弘 編 (2012年)

メディア文化とジェンダーの政治学——第三波フェミニズムの視点から
田中 東子 (2012年) **図** **電子版あり**

ポストモトラリアム時代の若者たち——社会的排除を超えて

村澤 和多里・山尾 貴則・村澤 真保呂 (2012年)

フィクション論への誘い——文学・歴史・遊び・人間

大浦 康介 編 (2013年)

女性ホームレスとして生きる——貧困と排除の社会学

丸山 里美 (2013年) **図**

グループ・ダイナミクス入門——組織と地域を変える実践 **セミ**

移万 俊夫 (2013年)

身体化の人類学——認知・記憶・言語・他者

菅原 和孝 編 (2013年)

イギリスの今〔第四版〕——文化的アイデンティティ

マイク・ストリー、ピーター・チャイルズ 編／塩谷 清人 監訳 (2013年) **図**

基礎社会学〔新訂第3版〕

永井 良和・間淵 領吾・大和 礼子 編 (2014年) **図**

ロボットの人類学——二〇世紀日本の機械と人間

久保 明教 (2015年) **図** **電子版あり**

大学生 学びのハンドブック〔3訂版〕

世界思想社編集部 編 (2015年) **図**

人びとはなぜ満州へ渡ったのか——長野県の社会運動と移民

小林 信介 (2015年) **図** **電子版あり**

参加型アクションリサーチ(CBPR)の理論と実践——社会変革のための研究方法論

武田 丈 (2015年) **図** **電子版あり**

大学生 学びのハンドブック〔4訂版〕

世界思想社編集部 編 (2018年) **図**

基礎社会学〔新訂第4版〕

酒井 千絵・永井 良和・間淵 領吾 編 (2018年) **図**

現代ジャーナリズムを学ぶ人のために〔第2版〕 **学中人**

大井 眞二・田村 紀雄・鈴木 雅雄 編 (2018年) **図**

現代スポーツを読む——スポーツ考現学の試み〔オンデマンド版〕 **セミ**

佐伯 年詩雄 (2018年)

現代政治シリーズ

猪木 正道 監修〈全10巻〉

新版 ロシア革命史——社会思想的の研究

猪木 正道 (1967年) **図**

中国革命史——中国共産党の形成と発展

藤井 高美 (1967年) **図**

韓国政治史——李承晩政権の実態

関 寛植 (1967年) **図**

イタリア現代史

パンフィロ・ジェンティーレ／野上 素一 訳 (1967年) **図**

政治をみる眼

猪木 正道 (1968年) **図**

国際政治をみる眼

猪木 正道 (1968年) **図**

インド現代史——ネルー・その政治的生涯

M. プリッチャー／張 明雄 訳 (1968年) **図**

インドネシア現代史

B. グラント／胸城 鎮一 訳 (1968年) ㊟

新興国と軍部

M. ジャン・ピッツ／張 明雄 訳 (1968年) ㊟

ドイツ現代政治史——ナチスの興隆

中村 幹雄 (1969年) ㊟

大学問題資料シリーズ

末川 博 監修 (全4巻)

日本の大学問題 (I)

大学問題研究会 編 (1970年) ㊟

日本の大学問題 (II)

大学問題研究会 編 (1970年) ㊟

イタリアの大学問題

柴田 光蔵 (1970年) ㊟

イギリス・アメリカの大学問題

深田 三徳・村松 岐夫・佐藤 幸治 (1971年) ㊟

判例演習講座

(全10巻)

憲法

阿部 照哉 編 (1971年) ㊟

労働法

久保 敬治 編 (1972年) ㊟

刑法 I (総論)

宮沢 浩一・大野 真義 編 (1972年) ㊟

刑法 II (各論)

宮沢 浩一・大野 真義 編 (1972年) ㊟

刑事訴訟法

井戸田 侃 編 (1972年) ㊟

民法 I (総則・物権・債権)

田中 實・中川 淳 編 (1973年) ㊟

民法 II (親族・相続)

田中 實・中川 淳 編 (1972年) ㊟

商法 I (総則・会社)

小橋 一郎・山口 幸五郎 編 (1973年) ㊟

商法 II (商行為・手形・小切手)

小橋 一郎・山口 幸五郎 編 (1972年) ㊟

民事訴訟法

小室 直人 編 (1973年) ㊟

叢書児童文学

(全5巻)

〈第1巻〉 ことば・詩・子ども

谷川 俊太郎 責任編集 (1979年) ㊟

〈第2巻〉 絵本の時代

今江 祥智 責任編集 (1979年) ㊟

〈第3巻〉 空想の部屋

上野 瞭 責任編集 (1979年) ㊟

〈第4巻〉 子どもが生きる

灰谷 健次郎 責任編集 (1979年) ㊟

〈第5巻〉 児童文学の周辺

鶴見 俊輔 責任編集 (1979年) ㊟

瀧川幸辰刑法著作集団藤 重光・中武 靖夫・竹内 正・木村 静子・
大野 真義・瀧川 春雄 編集委員 (全5巻)
(1981年)**第一巻**刑法読本
刑法総論
刑法各論
刑法史の或る断層面**第二巻**犯罪論序説 (改訂版)
増補 刑法各論
刑法講話**第三巻**刑事法判決批評 第一巻
刑事法判決批評 第二巻
陪審裁判
陪審法**第四巻〈論文集〉**

〔犯罪論〕／〔刑罰論〕／〔刑法思想〕に関する諸論文

第五巻〈論文集〉〔刑法および法学〕／〔刑事裁判と人權〕／〔刑法理論と犯罪論〕に関する諸論文
刑法雑筆抄
刑法と社会抄**風呂で読むシリーズ**

(全36巻)

風呂で読む万葉恋歌

大森 亮尚 (1993年) ㊟

風呂で読む芭蕉

佐々木 清 (1993年) ㊟

風呂で読む漂泊詩人

大星 光史 (1993年) ㊟

風呂で読む唐詩選

寛 文生 (1995年) ㊟

風呂で読む万葉旅情

清原 和義 (1995年) ㊟

風呂で読む西行

三村 晃功 (1995年) ㊟

風呂で読む良寛

大星 光史 (1995年) ㊟

風呂で読む山頭火

大星 光史 (1995年) ㊟

風呂で読む俳句入門

坪内 稔典 (1995年) ㊟

風呂で読む近代の名歌

島田 修三 (1995年) ㊟

風呂で読む李白

寛 文生 (1996年) ㊟

風呂で読む漱石の漢詩

豊福 健二 (1996年) ㊟

風呂で読む子規

和田 克司 (1996年) ㊟

風呂で読む牧水上田 博 (1996年) [📖](#)

風呂で読む万葉花歌扇野 聖史 (1996年) [📖](#)

風呂で読む宮澤賢治和田 博文 (1996年) [📖](#)

風呂で読む放哉大星 光史 (1996年) [📖](#)

風呂で読む寒山拾得松村 昂 (1996年) [📖](#)

風呂で読む杜甫川合 康三 (1996年) [📖](#)

風呂で読む井月大星 光史 (1996年) [📖](#)

風呂で読む一茶加藤 定彦 (1996年) [📖](#)

風呂で読む竹林の七賢吉川 忠夫 (1996年) [📖](#)

風呂で読む唱歌糸井 通浩 (1997年) [📖](#)

風呂で読む啄木木股 知史 (1997年) [📖](#)

風呂で読む蕪村藤田 真一 (1997年) [📖](#)

風呂で読む童謡植山 俊宏 (1998年) [📖](#)

風呂で読む漱石の俳句石井 和夫 (1998年) [📖](#)

風呂で読む中原中也阿毛 久芳 (1998年) [📖](#)

風呂で読む続唐詩選亀山 朗 (1998年) [📖](#)

風呂で読む万葉の四季神野 富一 (1998年) [📖](#)

風呂で読む陶淵明興膳 宏 (1998年) [📖](#)

風呂で読む万葉挽歌上野 誠 (1998年) [📖](#)

風呂で読む与謝野晶子松平 盟子 (1999年) [📖](#)

風呂で読む現代詩入門平居 謙 (1999年) [📖](#)

風呂で読む短歌入門安森 敏隆 (1999年) [📖](#)

風呂で読む王維入谷 仙介 (2000年) [📖](#)

書名索引

* 品切・絶版書目を含む

書名索引

あ行

〈あいだ〉を開く	73	アメリカ文学を学ぶ人のために	81	医療社会学を学ぶ人のために	23
アイデンティティと共同性の再構築	92	アメリカ文化論	81	医療心理学を学ぶ人のために	95
アイデンティティの音楽	30	アメリカ文化を学ぶ人のために	88	医療神話の社会学	87
アイデンティティ・ポリティクスを超えて	88	アメリカ留学への招待	90	医療と文化	88
愛と性の社会学	79	アラブ・イスラム社会の異人論	37	医療の社会学	82
「曖昧な生きづらさ」と社会	92	アリストテレス 詩学	80	医療の比較文化論	91
アイルランド・ケルト文化を学ぶ人のために	63	蟻塚教育体制への警鐘	82	〈色好み〉の系譜	86
アイロニーのエッジ	91	ある生涯	77	インターネット空間の社会学	89
アウグスティヌスを学ぶ人のために	84	アンデス世界	52	インタビュー調査への招待	93
赤ちゃん学を学ぶ人のために	43	アンデス文化を学ぶ人のために	86	インド経済	80
あかねさす紫野	92	イエスの現場	48	インド経済〔新版〕	82
アクション別フィールドワーク入門	94	家と村の社会学	80	インド経済のマクロ分析	95
芥川龍之介を学ぶ人のために	59	家と村の社会学〔増補版〕	84	インド現代史	96
悪の社会誌	78	医学を哲学する	82	インド現代政治	86
アジア音楽の世界	87	生きられる文化の社会学	81	インド史研究序説	86
アジア系アメリカ演劇	63	イギリス・アメリカの大学問題	97	インド世界	80
アジア系アメリカ学	90	イギリス近代出版の諸相	66	インドネシア現代史	97
アジア系アメリカ文学を学ぶ人のために	62	イギリス桂冠詩人	87	インド密教の儀礼世界	96
アジア経済の現代的構造	84	イギリス経済	82	ヴァイマルの反逆者たち	79
アジア経済を学ぶ人のために	86	イギリス詩を学ぶ人のために	88	ヴェクトリア朝の文学と絵画	83
アジア NIEs	85	イギリス中世文学の聖と俗	82	ウェーバーの社会学	81
アジアの土壌汚染	5	イギリスの今〔第四版〕	96	ヴォルテールを学ぶ人のために	61
アジアの中の中国経済	82	イギリスの地域政策	89	ウォレス・ステイヴンズ	94
遊びからはじまる〈子どものみらい叢書④〉	70	イギリス文化を学ぶ人のために	65	ウサギの日本文化史	39
遊びの社会学	78	イギリス理想主義の展開と河合治太郎	45	氏と戸籍の女性史	6
新しい日本語研究を学ぶ人のために	87	イギリス・ロマン派の研究	88	ウスビ・サコの「まだ、空気読ません」	8
新しい幼児教育を学ぶ人のために	42	生きることの社会学	9	歌枕を学ぶ人のために	84
アート教育を学ぶ人のために	64	いくさ物語の語りと批評	86	美しってなんだろう？	60
あのこと 京都の暮らし	21	育児言説の社会学	10	うつくしき〈日常を拓く知 古典を読む〉	72
アフリカ音楽学の挑戦	61	育児省略の社会学	92	疎まれし者デカルト	92
アフリカ危機の構造	81	生ける神の創造力	96	海を生きる技術と知識の民族誌	35
アフリカ経済	87	石川啄木	94	映画的思考の冒険	93
アフリカ研究	83	「いじめ自殺」の社会学	11	映画で日本文化を学ぶ人のために	28
アフリカ社会を学ぶ人のために	33	「いじめ」のメカニズム	14	映画に学ぶスポーツ社会学	93
アフリカ史を学ぶ人のために	86	和泉式部の心性と日記	94	映画の詩学	60
アフリカ世界	80	イスラム世界	79	英語学史を学ぶ人のために	90
アフリカ農民の経済	37	イスラームと商業の歴史人類学	90	英語の社会文化史	81
アフリカの王権と祭祀	36	イスラームを学ぶ人のために	84	英語を学ぶ人・教える人のために	93
アフリカの都市的世界	38	イタリア現代史	96	エイサー物語	81
アポリジニ社会のジェンダー人類学	37	イタリアの大学問題	97	叡山の文化	60
アメリカ経済を学ぶ人のために	87	一握の砂	84	叡山の和歌と説話	82
アメリカ研究とジェンダー	86	イデオロギー支配と逆ユートピア	78	叡山をめぐる人びと	84
アメリカ研究の理論と実践	94	〈移動〉の風景	94	エイズと文学	61
アメリカ言語哲学の視点	86	祈りの人間学	47	英文学を学ぶ人のために	81
アメリカ司法の英知	77	異文化コミュニケーションを学ぶ人のために	20	英米法概論	77
アメリカ史を学ぶ人のために	81	異文化の語り方	83	エコツーリズムを学ぶ人のために	67
アメリカ政治学研究	78	異文化の学びかた・描きかた	38	エスニシティの社会学	83
アメリカ政治学研究〔増補〕	79	異文化を知るところ	91	エスノメソドロジーの実現	83
アメリカと日本の奇跡	89	意味と日常世界	81	エスノメソドロジーを学ぶ人のために	14
アメリカの国際観光経済	6	意味の歴史社会学	90	エチュードの青春志	30
		意味を生み出す記号システム	93	絵本の時代〈叢書児童文学2〉	97
		癒しの歴史人類学	38	エリート理論の形成と展開	90
		EU 世界を読む	89	おいしい育児〈子どものみらい叢書①〉	70
		EU と現代ドイツ	91	老いと障害の質的 sociology	92
		EU の地域政策	90	老いの人類学	37
		イリソスのほり	92	オーウェル現象の sociology	80
		医療 IT と生命倫理	47	王朝女流日記を学ぶ人のために	59
		医療関係者法学	81		
		医療社会学のフロンティア	89		

王朝の女流作家たち	82	学問の小径	93	感情の発達と障害	43	
王朝の姫君	80	学歴社会のローカル・トラック	89	感性は感動しない〈教養みらい選書003〉	69	
王朝の姫君(新装版)	85	学歴の深層心理	78	カント哲学の現在	84	
王朝文化を学ぶ人のために	56	過去と記憶の社会学	90	カントと形而上学	50	
王朝物語を学ぶ人のために	83	風花のように	79	カントの哲学	95	
王朝和歌の世界	80	「華人性」の民族誌	34	カントを学ぶ人のために	46	
王朝和歌を学ぶ人のために	86	家族関係を学ぶ人のために	78	観念説の謎解き	48	
応用社会言語学を学ぶ人のために	89	家族支援論	91	管理される心	23	
応用哲学を学ぶ人のために	46	家族社会学を学ぶ人のために	15	キェルケゴールを学ぶ人のために	96	
沖縄の植民地的近代	52	家族とところ [改訂増補版]	92	企業組織とグローバル化	83	
小倉百人一首の言語空間	82	家族とところ	95	企業文化論を学ぶ人のために	85	
小倉百人一首を学ぶ人のために	87	家族の社会学	79	キーコンセプト 文化	46	
送り手のメディアリテラシー	93	家族の法と歴史	83	技術開発	77	
オセアニア・オリエンタリズム	87	家族はなぜ介護してしまうのか	9	技術者の姿	18	
落ちこぼれっ子が大人になったとき	79	家族法の現代的課題	82	技術の知と哲学の知	86	
男漱石を女が読む	56	家族臨床の社会学	89	基礎社会学 [新訂第1版]	93	
男と女の過去と未来	89	家族論を学ぶ人のために	88	基礎社会学 [新訂第2版]	95	
男らしさの社会学	93	片隅の思想	85	基礎社会学 [新訂第3版]	96	
おもちゃと遊びのリアル	21	価値と欲望の人間学	79	基礎社会学 [新訂第4版]	96	
お山の幼稚園で育つ〈こどものみらい叢書②〉	70	勝ち抜き僕ら少国民	80	基礎社会学 [新訂第5版]	8	
オランダ流ワーク・ライフ・バランス	11	学校ストレスの深層	80	基礎ゼミ 社会学	10	
織り上げられた動物たちと花々	52	家庭科教育を学ぶ人のために	41	基礎ゼミ 宗教学	44	
音楽学を学ぶ人のために	91	家庭の秘密	94	基礎ゼミ 政治学	4	
音楽と出会う〈教養みらい選書004〉	69	悲しき玩具	84	基礎ゼミ メディアスタディーズ	26	
音楽のアラバスク	65	カナダ・イヌイットの食文化と社会変化	36	機能主義の社会学論	80	
女と愛と文学	83	可能性としての国家誌	39	キャロル・フィリップスの世界	94	
「女の仕事」のエスノグラフィ	38	可能性としての文化社会学	14	ジャンブルの社会学	87	
か 行			『貨幣の哲学』という作品	20	Q&A 著作権入門	80
海域世界の民族誌	36	「神」という謎	88	Q&A 意匠法入門	84	
海外の日本語メディア	94	「神」という謎 [第二版]	47	Q&A 商標法入門	89	
会計学を学ぶ人のために	79	神をつくる	35	Q&A 著作権入門 [新版]	82	
外国人の参政権	89	仮面パフォーマンスの人類学	38	Q&A 不正競争防止法入門	81	
介護ライフスタイルの社会学	92	賀茂川コミュニケーション塾〈教養みらい選書005〉	69	旧約聖書を学ぶ人のために	96	
介護ライフスタイルの社会学 [新版]	12	カヤネズミの本	66	教育研究ハンドブック	92	
海上の道 他界への道	78	歌謡文学を学ぶ人のために	88	教育現象の社会学	85	
〈外地〉日本語文学論	57	「からだ」の社会学	17	教育社会学を学ぶ人のために	80	
開発援助の社会学	93	カリスマの社会学	79	教育社会学を学ぶ人のために [新版]	12	
開発学を学ぶ人のために	89	カリブ海世界	82	教育人のための法学	80	
開発計画とインド	82	カリブ文学研究入門	91	教育心理学を学ぶ人のために	85	
開発と環境	89	カルチュラル・スタディーズを学ぶ人のために	95	教育的存在論の探究	88	
開発と農業	80	河内の古道と古墳を学ぶ人のために	53	教育の3C時代	41	
解放のソーシャルワーク	18	変わりゆく日本のスポーツ	94	教育の哲学	93	
外来語の社会言語学	94	環境学を学ぶ人のために	83	教育文化を学ぶ人のために	13	
会話分析基本論集	96	環境教育を学ぶ人のために	95	境界への欲望あるいは変身	63	
会話分析の方法	9	環境思想を学ぶ人のために	84	共感の心理学	83	
会話分析への招待	87	環境人類学を学ぶ人のために	91	強制収容所における「生」	89	
カウンセリングと共感	87	環境先進的社会とは何か	90	強制収容とアイデンティティ・シフト	53	
カウンセリングを学ぶ人のために	44	環境文化を学ぶ人のために	67	共生の国際関係	87	
科学化する日常の社会学	12	環境紛争と合意の社会学	94	行政法総論	77	
科学技術時代と哲学	81	環境問題の科学社会学	14	競争の社会学	79	
科学技術倫理を学ぶ人のために	48	環境問題を学ぶ人のために	88	共同性の社会学論	82	
科学哲学入門	51	環境倫理のラディカルイズム	91	共同体の思想	85	
科学と自由	79	観光開発と文化	38	共同体の社会学	78	
鏡と仮面	23	観光経験の人類学	34	京都学を学ぶ人のために	22	
隠された国家	93	観光人類学の戦略	88	京都語を学ぶ人のために	57	
拡大する世界の再生可能エネルギー	67	観光デザイン学の創造	93	京都の「まち」の社会学	95	
拡大する土壌・地下水汚染	91	韓国自動車産業論	82	京都発・庭の歴史	52	
かくて映像はとらえられた	78	韓国政治史	96	京都不案内	55	
格と態の認知言語学	93	関西方言の社会言語学	85	京都洛北の原風景	88	
		患者の深層心理	79	虚構の生	55	
		感情とフィールドワーク	93	ギリシア思想のオデュッセイア	46	
		感情の社会学	86	ギリシア叙事詩の誕生	82	
				ギリシア神話を学ぶ人のために	93	

ギリシア文学を学ぶ人のために	82	芸術経営学を学ぶ人のために	86	現代スポーツを読む	19
ギリシア・ローマ文学と十八世紀英文学	61	芸術を哲学する	51	現代スポーツを読む〔オンデマンド版〕	96
キリスト教と現代	90	形象と言語	87	現代政治の虚像と実像	78
キリスト教文学を学ぶ人のために	90	芸術伝承の民俗誌的研究	89	現代青少年の社会学	93
キリスト教を学ぶ人のために	80	刑法Ⅰ（総論）	97	現代生殖医療	20
キーワードで学ぶカウンセリング	88	刑法Ⅱ（各論）	97	現代青年の心理学	43
近現代詩を学ぶ人のために	87	刑法各論	4, 77	現代世界と政治	81
近世演劇を学ぶ人のために	59	刑法総論	96	現代中国経済とアジア	84
近世文学の女性像	80	刑法総論〔新装版〕	4	現代中国経済の分析	86
近世文学の女性像（新装版）	83	刑法総論講義	77	現代中国産業経済論	94
近代アジアと台湾	54	刑法総論講義〔新訂〕	77	現代中国地域研究の新たな視園	94
近代家族とジェンダー（社会学ベースックス5）	75	刑法読本	77	現代中国の变革	84
「近代家族」とボディ・ポリティクス	93	刑法の機能と限界	90	現代中国の民族と経済	89
近代化と宗教	84	啓蒙主義の辺境への旅	80	現代中国ビジネス論	91
近代スポーツ文化とはなにか	93	計量社会学入門	10	現代的自己の社会学	82
近代西洋文化史概観	77	ゲオルク・ジンメルと社会学	23	現代的実存と倫理	77
近代性論再考	19	激動期の国際経済	83	現代デザインを学ぶ人のために	86
近代短歌を学ぶ人のために	59	ケースワークの思想	79	現代哲学の基底	83
近代日本女性史講義	94	月経の人類学	31	現代哲学の真理論	95
近代日本の音楽文化とタカラヅカ	93	結婚と死をめぐる女の民族誌	35	現代哲学を学ぶ人のために	83
近代日本の教育学	91	健康社会学への誘い	93	現代デュイ思想の再評価	41
近代日本の公害問題	79	健康不安の社会学〔改訂版〕	89	現代テレビ放送論	78
近代日本の上流階級	89	言語学を学ぶ人のために	66	現代統計学を学ぶ人のために	85
近代日本の法社会学	91	言語ゲームが世界を創る	35	現代日本の家族と社会保障	15
近代フェミニズムの誕生	90	言語コミュニケーション能力を育てる	40	現代日本の構造変動	82
クイズ文化の社会学	90	言語人類学を学ぶ人のために	86	現代日本の宗教社会学	51
空想の部屋（叢書児童文学3）	97	言語哲学を学ぶ人のために	90	現代日本の消費空間	21
グッドワークとフロー体験	42	現実批判の人類学	96	現代日本の生活変動	82
苦悩とケアの人類学	32	源氏物語歌織物	90	現代に甦る知識人たち	93
苦悩の社会学	83	源氏物語生成論	80	現代の解釈的哲学	85
冥途	81	源氏物語と和歌を学ぶ人のために	94	現代の高校生は何を考えているか	95
クリエィティヴィティ	42	源氏物語の乳母学	57	現代の社会紛争	89
クリティカル・シンキングと教育	48	源氏物語を学ぶ人のために	59	現代の法哲学理論	77
グループ・ダイナミックス入門	96	現象学の現在	81	現代の流通機構	78
グローバリゼーションと都市変容	13	現象学としての組織社会	78	現代犯罪の深層と文化	84
グローバリゼーションと文化変容	94	原初バブルと《メサイア》伝説	53	現代フランスを生きるジブシー	32
グローバリゼーションと暴力	95	現代アメリカ社会	82	現代文学理論を学ぶ人のために	84
グローバル化時代の文化・社会を学ぶ	32	現代アラブ・ムスリム世界	90	現代文化人類学の課題	36
グローバル化とアイデンティティ	89	現代アラブ・ムスリム世界	90	現代文化を学ぶ人のために	83
グローバル化とイスラム	46	現代医療と医事法制	85	現代文化を学ぶ人のために〔新版〕	87
グローバル化とパンドックス	94	現代医療の社会学	85	現代文化を学ぶ人のために〔全訂新版〕	12
グローバル化のなかの宗教	48	現代医療の社会学〔新版〕	11	現代法学を学ぶ人のために	91
グローバル経済	88	現代音楽の練習帖	64	現代法学を学ぶ人のために〔第二版〕	5
グローバル経済と中小企業	7	現代絵画の社会学と美学	92	現代マスコミ論批判	79
グローバル・コミュニケーション論	18	現代家族のアジェンダ	92	現代南アジア史研究	87
グローバル／ジェンダー・ポリティクス	88	現代家族法を学ぶ人のために	84	現代メディアスポーツ論	29
グローバル社会の異文化論	21	現代教育学のフロンティア	91	現代メディアとコミュニケーション	87
クワインと現代アメリカ哲学	84	現代経営学を学ぶ人のために	85	現代メディアを学ぶ人のために	85
軍記物の系譜	80	現代経済学概説	78	現代モンゴル遊牧民の民族誌	35
経営情報システム論を学ぶ人のために	90	現代芸術としての能	55	現代論理学	82
景気回復が感じられないのはなぜか	6	現代芸術は難しい	93	現代論理学〔新装版〕	44
経済開発論	90	現代広告学を学ぶ人のために	87	現代若者犯罪史	95
経済システムの転換	83	現代資本主義経済の基礎理論	77	建築の哲学	49
経済学総論	77	現代社会学の諸理論	82	現場の学問・学問の現場	89
経済地理学を学ぶ人のために	88	現代社会学	93	憲法	97
刑事訴訟法	97	現代社会学の基礎	79	元禄文学を学ぶ人のために	58
刑事法学の潮流と展望	89	現代ジャーナリズムを学ぶ人のために	91	恋する〈日常を拓く知2〉	71
芸術学を学ぶ人のために	66	現代ジャーナリズムを学ぶ人のために〔第2版〕	96	恋する文化人類学者	33
		現代宗教思想を学ぶ人のために	87	公益学を学ぶ人のために	17
		現代女性と法	90	公害軽減の構造と環境問題	94
		現代女性と法〔改訂版〕	93	公害・環境問題史を学ぶ人のために	53
		現代人の心の深層	80		
		現代人類学を学ぶ人のために	85		

交換の社会学 20
 交換の民族誌 39
 公共性のエートス 90
 公共性の哲学を学ぶ人のために 92
 公共性のパラドックス 47
 高校生たちのゆくえ 9
 高校野球の社会学 84
 広告のクロノロジー 27
 広告の社会心理 78
 広告百年史 大正・昭和 78
 広告百年史 明治 78
 「広告」への社会学 88
 広告論 81
 広告論概説 84
 広告を学ぶ人のために 79
 交又する身体と遊び 23
 広辞苑はなぜ生まれたか 55
 構造人類学のフィールド 84
 構造的差別のソシオグラフィ 19
 構造転換期の中国経済 95
 構築主義の社会学 89
 構築主義の社会学〔新版〕 20
 行動論政治学 78
 高度成長の社会学 86
 公文書管理と情報アクセス 13
 高齢期家族の社会学 87
 「声」の有線メディア史 29
 古今集の世界 80
 国語教育を学ぶ人のために 85
 国語史を学ぶ人のために 56
 国際化と地域経済 86
 国際関係 83
 国際関係〔新版〕 88
 国際関係〔全訂版〕 4
 国際関係論の軌跡 86
 国際観光学を学ぶ人のために 91
 国際危機学 90
 国際機構 81
 国際機構〔新版〕 83
 国際機構〔第三版〕 87
 国際機構〔第四版〕 5
 国際教育協力論 90
 国際協力論を学ぶ人のために 92
 国際協力論を学ぶ人のために〔新版〕 10
 国際経営を学ぶ人のために 90
 国際経済の新展開 79
 国際構成主義 64
 国際交通論 85
 国際交通論〔新版〕 90
 国際埋学を学ぶ人のために 12
 国際人道法 79
 国際政治経済論 83
 国際政治をみる眼 96
 克服・拮抗・模索 93
 互助社会学 19
 子育ての常識から自由になるレッスン
 〈こどものみらい叢書⑤〉 70
 古代日本海文明交流圏 53
 古代の幻 89
 古代ローマの刑事裁判 77
 国境を越えるアジアの家事労働者 96
 国境を越えるアジアの家事労働者
 〔オンデマンド版〕 30
 古典解釈の愉悅 96
 古典の精髓 95

ことば・詩・子ども〔叢書児童文学
 1〕 97
 ことばと文化の日韓比較 92
 ことばの社会学 79
 子ども歌を学ぶ人のために 57
 子どもが生きる〔叢書児童文学4〕 97
 子どもが教えてくれた世界〈こどもの
 みらい叢書③〉 70
 子ども家族支援の社会学 88
 子ども・学校・社会 41
 子どもたちがつくる町 8
 子どもたちは変わったか 94
 子どものウェルビーイングと家族 93
 子どもの発達心理学を学ぶ人のために 91
 子どもの文化を学ぶ人のために 90
 子ども論を読む 96
 子どもをめぐるデザインと近代 91
 個のアイデンティティ 86
 この日本で老いる 88
 コーヒー学のすすめ 94
 ゴフマン世界の再構成 82
 コミュニケーション社会学入門 95
 コミュニケーション・スタディーズ 95
 コミュニケーション・スタディーズ
 〔新版〕 8
 コミュニケーション・メディア 29
 コミュニティの思想 78
 コールバーグ理論の基底 84
 これからの体育を学ぶ人のために 41
 婚外子の社会学 83
 征服者〔コンキスタドル〕ピサロの
 娘〔メスティーサ〕ドニヤ・フラ
 ンスカ・ピサロの生涯1534-1598 95
 今昔物語集を学ぶ人のために 58
 コンテンツ学 94

さ 行

災害の物語学 61
 災害論 74
 西鶴を学ぶ人のために 83
 罪刑法定主義 78
 罪刑法定主義〔新訂第二版〕 4
 斎藤茂吉短歌研究 87
 差異とつながりの民族誌 35
 差異とは何か 45
 在日コリアンの宗教と祭り 38
 財務会計論 81
 「サウンド・オブ・ミュージック」で
 学ぶ欧米文化 62
 支える〔日常を拓く知6〕 71
 サッカー狂の社会学 25
 作家のアジア体験 83
 作家の世界体験 84
 サバンナの河の民 35
 さびしさ〔日常を拓く 古典を読む
 3〕 72
 サブカルチャーの社会学 24
 サポート・ネットワークの臨床論 95
 彷徨えるナショナリズム 89
 サトルの哲学 78
 さわる文化への招待 95
 参加型アクションリサーチ (CBPR)
 の理論と実践 96

産業構造論 79
 産業集積の再生と中小企業 91
 山椒大夫読例 82
 「3・11」後の技術と人間 73
 シェイクスピア花苑 82
 シェイクスピアを学ぶ人のために 88
 ジェイン・オースティンの生涯 62
 ジェイン・オースティンを学ぶ人のた
 めに 64
 ジェンダー学の最前線 94
 ジェンダー学を学ぶ人のために 31
 ジェンダー人類学を読む 36
 ジェンダーで学ぶ教育 91
 ジェンダーで学ぶ言語学 95
 ジェンダーで学ぶ社会学 87
 ジェンダーで学ぶ社会学〔新版〕 93
 ジェンダーで学ぶ社会学〔全訂新版〕 11
 ジェンダーで学ぶ宗教学 47
 ジェンダーで学ぶ文化人類学 92
 ジェンダーで学ぶメディア論 25
 支援のフィールドワーク 13
 支援論の現在 94
 歯科医療過誤訴訟の課題と展望 92
 視覚とヴァーチャルな世界 20
 視覚のアメリカン・ルネサンス 54
 シカゴ学派の社会学 91
 時間の人類学 34
 自己意識の現象学 49
 嗜好品文化を学ぶ人のために 17
 自己形成の心理学 95
 自己・他者・関係〔社会学ベーシッ
 ス1〕 75
 自己と「語り」の社会学 89
 仕事の社会学 79
 仕事の人類学 32
 自己の心理学を学ぶ人のために 43
 自己の発見 14
 自己論を学ぶ人のために 95
 自己を生きる力 46
 思索する湯川秀樹 57
 自殺者の近代文学 81
 市場経済移行論 90
 システム科学の哲学 51
 私説・教育社会学 95
 自然概念の哲学的変遷 79
 自然科学読本 49
 自然の現象学 49
 視線の歴史 91
 したたかなロシア演劇 88
 しつけの社会学 81
 実践社会調査入門 17
 実践哲学の現在 83
 実践日本語教育を学ぶ人のために 56
 実践の医療人類学 38
 〈実践〉ポピュラー文化を学ぶ人のた
 めに 92
 質的調査法を学ぶ人のために 17
 嫉妬と羨望の社会学 15
 児童英語教育を学ぶ人のために 42
 〈児童虐待〉の構築 91
 児童虐待の社会学 86
 「児童虐待」へのまなざし 15
 児童文学の周辺〔叢書児童文学5〕 97
 児童文学―はじめの一歩 79
 児童文学―はじめの一歩〔新版〕 81

児童文学を学ぶ人のために	78	宗教とモダニティ	93	シングル単位の恋愛・家族論	87
死にゆく過程を生きる	10	宗教に抗する聖者	47	新講 源氏物語を学ぶ人のために	85
死の鳥からの旅	56	宗教の根源	87	新興国と軍部	97
司馬遼太郎 旅する感性	55	宗教の社会学	79	人口増加と生活環境	83
〈自分〉のありか	48	宗教の人間学	84	人口問題の正義論	44
自閉症が文化をつくる	7	宗教紛争と差別の人類学	36	新古今和歌集を学ぶ人のために	59
自閉症の社会学	95	集合住宅デモクラシー	92	深刻化する土壌汚染	5
資本主義を超えて	16	集合的創造性	8	震災とメディア	29
市民的自由の探究	80	自由市場資本主義の再形成と動揺	6	震災の公共人類学	33
市民福祉の政策と思想	79	自由社会の哲学とその論敵	77	震災の社会学	88
社会意識論を学ぶ人のために	87	集団と組織の社会学	9	震災を生きぬく	10
社会科学を学ぶ人々に	77	自由と意味	89	人生時間割の社会学	16
社会学原論	88	自由と権利の哲学	90	新税法読本	77
社会学講義	88	自由の探究	79	身体化の人類学	96
社会学的思考〈社会学ベーシックス別巻〉	76	十八世紀フランス文学を学ぶ人のために	65	身体技法と社会学的認識	19
社会学的理想像のために	18	に	65	身体・セクシュアリティ・スポーツ	76
社会学のフィールドワーク	21	周辺民族の現在	87	〈社会学ベーシックス8〉	76
社会学の基礎理論	81	住民主導の生涯学習地域づくり	93	身体社会学	92
社会学の根本問題	91	受験戦士たちはいま	79	神秘主義を学ぶ人のために	81
社会学を学ぶ人のために	78	主體的真理と例外者実存	77	新プラトン主義を学ぶ人のために	45
社会学を学ぶ人のために〔新版〕	81	出版女性史	89	新聞学を学ぶ人のために	79
社会空間の人類学	37	受動喫煙の環境学	13	新聞教育の原点	27
社会貢献する宗教	95	生涯学習理論を学ぶ人のために	92	新・法学を学ぶ人のために	84
社会システムと法の理論	85	生涯という物語世界	84	新・方言学を学ぶ人のために	60
社会思想史を学ぶ人のために	84	小説のナラトロジー	58	親密性の社会学	94
社会人大学院生入門	90	情緒的自立の社会学	98	ジンメル社会学を学ぶ人のために	16
社会心理学を学ぶ人のために	44	少年非行の社会学	84	ジンメルの社会学理論	91
社会政策を学ぶ人のために	87	少年非行の社会学〔新版〕	22	新約聖書に学ぶ	86
社会政策を学ぶ人のために〔三訂〕	18	商法Ⅰ（総則・会社）	97	心理学へのスタディガイド	43
社会政策を学ぶ人のために〔新版〕	89	商法Ⅱ（商行為・手形・小切手）	97	心理学論文道場	43
社会調査と権力	18	情報と経済活動	90	真理の形而上学	89
社会調査の考え方	92	浄瑠璃の世界	83	人類学的思考の歴史	94
社会調査を学ぶ人のために	79	昭和作家の〈南洋行〉	91	人類学的実践の再構築	89
社会的広告史	78	昭和ノスタルジアとは何か	27	人類学的出会いの発見	84
統・社会的広告史	78	「職業」の発見	95	人類学とは何か	35
社会的コントロールの現在	20	食卓と家族	14	随想	4
社会的宗教と他界的宗教のあいだ	96	食と農を学ぶ人のために	95	睡眠文化を学ぶ人のために	17
社会哲学の現代的展開	50	女性記者	84	数理神学を学ぶ人のために	47
社会哲学を学ぶ人のために	50	女性史を学ぶ人のために	88	ストリートの歌	39
社会と文化の心理学	96	女性と社会	88	ストリートの精霊たち	32
社会の構造と変動〈社会学ベーシックス2〉	75	女性とメディア	83	スピリチュアリティの社会学	92
社会の実存と存在	24	女性のための法学	80	スペイン学を学ぶ人のために	88
社会病理学を学ぶ人のために	80	女性のための法学〔新版〕	81	スペイン語の世界	66
社会病理を考える	86	女性のための法学 新版〔全訂版〕	83	スポーツ応援文化の社会学	96
社会福祉を学ぶ人のために	78	女性文学を学ぶ人のために	58	スポーツが愛するテクノロジー	8
社会保障の哲学	73	女性ホームレスとして生きる〔増補新装版〕	96	スポーツ観戦学	15
社会問題の社会学	24	女性ホームレスとして生きる〔増補新装版〕	8	スポーツで読むアジア	89
ジャーナリズム「現」論	91	〈女中〉イメージの家庭文化史	91	スポーツと芸術の社会学	23
ジャーナリズムと権力	28	初年次教育の現状と未来	41	スポーツと人間	92
ジャーナリズムの起源	29	諸民族の音楽を学ぶ人のために	37	スポーツにおける抑制の美学	95
ジャーナリズムの政治社会学	27	庶民仏教と古典文芸	81	スポーツの社会学	82
ジャーナリズムを学ぶ人のために	83	所有と分配の人類学	94	スポーツの魅惑とメディアの誘惑	28
ジャーナリズムを学ぶ人のために〔新版〕	88	ジョン・ミルトンの思想と現代	61	スポーツファンの社会学	86
周縁から照射する EU 社会	96	知られざる魅惑の都市たち	94	スポーツ文化の変容	85
十九世紀フランス文学を学ぶ人のために	61	自立と甘えの社会学	90	スポーツ文化を学ぶ人のために	88
十九世紀ロンドン生活の光と影	65	史料が語る太平洋戦争下の放送資料で読む教育と戦争	92	スポーツ・ボランティアへの招待	91
宗教学を学ぶ人のために	81	知る・学ぶ〈日常を拓く知1〉	71	スポーツを楽しむ	93
宗教社会学を学ぶ人のために	45	死をめぐる実践宗教	89	住まいがたえる世界の暮らし	10
宗教多元主義を学ぶ人のために	47	進化する初年次教育	40	生活文化を学ぶ人のために	87
宗教的真理	80	シンガポール「多元種主義」の社会学	96	生活をデザインする家庭科教育	40
宗教とツーリズム	96	進化論と倫理	86	政策文化の人類学	39
宗教とナショナリズム	86	シングル単位の社会学	87	生産マネジメント	7
				政治エリート	79
				政治空間としてのパラオ	90
				政治・権力・公共性〈社会学ベーシックス9〉	76

政治思想史	77
政治における理性と情念	79
政治の文法	82
政治変動論	77
成熟と古い	87
青少年・若者の自立支援	15
政治理論の現在	92
政治を学ぶ人のために	77
政治をみる眼	96
精神分析学を学ぶ人のために	92
生成する身体社会学	13
生成文法を学ぶ人のために	92
生悪人類学を学ぶ人のために	39
成長と福祉の近代経済理論	78
政党組織の比較研究	82
政党派閥社会学	79
『青鞥』を学ぶ人のために	31
性と生殖の女性学	93
聖なるものの現象学	51
青年期の友人関係と自己	95
性人類学	84
性のポリフォニー	82
生命のフィロソフィー	91
生命倫理学を学ぶ人のために	51
生命倫理と現代社会	82
生命倫理の現在	51
西洋文学を学ぶ人のために	77
西洋余暇思想史	94
精霊たちのフロンティア	36
生を織りなすポエティクス	92
「性を考える」わたしたちの講義	86
世界遺産学を学ぶ人のために	54
世界遺産と地域振興	17
世界システムという考え方	13
世界史の回廊	88
世界の人口問題	79
絶対無の哲学	49
説得コミュニケーション論を学ぶ人のために	15
説話文学の世界	81
説話文学の世界（新装版）	82
セルバンテスの世界	86
戦間期の日本帝国主義	80
戦間期の日本農村	81
戦後詩のポエティクス 1935～1959	57
戦後新興紙とGHQ	28
戦後日本のなかの「戦争」	21
戦後日本のメディア・イベント	29
戦時期日本のメディア・イベント	87
「先住民」とはだれか	95
先住民の知識人類学	36
戦争の記憶と国家	4
先端医療社会学	14
ソヴェト商品生産論	82
臓器移植人類学	33
相互行為秩序と会話分析	93
漱石	85
総長の記録	77
ソシオロジカル・スタディーズ	94
ソーシャルワーク社会学	85
ソーシャルワーク理論を学ぶ人のために	89
それでもなおユダヤ人であること	31
ソ連の政治改革	80

た 行

体育教育を学ぶ人のために	42
第一次世界大戦とモダニズム	63
第一次大戦とイギリス文学	93
大覚寺大沢池 景観修復プロジェクト	
大学新入生ハンドブック	67
大学生入門	40
大学生入門〔改訂版〕	89
大学生入門〔改訂版〕	93
大学生入門〔3訂版〕	41
大学生の日本語トレーニング	95
大学生 学びのハンドブック	95
大学生 学びのハンドブック〔改訂版〕	96
大学生 学びのハンドブック〔3訂版〕	96
大学生 学びのハンドブック〔4訂版〕	96
大学生 学びのハンドブック〔5訂版〕	96
第三帝国のR.シュトラウス	40
大衆紙の源流	91
対人関係の深層	90
大都市型産業集積と生産ネットワーク	79
	6
太平洋のラスプーチン	89
瀧川事件	54
瀧川幸辰刑法著作集（全5巻）	97
噂小評論の世界	82
多言語学習の練習帖	62
他者性の時代	92
「他者」で読むアメリカン・ルネサンス	94
他者の帝国	53
タダ・シュルレアリスムを学ぶ人のために	66
脱・結婚	80
「殺陣」という文化	64
ダニエル・デフォーの世界	62
たばこ訴訟の法社会学	6
タバコ社会学	83
旅する〈日常を拓く知5〉	71
旅の比較文明学	94
旅を生きる人びと	33
W杯サッカーの熱狂と遺産	21
多文化国家の先住民	38
食べる〈日常を拓く知4〉	71
食べることの哲学〈教養みらい選書002〉	69
多民族国家中国の基礎構造	81
誰が負を引きうけるのか	13
断酒が作り出す共同性	18
誕生のジェネオロジー	88
男性の「生き方」再考	30
探偵・推理小説と法文化	95
談話分析を学ぶ人のために	87
地域学への招待	88
地域研究調査法を学ぶ人のために	86
地域社会に住む	85
地域情報化	83
地域生活社会学	80
地域政治社会学	80
地域戦略と自治体行財政	6
地域のロゴス	83
地域文化社会学	80

地域メディアを学ぶ人のために	29
チューホフの短篇小説はいかに読まれてきたか	61
地球環境問題の人類学	91
知識伝達の構造	94
知識と実在	47
知識の理論〔第3版〕	49
知的所有権の人類学	32
知と権力の社会学	84
知のシステム	80
知の理論の現在	81
地方文化の社会学	87
忠犬はいかに生まれるか	52
中国革命史	96
中国型経済システム	92
中国経済	80
中国経済と東アジア圏	87
中国経済の市場化構造	83
中国経済の数量分析	91
中国経済の展望	89
中国経済論	7
中国思想を学ぶ人のために	80
中国社会の人類学	91
中国書法史を学ぶ人のために	90
中国哲学を学ぶ人のために	78
中国二〇世紀文学を学ぶ人のために	65
中国の改革开放30年の明暗	7
中国の農村発展と市場化	85
中国文学を学ぶ人のために	82
中小企業成長論の研究	78
中世王朝物語の研究	83
中世王朝物語の表現	88
中世王朝物語を学ぶ人のために	59
中世歌人の心	83
中世哲学を学ぶ人のために	48
中世文学の世界	80
中ソ外交史研究	82
中東世界	82
「中立」新聞の形成	28
長寿社会の余暇開発	93
チョコレートの世界文化誌	91
著作権法要説	95
著作権法要説〔第2版〕	5
通貨制度と物価騰貴の構造	77
作ることの哲学	94
作ることの日本近代	46
伝える〈日常を拓く知3〉	71
津田仙と朝鮮	54
つよさ〈日常を拓く知 古典を読む2〉	72
鶴見俊輔と希望の社会学	92
ディアスポラと先住民	23
抵抗と持続	78
抵抗の快樂	87
帝国意識の解剖学	88
帝国とアジア・ネットワーク	53
帝国への抵抗	93
哲学概説	77
哲学と科学の源流	81
哲学の初源へ	49
哲学の潮流	78
哲学を学ぶ人のために	77
『鉄腕アトム』の時代	28
テレビから学んだ時代	25
テレビ・コマースの考古学	27

テレビジョン・ポリフォニー	88
テレビニュースの社会学	28
テレビの社会学	78
テレビのゆくえ	28
テレビ文化の社会学	81
転回点を求めて	15
転換期のアジア経済を学ぶ人のために	88
転機に立つ社会主義	80
転形期の中国経済	79
天才の秘密	95
ドイツ観念論を学ぶ人のために	48
ドイツ現代政治史	97
ドイツ憲法思想史	81
ドイツ詩を学ぶ人のために	65
ドイツ文学を学ぶ人のために	82
東欧経済	88
統計にみる日本経済	87
登校拒否の深層	80
東西文化共生論	85
陶人 山田誥	77
同窓会の社会学	18
統治される人びとのデモクラシー	32
道徳教育を学ぶ人のために	86
道徳教育を学ぶ人のために〔新版〕	89
道徳教育を学ぶ人のために〔三訂〕	95
道徳教育を学ぶ人のために〔四訂〕	40
「道徳的である」とはどういうことか	73
東南アジアの経済	88
東南アジアの社会学	81
動物保護入門	66
陶・山田光の世界	65
遠い隣国	90
時と人を追うて	77
読者の台頭と文学者	63
読書教育を学ぶ人のために	11
独立の時代	95
ド・ゴールとミッテラン	88
都市移住の社会学	25
都市公害の形成	81
都市コミュニティ論	79
都市社会学を学ぶ人のために	8
都市的世界〈社会学ベーシックス4〉	75
都市比較の社会学	79
図書館情報学を学ぶ人のために	26
都市を生きぬくための狡知	34
トニ・モリスンの世界	87
ドラッグの社会学	16
トランスポジションの思想	87
トランスポジションの思想〔増補版〕	34
トルコ絨毯が織りなす社会生活	33

な 行

永井荷風・音楽の流れる空間	86
永井荷風・ジャンルの彩り	95
夏目漱石「われ」の行方	55
南方徴用作家	85
西田哲学を学ぶ人のために	85
21世紀の田舎学	16
二十一世紀の若者論	10
21世紀への橋と扉	22
二〇世紀アメリカ文学のポリティクス	95

二〇世紀アメリカ文学を学ぶ人のために	93
二〇世紀女性文学を学ぶ人のために	64
二十世紀の宗教社会学	80
ニーチェと政治	83
ニーチェを学ぶ人のために	85
日常からの文化社会学	20
日常経験の社会学	79
日常人類学宣言!	95
日常性とソーシャルワーク	90
日常実践のエスノグラフィ	90
日常の経済学	79
日常の最前線としての身体	11
日本近代思想を学ぶ人のために	86
日本近代史の探究	83
日本近代史の探究〔新版〕	87
日本近代女性文学論	87
日本近代文学を学ぶ人のために	86
日本考古学を学ぶ人のために	54
日本語学を学ぶ人のために	60
日本語教育学を学ぶ人のために	58
日本国憲法	78
日本国憲法〔新版〕	81
日本国憲法〔第三版〕	86
日本国憲法〔全訂第4版〕	96
日本国憲法提要	78
日本国憲法提要〔増補〕	79
日本古辞書を学ぶ人のために	85
日本語の語源を学ぶ人のために	93
日本語表現学を学ぶ人のために	56
日本資本主義の教育像	82
日本社会学史への誘い	23
日本商業史概論	77
日本書誌学を学ぶ人のために	59
日本人が知らない夏目漱石	91
日本生活史	77
日本地名学を学ぶ人のために	58
日本哲学の国際性	48
日本哲学の多様性	45
日本道州制国家論	25
日本のアヴァンギャルド	58
日本のエスニック・ビジネス	13
日本のエリート高校	24
日本の近代化とグリム童話	64
日本の広告	83
日本の社会と文化〈社会学ベーシックス10〉	76
日本の狩猟採集文化	92
日本のシュールレアリスム	85
日本の戦後教育とデュエイ	42
日本の大学問題(Ⅰ)	97
日本の大学問題(Ⅱ)	97
日本の哲学を学ぶ人のために	50
日本のデュエイ研究と21世紀の課題	95
日本の伝統美とヨーロッパ	65
日本の美のかたち	82
日本の民話を学ぶ人のために	39
日本の笑いと言世界のユーモア	93
日本美術を学ぶ人のために	89
日本文学史論	87
日本文学史を読む	83
日本文学と人間の発見	83
日本文学と仏教思想	80
日本文学の男性像	84

日本文学の論じ方	55
日本・ベトナム関係を学ぶ人のために	6
日本列島の野生生物と人	67
二枚腰のすすめ〔教養みらい選書006〕	69
入門講義 倫理学の視座	50
ニュース空間の社会学	26
ニューメディア研究	80
ニューメディアと著作権	80
ニューレフト運動と市民社会	12
人間	16
人間学としての哲学	81
人間—その生死の位相	85
人間にとって農業とは何か	67
人間の哲学の再生にむけて	94
妊娠と出産の人類学	33
認知社会学の構想	19
ネット時代のパブリック・アクセス	27
ネパールでカーストを生きぬく	32
農園主と奴隷のアメリカ	91
能・狂言の生成と展開に関する研究	90
能狂言の文化史	95
能・狂言を学ぶ人のために	56
農山村の荒廃と空間管理	11
農地管理と村落社会	11
能と狂言	84
ノスタルジアの社会学	82

は 行

媒介言語論を学ぶ人のために	62
廃棄物列島・日本	5
ハイデガー『存在と時間』を学ぶ人のために	45
ハイデガー入門	91
ハイデガーの思惟と芸術	86
ハイデガーを学ぶ人のために	84
白居易研究	77
はじめての社会調査(仮)	7
はじめてのメディア研究	96
はじめてのメディア研究〔第2版〕	26
芭蕉	81
芭蕉を学ぶ人のために	84
パソコンズと社会学理論の現在	90
働くこととジェンダー	94
発展途上国経済論	79
「華」	91
ハーバーマスの社会学理論	88
パフォーマンス研究のキーワード	96
パブリック・アクセスを学ぶ人のために	90
パブリック・アクセスを学ぶ人のために〔新版〕	93
パブリック・スクールの社会学	86
ハーマンの理性批判	87
端役で光る源氏物語	67
晴れた日には『異邦人』を読もう	52
犯罪学の方法序説	85
犯罪の社会学	79
犯罪論集	4
「反戦」のメディア史	28
ハンセン病療養所を生きる	10
反俗脱俗の作家たち	82
ハナ・アレント	46

反「ナショナリズムの時代」	77	フェミニズムとヒロインの変遷	96	風呂で読む牧水	98
比較言語学を学ぶ人のために	86	福沢諭吉と多元的「市民社会」論	45	風呂で読む万葉恋歌	97
比較憲法論序説	77	「福祉コミュニティ」と地域社会	92	風呂で読む万葉の四季	98
比較文学研究入門	86	福祉社会のアミューズメントとスポーツ	14	風呂で読む万葉花歌	98
比較文学的読書のすすめ	65	福島原発事故の放射能汚染	5	風呂で読む万葉挽歌	98
比較文学を学ぶ人のために	85	プシコ ナウティカ	45	風呂で読む万葉旅情	97
比較文化の地平	86	不揃いな身体でアフリカを生きる	31	風呂で読む宮澤賢治	98
比較文明学を学ぶ人のために	24	二つのケルト	53	風呂で読む与謝野晶子	98
美学を学ぶ人のために	79	フッサルを学ぶ人のために	89	風呂で読む李白	97
ひきこもりと家族の社会学	9	風土記を学ぶ人のために	58	風呂で読む良寛	97
ひきこもる心のケア	42	ブーバーを学ぶ人のために	49	プロバント政策と大学	94
被虐待児童への支援論を学ぶ人のために	19	プライベートピア	90	フロー理論の展開	91
非行の社会学	78	ブラウン管の思想	78	プロンテ姉妹を学ぶ人のために	64
非行の社会学（新版）	81	ブラクティカル 生命・環境倫理	73	文化学講義	91
非行のリアリティ	22	ブラグマティズムを学ぶ人のために	44	文学社会学とはなにか	9
ビザンツ貴族と皇帝政権	96	ブラジル学への誘い	22	文学の植民地主義	93
美術教育を学ぶ人のために	85	ブラジル学を学ぶ人のために	22	文化経済学を学ぶ人のために	84
美女のイメージ	85	プラトンを学ぶ人のために	45	文化交流学を拓く	91
非政治的市民の抵抗	77	ブランクルを学ぶ人のために	90	文化社会学界限	9
人、イヌと暮らす〈教養みらい選書007〉	69	フランス演劇にみるボディワークの萌芽	60	文化社会学への招待	22
人と魚の自然誌	67	フランス学を学ぶ人のために	66	文化人類学の思考法	31
人びとはなぜ満州へ渡ったのか	96	フランス語史を学ぶ人のために	85	文化人類学を学ぶ人のために	40
美の変貌	81	フランス女性の世紀	63	文化政策を学ぶ人のために	22
響きあう神話	86	フランス中世文学を学ぶ人のために	93	文化伝達の社会学	89
批評理論を学ぶ人のために	60	フランス文学を学ぶ人のために	83	文化としてのテレビ・コマーシャル	94
秘審の社会学	78	フランス恋愛文学をたのしむ	62	文化の社会学〈社会学ベーシックス3〉	75
飛躍するドイツの再生可能エネルギー	67	フリーターとニートの社会学	19	文化の深淵としての宗教	85
百人一首の新考察	84	フリーターの心理学	43	文化の地平線	84
百貨店の文化史	88	ブレインヴイル USA	81	文芸としての童謡	86
ヒューマンサービス調査法を学ぶ人のために	95	プロセスが見えるメディア分析入門	27	文芸批評を学ぶ人のために	84
ヒューマンサービス論	87	フロー体験とグッドビジネス	43	分析哲学入門	88
評価論を学ぶ人のために	94	フロー体験入門	43	分析哲学の現在	86
病氣と医療の社会学	89	フロー体験 喜びの現象学	44	紛争解決のモードとは何か	90
表象の植民地帝国	90	風呂で読む一茶	98	紛争終結後のカンボジア	9
漂泊俳人の系譜	82	風呂で読む王維	98	文明間の対話に向けて	91
開かれた孤独へ	88	風呂で読む寒山拾得	98	文明史と「日本国のかたち」	92
悲恋の古典文学	87	風呂で読む近代の名歌	98	文明と思想	79
ビンチョンの「逆光」を読む	63	風呂で読む現代詩入門	98	平安朝の乳母達	85
ヒンドゥー教徒の集団歌謡	63	風呂で読む西行	97	平家物語・木曾義仲の光芒	56
ファミリズムの再発見	85	風呂で読む山頭火	97	平成美術	60
不安定社会の中の若者たち	16	風呂で読む子規	97	平和学を学ぶ人のために	95
フィクションとしての社会	86	風呂で読む唱歌	98	ヘゲモニーの逆説	88
フィクションの中の記憶喪失	61	風呂で読む井月	98	ヘーゲル『精神現象学』を読む	92
フィクション論への誘い	96	風呂で読む漱石の漢詩	97	ヘーゲル哲学の現在	81
フィヒテと西田哲学	50	風呂で読む漱石の俳句	98	ヘーゲルを学ぶ人のために	89
フィールドワーカース・ハンドブック	96	風呂で読む純唐詩選	98	ベーシック 生命・環境倫理	73
フィールドワークへの挑戦	37	風呂で読む啄木	98	ヘミングウェイ『われらの時代』に読	63
風景という知	96	風呂で読む短歌入門	98	変化を生きぬくプッシュマン	34
風景の論理	94	風呂で読む竹林の七賢	98	辺境の想像力	93
風俗の社会学	81	風呂で読む陶淵明	98	ベン・ジョンソンとセルバンテス	85
風俗の人間学	78	風呂で読む唐詩選	97	変身の社会学	24
風俗の文化心理	85	風呂で読む童謡	98	変貌する英国パブリック・スクール	42
夫婦・親子関係の法理	92	風呂で読む杜甫	97	変貌する韓国経済	92
夫婦の氏を考える	92	風呂で読む中原中也	98	変貌する現代韓国社会	88
夫婦別姓	90	風呂で読む俳句入門	97	変貌する産業空間	84
フェアトレードを学ぶ人のために	96	風呂で読む芭蕉	97	変貌する中国経済	81
フェミニストカウンセリングの実践	30	風呂で読む漂泊詩人	97	変貌する中国都市	18
フェミニズム・スポーツ・身体	31	風呂で読む蕪村	98	変容する英語	92
		風呂で読む放哉	98	変容する現代社会とスポーツ	24
				変容する日常世界	82
				保育を学ぶ人のために	93
				貿易論を学ぶ人のために	86

貿易論を学ぶ人のために〔新版〕	7	マンガは越境する！	27	メディア・リテラシーを学ぶ人のために	86
法学講義	89	まんざい	79	に	86
法学講義〔第2版〕	5	「満洲」経験の社会学	17	メディアを教える	95
法学を学ぶ人のために	78	万葉	80	メーヌ・ド・ビラン	50
法史学	77	万葉（新装版）	84	女々しい漱石・雄々しい鷗外	85
放送演芸史	80	万葉王族歌人群像	83	モアレ	85
放送を学ぶ人のために	92	万葉空間	85	模索する現代社会主義	79
法的現象論序説	80	万葉恋の歌	82	もっと知ろう!! わたしたちの隣人	14
法的人格者の理論	77	万葉集を学ぶ人のために	82		
法哲学史	77	万葉魂の歌	85	『モナドロジー』を読む	84
法と現代社会	95	万葉の歌人 高橋虫麻呂	59	物語の放送形態論	89
法と道徳	83	万葉 挽歌の世界	84	物語の放送形態論〔新版〕	93
法と文化の歴史社会学	92	万葉民俗学を学ぶ人のために	58	物語の方法	83
法と紛争の社会学	84	万葉論集	93	物語文学の系譜	80
「方法序説」を読む	85	ミクロ人類学の実践	36	ものとの社会学	90
亡命知識人たちのアメリカ	52	ミツレラン	83	模倣から「科学大国」へ	17
法律用語を学ぶ人のために	86	南方熊楠の思想と運動	90	森鷗外を学ぶ人のために	84
法律用語を学ぶ人のために〔新版〕	5	南アジア社会を学ぶ人のために	34	モンスーン・アジアの水と社会環境	90
法律ラテン語を学ぶ人のために	88	〈見ること〉の哲学	50		
法律を学ぶ人のために	77	民間説話	81	や 行	
暴力の社会学	78	民間説話（新装版）	82	被害の社会学	80
法理論入門	78	民事責任の規範構造	89	躍動するフィールドワーク	67
僕がロボットをつくる理由（教養みらい選書 001）	69	民事責任の現代的課題	81	役割行為の社会学	84
牧畜イスラーム国家の人類学	39	民事訴訟法	97	やさしさ〈日常を拓く知 古典を読む 1〉	72
牧畜二重経済の人類学	37	民族音楽学の課題と方法	90	野生のエンジニアリング	96
保健と医療の人類学	92	民俗学を学ぶ人のために	40	「野生」の誕生	91
母語教育という思想	41	民族関係と地域福祉の都市社会学	19	やっかいな問題はみんなで解く	7
「星の王子さま」を学ぶ人のために	63	民族宗教を学ぶ人のために	50	柳田国男の政治経済学	92
ポスト近代の社会学	83	民族紛争を生きる人びと	39	柳田國男を読み直す	82
ポストコロニアルを生きる	34	民法Ⅰ（総則・物権・債権）	97	友情の社会学	83
ポストドクター問題	41	民法Ⅱ（親族・相続）	97	誘惑する文化人類学	32
ポスト・モバイル社会	26	民話の原風景	86	ゆたかさ〈日常を拓く知 古典を読む 4〉	72
ポストモラトリアム時代の若者たち	96	武蔵野文化を学ぶ人のために	55	夢みる主観の社会学	88
		むらづくり入門	8	ユーモアの社会学	95
		村の生活環境史	91	揺らぐ社会の女性と子ども	82
		メアリー・ホピンズのイギリス	94	溶解する近代	88
		メイキング文化人類学	92	幼児教育を学ぶ人のために	77
		メイキング文化人類学〔オンデマンド版〕	31	陽明学研究	84
		明治の職業往来	94	余暇学を学ぶ人のために	21
		メソアメリカ世界	85	与謝野晶子を学ぶ人のために	85
		メディア学の現在	84	読本の世界	80
		メディア学の現在〔改訂版〕	87	ヨーロッパ社会政策と共同体の再編	95
		メディア学の現在〔新版〕	89		
		メディア学の現在〔新訂〕	94	ヨーロッパ人類学の視座	33
		メディア学の現在〔新訂第2版〕	26	ヨーロッパ精神の源流	93
		メディア教育宣言	25	ヨーロッパ世界の拡張	94
		メディア社会の歩き方	91	世論の政治心理学	52
		メディア・情報・消費社会（社会学ベーシックス6）	75	ら 行	
		メディア史を学ぶ人のために	92	ライフ・イベントの社会学	91
		メディアテクストの冒険	91	ライフ・イベントの社会学〔新版〕	12
		メディアとコミュニケーションの文化史	26	ライフスタイルとアイデンティティ	94
		メディア・トリックの社会学	85	ライフスタイルの社会学	79
		メディアは社会を変えるのか	26	ライブニッツを学ぶ人のために	95
		メディア文化とジェンダーの政治学	96	ライフ・ヒストリーを学ぶ人のために	86
			96		
		メディア文化を社会学する	27	ライフヒストリーを学ぶ人のために〔新版〕	95
		メディア文化を読み解く技法	91	楽園の文学	85
		メディア用語基本事典	96	洛北岩倉と精神医療	12
		メディア用語基本事典〔第2版〕	26	ラジオの時代	29
		メディア用語を学ぶ人のために	88	ラテンアメリカ	83
		メディア・リテラシー教育	93		
		メディア・リテラシーの現在と未来	29		

ま 行

マイクロレジットの文化人類学	35
マスコミを学ぶ人のために	78
マス・メディアの社会学	79
祭りと宗教の現代社会学	89
祭りの文化人類学	82
マーティンの社会学	83
マヤ学を学ぶ人のために	37
マンガの社会学	89

ラテンアメリカが語る近代	87	歴史学への招待	52	ローマ裁判制度研究〔増補〕	77
ラテンアメリカ経済学	91	歴史語りの人類学	34	論争刑法	78
ラテンアメリカ史	81	歴史と想像力	94	論争労働法	78
ラテンアメリカの世界	80	歴史と文化の根底へ	94	論点ハンドブック 家族社会学	16
ラテンアメリカの歴史	54	歴史を学ぶ人のために	78	論理開眼	88
ラテン世界の民間話話	81	レジャー・スタディーズ	11	論理学	81
ラテン文学を学ぶ人のために	83	レジャーの社会学	79	論理学初歩	77
リスクとしての教育	94	レジャーの社会心理学	44	論理学初歩〔新装丁〕	83
リスクの人類学	33	レトリック入門	90	論理学を学ぶ人のために	78
立身出世主義〔増補版〕	92	レトリック論を学ぶ人のために	94		
離別と共同養育	12	連邦制と社会改革	53	わ 行	
流行歌のイデオロギー	78	老後保障システム論	80	若き日の恒藤恭	77
流行と虚栄の生成	94	老後保障を学ぶ人のために	87	和歌史を学ぶ人のために	56
流行の風俗学	81	老後保障を学ぶ人のために〔新版〕	93	若者たちの変貌	87
理論法学の方法	78	老荘思想を学ぶ人のために	87	若者の犯罪 凶悪化は幻想か	92
リンカーン	80	労働組合法の理論課題	78	若者は日本を変えるか	95
臨床国語教育を学ぶ人のために	57	労働法	97	若者論を読む	84
臨床社会学を学ぶ人のために	23	労働法を学ぶ人のために	78	私の二十世紀	88
臨床仏教学のすすめ	49	労働法を学ぶ人のために〔増補〕	79	私の比較文明論	90
倫理学	91	ローカルボクサーと貧困世界	96	私は男でフェミニストです	30
倫理学に答えはあるか	46	ロシア革命史	77	〈わたし〉を生きる	86
倫理学を学ぶ人のために	51	ロシア革命史〔新版〕	96	「わたし」を生きる女たち	30
ルイス＝クラーク探検	92	ロシア学を学ぶ人のために	25	笑い学のすすめ	92
ルソーの政治思想	78	ロシア経済	87	「笑い」の技術	90
ルソーを学ぶ人のために	95	ロシア世界	79	笑いの社会学	80
ルターを学ぶ人のために	94	ロシア・東欧経済	84	ワンダーランドに卒業はない〈こども のみらい叢書⑥〉	70
冷戦とアメリカ文学	89	ロシア文化と近代日本	87		
霊長類学を学ぶ人のために	68	ロボットの人類学	96		
零度の社会	20	ローマ裁判制度研究	77		

著訳編者名索引

あ 行							
間場寿一	44, 80, 82, 87	飯坂良明	86	市野澤潤平	33	入子文子	54, 95
青木恵理子	92	飯嶋秀治	13	逸村 裕	26	入谷仙介	98
青木貞伸	78	飯島伸子	82	井手啓二	80	煎本 孝	36
青木隆嘉	83, 85	飯島 洋	55	井出草平	94	岩隈 敏	95
青木直子	58	飯島 暢	4	糸井通浩	56, 58, 82, 83,	岩崎子恵子	84
青柳まちこ	37, 91	飯田貴子	31	85, 87, 98		岩崎信彦	16, 20, 22, 23
赤尾勝己	92	飯田剛史	38, 86	伊藤公雄	11, 31, 75, 87,	岩下紀之	82
赤岡 功	85	飯田 卓	33, 35	93, 95		岩下正弘	90
赤阪 賢	83	飯田 操	52, 65	位藤紀美子	40	岩瀬 博	86
明石紀雄	92	家 正治	4, 5, 81, 83, 86,	伊藤邦武	86	岩田純一	42, 85
赤田光男	39	87, 88		伊東俊太郎	24, 91	岩津 航	56
秋澤 互	56	井川充雄	28	伊藤高史	27	岩本誠吾	4
秋道智彌	39, 67	生田勝義	89	伊藤忠夫	81, 85	岩本由輝	82
秋元春朝	79	生田 滋	54	伊藤 徹	46, 91, 94	岩山太次郎	81
阿久津昌三	36	池井 望	16, 17, 78, 87, 92	伊藤明己	26, 91, 92	ウィルソン, B. R.	79
明山和夫	78	池上 淳	77, 84	伊藤正直	81	上枝美典	47, 49, 88
浅川希洋志	42, 91	池上洵一	81, 82	伊藤雅之	92	植垣節也	58
浅川千尋	66, 91, 92, 95	池田 功	94, 95	伊藤 守	26, 28, 88	植木照代	62, 90
浅田 隆	85, 89	池田恵美子	31, 89	伊藤泰信	36	上杉富之	20
浅野楯英	77, 83	井桁貞義	61	井戸田 侃	97	上杉正幸	89, 95
浅野 仁	87, 93	池田太臣	16	井戸田博史	83, 92	ウエスト, J.	81
浅野 洋	59	池田光穂	38	伊奈正人	18, 24	上園昌武	94
浅羽良昌	6	池田善昭	49, 51, 84	稲垣恭子	13, 41	上田 浩	91
鯉坂 真	81, 91	池田芳彦	90	稲田利徳	80	上田 博	59, 82, 83, 84,
鯉坂 学	95	池田義教	82	稲場圭信	95	85, 86, 93, 94, 95, 98	
芦田徹郎	89	池本幸三	81	稲葉英雄	91	上田正昭	22
芦名定道	90	池谷和信	67, 91, 92	犬養 孝	59, 82, 85	上田雅信	92
芦谷信和	83, 84	石井和夫	98	井上 彰	44	植田祐次	61, 63, 65
東 賢太郎	33	石井美保	31, 36	井上清実	77	上谷 博	87
安達智子	43	石井雄二	91	井上 健	61, 92	上野加代子	30, 86, 91, 96
安達正嗣	87	石岡丈昇	96	井上 俊	9, 12, 23, 75,	上野輝将	86
安達みち代	90	石川 准	23, 86	78, 80, 81, 83, 87, 88		上野秀夫	80, 81, 82, 84, 87
新 茂之	44	石川 准	23, 86	井上忠司	84, 85, 87	上野 誠	58, 89, 98
新 陸人	82, 86	石川敏行	81	井上敏明	78, 79, 80, 95	上野征洋	22, 85
アパドゥライ, A.	95	石川信克	92	井上敏幸	58	上野洋三	58
安彦一恵	73, 92	石川 実	15, 87	井上順孝	45, 51	上野 瞭	97
阿部 潔	28, 89, 91	石川良子	9	井上秀次郎	7, 90	上原一慶	84
阿部照哉	97	石黒 馨	87, 91	井上 安	78, 79, 80, 81,	上原重男	68
天野正子	91	石黒 浩	69	87, 92		植村 亘	79
天野祐吉	79	石田佐恵子	26, 90	井上 真	67	植山俊宏	85, 98
網野徹哉	52	石田紀郎	83	井上摩耶子	30	ウォルフォード, G.	86
阿毛久芳	98	石田慶和	81	井上眞理子	15, 85, 92	浮ヶ谷幸代	32
鮎川 潤	22, 83, 84	石塚道子	82	井上義和	89	牛島信明	88
新井栄蔵	80, 81, 82, 84	石月静恵	88, 94	猪木正道	77, 78, 82, 88, 96	宇田川 彩	31
荒井章三	96	石戸教嗣	12, 94	猪木正道先生古稀祝賀論集		宇田川妙子	32, 36
荒木映子	63, 84	石飛和彦	92, 95	刊行委員会	81	内井惣七	51, 86
荒木光彦	18	石原健一	87	猪熊兼繁	77	内田勝敏	7, 82, 86
荒牧草平	9	石原孝二	48	猪瀬優理	44	内田能嗣	62, 64
アラン, G.	83	石村郁夫	42	今井清一	79, 83	内田 良	15
有尾善繁	81	石森秀三	67	今江祥智	97	内山勝利	45, 49, 92
有沢倭悦	89	石森大知	96	今枝法之	88	内山武夫	77
有菌真代	10	和泉真澄	94	今江秀史	52	宇都宮芳明	51, 94
有福孝岳	46, 84	泉森 皎	53, 54	今関敏子	86, 87	内海成治	10, 24, 90, 92
有馬めぐむ	66	磯江景孜	78, 87	今津 晃	80, 81	宇野木 洋	65, 93
有山輝雄	28, 85, 87, 92	磯崎辰五郎	77	今津孝次郎	16, 83	梅澤 正	85
アルドリッチ, D. P.	13	磯部卓三	86	今西雅章	88	梅野巨利	42
安西徹雄	92	井田憲計	6	今村純子	60	梅林誠爾	81
安藤丈将	12	伊田広行	87	今村浩明	44, 91, 93	梅本堯夫	85
伊井春樹	59, 80	板井孝老郎	47	居安 正	22, 23, 78, 79, 90,	江上 綏	52
		市川光雄	39	91		江口再起	94
		一木 順	27			江口順一	89

江刺正吾	84, 88	岡部朗一	15	香島明雄	82	川橋範子	47
江本 裕	81	岡村圭子	21	春日明夫	64	川端有子	90
エリオット, A.	95	岡本 武	84, 87	春日直樹	87, 89, 96	川畑博臣	95
エリクセン, T. H.	35	岡本夏木	84	春日井典子	12, 92	川端正久	81
遠藤 薫	13, 94	小川さやか	34	カーター, R. E.	85	河原和枝	20
遠藤惣一	82	小川 侃	81	片岡基明	91, 93	河原 司	67
遠藤利彦	43	小川豊昭	92	片岡佳美	70	川又俊則	44
遠藤 央	90	小川順子	64	片桐新自	16, 93, 95	川村邦光	50
扇野聖史	98	小川博司	90	片桐雅隆	14, 19, 23, 81, 82, 85, 86, 89, 90, 95	川村裕子	56
大井恭一	48	小川雄平	7, 79, 84, 86	片桐洋一	80, 83, 84	河村雷雨	79
大井眞二	91, 96	小川 了	39	片瀬一男	12, 91	河本英夫	49
大池真知子	61	荻野昌利	91	勝田有恒	82	河原林直人	54
大石準一	78, 84	荻野昌弘	18, 20, 24, 89	勝藤 猛	79	カーンズ, M. P.	86
大石泰夫	58	荻野美徳	82	桂山康司	65	神野富一	98
大石 裕	28, 83	奥川義尚	91	加藤定彦	98	菅野 仁	16
大泉昭夫	90	小國和子	13	加藤秀治郎	89, 92	神野藤昭夫	59
大浦康介	96	奥野佐矢子	72	加藤恒彦	87, 94	神林恒道	82
大門正克	81	奥村和滋	86	加藤 剛	14	神林博史	10
大城房美	27	奥村畑三	79, 87	加藤春恵子	83	木岡伸夫	73, 94, 96
大阪外国語大学ラテンア		小倉孝誠	60, 61	加藤久雄	4, 89, 96	菊 幸一	17
リカ史研究会	54	小倉義二	79, 80, 87, 89, 93	加藤尚武	51, 74, 81, 89	菊井禮次	80
大阪谷公雄	77	御興哲也	94	加藤弘之	85	菊地京子	89
大下由美	94, 95	尾崎明人	58	加藤雅人	48, 93	木地節郎	81
大島希巳江	93	尾崎敬子	92	加藤 睦	94	岸 英司	84
太田喬夫	66	尾崎彦朔	77	加藤祐子	92	岸 文和	89
太田 登	84	尾崎ムゲン	82	ガードナー, H.	26, 42	貴志雅之	95
太田好信	31, 34, 87, 92	尾崎寄春	88	金澤孝彰	7	岸上伸啓	36, 91
大谷栄一	44, 94	小澤 亘	89	金山 勉	26, 27	木田章義	56
大谷善博	94	尾嶋史章	9	金子光介	77	北岡誠司	58
大津真作	80	織田 久	78	金子晴勇	51, 84, 85, 94	北岡武司	50
大塚和夫	84, 90	小田 亮	84	金子雅彦	83	北川勝彦	88
大塚柳太郎	39	小田康徳	53, 79, 81, 83, 87	金子敬生	79	北川忠彦	80
大槻 修	59, 80, 83, 85	小田桐 忍	92	鹿野治助	80	北川将之	72
大西 広	83, 91	小田中章浩	61	鎌田明子	93	北澤 毅	11, 17
大野哲也	33	落合仁司	47	鎌田 修	87	北澤 裕	20
大野真義	4, 5, 78, 81, 85, 86, 90, 96, 97	小野 修	79, 80	鎌田大資	93	北島 徹	83
大野道邦	14, 92	小野 堅	79, 84, 87	上島 武	79, 80	北原 淳	80, 81, 85, 88
大橋完太郎	71	小野紀明	92	上島春彦	85	吉川 徹	89
大橋京子	94	小野恭靖	57, 88	神谷国弘	79	木下浩一	25
大橋清秀	94	小野善邦	18, 92	神谷忠孝	57, 85	木下 衆	9
大橋良介	48, 84, 93	小野田撰子	95	亀井伸孝	13, 94	木原正雄	83
大平英樹	43	小畑 郁	5	亀喜 信	46	木原善彦	62
大星光史	82, 97, 98	表 真美	14	亀山 朗	98	紀平英彦	80
大峯 顯	83, 85	恩田守雄	19	亀山佳明	13, 22, 25, 82, 88	木股知史	98
大村英昭	22, 23, 49, 78, 81, 85			加茂 陽	19, 79, 85, 87, 89, 90, 95	君島東彦	95
大村茂雄	90	海津ゆりえ	67	加茂直樹	15, 50, 51, 73, 82, 83, 84, 93	キム, E.	90
大森亮尚	82, 83, 97	海部優子	86, 89	カルステン, U.	91	金 泰泳	88
大森 弘	42, 43	加賀裕郎	44, 91, 95	川合康三	98	金 東勲	81, 83, 87
大森真弘	18, 87, 89	鏡味治也	39, 46, 96	河上正秀	92	金 みんじょん	30
大屋憲一	86	各務英明	79	河上忠雄	88	金 文吉	54
大山小夜	10	柿本昭人	24	川上 勉	66, 84	木村一信	12, 57, 83, 84, 85, 86, 91
岡 道男	80, 82, 83	笈 文生	97	河上倫逸	82	木村啓二	67
岡 満男	84, 87, 89, 94	景山佳代子	71, 72	川岸繁雄	81, 83, 87	木村護郎クリストフ	62
岡井崇之	26, 27	影山貴彦	28, 90, 91	川口晋一	91	木村静子	4, 97
岡倉登志	54, 80, 86	籠谷直人	53	川崎友嗣	43	木村周平	33
岡崎正孝	79, 82	葛西賢太	18	河嶋喜矩子	42, 84	木村直子	93
小笠原 真	23, 80, 84	笠井賢紀	10	川瀬 慈	32	木村秀雄	86
岡田暁生	69	風戸真理	35	川田 耕	9, 93	木村汎	6, 90
岡田勝明	46, 50, 88	風間未起子	96	河地重蔵	79, 80, 81, 82, 84, 87	木村雅昭	86
岡田 努	43, 95	加地伸行	87	川成 洋	88	木村洋二	80
岡田至雄	79	梶浦恒男	90	河西秀哉	71	木村凉子	91
岡田勝二	90	櫻尾直樹	92	河西宏祐	93	許 海珠	7
岡出美則	92	梶田亶一	43	河西安祐	71	京都市京セラ美術館	60
岡原正幸	24, 86	栢原全孝	8			清原和義	80, 84, 85, 97

か行

- | | | | | | | | |
|------------------|------------------------|-----------|------------------------|--------------------|-------------------------------|--------------|--------------------|
| 桐田克利 | 83 | 古賀哲男 | 91, 94 | 櫻井哲男 | 37, 87 | 清水昭俊 | 87 |
| 桐山恵子 | 63 | 古賀正義 | 9, 17 | 櫻井義秀 | 95 | 清水一嘉 | 63, 66, 93 |
| 桐山孝信 | 4, 5, 86 | 国立教育政策研究所 | 41 | サコ, ウスビ | 8 | 清水克彦 | 82, 93 |
| 桐生裕子 | 71 | 小嶋菜温子 | 94 | 左近 毅 | 87 | 清水真一 | 88 |
| 金城盛紀 | 82 | 小杉魁次 | 93 | 笹尾佳代 | 72 | 清水 学 | 22 |
| キンダー, D. R. | 92 | 小関三平 | 78 | 佐々木見彦 | 86 | 清水美知子 | 91 |
| ゲン・ズイ・ズン | 6 | 小谷 敏 | 10, 21, 84, 87, 94, 95 | 佐々木 清 | 97 | 志村明子 | 80 |
| 草柳千早 | 11, 92 | 兒玉実英 | 64 | 佐々木重洋 | 38 | 下井隆史 | 78, 79 |
| 串田秀也 | 14, 93 | 小玉美恵子 | 85 | 佐々木 隆 | 94 | 下村英雄 | 43 |
| 楠瀬佳子 | 30 | 小辻梅子 | 53 | 佐々木信彰 | 7, 81, 83, 86, 89, 91, 94, 95 | ジャクソン, S. A. | 93 |
| グッドマン, K. W. | 47 | コップ, A. | 93 | 佐々木瑞枝 | 56 | ジャコバース, M. | 30 |
| 工藤保則 | 7, 10 | 小寺正一 | 40, 86, 89, 95 | 佐々木能章 | 95 | シャトルワース, S. | 30 |
| 國末泰平 | 73 | 後藤昭雄 | 84 | 左地亮子 | 32 | ジャノビッツ, M. | 97 |
| 國本哲男 | 89 | 後藤祥子 | 86 | サックス, H. | 96 | シュヴァニツ, D. | 93 |
| 功刀由紀子 | 91 | 後藤正人 | 90, 91 | 佐藤哲彦 | 16 | 城 達也 | 89, 92 |
| 久野 昭 | 81 | 湖中真哉 | 37 | 佐藤生実 | 95 | 初年次教育学会 | 40, 41 |
| グノイス, H. | 90 | 湖中 齊 | 91 | 佐藤 寛 | 93, 96 | 白井利明 | 43 |
| 久保明教 | 96 | 小波秀雄 | 93 | 佐藤幸治 | 77, 97 | シールズ, C. | 62 |
| 久保敬孝 | 78, 79, 97 | 小西晴美 | 77 | 佐藤静香 | 82 | 城岡祥子 | 96 |
| 久保朝孝 | 57, 59, 82, 85, 87, 96 | 小西行郎 | 43 | 佐藤純一 | 14, 87 | 申 幸月 | 90 |
| 窪田幸子 | 37, 38, 95 | 小橋一郎 | 97 | 佐藤隆広 | 90, 95 | 新宮一成 | 92 |
| 窪田守弘 | 28 | 小林章夫 | 92 | 佐藤恒雄 | 80 | 新熊 清 | 57 |
| 熊野純彦 | 51 | 小林信介 | 96 | 佐藤 光 | 92 | 真銅正宏 | 86, 95 |
| 隈元泰弘 | 91, 95 | 小林孝行 | 88 | 佐藤 誠 | 86 | 進藤雄三 | 19, 20, 23, 82 |
| クラインマン, S. | 93 | 小林直毅 | 91 | 佐藤 眞子 | 44 | 神野由紀 | 96 |
| 倉島 哲 | 19 | 小林英美 | 63 | 佐藤幸男 | 38 | 陣内正敏 | 94 |
| 倉田伸雄 | 48 | 小林道憲 | 53 | 佐藤吉文 | 91 | 陣馬幸一 | 4, 96 |
| 倉地克直 | 86, 89, 94 | 小林 稔 | 77 | 真田信治 | 60, 85 | 新村 恭 | 55 |
| 倉光弘己 | 79, 95 | 小林致広 | 85 | 佐野安仁 | 84, 91 | ジンメル, G. | 78, 79, 91 |
| 蔵本邦夫 | 86 | 小原克博 | 90 | サビロ, G. | 9 | 新本万里子 | 31 |
| グラント, B. | 97 | 小松秀雄 | 95 | サファイリオス-ロスシールド, C. | 79 | 数理社会学会 | 10 |
| 栗岡幹英 | 84 | 小峯和明 | 58 | サマーズ, L. | 6 | 末川 博 | 77, 97 |
| クリーパー, D. A. | 44 | 小椋 博 | 84 | 澤 正宏 | 85 | 末永隆甫 | 78 |
| 栗本英世 | 39 | 小室直人 | 97 | 澤田瑞也 | 43, 44, 83, 87, 88 | 末原達郎 | 67, 87 |
| 栗山昭子 | 95 | 小山修三 | 38 | 沢山美果子 | 86, 87, 89, 94 | 菅山謙正 | 92 |
| 栗山圭子 | 72 | 小山洋司 | 88 | 榎木野衣 | 60, 69 | 菅原和孝 | 37, 96 |
| グリーンズバン, L. | 79 | 近藤 治 | 80, 86, 87 | 三本松正敏 | 94 | 杉浦 宏 | 41, 42 |
| クルーグマン, P. | 6 | 近藤久美 | 93 | 椎野若菜 | 35 | 杉島敬志 | 89 |
| クールタード, M. | 87 | 近藤 豊 | 66 | シェグロフ, E. A. | 9, 96 | 杉田映理 | 31 |
| グルーベ, O. | 92 | コンネル, R. | 94 | ジェファソン, G. | 96 | 杉田 聡 | 73 |
| 黒倉 寿 | 67 | 齋藤 昭 | 88 | ジェンティーレ, P. | 96 | 杉田米行 | 88, 89 |
| クロザース, C. | 83 | 齋藤明美 | 92 | 塩谷清人 | 62, 64, 96 | 杉野 徹 | 64, 90 |
| 黒沢一晃 | 82 | 齋藤 勇 | 82 | 塩原 勉 | 82 | 杉万俊夫 | 96 |
| 黒田 勇 | 93 | 齋藤和枝 | 25 | 汐見二郎 | 77 | 杉村和彦 | 16, 37, 95 |
| 黒田賢治 | 4 | 齋藤寿始子 | 39 | 四日谷敬子 | 49, 86, 87 | 杉村邦彦 | 90 |
| 黒田浩一郎 | 11, 14, 23, 85, 87, 89 | 齋藤 衛 | 88 | 重田眞義 | 17 | 杉本厚夫 | 41, 42, 85, 86, 93 |
| 黒田展之 | 88 | 齋藤雪彦 | 8, 11 | 嗜好品文化研究会 | 17 | 杉本賢治 | 42 |
| 黒田治夫 | 91 | 佐伯年詩雄 | 19, 41, 96 | 篠原愛人 | 54 | 杉本裕明 | 5 |
| 桑島秀樹 | 55 | 酒井 潔 | 95 | 芝 蒸 | 82 | 菅野盾樹 | 94 |
| 桑瀬章二郎 | 95 | 坂井信三 | 90 | 柴田勝二 | 55 | 鈴木國文 | 92 |
| 桑田政美 | 93 | 酒井千絵 | 8, 96 | 柴田光蔵 | 77, 88, 97 | 鈴木健一 | 56 |
| クーン, A. | 94 | 阪口弘之 | 59, 83 | 柴野昌山 | 15, 80, 81, 89 | 鈴木貞美 | 55 |
| ケラー, E. F. | 30 | 坂田謙司 | 29 | 渋谷 努 | 96 | 鈴木秀一 | 93 |
| ゲーレン, A. | 16, 92 | 坂田幹男 | 86 | 島 式子 | 79, 81 | 鈴木俊次 | 93 |
| 小泉 道 | 83 | 阪野 亘 | 78 | 島岡 宏 | 87 | 鈴木清史 | 35 |
| 小泉博一 | 65, 87, 88 | 坂部晶子 | 17 | 嶋田 厚 | 86 | 鈴木 健 | 15, 48, 96 |
| 香西 茂 | 87 | 坂部 恵 | 84 | 嶋田修三 | 97 | 鈴木智之 | 9 |
| 高坂正堯 | 77, 82 | 坂本真士 | 43 | 嶋田義仁 | 38, 39 | 鈴木七美 | 38 |
| 駒城鎮一 | 77, 78, 80, 85, 95, 97 | 阪本俊生 | 23 | 島田良一 | 4 | 鈴木秀人 | 42 |
| 興膳 宏 | 82, 98 | 坂本正弘 | 83 | 島谷 謙 | 94 | 鈴木宏子 | 56 |
| 高野光平 | 27 | 坂本春香 | 81 | 島津忠夫 | 59, 83 | 鈴木裕之 | 33, 39 |
| 神戸女学院大学文学部総合文化学科 | 71, 72 | 相良忠昭 | 91 | 刊行会 | 87 | 鈴木正仁 | 81, 86 |
| | | 佐川光晴 | 70 | 嶋守まやか | 24 | 鈴木正幸 | 81 |
| | | | | | | 鈴木みどり | 29, 86, 91, 93 |
| | | | | | | 鈴木雄雅 | 96 |
| | | | | | | 鈴木 良 | 93 |

スチュアート ヘンリ	91	田口道昭	82	団藤重光	97	土岐 哲	58
須藤祐二	42	田窪直規	26	丹野義彦	95	常田夕美子	34
ストラウス, A. L.	23	田倉直彦	5	チェ・スンボム	30	時津 啓	25
ストーリー, M.	96	武 邦保	77	近森高明	18	徳岡秀雄	85, 86
ストリナチ, D.	91	竹井隆人	90, 92	チクセントミハイ, M.		徳川宗賢	60, 85
砂川誠司	25	竹市明弘	84		42, 43, 44, 93	徳永哲也	73
住田育法	22	竹内 正	97	チザム, R. M.	49	土佐弘之	88
住原則也	38, 48	竹内 博	64, 85	千原雅代	92, 95	利島 保	95
世界思想社編集部	40, 54, 95, 96	竹内 洋	79, 85, 86, 89, 92	チャイルズ, P.	96	戸田五郎	4
瀬川昌久	91	竹尾治一郎	77, 83, 88	チャクラヴァルティーン, S.		戸田真紀子	93
関 啓子	95	竹沢尚一郎	35, 90, 93, 94		82	戸田山和久	46
関 恒樹	36	武田 丈	94, 96	チャタジー, P.	32	富田典典	26
関 雄二	52, 53	竹田寿恵雄	77	唱 新	92	富永恭彦	48, 84, 86
関口英里	21	武田弘道	77	趙 無名	94	富永茂樹	15, 22
関根康正	36, 96	竹中克久	92	廳 茂	20	富野幹雄	22
瀬崎圭二	94	竹中 均	7, 95	張 政遠	45	富村俊造	85
瀬沼克彰	21, 93, 94	武並義和	78	張 天新	17	友枝敏雄	95
芹澤知広	38	武久 堅	56	張 知夫	88	友枝啓泰	86
芹澤光興	59	竹前文夫	48	張 明雄	96, 97	外山敦子	57
宋 安鍾	92	竹山昭子	29, 92	塚崎 智	51	豊泉周治	88
惣谷美智子	62	田島充士	96	塚田健一	60, 61	豊福健二	97
副田義也	22, 23	田代志門	10	津金澤聰廣	29, 78, 79, 83, 85, 87, 88, 93	鳥越皓之	40, 80, 84
祖田 修	84, 95	多田道太郎	67, 81	塚本 潔	92	トロイヤール, R. J.	83
藪田碩哉	21	立田慶裕	92	塚本正明	85		
藪田 坦	81	建石 始	71	次田憲和	46	な 行	
染田秀藤	52, 53, 54, 80, 81, 83, 86, 95	立石裕二	14	辻 朗	80	内記良一	79
染谷臣道	91	立山善康	95	辻 勝次	79	内藤道雄	65, 87
		田所清克	22, 91	辻 悟一	84, 88, 89, 90	名嘉憲夫	90
		田中圭治郎	89	辻 裕子	61	中 久郎	21, 78, 79, 80, 81, 82, 88
		田中耕一	18	辻 美代	7	中 敬夫	49, 50, 94
田井義信	89	田中成明	78	辻村英之	94	中 義勝	78
大学問題研究会	97	田中貴子	86	津城寛文	96	中 良子	61
平 美美	20, 89	田中多佳子	63	つた	60	中井 悟	92
タウンゼント, P. K.	91	田中東子	25, 96	津田浩司	34	長井信一	86
多賀 太	93, 94	田中 仁	94	津田正太郎	26	中井精一	89
高井昌史	27	田中雅一	32, 34, 36, 47, 92	津田正夫	27, 90, 93	中井美雄	89
高石恭子	70	田中正隆	35	土屋 忍	55	永井良和	93, 95, 96
鷹尾 純	82	田中 實	97	土屋貴志	14	長尾一紘	78, 81, 86, 89, 96
鷹木恵子	35	田中美子	14	土屋雄一郎	94	長尾 直	78
高島学司	85	田中芳美	83	土屋礼子	90	中岡成文	81, 83
高島國男	30	棚瀬孝雄	6	筒井淳也	10, 94	中岡 洋	64
高田公理	17	棚次正和	47, 87	恒藤 恭	77	仲尾友貴恵	31
高頭直樹	44	田辺明生	32, 34	恒藤武二	78	中川 理	31
高乘秀明	41	田辺繁治	37, 90	常俊宗三郎	50, 81	中川加奈子	32
高橋 章	81	田辺 保	66, 83, 84	常光 徹	39	中川 敏	35, 39, 83
高橋 敷	79	谷 富夫	86, 95	坪内稔典	97	中川成美	86
高橋三郎	41, 89, 93	谷 泰	40	鶴見俊輔	78, 97	中川 淳	5, 78, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 95, 97
高橋 亨	83, 85	谷岡一郎	87	ディカム, G.	94	中川淳先生還暦祝賀論集刊行会	81
高橋 徹	90	谷川俊太郎	97	デイモン, W.	42	中川純男	48
高橋 望	85, 90	谷口忠大	69	デーヴィス, F.	82	中川輝彦	11
高橋秀雄	85	谷本尚子	64	出口 顯	88	中河伸俊	20, 24, 83, 89
高橋豪仁	96	谷本奈穂	27	出口康夫	46	中川正文	78
高橋宏幸	93	谷本光男	84, 91, 92	デュアメル, A.	88	中川友吉	79
高橋正立	83	谷脇理史	83	寺岡伸悟	90, 93	中才敏郎	47
高橋雄一郎	96	田淵晉也	66, 93	寺川眞知夫	82	永島淳正	92
高橋由典	88, 93	田淵福子	88	寺崎英樹	66	中島京子	70
高畑由起夫	84	田間泰子	30, 93	天童睦子	10, 92, 94	中島健二	88
高谷 修	61	玉井金五	18, 87, 89	東浦弘樹	62	堂目卓生	84
多喜弘次	80	玉野和志	8, 17	当津武彦	77, 81	中嶋昌彌	60
瀧川春雄	77, 97	玉村文郎	60, 87	道明三保子	52	中筋 朋	60
瀧川幸辰	77	田村うらら	33	会	65	中啓 萌	32
滝澤武人	48	田村紀雄	29, 83, 88, 91, 94, 96	戸菊恭紀	90	永田啓 恭	77
滝野哲郎	91	ターレンドルフ, R.	89	外川昌彦	47	中田 実	82
田口哲也	26	太郎丸 博	19				
田口宏昭	89						

中武靖夫	97	新田光子	41, 89, 93	浜田邦裕	62, 64	フィガール, G.	91
中谷文美	11, 32, 36, 38, 92	新田義弘	49, 81, 89	浜田富士郎	78	フィスク, J.	87
中務哲郎	82, 83	日本ジェンダー学会	31	濱千代 清	80, 84	フィッツジェラルド, M.	95
長妻三 佐雄	90	日本スポーツ社会学会	24	濱名陽子	86	フィンチ, J. D.	78
長友 淳	32	日本デュース学会	95	濱本 満	31, 92	フォースバーグ, A.	89
長友千代治	59	日本物理学会キャリア支援センター	41	早川善治郎	78	深作光貞	78
中西健一	91	日本文化人類学会	96	早川洋行	16, 91	深田三徳	78, 97
中西 進	82	日本余暇学会	21	林 以知郎	95	深見 茂	82
中野 毅	86	人間文化研究会	85	林 香里	25	福井美次郎	4
中野秀一郎	83	貫井孝典	87	林 和利	56, 84, 90, 95	福井勝義	84
中野正志	79, 83, 91, 92	ネイ, C.	83	林 利隆	83, 88, 91	福井直秀	90
中畑正志	92	根岸一美	91	林 知代	95	福岡和子	94
長町充家	64	根津由喜夫	96	速水敏彦	44	福島崇宏	4
長松奈美江	10	根本 孝	90	速水洋子	35	福田 晃	39, 81, 82, 86
中道 實	86	野内良三	90	原 信芳	92	福富忠和	94
中村 彰	30	能見宗利	79	原田香織	55, 95	福岡良明	26, 28, 96
中村 治	12, 21, 88	野家啓一	45, 81	原田隆司	10, 89, 90	福吉勝男	45, 90
中村興二	89	野上素一	96	原田隆史	26	藤井高美	96
仲村祥一	78, 79, 80, 81, 82, 83, 87, 88	野口祐子	62, 94	原田 達	22, 84	藤木庸介	10, 17
中村艶子	90	野崎京子	53	原田平作	82, 83	藤倉達郎	95
中村幹雄	97	野崎京子	53	原野 昇	93	藤沢令夫	77
中村桃子	95	ノディングス, N.	93	バリイ, G.	79	藤岡和子	88, 90
中村好孝	18	野々山久也	16	張江洋直	94	藤田真一	98
中村善也	77	野林厚志	95	ハリッジ, K.	86	藤田 整	82
中谷 隆	95	野原 仁	26, 96	播磨俊子	44	藤田久一	79
中山兼芳	42	野間正秋	77	播磨良承	80, 81, 82	藤田正勝	86
奈良洋子	64	野村忠二	77	ハルドン, A.	92	藤田真文	27, 88
奈良知章	81	野村知二	91	春原昭彦	84	富士谷あつ子	22, 31
鎌倉 聰	96	野村博	79	半沢幹一	56	藤永芳純	40, 86, 89, 95
並木浩一	96	野村真理	52	ハンセン, A.	6	藤原 翔	10
浪田陽子	26, 96	野本和幸	90	坂東省次	86, 88	藤本 昭	80, 81, 82, 84, 87
奈良大学文学部世界遺産を 考える会	54			坂東昌子	91	藤本隆志	86
奈良本辰也	78	は 行		榎垣立哉	69	藤本 晃	81
南 富鏡	93, 96	ハイジック, J. W.	48	東中稔代	88	藤本徳明	81, 82
難波功士	27, 88, 91	灰谷健次郎	97	樋口謹一	78	藤本和貴夫	25
難波博孝	41, 57, 90	芳賀 徹	22	樋口直人	13	佛敎大学歴史学部	52
新部亨子	32	朴 一	85, 88, 92	樋口百合子	92	ブッシュネル, C.	9
二枝美津子	93	間 登志夫	82	樋口芳麻呂	82	筆谷 稔	78, 79
二階堂裕子	19	橋本和也	34, 38, 88, 93, 96	久武綾子	6, 90	船木 亨	45, 50
西井進剛	42	橋本和幸	85	久間圭子	91	フラナガン, D.	91
西井凉子	34, 37, 89	橋本 茂	20	飛田就一	78, 80	ブランド, R.	78, 79
西尾哲夫	37	橋本純一	15, 29	日高勝也	27	ブリッチャー, M.	96
西尾宣明	12	橋本富郎	81, 82	日野舜也	83	ブリュモン, M.	63
西川富雄	78	橋本雅之	58	檜山雅人	89	古川 彰	91
西川知享	7	長谷正當	87	玄 永錫	82	古川 誠	8
西川美紀	80	長谷川文雄	94	平居 謙	98	古川尚輝	28
西口章雄	79, 80, 82, 88	長谷川政美	92	平井孝典	13	古田元夫	6
西口清勝	88	長谷川眞理子	69	平井俊彦	84	古牧徳生	46
西阪 仰	9, 87, 96	長谷川万吉	77	平井 肇	89	風呂本武敏	63
西崎 亨	85	堀 明郎	5, 91, 94	平石善司	49, 80	ベイヤー, L.	88
西沢 保	88	畠 佐代子	66	平川毅彦	92	ヘースト, S. v. d.	92
西島孜哉	80, 83, 84	畠山兆子	79, 81, 89, 93	平川 均	85	別府三奈子	29
西田耕三	58, 84	畑中圭一	86	平子義雄	47, 90	ベルク, A.	96
西田龍雄	66	畑中宗一	88, 89, 90, 91, 93, 94	平田達治	94	ヘンドリヒス, H.	80
西田利貞	68	バックینگラム, D.	25, 93	平田雅博	88	ホイジンガ, J.	81
西谷 敬	83	初瀬龍平	93	平体由美	53	宝月 誠	20, 78, 80, 91
西村成雄	94	ハッチオン, L.	91	平塚千尋	90, 93	細辻恵子	82, 83, 92
西村智朗	4	服部範子	80	平松 毅	77	細谷昌志	20, 85, 86
西村秀樹	15, 94	羽藤由美	93	ヒル, R. J.	80	ホックシールド, A. R.	23
西村 貢	88	羽鳥敬彦	83, 88	広川禎秀	93	堀田輝明	79
西山けい子	25, 94	花岡永子	49	広瀬浩二郎	95	廣中直行	77
西山哲郎	12, 93	花房英樹	77	廣庭基介	43	堀 忠雄	17
西山良平	86	バーナンキ, B.	6	アスティン, D. J.	59	堀井令以知	57, 86
新田孝彦	48, 50	浜口恒夫	80, 82	黄 順姫	18, 21, 24	堀内かおる	40, 41
		濱田 明	66	黄 盛彬	91	堀江 聡	45

堀江新二	88	三浦耕吉郎	19, 21	本浜秀彦	27	山田邦男	48, 90
堀川紀年	91	三浦賜郎	78	本山 敦	91	山田獎治	94
堀川 徹	91	三浦信一郎	91	森 明子	33	山田富秋	87, 92
堀口 正	7	三上剛史	83	森 一郎	80, 83	山田友幸	90
堀林 巧	6	三木草子	30	森 真一	95	山田信行	13
ホール, A.	31	三砂慶明	25	盛 秀雄	78, 79	山田 昇	88
ホワイト, B.	95	三嶋 譲	59	森 雅秀	96	山田 光	77
本多健吉	84, 86	水越 伸	25	森 まゆみ	55	山田弘明	85, 89
本田 稔	4, 96	水地宗明	45	森 三樹三郎	80	山田浩之	84
本田 濟	78	水野和久	81	森 義宣	77	山田昌弘	86
本間 愼	5	水野信男	37, 65, 90	森下伸也	85	山田真茂留	9
ま 行		水野義之	24	森下利明	79	山田由美子	53, 85, 91
真板昭夫	67	水山光春	41	森下二次也	78	山田善郎	80
前川玲子	52	溝上愼一	43, 95	森田敦郎	96	大和礼子	96
前田啓一	6, 91	溝口宏平	82	森田三郎	82	山中茂樹	29
前田 弘	91	溝端佐登史	83, 84, 87, 90	森本益之	4, 89, 96	山中俊夫	77
前田芳人	79	三谷はるよ	7	森山 工	96	山中 恒	80
牧田満知子	9	三井さよ	7	茂呂雄二	96	山中 弘	86, 96
牧野英二	46	光吉利之	82	や 行		山村高淑	17
横山次郎	77	美濃 正	47	八木久美子	46	山本 淑	78, 79, 80
マークル, G. E.	83	三野博司	58, 63, 84	八木鉄男	77	山本浩三	77
真実一美	89	三原幸久	81	葉師川虹一	88	山本祥子	30
正村俊之	29	美馬達哉	30	安井邦夫	44, 81, 82	山本 伸	91
マッシュズ, G.	95	三村晃功	80, 81, 83, 97	安井信子	87	山本須美子	96
増田光吉	81	宮岡 薫	86	安川 一	82, 86	山本誠作	49, 85, 87
増田繁夫	81, 83	三宅興子	79, 81	八杉佳穂	37, 91	山本 孝	7, 90
増田義郎	80	宮崎寿子	95	安松幹展	14	山元隆春	11
マスターマン, L.	95	宮沢浩一	97	安室憲一	42	山本武利	83, 87, 88
榊本妙子	93	宮治弘明	89	安森敏隆	59, 64, 83, 87, 90, 98	山本恒人	80
間瀬啓允	17, 47	宮下晋吉	17	八田恭昌	79	山本 一	83
町田光弘	6	宮田由紀夫	94	箭内 匡	38, 93	山本秀行	62, 63, 90
松浦恆雄	65	宮寺晃夫	93	柳澤伸司	27, 91	山本幹雄	80
松尾哲矢	14	宮永國子	84, 86, 89, 94	柳原佳子	80	山本雄二	87, 93, 95
松尾光喜	16	宮原 勇	45	湯浅陽一	52	ヤマンラール水野美奈子	
松岡悦子	33	宮原浩二郎	24, 89	矢野 剛	91		
マッケンジー, E.	90	三山峻司	5, 95	矢萩多聞	60	湯浅陽一	13
松崎行代	70	宮元健次	65	藪田 貫	88	油井清光	90, 92
松下優一	9	宮本正興	80, 83	山内 淳	53	行安 茂	45
松島 淨	79	宮本又次	77	山内昌之	84	弓山達也	92
松嶋 健	45	宮脇幸生	93	山尾貴則	96	横井金男	80
松田恵示	14, 21, 23	御代川貴久夫	95	山折哲雄	50	横田恵子	18
松田ヒロ子	52	三好皓一	94	山形浩生	6	横田 茂	87
松田素二	8, 33, 36, 38, 90, 95	関 寛植	96	山川雄巳	78, 79	横山邦治	80
松田之利	88	ミングスト, K. A.	86	山川鴻三	85	横山 良	80
松平盟子	98	牟田和恵	11, 87, 93	山川偉也	46, 81, 88	好井裕明	14, 21, 83, 87
松村圭一郎	31, 94	武藤一雄	80	山川 学	91	吉井昌彦	90
松村 昂	98	武藤脩二	54, 63	山岸俊男	36	吉岡健二郎	79
松村信夫	5, 95	宗雪修三	90	山口 修	25	吉海直人	57, 84, 85, 90
松村昌家	65, 83, 85	村上悦也	84	山口幸五郎	97	吉川忠夫	98
松本仁助	80, 82, 83, 87	村上仁一郎	79, 81	山口功二	84, 87, 88, 89, 94, 96	吉川康夫	31
松元雅和	44	村上靖彦	8	山口素光	79	吉澤健吉	26
松本通晴	25, 78, 80, 82	村澤真保呂	96	山口隆英	42	吉澤五郎	88, 91, 94
松山雅子	89, 93	村澤和多里	42, 96	山口信夫	92	善積京子	12, 80, 83
間庭充幸	78, 79, 84, 92, 95	村田晃治	83, 88	山口信夫	92	吉田金彦	58, 93
間瀬領吾	8, 96	村田利裕	64	山口裕子	34	吉田 究	82
マヘシヴアラナンダ, D.	16	村田陽平	13	山口泰雄	91	吉田国光	11
丸本恵祐	25, 79	村松岐夫	97	山口義久	45	吉田圭吾	88
丸山里美	8, 96	村山瑞穂	62	山崎國紀	57, 81, 84	吉田謙二	84, 95
丸山淳子	34	室伏亜希	23	山崎吾郎	7, 33	吉田 茂	85, 90
円山誓信	88	メイ, T.	92	山崎信三	66	吉田 純	89
丸山高司	81, 83	妻鹿淳子	86	山崎時彦	77	吉田 忠	85, 87
マン, P. H.	79	メンガー, C. F.	81	山路勝彦	79	吉田直子	91
マンネル, R. C.	44	茂垣広志	90	山下太郎	70	吉野文雄	89
		望月重信	79	山下 昇	89, 93	芳野 勝	80
		望月太郎	86	山下宏明	86	吉村啓子	93
						吉村昭市	87

與那嶺 司	71	林 永強	45	脇村孝平	53, 82	渡辺 潤	8, 11, 30, 79,
米倉昭夫	88	ルイス, A.	77	和崎春日	38	91, 92, 94, 95	
米澤有恒	51	レイチェルズ, J.	46	鷺田清一	69, 83	渡邊昭五	81
米田佐代子	31, 84	レーヴェンシュタイン, K.	77	和田克司	97	渡邊澄子	56, 58, 85, 87
米山俊直	40, 85, 90	レモン, E. J.	77, 83	和田貞夫	78	渡邊大輔	10
奇川条路	92	ロジエク, C.	95	和田 武	67, 88	渡辺武達	26, 84, 85, 87,
ら 行		ロストウォロフスキ, M.		和田博文	57, 58, 85, 87,	88, 89, 94, 96	
ラティンジャー, N.	94		95	和田安弘	84	渡辺 一	77
ラムゼイ, P.	77	ロング, D.	89	和田洋一	79	渡邊 洋	65, 86
リー, S.	83	わ 行		渡辺和子	86	渡辺 護	84
リーヴァー, J.	25	若松陽子	92	渡辺克昭	93	渡辺幸博	78, 79
リカード, P.	85	若松養亮	43	渡辺克義	62, 64	渡部 真	93, 95
リブラ, T. S.	89			渡辺貞磨	80, 81, 82	巨 英太郎	91



ご注文について

- ◆お近くの書店でお求めください。店頭がない場合は、書店にお申し込みください。取り寄せが可能です。
- ◆小社に直接ご注文の場合は、下記までご連絡ください。
小社ウェブサイトからもご注文になれます。
 - 代金引換（郵便）で送品いたします。お届け時に代金をお支払いください。
 - 1回のお届けにつき送料・手数料770円（消費税込）をご負担ください。
（本体価格合計が1万円を越す場合は無料）

〒606-0031 京都市左京区岩倉南桑原町56
TEL 075(721)6500 FAX 075(721)8707
振替 01000-6-2908
<http://sekaishisosha.jp/>

